

仙台市文化財調査報告書第260集

# 今市遺跡

発掘調査報告書

平成 14 年 3 月

仙台市教育委員会

仙台市文化財調査報告書第260集

# 今市遺跡

発掘調査報告書

平成 14 年 3 月

仙台市教育委員会



1. 1区3層上面全景（東から）



2. 2区2b層上面全景（西から：左上は七北田川と岩切大橋）



3. 3A区全景 (南から：車のところが堤防)



4. 3B区全景 (南から：人のいるところが3A区)



1a  
1c  
2a  
3a  
3b  
3c  
3d

5. 1区北壁断面  
(SE-2井戸跡付近)

6. 2区北壁断面 (西端付近)





7. 2区SD-29溝跡 (東から)



8. 2区SE-5井戸跡 (西から)



9. 2区SE-6井戸跡 (南から)



10. 2区SE-7井戸跡 (西から)



11. 2区SK-54土坑遺物出土状況 (西から)

12. 2区SK-54土坑全景 (西から)



13. 2区SE-5井戸跡出土漆器碗 (L-12)



14. SE-5井戸跡  
出土大堰相馬  
碗 (ld-4)



15. SE-5井戸跡  
出土大堰相馬  
碗 (ld-8)



18. 2区SK-54土坑出土土師器・須恵器



16. SE-5井戸跡出土井戸杵石材



17. 1区SK-39土坑出土岸窯系壺 (ld-2)



21



19. 2区SD-24清跡  
出土灰釉陶器碗  
(ld-12)



20. 2区SD-23清跡  
出土灰釉陶器碗  
(ld-13)



22

21・22. 2区2b層出土赤彩土師器杯 (C-1)



23. 2区SX-3出土土師器高杯 (C-23)

## 序 文

21世紀が幕を開けた2001年、仙台市は開府400年を迎えました。伊達政宗が青葉山に仙台城を築き、城下町・仙台を育てて以来、仙台は急速な発展を遂げ、人口100万人を超える日本有数の大都市となりました。都市化が進む中でも「杜の都・仙台」の愛称で親しまれ、自然と調和した街づくりは全国的にも注目されています。一方、仙台は様々な時代の遺跡が数多く分布する地域でもあり、約800ヶ所の遺跡が確認されています。遺跡に眠る多くの埋蔵文化財が、先人が築いた悠久の歴史を現代に伝えるタイムカプセルとなっているのです。

このたび調査した今市遺跡の位置する仙台市北部の七北田川流域は、杭城・長命館・松森城・岩切城等数多くの城館跡が分布しており、中世の歴史を現代に伝える地域となっています。中でも、留守氏の居城と伝えられる岩切城跡は要害堅固な城郭として著名であり、国指定史跡となっています。その麓には中世からの古刹・東光寺が佇み、境内に残る板碑群や石窟仏は、この地域が当時の信仰の対象であったことを物語っています。東光寺門前の七北田川両岸には、集落が発達し、河川を利用した舟運による交易の場として、早くから市が開かれていたと伝えられています。岩切地区は、中世の多賀国府域にも含まれていると推測され、未だ謎に包まれた部分の多い仙台の中世史を解き明かす上で重要な地域となっています。

先人が築いた文化と伝統を護り、未来へ伝えていくことは、将来の更なる発展の基礎を為すものと考えられます。仙台市教育委員会では、今後とも各方面のご理解とご協力を頂きながら、文化財の保護と活用を実践して参りたいと考えております。今回の発掘調査及び報告書の刊行にあたり、ご指導とご協力を賜りました多くの方々に深く感謝申し上げますとともに、本書が研究者のみならず市民の皆様にも活用して頂けますことを期待致しまして、刊行のご挨拶とさせていただきます。

平成14年3月

仙台市教育委員会

教育長 阿 部 芳 吉

## 例 言

- 1 本書は、仙台市教育委員会による宮城県仙台市宮城野区岩切字三所北所在の今市遺跡の発掘調査報告書である。
- 2 本発掘調査は、地権者日野正一による岩切字三所北38・39他の宅地造成工事及び共同住宅建設に伴う事前調査として実施された。
- 3 本書の編集は、仙台市教育委員会文化財調査係の工藤哲司と伊藤 隆が行い、加藤徳明が補佐した。  
執筆は、第1章・第2章第2節を伊藤が、第2章第1・3・4節・第3章を工藤が担当した。
- 4 出土した陶器・磁器の産地及び年代については、仙台市博物館佐藤 洋氏に実見していただき、教示を得た。
- 5 調査にあたっては、地権者日野正一氏及び設計・工事担当の大木建設株式会社東北支店・有限会社シビル計画から全面的な理解と協力をいただいた。記して感謝の意を表す次第である。
- 6 本調査にかかわる資料の全ては、仙台市教育委員会が保管している。

## 凡 例

- 1 本書で使用した土色は、「新版標準土色帖」(小山・竹原：1976)に準拠している。
- 2 本文・図版で使用した方位は、全て真北で統一してある。
- 3 図中の座標値は、平面座標系Xを基準とし、単位はkmである。
- 4 標高値は、海拔高度を示している。
- 5 遺構名の略号として、次の略号を使用した。  
SA：柱列・塀跡                      SB：掘立柱建物跡                      SD：溝跡                      SE：井戸跡  
SI：竪穴住居跡及び竪穴遺構        SK：土坑跡                              P：ピット                      SX：その他の遺構
- 6 報告書中の全体図および遺構平面図においては、攪乱と新しい重複遺構は、省略または簡略化している。
- 7 遺物の登録には、以下の分類と略号を使用した。  
C：土師器(非ロクロ)                  D：土師器(ロクロ)                      E：須恵器                      F：丸瓦  
G：平瓦                                  Ia：土師質土器                              Ib：瓦質陶器                      Ic：無釉陶器  
Id：施釉陶器                              J：磁器                                      K：石器・石製品                      L：木製品類  
N：金属製品                              P：土製品                                      Q：骨角製品
- 8 竪穴住居跡床面の濃いスクリーントーン(網)は強い焼け面を、薄いスクリーントーン(網)は弱い焼け面を示している。また、柱穴内のスクリーントーン(網)は柱痕跡の位置を示している。
- 9 土師器実測図内面のスクリーントーン(網)は黒色処理されていることを示している。
- 10 施釉陶器におけるスクリーントーン(網)は露胎部分を示している。
- 11 木製品・材・杭の実測図においては、表面の状況を下記のとおり示してある。  
削り面(削れ面)： 樹皮残存部分： 焦げ面： 破損・腐蝕部分：
- 12 木製品断面における弧線及び同心円は、年輪の方向を示しているが、年輪の間隔を示すものではない。
- 13 遺物観察表の( )内の法量は、残存値を示している。
- 14 遺物集計表の中に、当該遺構番号がない場合は、出土遺物のないことを示している。

# 目 次

序 文  
例言・凡例  
日 次

第1章 今市遺跡の概要	1
第1節 調査に至る経緯と調査要項	1
1 調査に至る経緯	1
2 調査要項	1
第2節 遺跡の立地と環境	1
1 地理的環境	1
2 歴史的環境	2
第2章 調査の概要	5
第1節 調査区の配置と基本層	5
1 調査区配置	5
2 1区の基本層位	9
3 2区の基本層位	9
4 試験区の状況と1区2区の関係	11
第2節 1区の調査概要	11
1 1層出土遺物	11
2 2 a層検出遺構	12
1) 掘立柱建物跡	12
2) 溝跡	16
3) 井戸跡	16
4) 土坑	16
3 2 a層出土遺物	20
4 3層上面検出遺構	21
1) 掘立柱建物跡	21
2) 溝跡	23
3) 井戸跡	27
4) 土坑	29
5) その他の遺構	45
第3節 II区の調査概要	45
1 2 b層検出遺構	45
1) 柱列	45
2) 掘立柱建物跡	46
3) 溝跡	51
4) 井戸跡	56
5) 竪穴住居跡	66
6) 土坑	69
2 2 b層出土遺物	80
1) 2 b層中の遺物	80
2) 西壁際での2 b層一括土器	81
3 3層上面検出遺構	81
1) 溝跡	81
2) 竪穴遺構	83
3) 土坑	83
4) その他の遺構	88

第4節 3区の調査概要	93
1 3A区検出遺構	95
1) 溝跡	95
2) 土坑	95
2 3B区検出遺構	95
1) 溝跡	95
3 その他の出土遺物	96
第3章 調査成果のまとめ	97
第1節 出土遺物のまとめ	97
1 古墳時代の赤彩土師器	97
2 2区SK-54・SI-1・西壁2b層出土土器群	97
3 灰釉陶器について	97
4 中世の陶器と磁器について	98
5 近世の陶器と磁器について	98
第2節 遺構の時期別構成と変遷	98
1 古代の遺構	99
2 中世の遺構	100
3 近世の遺構	101
遺物集計表	103
写真図版	
今市遺跡の位置と現況	112
1区の遺構	113
2区の遺構	130
3区の遺構	147
出土遺物	
土師器	149
須恵器	151
瓦・土師質土器・瓦質土器	155
無釉陶器	156
灰釉陶器	157
施釉陶器・青磁・白磁・青白磁	158
磁器	159
石製品・石材	160
木製品	165
金属製品	166
土製品・骨角製品	168

# 第1章 今市遺跡の概要

## 第1節 調査に至る経緯と調査要項

### 1 調査に至る経緯

今市遺跡（仙台市文化財登録番号C-222）は、仙台市宮城野区岩切字三所北にあり、七北田川右岸の自然堤防上に位置する。遺跡内の岩切字三所北38・39番地において共同住宅の建設ともなう発掘届が日野正一氏より提出されたことから、仙台市教育委員会生涯学習部文化財課調査係では、確認調査を実施した上で遺跡の取り扱いについて開発者と再度協議することにした。

確認調査は平成11年4月12・13日に実施し、遺構の検出を行ったところ、多数の土坑や柱痕跡の残るピット、平安時代に属する遺物が多数出土する遺物包含層が確認された。確認結果に基づき開発予定地については、マンション建設部分と道路部分の記録保存調査を行なうこととし、平成13年4月10日より本調査を実施した。

### 2 調査要項

遺跡の名称	今市遺跡（仙台市文化財登録 C-222）						
遺跡の所在地	仙台市宮城野区岩切字三所北38番外						
調査面積	1,100㎡	対象面積5,500㎡					
調査主体	仙台市教育委員会						
調査協力	日野正一氏（地権者）		（株）大木建設				
調査担当	仙台市教育委員会生涯学習部文化財課調査係						
担当職員	試掘調査	篠原 信彦	吉岡 恭平				
	本調査	工藤 哲司	伊藤 隆				
調査期間	平成13年4月10日～8月17日						
整理期間	平成13年12月17日～平成14年3月31日						
調査参加者	相沢美佐子	安部 文子	上野 美子	内田 節子	大内さくえ	大内 孝子	
	大槻 明美	奥山 妙子	奥山 祐子	小野寺あさみ	小野寺美伊子	小野 栄子	
	菊地 和江	佐々木和江	佐藤 愛子	佐藤 悦子	佐藤としみ	篠原 蓮	
	鈴木貴美子	高橋 弘子	高橋由美子	高橋 喜子	田中つや子	鎌谷 清	
	針生せつ子	福壽 規人	水野くみ子	深瀬 敏子	村田 健三	山田 惣次	
	山田 実	山並 明夫	横山美代子	吉田妮嗣子	渡辺 純子		
整理作業	安部 文子	有路 尚子	上野 美子	大越ふさ子	佐藤 愛子	深瀬 敏子	
	福壽 規人	若生恵美子	渡辺 純子	杉松比佐子	茂垣 艶子		

## 第2節 遺跡の立地と環境

### 1 地理的環境

今市遺跡は仙台市の北東部、仙台駅から北東に約7kmに位置し、利府町との境に近い仙台市岩切字三所北に位置する。遺跡の範囲は今市橋から岩切人橋にかけての七北田川右岸、東西約400m、南北約150mの約6万㎡である。遺跡の北面を流れる七北田川は、仙台市北東部の泉ヶ丘に源を発し、奥羽山系から東に延びる富谷、七北田丘陵を

東流し、岩切地区付近で松島丘陵から延びた標高100m以下の低い丘陵に最も近づいた後、次第に南流し、仙台湾に注いでいる。また、七北田川は中・下流域に形成した段丘面を蛇行しながら上砂の堆積と氾濫を繰り返して、下流域では比高3～4mに達する自然堤防を兩岸に発達させている。今市遺跡はこの自然堤防上に立地し、標高は9～10mである。自然堤防上はこれまで畑地として利用されてきたが、近年著しく宅地化が進んでいる。

## 2 歴史的環境

今市遺跡周辺は良好な地理的環境から多くの遺跡が分布しており、今市橋を渡った対岸には中世からの古刹東光寺、さらに北の丘陵部には国指定史跡である岩切城跡がある。また、遺跡の東方約4kmの地点には多賀城跡がある。これまでの周辺遺跡での調査では古墳時代よりも古い時代の明瞭な生活痕跡は確認されておらず、縄文時代あるいは弥生時代の遺物が少量出土しているのみである。それに対して古墳時代以降の遺物・遺構はこれまでの調査によって数多く検出されており、古代から中世にかけては人口も多く繁栄の著しい地域であったと考えられている。以下、今市遺跡を含め遺跡周辺の歴史的環境を概観する。

### 古墳時代

今市遺跡周辺の高塚古墳は、本遺跡南西の燕沢遺跡と同・丘陵上の千人塚古墳が1基のみ確認されている。すでに墳丘の形も崩れているため詳細は不明であるが、円墳と推測されている。また、本遺跡の南に隣接する岩切小学校では、校庭から出土したといわれる円筒埴輪を所蔵しており、周辺に古墳のあった可能性を示すものと思われる。

古墳時代の終末期からは本遺跡北方と南方の丘陵地帯に横穴墓群が形成され始める。菩提寺横穴墓群は、推定で100基をこえるといわれ、これまでの調査によって直刀、刀子、金環、勾玉等が出土し、7世紀から8世紀の頃までの横穴墓群であると考えられている。北方の入生沢、台屋敷横穴墓群は総数70基ほどで中には蒲葺型や家形の玄室が残っているものもある。

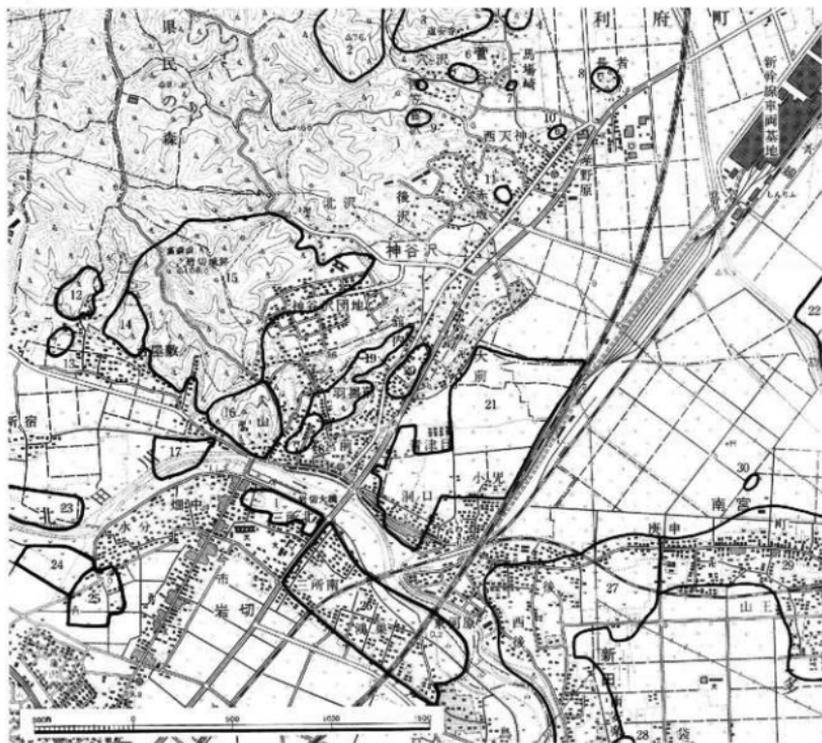
七北田川の自然堤防上で本遺跡の東に隣接する鴻ノ巣遺跡では、これまでの7次にわたる調査で、埴釜式期から粟円式期までの遺物包含層が広く分布していることが確認された。また、中期南小泉式期の竅穴住居跡5軒が検出されたほか、前期埴釜式期の土器集中遺構、中期南小泉式の周溝墓と土坑等の遺構、前期から中期にかけての2層の水田跡などが検出されており、古墳時代中期を中心として、前期から終末期まで集落として栄えていたことが窺える。そのほか、燕沢遺跡では埴釜式期の住居跡が4軒、本遺跡西側の自然堤防上に位置する岩切畑中遺跡では粟円式期の住居跡2軒が検出されている。

本遺跡の七北田川対岸の自然堤防上には新田遺跡があり、その東側には山下遺跡が隣接する。これらの遺跡では南小泉式期の住居跡や幅約3mで「コ」の字形にめぐる溝跡、多量の土師器、石製模造品などが出土している。また、粟円式期の約200点もの土師器が置かれた浅いくぼみも確認されており、祭祀遺構と考えられている。

このように古墳時代には、今市遺跡周辺は大規模な集落が発達していたと考えられている。近年、七北田川河口の沼向遺跡でも古墳時代前期の大集落跡が発見されており、七北田川中・下流域は古墳時代から繁栄していた地域であったことが窺える。

### 古代

本遺跡の東方約4kmの低丘陵上には多賀城跡(国指定史跡)がある。多賀城は724年に造営され、10世紀まで国府であり、奈良時代には鎮守府も置かれていた。また、多賀城跡の南東約1.2kmの地点には多賀城廃寺がある。多賀城の周辺の自然堤防や丘陵などに立地する新田遺跡・山王遺跡・市川橋遺跡・高崎遺跡などからは平安時代の掘立柱建物跡が多く検出されており、中には四面に庇の付いた建物跡もある。また、中国産陶磁器や灰釉陶器・緑釉陶器、靱や石帯などの官人階級の所持品と見られる遺物が出土しており、多賀城に深い関わりをもつ人々が居住



番号	遺跡名	種別	時代・時期	番号	遺跡名	種別	時代・時期
1	今市遺跡	包含地	平安～中世	16	東光寺遺跡	城館	中世
2	菅谷館跡	城館	中世	17	新宿岡遺跡	散布地	古代
3	菅谷横穴墓群	横穴墓	古墳後	18	石河原遺跡	城館、散布地	縄文、古墳、平安～室町
4	北園野前遺跡	散布地	古代	19	羽黒前遺跡	散布地	中世～近世
5	穴ヶ沢遺跡	散布地	古代	20	化機遺跡	城館	中世
6	穴薬師岩塚	岩塚	中世	21	瀬ノ口遺跡	城館	平安
7	南馬場横穴墓群	横穴墓	古墳	22	市川原遺跡	散布地	縄文～平安
8	丸湯峠B遺跡	散布地	古代	23	大正原遺跡	散布地	平安
9	伊豆石立神社遺跡	神社	平安	24	岩切遺中遺跡	城館	縄文～近世
10	室宮沢遺跡	散布地	古代	25	湯舟遺跡	城館	中世
11	高野原遺跡	散布地	古代、平安	26	湯ノ巻遺跡	散布地	古墳～中世
12	人生沢横穴墓群	横穴墓	古墳後	27	新田遺跡	散布地	古墳～中世
13	人生沢遺跡	散布地	平安	28	安楽寺遺跡	寺院	古代末～中世
14	竹原殿横穴墓群	横穴墓	古墳後	29	山王遺跡	散布地	古墳～平安
15	岩切城跡	城館	中世	30	内籠館跡	城館	中世

第1図 今市遺跡の位置と周辺の遺跡

していたと考えられている。これらの遺跡からは、平安時代の縦横に通る道路跡が発見されており、多賀城跡と関連した計画的な地割りが存在していたことが窺える。奈良時代の道路跡はまだ検出されていないが、掘立柱建物跡などの方向に規則性があることから、計画的な地割りは奈良時代にさかのぼると推定されている。

燕沢遺跡からは平安時代の竪穴住居跡や掘立柱建物跡が確認されているほか、古代の瓦や漆紙文書なども発見さ

れており、寺院または何らかの官衙的な施設が存在したと推定されている。岩切畑中遺跡では奈良時代と平安時代の堅穴住居跡が各1軒ずつ確認されているとともに、現在調査中の涌ノ巢遺跡でも平安時代の堅穴住居跡が3軒確認されている。古墳時代以降も今市遺跡周辺は、官衙関連施設や集落などが営まれていたことが窺われる。

### 中世

1189年、鎌倉幕府による全国支配を確固たるものにするを目的として奥州侵略が行われた（文治五年奥州合戦）。これにより平泉の奥州藤原氏を滅ぼした源頼朝は、日本全国すべての在地位領主を指揮統制下におくことに成功した。その後、源頼朝によって陸奥国留守職に任命されたのが伊沢家景である。陸奥国留守職とは幕府による陸奥国衙の直接的掌握のために国務をとりしきる最高責任者である。伊沢氏はのちに留守氏を称し、その子孫は陸奥国府周辺の地を所領として、本遺跡の北方1kmに位置する岩切城（国指定史跡）を居城とした。また、岩切城跡周辺には東光寺城跡、松森城跡、笹森城跡、化粧坂城跡、利府城跡等の中世の城館跡が数多く分布しており、留守氏と関連のあった有力者の城館であったと考えられている。中世の陸奥国府の位置は特定されていないが、岩切地区が国府域に含まれるのではないかの考えも示されている。本遺跡の北東1kmに位置する湧ノ口遺跡からは中世の多量の遺物とともに、大規模な溝跡が確認されており、国府との関連が注目されている。新出遺跡からは多量の遺物とともに溝をめぐらせた屋敷跡が確認されており、留守氏と関係のあった人物が居住していた可能性がある。

本遺跡の対岸には伊沢氏の菩提寺であった東光寺が位置する。東光寺には磨崖仏や150基以上の板碑群が残り、中世の人々にとっての信仰の場として重要な地域であったと考えられる。鎌倉時代の留守文書には、中世の岩切付近には「冠屋市場」「河原宿五日市場」という二つの市場があったことが記され、七北田川沿いに活発な商活動が営まれていたことが窺える。中世の主要道路であった奥大道が東光寺門前の今市橋で七北田川を渡り南北に通じていたことから、交通の要所であったこの地に市が開かれていた可能性が高い。東光寺遺跡の発掘では門前の遺構群から門前市が開かれていた可能性も指摘されており、この周辺が「冠屋市場」の存在した有力な候補地となっている。また、東光寺対岸の本遺跡周辺は「河原宿五日市場」の存在した有力な候補地とされている。

以上のように、本遺跡を含む岩切周辺は中世の遺構・遺物が密集して確認されており、中世における仙台地区の政治・経済・文化を考える上で重要な地域となっている。

### 近世・近代

江戸時代には宮城郡岩切村と称し、今市・若宮・洞ノ口・余目・台屋敷の集落からなっていた。特に今市の集落は奥州街道に沿った町並みが形成されており、藩主伊達政宗は「むろ役」「馬完買役」など十種の完買免許を与えたほか、六斎市の開催を認めた。かわりに町屋敷に居住するものは伝馬役などを負担した。1625年には今市の住人は「御弓組御足輕」を仰せつけられ足軽町になり、宿場町の利府とともに栄えた。

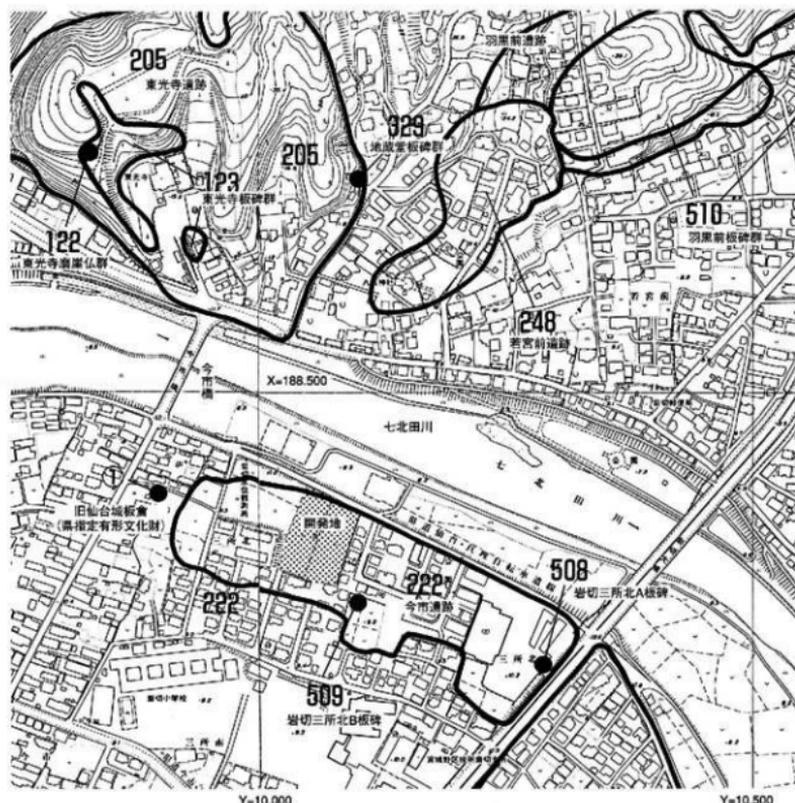
## 第2章 調査の概要

### 第1節 調査区の配置と基本層位

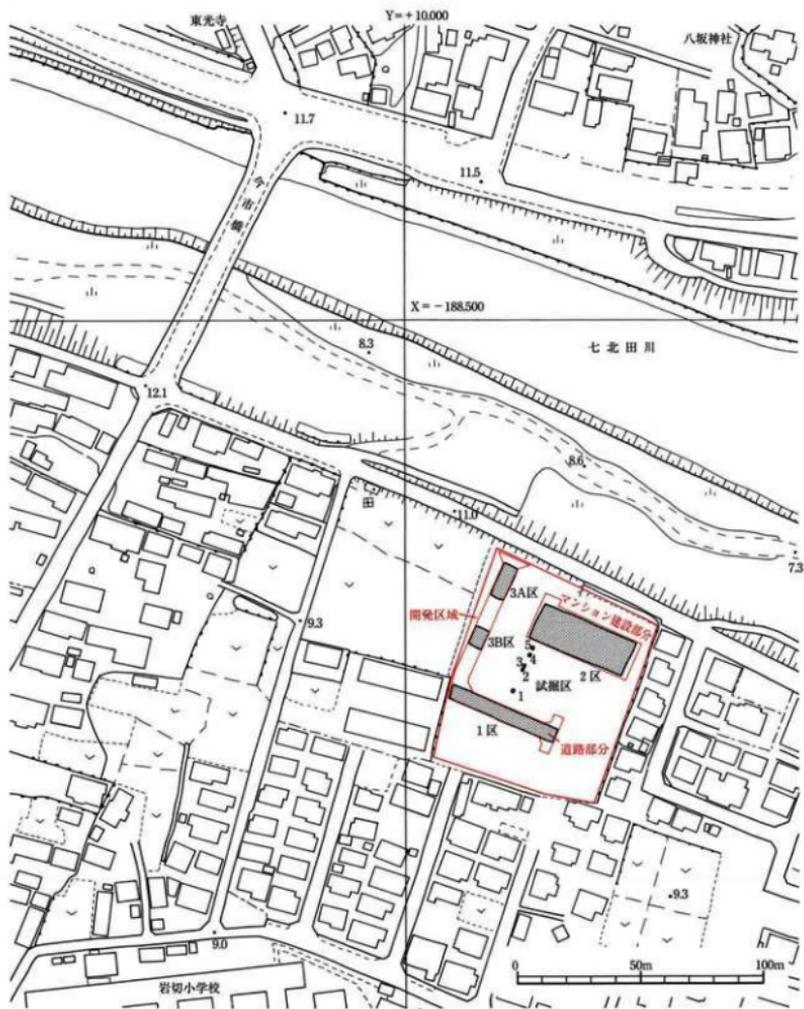
#### 1 調査区の配置

今回の調査は、今市遺跡にかかる開発予定地約5,500㎡のうち、街路敷設とマンション建設の工事に関係する部分を対象とした(第3図)。街路は、開発予定地西辺で、七北田川の南側堤防上の道路にT字状に接続するように南北方向にのびている部分と、この道路の南端で東にL字状に折れて東西方向にのびている部分からなる。マンション建設地は、L字の道路の内側に、土手と平行するように東西方向に長く配置されている。

調査は、対象地のまとまりにより、3地区に分けて実施した。街路のうち南側の東西方向にのびる部分を1区、



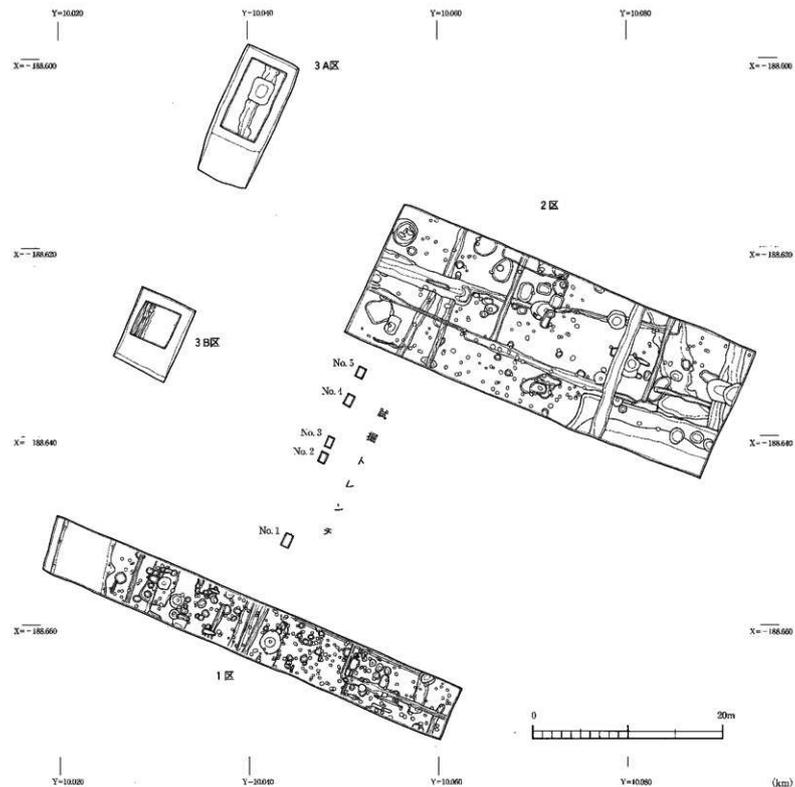
第2図 今市遺跡と調査対象用開発地



第3図 開発地区と調査区配置図

マンション建設地を2区、堤防に直交する南北方向の街路を3区と呼称した。3区及び1区の西端は、3区の東側に南北方向にのびる畦畔を隔て、2区及び1区の大部分の地域と比べて50cm前後低くなっている。

調査着手時、地権者から3区部分が1段低くなっている事情が、七北田川の堤防構築時の土取りによるものであることを教示された。



第4図 調査区全体図

1区は幅6m・長さ46m、2区は幅15m・長さ40mの調査区である。3区は、幅6m・長さ50mの調査区を計画していたが、土取りされているとの情報が得られ、表土排除の際にこのことが確かめられた。そこで、3区については2ヵ所で遺構の確認をし、その状況により全面的な調査を実施するかどうか判断することとした。2ヵ所の調査区のうち、3区北側地区を3A区、3区中央地区を3B区とした。3A区は、幅6m・長さ15m、3B区は幅6m・長さ8mの調査区を設定した。両区は、土取りされた後に行なわれた盛土層が厚いため、実質的な調査範囲は、3A区が幅4m・長さ8m、3B区が幅4m・長さ4mである。3A区・3B区及び1区西端部分にいたる土取り部分は、遺構が残存しないまたは希薄であることが確かめられたので、3区は全面的な調査を実施しなかった。

1区・2区・3区はいずれも七北田側の形成した自然堤防に立地している。自然堤防上にあつて、2区側が傾斜が高く、後背湿地の側に位置するに1区の方がやや低くなっている。

## 2 1区の基本層位

1区の基本層は、大別して4層に分けられる。

1層は、現在に続く耕作土層である。3層に細別される。1a層は、層厚15~20cm程度の灰黄褐色の砂質粘土で、水田耕作土として使われている。1b層は、明黄褐色の山砂の整地層で、層厚は厚いところで5cm程度である。3区につながる西側の低地部を除いて、ほぼ全体的に分布する。1b層は、地権者から水田の地盤改良の際に山上を敷き入れたとの教示を受けたが、この整地に対応する上層と判断される。1c層は、地盤改良以前の耕作土と考えられる黒褐色の砂質シルト層で、灰黄褐色土のブロックを含んでいる。層厚は一定しておらず、厚いところでは20cm前後あるが、薄いところでは5cm前後で、分布していないところもある。

2層は、中世以前の遺物を含む土層で、上部の2a層と下部の2a'層に細分される。上の2a層は、黒褐色のシルトを主体とし、炭化物・焼土・にぶい黄褐色土をまばらに含む。2a層は、上面での遺構の検出が難しく、層底面には著しい凹凸があることから、耕作土などとしての2次的変化を受けているものと判断される。2a層の厚さは30cm前後あるが、調査区の東部と西部寄りでは薄くなっており、検出できない部分もある。2a'層は、黒褐色の粘上質シルト層で、1区中央付近に分布する。上面でいくつかの遺構が検出されている。褐色土・黄褐色土・にぶい黄褐色土粒を斑状に含み、焼土や炭化物の粒も混在している。層厚は15~10cmほどである。

3層は、褐色ないしにぶい黄褐色土層で、基本的に無遺物層である。3層の上面から約2mの深さまで掘り下げたところ、この間は15~30cmの厚さで数層(第7図3a~3h)に細分された。3層の上部は粘土質シルト層で、下部は粘土層となっている。調査した最下部はグライ化が進んでいる。

## 3 2区の基本層位

2区の基本層は、大別して3層に分けられる。

1層は、基本的に1区の1層と同じで、1a層は現在に続く水田耕作土層、1b層は、明黄褐色の山砂の整地層、1c層は、地盤改良以前の耕作土層である。3層合わせた層厚は20cm前後である。なお1c層の上面では、1b層の落ち込みが細い溝状の凹凸となって確認されたが、これは整地作業の際に使用した重機のキャタピラの痕跡と考えられる。

2層は、1区の2層に比べるとやや明るく、にぶい黄褐色の砂質シルト層からなる。1区の2層と区別するために2区の2層は2b層とした。層厚は10~20cmで、2区の全面に分布している。上面で多くの遺構が検出され、層中には古代から中世の遺物を含んでいる。なお、2区南側の西端部分では、2区の大部分とは異なり、やや暗い土層が2b層の上に存在しているのが確認されている。

3層は、上面からグライ層に達するまで90cm前後あり、その間が3層に細分された。3a層は黄褐色を基調とす



る砂質シルト層であるが、場所によっては褐色を呈する部分もある。遺物は含まれない。層厚は30～40cm程度である。3 b層は、にぶい黄褐色のシルト層で、砂及び粘土層を不規則に含む。層厚は60cm前後あり、細分も可能である。3 c層は、にぶい赤褐色のシルト質砂層で、酸化鉄が集積している。自然堆積層ではなく、3 b層下端から4層上面にかけての地層が、鉄分の集積によって変色したものと観察される。3 a層上面も、2 b層上面と比較すると数は少ないが、いくつかの遺構が検出されている。また、2区東部の3 a層上面で自然の河川流路が検出されている。

4層は、グライ化したにぶい黄色等のシルト質砂層で、非常に良く締まっている

#### 4 試掘区の状況と1区2区の関係

2・3項で記したように、本調査地区は、1層が整地層を挟む新旧の耕作土層であり、3層以下は基本的には無遺物である。この両層に挟まれて遺物を包含する2層が存在する。1区2層（2 a層）は黒褐色のシルトで、2区2層（2 b層）はにぶい黄褐色の砂質シルト層からなる。両区の2層には土色の違いがあり、また、1区2層（2 a層）上面では遺構が検出され難いのに、2区の2層（2 b層）上面では多くの遺構が検出されるという差もある。

そこで1区と2区の2層が同一のものか、層位に上下関係があるかを確認するために、1区と2区の間にトレンチを5カ所に設定（第4図）して十層の観察を行った。両区面の上層は、南側（後背湿地方向）から北側（河川方向）に向かって第5図のように変化している。試掘No.1～試掘No.4トレンチまでは、1区と類似した基本層の状況であったが、試掘No.5トレンチにおいて、黒褐色のシルト層（1区2 a層対応層）が、にぶい黄褐色土のブロックを含む暗褐色の砂質シルト層（2区2 b層対応層）の上に乗っていることが観察された。したがって、2 a層は2 b層よりも新しく形成された土層と判断された。2 a層と2 b層の成因の違いについては、1区方面にも本来2 b層が存在していたが、多くの遺構が形成された後、1区付近は耕作（土壌の状況から畑作と理解される）の影響を受けて、遺構の上部が破壊されるとともに徐々に2 a層が形成されたものと解釈される。1区付近は耕作の影響が少なかったために、2 b層が本来の状態まで残存したものと考えられる。

## 第2節 1区の調査概要

### 1 1層出土遺物

1区1層中からは、土師器・須恵器・土師質土器・無釉陶器・施釉陶器・石製品・鉄製品・古銭・土製品等が出土している。土師器・須恵器は多数出土しているが、すべて小破片である。土師質土器は、底部に板状の瓦痕が残る小皿1点（I a-1：第8図1）が出土しており、14世紀ごろの在地のものと考えられる。無釉陶器は、12～13世紀の東海産山茶碗系の鉢片1点（I c-1：第8図2）・14世紀後半から15世紀前半の常滑産の甕片1点（I c-4：第8図3）・中世の県内産と考えられる鉢片1点（I c-2：第8図4）・内面に炭化物が付着している12世紀の産美産の鉢片1点（I c-6：第8図5）・13世紀後半から14世紀前半の県内産白石窯系の甕片1点（I c-5：第8図6）・13～14世紀の常滑産の片L鉢片1点（I c-3：第8図7）などが出土している。施釉陶器は、19～20世紀の美濃産褐色釉の皿片1点（I d-1：第8図8）が出土している。磁器は、瀬戸美濃産の銅板プリントの染付4点（J-1・2・3・4：第8図9・10・11・12）が出土しており、19～20世紀のものと考えられる。土製品は、羽口片2点（P-2・3：第8図13・14）が出土している。石製品は、両面に挟りがある砥石1点（K-18：第8図15）・石硯1点（K-19：第8図16A・B・C）が出土している。鉄製品は、蹄鉄1点（N-9：第27図1）・煙管の吸い口片1点（N-80：第27図2）・角釘8点（N-1・2・3・4・5・6・7・8：第27図3・4・5・6・7・8・9・10）などが出土している。古銭は、「1銭」銅貨1点（N-85：第28図18）「寛永通寶」1

点(N-84:第28図19)・「?遺元?」1点(N-83:第28図20)・「元符通寶」1点(N-82:第28図21)などが出土している。

以上のように、1区1層からは中世から近世・近代までの遺物が出土した。その大部分は3A・3B区から南へ続く西側水田部分の調査の際出土したものである。

## 2 2 a層検出遺構

1区は2区と比べやや標高が低く、後背湿地方向に位置する。耕作の影響を強く受けたため、2区の全域に堆積し、多くの遺構・遺物が検出された2 b層は残っていなかった。試掘トレンチNo.5によって2 b層の上部に堆積していることが確認された2 a層が1区の全体に分布している。2 a層の堆積状況は、1区中央から東側半分と西側水田跡付近は、耕作による掘削によって、層厚が薄くなっており、堆積状況も一定していない。そのため2 a層上面での調査は困難であった。このようなことから、2 a層上面での調査は、調査区西部の14m×6mの範囲のみに限られた。1区2 a層上面では、掘立柱建物跡2棟・溝跡1条・井戸跡1基・土坑5基が検出された。

### 1) 掘立柱建物跡

1区2 a層上面では、2棟の掘立柱建物跡が検出された。いずれも調査区が東西に細長く設定されているため南北の広がりはずかぬが、全体の規模が明らかではない。

**S B-1 掘立柱建物跡** 【位置・重複】1区中西部で検出された。S D-41溝跡を切っている。S K-7・8・9土坑と重複するが、前後関係は明らかでない。北西端の3層検出のS E-4井戸跡と重複する部分にも柱穴が存在したと考えられるが検出できなかった。

【規模・配置・方向】検出部の建物規模は、東西は4間で総長6.8mである。柱間寸法は南側東西列が西から1.6m・1.8m・1.8m・1.6mである。南北は1間以上で、柱間寸法は1.9mである。東西柱列の北側には、中央の2間分に北側への張り出しがある。張り出し部は、南北の柱間が1.9mで、東西の北側は2間分が1間となっており、柱間寸法は3.5mを測る。この建物については、東西2面に庇もしくは縁がつき、北側に1間分の張り出しを持つ建物であると推測される。南北列の方向はN-23°-Eである。

【柱穴・柱痕跡】検出された11個の柱穴のすべてから柱痕跡が確認された。柱穴の掘り方の直径は25~35cmの円形ないし楕円形である。柱痕跡は直径15cm前後とほぼ一定の大きさである。

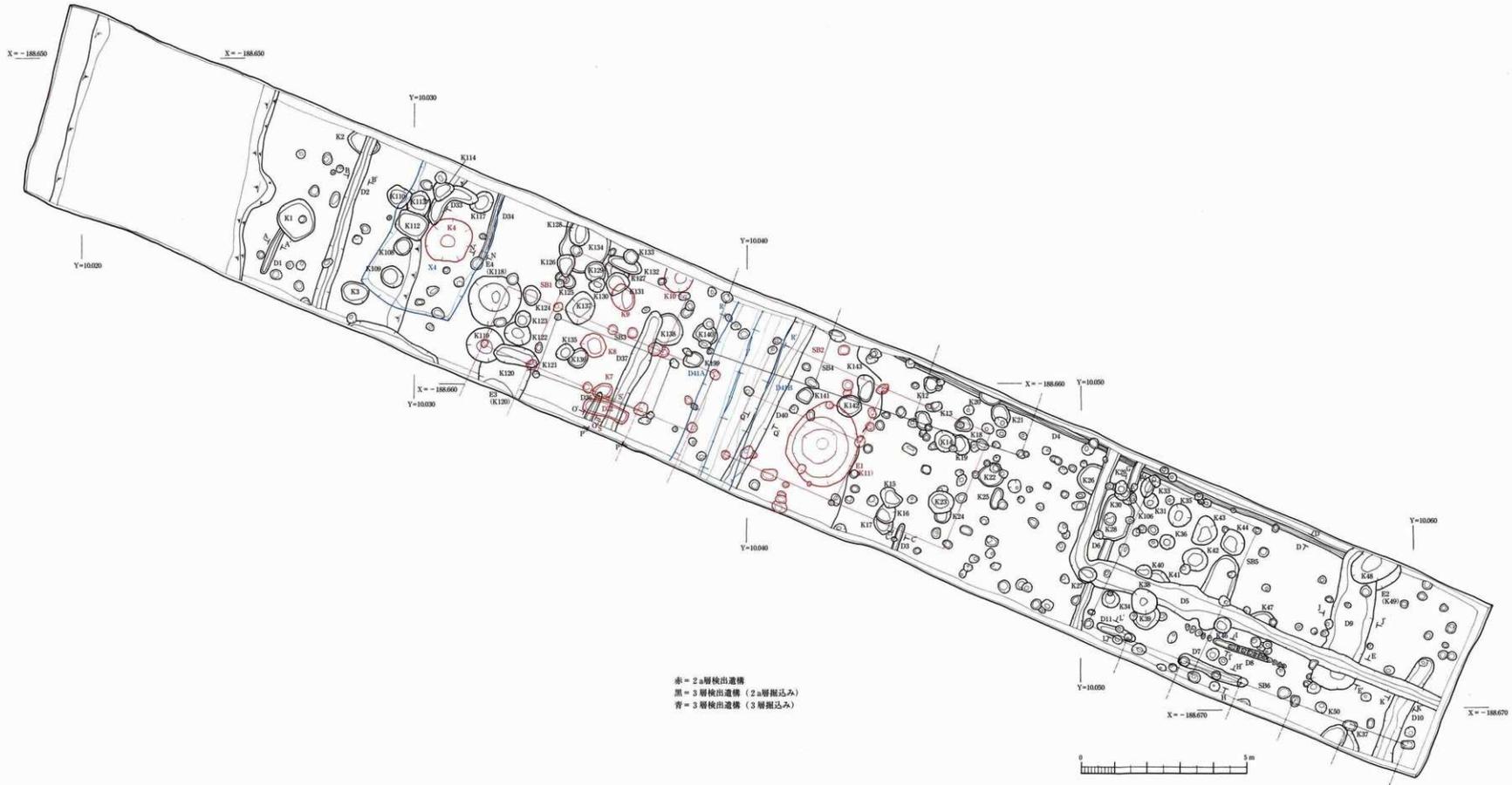
【出土遺物】遺物は、土師器片2点・須恵器片2点・13世紀半ばごろと推測される常滑産の甕片1点・用途不明の短い丸棒状の鉄製品1点(N-32:第28図15)・鉄滓1点が出土している。

**S B-2 掘立柱建物跡** 【位置・重複】1区中央部で検出された。S D-41溝跡・S E-1井戸跡を切っている。S D-40溝跡とも重複するが前後関係は不明である。実際に2 a層上面で検出できたのはP-20・38・43柱穴のみである。他の柱穴は3層上面での検出となった。

【規模・配置・方向】検出部の建物規模は、東西が4間で7.0m~7.1m・南北が2間で3.7m~3.8mである。南北方向に柱列がのびていく可能性が高い。柱間寸法は北側東西列が西から3.5m・1.7m・1.8mであり、西側南北列が北から1.8m・1.9mである。南北列の方向はN-23°-Eである。S B-1掘立柱建物跡とほぼ同じ軸方向である。

【柱穴・柱痕跡】検出された10個の柱穴のうち8個から柱痕跡が確認された。柱穴の掘り方の直径は20~30cmの円形ないし楕円形である。柱痕跡は直径10cm前後であり、深さは検出面から30cm前後とほぼ一定している。

【出土遺物】遺物は、土師器片4点・12世紀後半ごろの瀬美産の甕片1点(T c-20:第10図1)・常滑産の甕片1点が出土している。瀬美産の甕片は、磁石として転用された痕跡がある。



赤 = 2層検出遺構  
 黒 = 3層検出遺構 (2層掘込み)  
 青 = 3層検出遺構 (3層掘込み)

第6図 1区遺構配置図



第7図 1区北壁断面図注記表

土層No.	土色	土質	備 考	土層No.	土色	土質	備 考
1a	10YR3/1 灰黒褐色	砂質粘土	炭化物を多く含む。黄褐色の炭化物が凝縮している。	32	10YR3/3 二色黄褐色	粘土	酸化鉄のかたまりを多く含む。炭化物が凝縮している。
1a'	2.5C/1 黄褐色	粘土	褐色の炭化物を多く含む。炭化物が凝縮している。	33	10YR3/3 二色黄褐色	粘土	酸化鉄のかたまりを多く含む。炭化物が凝縮している。
1b	10YR3/6 明黄褐色	砂	炭化物を多く含む。炭化物が凝縮している。	34	2.5YR4/1 黄褐色	粘土	酸化鉄のかたまりを多く含む。炭化物が凝縮している。
1c	10YR3/2 黒褐色	砂質シルト	炭化物を多く含む。炭化物が凝縮している。	35	10YR3/2 黒褐色	シルト	褐色土を凝縮している。
1d	10YR3/3 黒褐色	シルト	炭化物を多く含む。炭化物が凝縮している。	36	10YR3/1 黒褐色	シルト	褐色土を凝縮している。
1e	2.5C/1 黄褐色	シルト	炭化物を多く含む。炭化物が凝縮している。	37	10YR3/2 黒褐色	シルト	褐色土を凝縮している。
2a	10YR3/2 黒褐色	シルト	炭化物を多く含む。炭化物が凝縮している。	38	10YR3/2 黒褐色	シルト	褐色土を凝縮している。
2b	10YR3/2 黒褐色	シルト	炭化物を多く含む。炭化物が凝縮している。	39	10YR3/2 黒褐色	シルト	褐色土を凝縮している。
2c	10YR3/4 暗褐色	粘土	炭化物を多く含む。炭化物が凝縮している。	40	10YR3/2 黒褐色	シルト	褐色土を凝縮している。
2d	10YR3/4 暗褐色	粘土	炭化物を多く含む。炭化物が凝縮している。	41	10YR3/2 黒褐色	シルト	褐色土を凝縮している。
2e	10YR3/4 暗褐色	粘土	炭化物を多く含む。炭化物が凝縮している。	42	10YR3/2 黒褐色	シルト	褐色土を凝縮している。
2f	10YR3/4 暗褐色	粘土	炭化物を多く含む。炭化物が凝縮している。	43	10YR3/2 黒褐色	シルト	褐色土を凝縮している。
2g	10YR3/4 暗褐色	粘土	炭化物を多く含む。炭化物が凝縮している。	44	10YR3/2 黒褐色	シルト	褐色土を凝縮している。
2h	10YR3/4 暗褐色	粘土	炭化物を多く含む。炭化物が凝縮している。	45	10YR3/2 黒褐色	シルト	褐色土を凝縮している。
2i	10YR3/4 暗褐色	粘土	炭化物を多く含む。炭化物が凝縮している。	46	10YR3/2 黒褐色	シルト	褐色土を凝縮している。
2j	10YR3/4 暗褐色	粘土	炭化物を多く含む。炭化物が凝縮している。	47	10YR3/2 黒褐色	シルト	褐色土を凝縮している。
2k	10YR3/4 暗褐色	粘土	炭化物を多く含む。炭化物が凝縮している。	48	10YR3/2 黒褐色	シルト	褐色土を凝縮している。
2l	10YR3/4 暗褐色	粘土	炭化物を多く含む。炭化物が凝縮している。	49	10YR3/2 黒褐色	シルト	褐色土を凝縮している。
2m	10YR3/4 暗褐色	粘土	炭化物を多く含む。炭化物が凝縮している。	50	10YR3/2 黒褐色	シルト	褐色土を凝縮している。
2n	10YR3/4 暗褐色	粘土	炭化物を多く含む。炭化物が凝縮している。	51	10YR3/2 黒褐色	シルト	褐色土を凝縮している。
2o	10YR3/4 暗褐色	粘土	炭化物を多く含む。炭化物が凝縮している。	52	10YR3/2 黒褐色	シルト	褐色土を凝縮している。
2p	10YR3/4 暗褐色	粘土	炭化物を多く含む。炭化物が凝縮している。	53	10YR3/2 黒褐色	シルト	褐色土を凝縮している。
2q	10YR3/4 暗褐色	粘土	炭化物を多く含む。炭化物が凝縮している。	54	10YR3/2 黒褐色	シルト	褐色土を凝縮している。
2r	10YR3/4 暗褐色	粘土	炭化物を多く含む。炭化物が凝縮している。	55	10YR3/2 黒褐色	シルト	褐色土を凝縮している。
2s	10YR3/4 暗褐色	粘土	炭化物を多く含む。炭化物が凝縮している。	56	10YR3/2 黒褐色	シルト	褐色土を凝縮している。
2t	10YR3/4 暗褐色	粘土	炭化物を多く含む。炭化物が凝縮している。	57	10YR3/2 黒褐色	シルト	褐色土を凝縮している。
2u	10YR3/4 暗褐色	粘土	炭化物を多く含む。炭化物が凝縮している。	58	10YR3/2 黒褐色	シルト	褐色土を凝縮している。
2v	10YR3/4 暗褐色	粘土	炭化物を多く含む。炭化物が凝縮している。	59	10YR3/2 黒褐色	シルト	褐色土を凝縮している。
2w	10YR3/4 暗褐色	粘土	炭化物を多く含む。炭化物が凝縮している。	60	10YR3/2 黒褐色	シルト	褐色土を凝縮している。
2x	10YR3/4 暗褐色	粘土	炭化物を多く含む。炭化物が凝縮している。	61	10YR3/2 黒褐色	シルト	褐色土を凝縮している。
2y	10YR3/4 暗褐色	粘土	炭化物を多く含む。炭化物が凝縮している。	62	10YR3/2 黒褐色	シルト	褐色土を凝縮している。
2z	10YR3/4 暗褐色	粘土	炭化物を多く含む。炭化物が凝縮している。	63	10YR3/2 黒褐色	シルト	褐色土を凝縮している。

S B-1・2 掘立柱建物跡は、柱穴からの出土遺物に中世の陶器片が含まれ、これより新しい時期の遺物が出土していないことから、中世に属する遺構の可能性が高い。

## 2) 溝跡

S D-32 溝跡 【位置・重複】1区の西部、南壁際で検出された。東西方向に浅く掘り込まれていた溝の一部であると考えられる。他の遺構との重複関係は認められない。

【方向・幅】検出された溝跡の全長は1.4mで、方向はN-68°-Wである。幅は上面38cm・底面23cmである。

【深さ・断面形】深さは8cmで、断面形は舟底形を呈する。

【堆積土・出土遺物】堆積土は黒褐色シルト1層である。遺物は、土器器片1点が出土したのみである。

## 3) 井戸跡

S E-1 (SK-11) 井戸跡 【位置・重複】調査区のはほぼ中央部で検出された。S B-2 掘立柱建物跡に関わるP-43柱穴に切られている。

【平面形・大きさ・施設】平面形は楕円形を呈し、検出面で東西短軸2.2m・南北長軸2.6mを測る。検出面から0.9m下がったところから底面まではほぼ垂直に掘り込まれ、直径0.7mの円形を呈する。素掘りの井戸で井戸枠等の施設はない。

【深さ・断面形】検出面から底面までの深さは1.6mである。断面形は漏斗状を呈し、上部約90cmは楕円状・その下約70cmは円筒状に掘り込まれている。

【堆積土・出土遺物】堆積土は黒褐色または暗褐色の粘土質シルトを中心に6層に分けられている。1層から3層まで炭化物を含み、全体的に褐色土をブロック状に含んでいることから人為的な堆積土であると推測される。2層からは骨片、3層からは植物遺体が検出されている。遺物は、土器器片4点・須恵器片1点のみである。

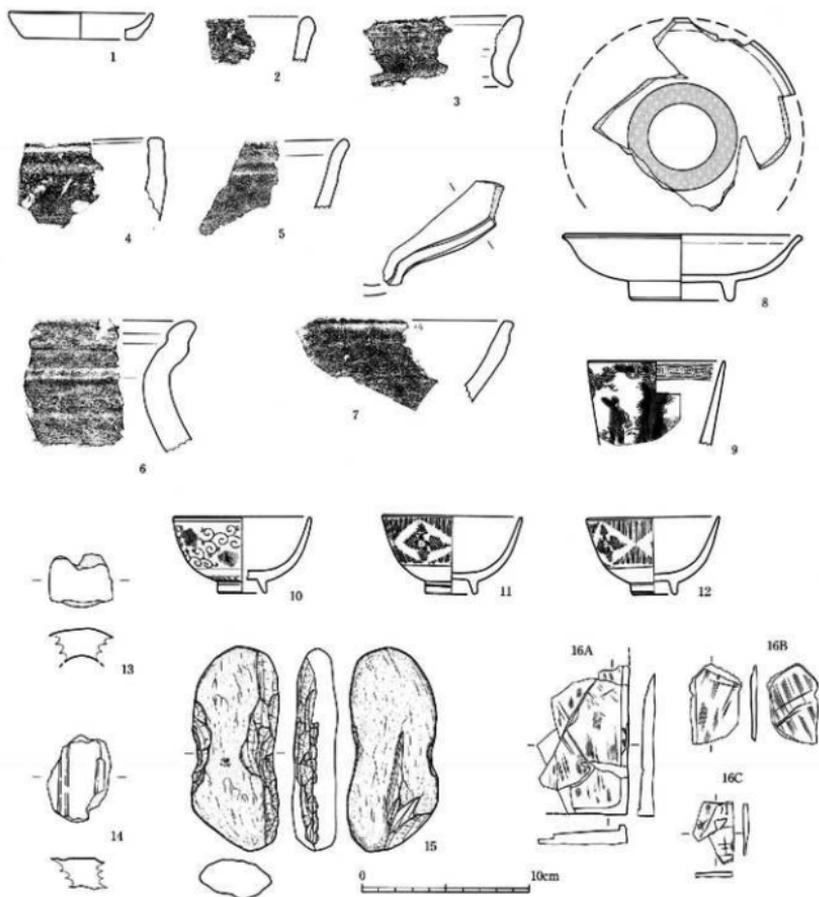
## 4) 土坑

S K-4 土坑 【位置・重複】調査区の西部で検出された。他の遺構との重複は認められなかった。

【平面形・大きさ】平面形は南北軸148cm・東西軸136cmの不整な円形を呈する。

【深さ・断面形】深さは70cmで、断面形は不整な逆台形である。

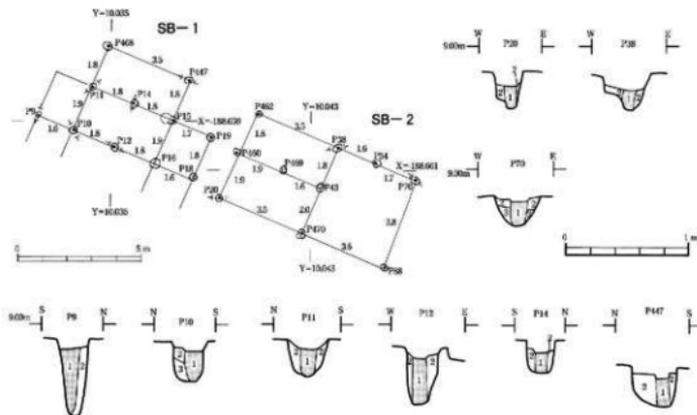
【堆積土・出土遺物】堆積土は黒褐色シルトで2層に分けられ、両層に炭化物と褐色土を含む。1層に直径50cmほどの凝灰岩質の石を含んでいたが明確な加工痕は認められなかった。遺物は、土器器片10点・須恵器片2点・13~14世紀の県内産白石窯系の片1点と思われる無釉陶器片1点(1c-9; 第25図1)・角釘1点(N-19; 第28図



図号 番号	登録番号	出土区			遺跡名	遺跡層	出土No.	分類		数量			特徴・備考		写真図版	
		出上区	基本層	1層				材質	器型	数量	口径・輪径	形状・写	(調査・重量・素材・製法・水取・産地・時期)			
1	1a-3	1区	1層				土師質土器	皿	1.6	8.5	6.6	ロクロ	底面に板状圧痕	14cm前後	在池	44-4
2	1c-1	1区	1層				粗軸陶器	鉢				山茶碗遺存	12c~13c	東海	45-1	
3	1c-4	1区	1層				粗軸陶器	鉢				15c後半~15c後半	雪塗	在池	46-2	
4	1c-2	1区	1層				粗軸陶器	鉢				中柱		在池	45-2	
5	1c-6	1区	1層				粗軸陶器	鉢				内側に炭化物付着	13c	東海	45-3	
6	1c-5	1区	1層				粗軸陶器	鉢				13c後半~14c前半	在池(白石)	46-3		
7	1c-3	1区	1層				粗軸陶器	片口鉢				13c~14c	在池	45-10		
8	1d-1	1区	1層				粗軸陶器	皿	4.0	14.0	6.0	黒白漆	15c~20c	製造	47-7	
9	J-2	1区	1層				磁器	碗	5.2	8.2		染付	銅板プリント	19c~30c	瀬戸産	48-2
10	J-1	1区	1層				磁器	碗	4.7	18.4	3.0	染付	銅板プリント	19c~30c	瀬戸産	48-1
11	J-4	1区	1層				磁器	碗	4.8	8.4	3.1	染付	銅板プリント	19c~30c	瀬戸産	48-4
12	J-3	1区	1層				磁器	碗	4.8	8.0	2.8	染付	銅板プリント	19c~20c	瀬戸産	48-3
13	P-2	1区	1層				土質土器	瓶口	3.2	3.7	1.7					
14	P-3	1区	1層				土質土器	瓶口	5.3	3.8						
15	K-18	1区	1層				石製品	砥石	12.5	5.3	2.7	両側面取り有り、片側加工有り				51-4
16	K-19	1区	1層				石製品	石鏝	9.2	5.1	1.2					49-5

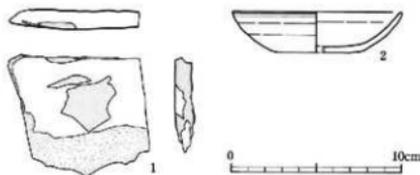
第8図 1区1層出土遺物(土師質土器・無釉陶器・磁器・石製品・土製品)

第2節 1区の調査概要



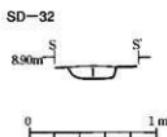
P-9					P-20				
土層No.	土色	土質	備考	土層No.	土色	土質	備考		
1	10YR2/2	黒褐色シルト質粘土	炭化物、鉄分を少量含む。	1	10YR2/2	黒褐色シルト	径1~2mmの炭化物を少量含む。		
2	10YR3/3	暗褐色シルト質粘土	褐色土を多量に含む。	2	10YR3/3	暗褐色シルト	褐色土を多量に含む。		
P-10					P-30				
土層No.	土色	土質	備考	土層No.	土色	土質	備考		
1	10YR2/2	黒褐色シルト	炭化物をまばらに含む。鉄分を少量含む。	1	10YR2/2	黒褐色土壌シロ	褐色土を散状に含む。炭化物を含む。		
2	10YR3/2	黒褐色シルト質粘土	褐色土をまばらに含む。	2	10YR3/2	暗褐色土壌シロ	褐色土をブロック状に含む。炭化物を少量含む。		
3	10YR3/3	暗褐色シルト	炭化物を少量含む。						
P-11					P-70				
土層No.	土色	土質	備考	土層No.	土色	土質	備考		
1	10YR2/2	黒褐色シルト	炭化物を含む。	1	10YR3/1	無褐色土壌シロ	炭化物を少量含む。		
2	10YR3/1	無褐色シルト	褐色土をブロック状に含む。炭化物を少量含む。	2	10YR3/2	無褐色シルト	褐色土をまばらに含む。		
				3	10YR3/3	暗褐色シルト	褐色土をブロック状に含む。		
P-12					P-447				
土層No.	土色	土質	備考	土層No.	土色	土質	備考		
1	10YR2/2	黒褐色シルト	径20mm程度の炭化物を少量含む。	1	10YR3/1	無褐色土壌シロ	炭化物を少量含む。		
2	10YR3/2	暗褐色シルト	径20mm程度の炭化物をわずかに含む。褐色土をブロック状に含む。	2	10YR3/2	無褐色土壌シロ	褐色土をブロック状に含む。炭化物を少量含む。		
P-14									
土層No.	土色	土質	備考						
1	10YR2/2	黒褐色シルト	炭化物、鐵土粒を少量含む。						
2	10YR3/1	無褐色シルト	褐色土をブロック状に少量含む。炭化物を含む。						

第9図 1区2a層検出SB-1・2掘立柱建物跡



図中 番号	発掘番号	掘上区	基本層	遺構名	遺構層	取上No.	材質	器種	器高	口径	径	表径	厚	特徴・備考	写真掲載
1	lc-20	1区	P-20	1層			無釉粘土	鉢						灰白に転写 13c代	66-8
2	D-7	1区	P-05	1層			土層砂	杯	2.5	10.0	5.0			内・外面の口縁部 底面同軸切	41-11

第10図 1区柱穴出土遺物(ロクロ土師器・無釉陶器)



層No.	土色	土質	備考
1	10YR2/2	黒褐色シルト	炭化物をブロッカ状に含む。鉄分を少量含む。

第11図 1区2a層検出溝跡断面

【堆積土・出土遺物】堆積土は黒褐色シルト1層で、炭化物を含んでいる。遺物は出土していない。

SK-8土坑 【位置・重複】調査区の中央部で検出された。他の遺構との重複は認められなかった。

【平面形・大きさ】平面形は東西軸75cm・南北軸69cmの円形を呈する。

【深さ・断面形】深さは24cmで、断面形は舟底形である。

【堆積土・出土遺物】堆積土は黒褐色のシルト質砂で2層に分けられ、1層に炭化物を含んでいる。遺物は、土師器片3点・鉄滓1点が出土している。

SK-9土坑 【位置・重複】調査区の中西部北側で検出された。他の遺構との重複は認められなかった。

【平面形・大きさ】平面形は南北長軸84cm・東西短軸71cmの楕円形を呈する。

【深さ・断面形】深さは36cmで、断面形は不整な逆台形である。

【堆積土・出土遺物】堆積土は暗褐色のシルトとシルト質砂の2層に分けられる。遺物は、土師器片5点・須恵器片1点・鉄製品の釘1点(N-21;第28図3)が出土している。

SK-10土坑 【位置・重複】調査区の中西部北側で北壁部分に検出された。他の遺構との重複は認められない。

【平面形・大きさ】平面形は東西軸が87cmで円形を呈すると推測される。

【深さ・断面形】深さは37cmで、断面形は不整な逆台形である

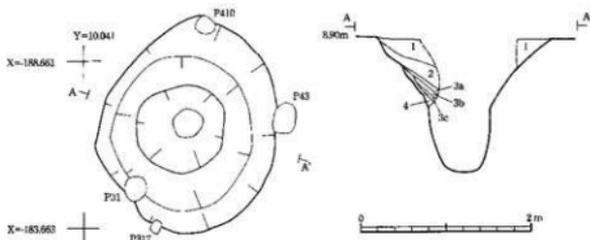
【堆積土・出土遺物】堆積土は暗褐色のシルトおよびシルト質粘土で3層に分けられ、全体に炭化物を含んでいる。遺物は、土師器片7点が出土している。

1)・鉄滓1点・古銭「元豊通寶」1点(N-86;第28図22)が出土している。

SK-7土坑 【位置・重複】調査区の中西部南側で検出された。他の遺構との重複は認められなかった。

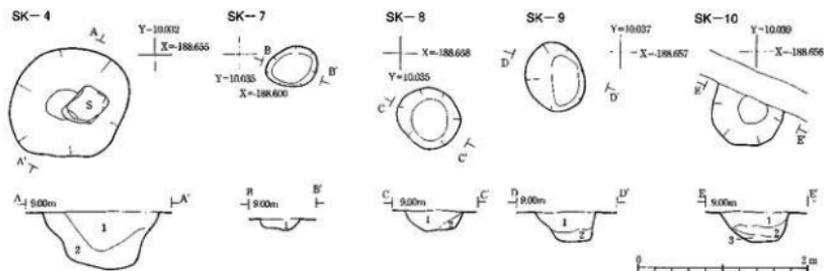
【平面形・大きさ】平面形は東西長軸62cm・南北短軸49cmのやや不整な楕円形を呈する。

【深さ・断面形】深さは14cmで、断面形は不整形である。



土層No.	土色	土質	備考
1	10YR2/1	黒褐色 粘土質シルト	炭化物、灰土を少量含む。
2	10YR3/2	暗褐色 粘土質シルト	褐色土、黄褐色土をブロッカ状に含む。骨片を含む。
2a	10YR2/2	黒褐色 粘上	炭化物を含み、炭化物を少量含む。
2b	10YR3/2	暗褐色 シルト質粘土	褐色土、黄褐色土を含む。
2c	10YR2/2	黒褐色 粘上	炭化物を多く含む。
3	10YR3/3	暗褐色 粘土	褐色土、黄褐色土を多く含む。トボがグライ位している。

第12図 1区2a層検出SE-1 (SK-11) 井跡



SK-4					SK-9				
土層No.	土色	土質	備考		土層No.	土色	土質	備考	
1	10YR3/2	黒褐色シルト	60cm程のブロック状の硬質土を含む。褐色の土をブロック状に含む。		1	10YR3/3	暗褐色シルト質砂	礫化物、鉄分をまばらに含む。	
2	10YR3/2	黒褐色シルト	100cm程の黄化層をブロック状に含む。褐色の土を多量に含む。		2	10YR3/3	暗褐色シルト	褐色の土をまばらに含む。	

SK-7					SK-10				
土層No.	土色	土質	備考		土層No.	土色	土質	備考	
1	10YR3/2	黒褐色シルト	炭化物をブロック状に含む。鉄分をわずかに含む。		1	10YR3/3	暗褐色シルト	褐色の土をブロック状に多く含む。炭化物をブロック状に含む。	
2	10YR3/2	黒褐色シルト	炭化物をわずかに含む。		2	10YR3/3	暗褐色シルト	炭化物をわずかに含む。	

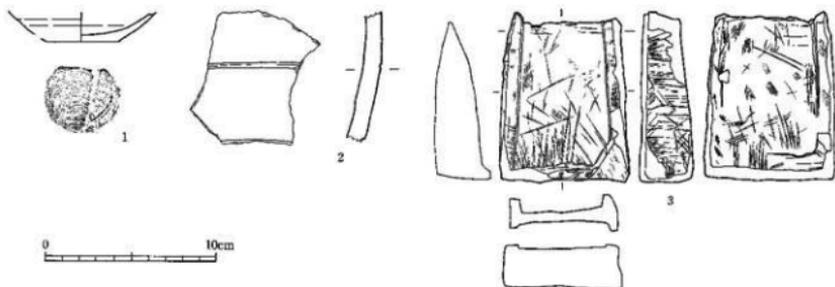
  

SK-8					SK-10				
土層No.	土色	土質	備考		土層No.	土色	土質	備考	
1	10YR3/2	黒褐色シルト	炭化物、鉄分を少量含む。		1	10YR3/3	暗褐色シルト	褐色の土をブロック状に含む。炭化物をわずかに含む。	
2	10YR3/2	黒褐色シルト	鉄分、少量含む。		2	10YR3/3	暗褐色シルト	褐色の土をブロック状に含む。炭化物をわずかに含む。	

第13図 1区2a層検出土坑

### 3 2a層出土遺物

1区2a層からは、土師器・須恵器片のほか、無軸陶器・施軸陶器・瓦・石製品・鉄製品・鉄洋等が出土している。土師器は、ロクロ使用以前のもので、ロクロ使用のものとが混在している。破片点数としては、非ロクロ土師器片53点・ロクロ土師器片64点を数えるが、細片が多い。また、調査面積が半分以下なので一概には比較できないが、全体の遺物量は2区2b層中の出土量と比べると、1区2a層からの出土量は極めて少ない。2a層出土遺物の中から、ロクロ土師器の坏片、無軸陶器の破片、石硯の3点と鉄製品6点を登録した。土師器の坏片(D-1:第14図1)は、内外面をロクロによって調整しており、底部は回転糸切り技法によって切り離している。平底



検出 番号	登録番号	出土区	出土層	遺物名	遺物No.	材質	形状	長さ	重量	特徴・備考	写真掲載
	D-1	1区	2a層	土師器	36	土師器	坏片	10.3	7.7	内外面をロクロ調整。底面回転糸切り。三輪産。12世紀~13世紀半。	46-1
	le-18	1区	2b層	無軸陶器	37	無軸陶器	破片	10.3	7.7	3.1陶器使用。磨削跡ノミ痕存在。	49-4

第14図 1区2a層出土遺物(ロクロ土師器・無軸陶器・石製品)

の坏で、底部からほぼ直線的に外傾して立ち上がる。無軸陶器の破片（1c-18：第14図2）は、常滑産の三筋壺の体部片であり、単線の筋が2段残る。12世紀後半から13世紀前半のものと考えられる。石碗（K-17：第14図3）はノミ痕が顕著に残っており、両面に使用した痕跡がある。鉄製品は鎌（N-10：第27図11）1点・角釘2点（N-10・14：第27図11・12）・用途不明の楔形や板状の鉄製品3点（N-11・12・13：第27図14・15・16）が出土している。

以上のように、1区2a層から出土した遺物には、古墳時代の土師器細片から中世の陶器片までの様々な遺物が混在している。

#### 4 3層上面検出遺構

1区中央から東側半分と西側水田跡付近は、3層上面での調査のみが行われた。1区3層上面は面積の割に遺構が多く検出されており、2区2b層上面よりも遺構密度は高い。これは2a層から掘り込まれた遺構とすでに残存していない2b層から掘り込まれた遺構の2種類が検出されるからであると考えられる。3層上面では古代から中世までの遺構が重複しているものと推測される。

3層上面では、掘立柱建物跡4棟・溝跡17条・井戸跡3基・土坑54基、その他の遺構1基・ピット多数が検出されている。

##### 1) 掘立柱建物跡

1区3層では、4棟の掘立柱建物跡が検出された。小型の建物2棟と、やや大型の建物2棟がある。調査区が東西に細長く設定されているため、南北の広がりとはつかめず、全体の規模は明らかではない。SB-5掘立柱建物跡は、2a層検出のSB-1・2掘立柱建物跡と同じく南北列の方向がN-23°-Eであるため、2a層上面から掘り込まれた掘立柱建物跡の可能性はある。

**SB-3掘立柱建物跡** 【位置・重複】1区中西部で検出された。SD-37溝跡と重複するが、前後関係は不明である。

【規模・配置・方向】建物の規模は東西1間3.7m・南北1間で1.7mの小規模な建物である。東西間隔の方が南北間隔よりも倍以上長い。方向は北辺でN-21°-Eである。

【柱穴・柱痕跡】4つの柱穴すべてから柱痕跡が検出されており、柱穴の掘り方の直径は20~30cmの円形ないし隅丸方形を呈している。柱痕跡の直径は10cmほどと一定しており、いずれも柱穴の壁面に接して柱が立てられている。

【出土遺物】遺物は、ロクロ不使用の土師器片4点・須恵器片4点が出土したのみである。

**SB-4掘立柱建物跡** 【位置・重複】1区中央部北側で検出された。SK-13土坑に切られている。SD-4溝跡と重複しているが、前後関係は不明である。

【規模・配置・方向】東西が3間9.8m・南北は西辺の1間が1.7mの建物である。柱間寸法は東西列が西から3.3m・3.2m・3.3mである。北方向にさらに柱穴が伸びていくと考えられる。方向は北辺でN-21°-Eである。

【柱穴・柱痕跡】検出された6個の柱穴のすべてから柱痕跡が確認された。柱穴の掘り方は20~30cmの円形ないし楕円形を呈する。柱痕跡は直径10cm~15cmと他の建物に比べてやや大きい。P-467柱穴からは残存する柱材が検出されている。

【出土遺物】遺物は、ロクロ使用の土師器片1点が出土したのみである。

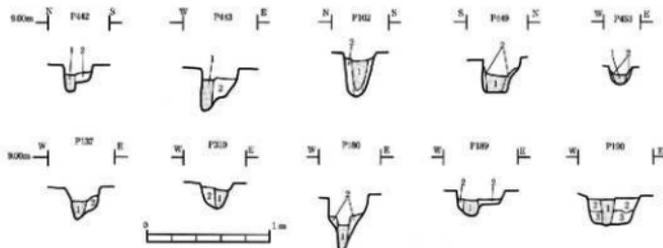
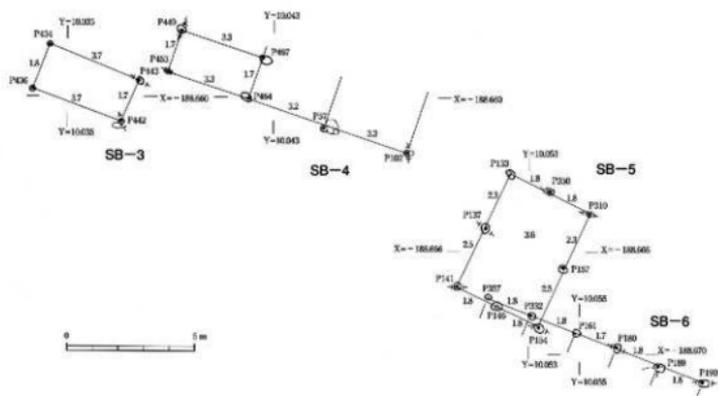
**SB-5掘立柱建物跡** 【位置・重複】1区東部で検出された。SD-5溝跡・SK-33土坑を切っている。

【規模・配置・方向】東西が2間3.6m・南北が2間4.8mの小規模な建物である。柱間寸法は東西列が西から1.8m・1.8mであり、南北列が北から2.3m・2.5mである。方向は北辺でN-23°-Eであり、2a層検出のSB-1・2

掘立柱建物跡と方向が一致している。

【柱穴・柱痕跡】 検出された8個の柱穴のうち6個から柱痕跡が確認された。柱穴の掘り方は20cmほどの円形ないし楕円形を呈する。柱痕跡は直径10cmほどであり、柱穴の壁面に接して柱が立てられている。

【出土遺物】 遺物は、土師器片2点・角釘1点（N-33：第28図16）が出土したのみである。



P-442					P-127				
土層No.	土色	土質	備	考	土層No.	土色	土質	備	考
1	10YR3/1 黒褐色	粘土	炭化物	焼土粒を少量含む。	1	10YR2/2 黒褐色	シルト	炭化物を粒状に含む。	
2	10YR3/2 黒褐色	粘土	炭化物を少量含む。	褐色土をまだらに含む。	2	10YR3/4 暗褐色	シルト	褐色土を多量に含む。	
P-443					P-313				
土層No.	土色	土質	備	考	土層No.	土色	土質	備	考
1	10YR3/1 黒褐色	粘土	炭化物を少量含む。		1	10YR2/2 黒褐色	粘土	炭化物を多量に含む。	
2	10YR3/2 黒褐色	粘土	褐色土をブロック状に含む。	炭化物を含む。	2	10YR3/4 暗褐色	シルト	褐色土を多量に含む。	
P-192					P-180				
土層No.	土色	土質	備	考	土層No.	土色	土質	備	考
1	10YR3/1 黒褐色	粘土	炭化物を含む。		1	10YR2/2 黒褐色	粘土	炭化物、焼土粒を大量に含む。	
2	10YR3/2 黒褐色	シルト	褐色土をブロック状に含む。	炭化物を少量含む。	2	10YR3/3 暗褐色	シルト	褐色土の砂質粘土をブロック状に多く含む。	
P-449					P-189				
土層No.	土色	土質	備	考	土層No.	土色	土質	備	考
1	10YR3/1 黒褐色	粘土	炭化物を含む。	褐色土をまだらに含む。	1	10YR2/2 黒褐色	砂質シルト	炭化物、焼土塊を大量に含む。	
2	10YR3/3 暗褐色	粘土	にぶい黄褐色土をブロック状に多く含む。		2	10YR3/1 黒褐色	シルト	にぶい黄褐色土をブロック状に含む。	炭化物、焼土を含む。
P-451					P-190				
土層No.	土色	土質	備	考	土層No.	土色	土質	備	考
1	10YR2/2 黒褐色	粘土	炭化物を含む。	褐色土を粒状に含む。	1	10YR2/2 黒褐色	粘土	炭化物を多量に含む。	
2	10YR3/3 暗褐色	粘土	炭化物を粒状に含む。		2	10YR3/3 暗褐色	シルト	褐色土を多量に含む。	
					3	10YR3/3 暗褐色	粘土	褐色土をわずかに含む。	

第15図 1区3層検出 SB-3・4・5・6掘立柱建物跡

S B-6 掘立柱建物跡 【位置・重複】1区東部南壁付近で検出された。S D-7・11溝跡を切っている。

【規模・配置・方向】東西が5間8.9mで、柱間寸法は西から1.8m・1.8m・1.7m・1.8m・1.8mである。南側に柱列が続くと考えられる。方向はN-21°-Eであり、S B-3・4掘立柱建物跡の方向と一致している。

【柱穴・柱痕跡】検出された6個の柱穴のすべてから柱痕跡が確認された。柱穴の掘り方は30cm~40cmの円形ないし隅丸方形を呈する。柱痕跡は直径10cmほどである。炭化物が多く含まれており、P-189柱穴からは焼土塊が出土している。火災によって焼失した建物跡である可能性もある。

【出土遺物】遺物は、ロクロ不使用の土師器片2点が出土したのみである。

## 2) 溝跡

S D-1 溝跡 【位置・重複】1区西部に南北に検出された。北端がS K-1土坑に切られている。

【方向・幅】検出された溝跡の全長は1.5mで、方向はN-25°-Eである。幅は上面20cm・底面8cmである。

【深さ・断面形】深さは8cmで、断面形はU字形を呈する。

【堆積土・出土遺物】堆積土は黒褐色シルト1層である。遺物は出土していない。

S D-2 溝跡 【位置・重複】1区西部で調査区を南北に縦断して検出された。S K-2土坑を切っている。

【方向・幅】検出された溝跡の全長は6.0mで、方向はN-18°-Eである。幅は上面35cm・底面15cmである。

【深さ・断面形】深さは15cmで、断面形はU字形を呈する。

【堆積土・出土遺物】堆積土は黒褐色シルト1層である。遺物は、土師器片14点・須恵器片2点が出土しているほか、中世または近世のものと考えられる在地産の土師質土器片1点（I a-2：第17図1）・常滑産の甕片2点・県内産黒釉陶器の甕片1点・山茶碗系の陶器片1点・13~14世紀と推測される中国産白磁の皿片1点が出土している。

S D-3 溝跡 【位置・重複】1区中央部南部で検出された。南壁から北に1mほど検出されており、南側は調査区外にのびている。他の遺構との重複は認められなかった。

【方向・幅】方向はN-20°-Eで、幅は上面18cm・底面10cmである。

【深さ・断面形】深さは15cmで、断面形はU字形を呈する。

【堆積土・出土遺物】堆積土は黒褐色シルト1層である。遺物は出土していない。

S D-4 溝跡 【位置・重複】1区東部から中央部の北壁に東西に検出された。S D-5・6・9溝跡に切られている。S B-4掘立柱建物跡と重複しているが前後関係は不明である。北壁中央部から検出され西端はS D-9溝跡で切られた部分で終わり、東端は調査区外にのびている。

【方向・幅】検出された溝跡の全長は1.5mで、方向はN-67°-Wである。幅は上面15cm・底面5cmである。

【深さ・断面形】深さは18cmで、断面形はU字形を呈する。

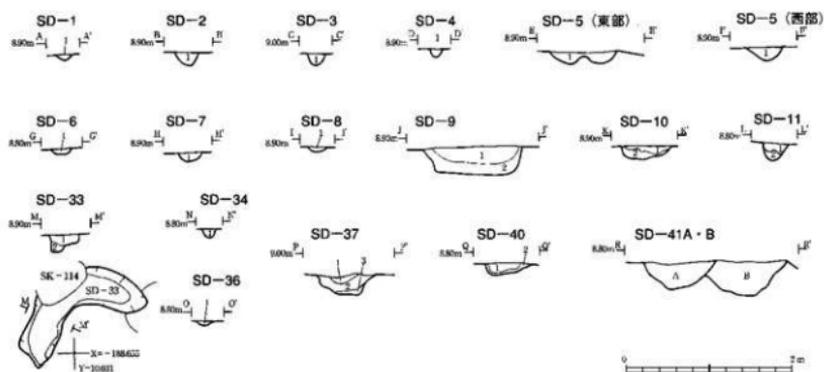
【堆積土・出土遺物】堆積土は暗褐色シルト1層である。遺物は、土師器片4点・須恵器片1点が出土している。

S D-5 溝跡 【位置・重複】1区東部、東壁面から西に12mほど伸び、ほぼ垂直に北に折れ北壁まで検出されている。東部、北部とも調査区外にさらにのびている。S B-5掘立柱建物跡・S K-27・38・46土坑に切れ、S K-26・40・41・47土坑・S D-6・9・10溝跡を切っている。

【方向・幅】検出された溝跡の全長は東西部分で15m、南北部分で4mである。東西部分の方向は、N-67°-W、南北部分の方向はN-18°-Eである。東西部分の幅は上面70cm・底面55cmであり、南北部分の幅は上面35cm・底面27cmほどである。

【深さ・断面形】東西部分の深さは17cmで、断面形は不整形である。南北方向の深さは14cm前後で、断面形はU字形を呈している。

第2節 1区の調査概要



SD-1					SD-10				
土層No.	土色	土質	備考		土層No.	土色	土質	備考	
1	10YR3/2	黒褐色シルト	褐色土をブロック状に含む。炭化物を少量含む。		1	10YR3/5	黒褐色粘り質シルト	炭化物、炭化鉄を含む。	
SD-2					SD-11				
1	10YR3/1	黒褐色シルト	褐色土を少量含む。		1	10YR3/2	黒褐色シルト	炭化物を含む。褐色土をブロック状に含む。	
SD-3					SD-33				
1	10YR3/2	黒褐色シルト	炭化物をわずかに含む。		1	10YR3/2	黒褐色シルト	炭化物をわずかに含む。	
SD-4					SD-34				
1	10YR3/2	暗褐色シルト	黒褐色土、褐色土をまばらに含む。炭化物を粒状に含む。		1	10YR3/1	黒褐色シルト	炭化物をブロック状に少量含む。褐色土を少量含む。	
SD-5 (東部)					SD-37				
1	10YR3/2	黒褐色シルト	炭化物を粒状に含む。褐色土を含む。		1	10YR3/2	黒褐色シルト	褐色土をブロック状に含む。炭化物を含む。	
SD-5 (西部)					SD-36				
1	10YR3/2	黒褐色砂質シルト	炭化物、粘土粒を含む。褐色のシルト質砂を含む。		1	10YR3/2	黒褐色シルト	炭化物、粘土粒を少量含む。褐色土をブロックを含む。	
SD-6					SD-37				
1	10YR3/1	黒褐色シルト	炭化物、硬土粒を含む。褐色土をブロック状に含む。		1	10YR3/2	黒褐色シルト	炭化物、粘土粒を少量含む。褐色土をブロックを含む。	
SD-7					SD-40				
1	10YR3/2	黒褐色シルト	褐色土をブロック状に少量含む。炭化物を含む。		1	10YR3/2	黒褐色シルト	炭化物を少量含む。褐色土をブロック状に少量含む。	
SD-8					SD-41 A・B				
1	10YR3/2	黒褐色粘り質シルト	炭化物、褐色土を含む。		1	10YR3/2	黒褐色シルト	炭化物、粘土粒を少量含む。褐色土をブロック状に少量含む。	
SD-9					SD-41 A・B				
1	10YR3/4	褐色粘り質シルト	黒褐色土をブロック状に少量含む。炭化物、粘土を含む。		1	10YR3/2	黒褐色シルト	炭化物を少量含む。褐色土をブロック状に少量含む。黒分が少し多く入る。約10mm程度の黒色ブロックを含む。	
2	10YR3/1	黒色粘り質シルト	炭化物を少量含む。褐色土を少量含む。		2	10YR3/2	黒褐色粘り質シルト	黒褐色土、褐色土をまばらに含む。	
					3	10YR3/2	灰黄褐色粘り質シルト	褐色土に多い炭化物土をブロック状に含む。	
					SD-41 A・B				
					土層No.	土色	土質	備考	
					SD41-A	10YR3/2	灰黄褐色シルト質砂	褐色土を少量含む。褐色土をブロック状に少量含む。	
					SD41-B	10YR3/2	灰黄褐色シルト質砂	褐色土を少量含む。褐色土をブロック状に少量含む。黒分が少し多く入る。約10mm程度の黒色ブロックを含む。Aに比べて黒色ブロックと鉄分が多くなる。	

第16図 1区3層検出溝断面図

【堆積土・出土遺物】堆積土は黒褐色シルト1層である。遺物は、土師器片29点・須恵器片6点・13~14世紀の泉内産白石窯系の甕片3点・常滑産の甕片3点・4面とも使われた形跡のある砥石1点（K-13：第17図3）・角釘2点（N-16・17：第27図17・18）・鉄滓1点が出土している。常滑産の甕片のうち1点（Ic-7：第17図2）には格子文の押印がある。

SD-6溝跡 【位置・重複】1区東部に調査区を南北に縦断して検出され、南北とも調査区外にのびている。SD-5溝跡・SK-28・29・30・106土坑に切られている。

【方向・幅】溝跡の全長は南北6mである。方向はN-24°-Eである。幅は上面25cm・底面20cmである。

【深さ・断面形】深さは7cmで、断面形は舟底形を呈する。

【堆積土・出土遺物】堆積土は黒褐色シルト1層である。遺物は、土師器片1点・須恵器片1点が出土している。

SD-7溝跡 【位置・重複】1区東部、南壁に沿って検出された。浅く掘り込まれた溝の一部であると考えられる。SD-11溝跡と同一の溝の可能性もある。SB-6掘立柱建物跡に切られている。

【方向・幅】溝跡の全長は東西2mであり、方向はN-65°-Wである。幅は上面32cm・底面20cmである。

【深さ・断面形】深さは10cmで、断面形はU字形を呈する。

【堆積土・出土遺物】堆積土は黒褐色シルト1層である。遺物は出土していない。

SD-8溝跡 【位置・重複】1区東部、SD-5溝跡の南側に沿って検出された。掘削具痕が底面に明確に残り、東西両端は溝の壁面は残存せず、掘削具痕のみが検出されている。底面の状況から、上層の畑に伴う耕作痕跡の可能性が高い。他の遺構との重複関係は認められない。

【方向・幅】検出された溝跡の全長は東西2mである。掘削具痕だけが残っている部分も含めると東西3mになる。方向はN-68°-Wである。幅は上面18cm・底面10cmである。

【深さ・断面形】深さは7cmで、断面形は舟底形を呈する。

【堆積土・出土遺物】堆積土は黒褐色粘土質シルト1層である。遺物は、須恵器片1点が出土しているのみである。

SD-9溝跡 【位置・重複】1区東部で検出された。調査区北面付近で立ち上がりが見られ、調査区の北側にはのびないことが確認された。SD-5溝跡・SK-48土坑に切られ、SD-4溝跡・SE-2井戸跡を切っている。

【方向・幅】溝跡の全長は南北4.5mである。方向はN-15°-Eである。幅は上面115cm・底面80cmである。

【深さ・断面形】深さは35cm前後で、断面形は舟底形を呈する。

【堆積土・出土遺物】堆積層は2層に分けられ、1層は褐色の砂質シルト・2層は黒色の粘土質シルトで、両層に炭化物を多く含んでいる。遺物は、土師器片18点・須恵器片2点・13世紀のものと思われる県内産の土師質土器の甕片1点(Ta-3:第17図4)・常滑産の甕片1点と12-13世紀の山茶碗空系鉢片2点の無釉陶器・砥石2点(K-14・15:第17図5・6)・釘1点(N-18:第27図19)・鉄滓1点・骨角製品1点(Q-1:第18図1)が出土している。

SD-10溝跡 【位置・重複】1区東壁付近で南北に検出された。南側は調査区外にのびている。SD-5溝跡に切られている。SB-6掘立柱建物跡と重複しているが、前後関係は不明である。

【方向・幅】溝跡の全長は南北3.5mである。方向はN-23°-Eである。幅は上面55cm・底面20cmである。

【深さ・断面形】深さは17cmで、断面形は不整形である。

【堆積土・出土遺物】堆積層は2層である。遺物は、土師器片16点・須恵器片1点・常滑産の甕片1点・鉄滓1点が出土している。

SD-11溝跡 【位置・重複】1区東部、南壁に沿って検出された。浅く掘り込まれた溝の一部であると考えられる。SD-7溝跡と同一の溝の可能性もある。SB-6掘立柱建物跡に切られている。

【方向・幅】検出部分の全長は東西1.2mで、方向はN-70°-Wである。幅は上面25cm・底面14cmである。

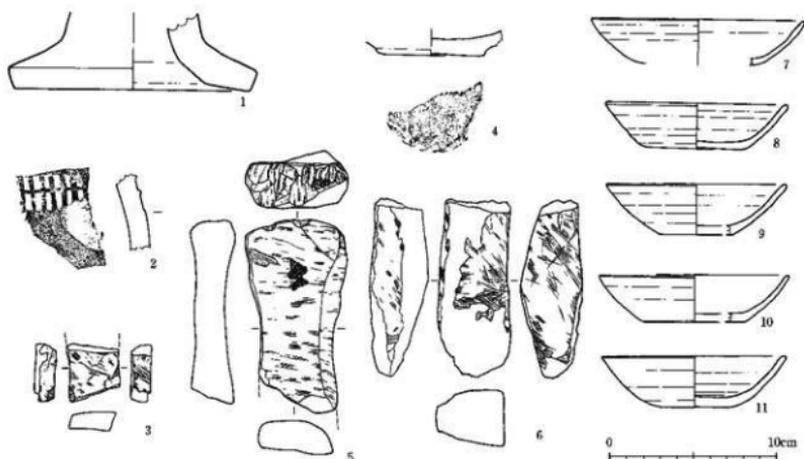
【深さ・断面形】深さは21cmで、断面形はU字形を呈する

【堆積土・出土遺物】堆積土は2層である。遺物は出土していない。

SD-33溝跡 【位置・重複】1区西部で検出された。SK-114土坑に切られ、SK-117土坑を切っている。

【方向・幅】検出された溝跡の全長は2mほどであり、南東から北西方向に1mほど伸びた後、南西方向に弧状に湾曲している。幅は上面37cm・底面28cmである。

【深さ・断面形】深さは21cmで、断面形は不整形である。

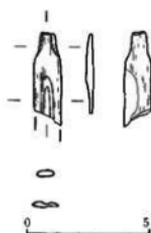


图中番号	発掘番号	出土地	遺物名	取上No.	種類	分	別	器	量	特徴・備考	写真図版
1	1a-2	1区	基本層	SD-2	不明	土製土器	不明	4.7	14.1	(調整・重量・素材・形状・用途・時期)	44-5
2	1c-7	1区		SD-5		陶器				胎子支脚部 中世	46-4
3	1c-13	1区		SD-5	1層	石製	砥石	3.6	3.3	12.4 砥石面 磨蝕欠損	
4	1a-3	1区		SD-9		土製	土器	1.3		6.1 陶器面 13c?	44-6
5	K-15	1区		SD-9		石製	砥石	11.9	6.1	3.3 4 砥石面 残存端部にU字状砥面	31-3
6	K-14	1区		SD-9		石製	砥石	10.9	4.5	3.7 4 砥石面 部分的に自然崩れ及び加工面残存	31-2
7	D-2	1区		SD-40	1層	土製	土器	(2.8)	12.8	内外面ロクロ調整	
8	D-3	1区		SD-41A	1層	土製	土器	2.8	11.6	5.0 内外面ロクロ調整 底部凹状赤帯	41-8
9	D-4	1区		SD-41A	1層	土製	土器	3.1	10.8	内外面ロクロ調整	41-9
10	D-5	1区		SD-41A	1層	土製	土器	2.9	11.4	16.0 内外面ロクロ調整 底部凹状赤帯	
11	D-6	1区		SD-41A	1層	土製	土器	3.2	11.1	4.2 内外面ロクロ調整 底部凹状赤帯	41-10

第17図 1区溝跡出土遺物(ロクロ土器・土質土器・無釉陶器・石製品)

【堆積土・出土遺物】堆積土は2層である。遺物は出土しているが、底面で残存状況が悪い木片が出土した。

SD-34溝跡 【位置・重複】1区西部北側で検出された。北壁面から南に2.5mほど伸びP-421に切られた部分で消滅している。北部は調査区外にのびている。SX-4遺構を切っている。



【方向・幅】検出部分の全長は2.5mであり、方向は南北にN-17°-Eである。幅は上面15cm・底面5cmである。

【深さ・断面形】深さは12cmで、断面形はU字形を呈する。

【堆積土・出土遺物】堆積層は黒褐色粘土質シルト1層である。遺物は、鉄滓1点が出土している。

SD-36溝跡 【位置・重複】1区西部南壁端で検出された。南壁から北に1mほど検出されており、南側は調査区外にのびていくと思われる。重複関係は認められない。

图中番号	発掘番号	出土地	遺物名	取上No.	種類	分	別	器	量	特徴・備考	写真図版
1	Q-1	1区	基本層	SD-9	2層	骨角	骨	3.5	1.1	0.3 木材小片 断面欠損	57-11

第18図 1区SD-9出土骨角製品

【方向・幅】 検出部分の全長は1mであり、方向は南北にN-25°-Eである。幅は上面20cm・底面10cmである。

【深さ・断面形】 深さは12cmで、断面形は舟底形を呈する。

【堆積土・出土遺物】 堆積土は黒褐色シルト1層である。遺物は出土していない。

SD-37溝跡 【位置・重複】 1区西部で検出された。南壁から北に4mほど検出されており、南側は調査区外に続いている。SK-138土坑を切っている。SB-3掘立柱建物跡と重複しているが前後関係は不明である。

【方向・幅】 検出された溝跡の全長は4mほどであり、方向は南北にN-22°-Eである。幅は上面44cm・底面23cmほどである。

【深さ・断面形】 深さは27cmで、断面形は不整形である。

【堆積土・出土遺物】 堆積層は3層である。遺物は、土師器片4点・須恵器片1点・鉄滓3点が出土している。

SD-40溝跡 【位置・重複】 1区中央部で調査区を南北に横断して検出された。SD-41溝跡を切っている。SB-2・4掘立柱建物跡と重複しているが前後関係は不明である。

【方向・幅】 検出された溝跡の全長は6.0mで、方向はN-24°-Eである。幅は上面53cm・底面20cmである。

【深さ・断面形】 深さは15cmで、断面形は不整形である。

【堆積土・出土遺物】 堆積土は2層である。遺物は、内外面をロクロによって調整している土師器環1点(D-2:第17図7)・土師器片10点・常滑産の堯片1点が出土している。

SD-41A,B溝跡 【位置・重複】 1区中央部で調査区を南北に縦断して検出された。SD-40溝跡・SB-4掘立柱建物跡に切られている。SD-41B溝跡よりもSD-41A溝跡の方が新しい。

【方向・幅】 SD-41A・B溝跡ともに全長は6.0mで、方向はN-22°-Eである。南北方向にさらにのびていくと推測される。幅はともに上面90cm・底面55cmである。

【深さ・断面形】 SD-41A・Bともに深さは30cmで、断面形は舟底形を呈している。

【堆積土・出土遺物】 堆積土は1層である。堆積土は他の3層検出遺構の埋土が黒褐色もしくは暗褐色であるのに対して、基本層位3層の土色に近い灰黄褐色であった。遺物は、土師器片34点・SD-41A溝跡から内外面をロクロで調整し、底部を回転糸切り技法によって切り離している土師器の環4点(D-3・4・5・6:第17図8・9・10・11)が出土している。4点の環は口径・底径とも小さく器高の低いものである。黒色処理はされておらず、いわゆる「赤焼け土器」である。

### 3) 井戸跡

SE-2(SK-49)井戸跡 【位置・重複】 1区東部、北壁部分で検出された。SD-9溝跡・SK-48土坑に切られる。

【平面形・大きさ・施設】 壁面付近で全体の1/2ほどが検出された。平面形は半円形を呈し、検出面で東西軸が1.2mを測る。素掘りの井戸で井戸枠等の施設はない。

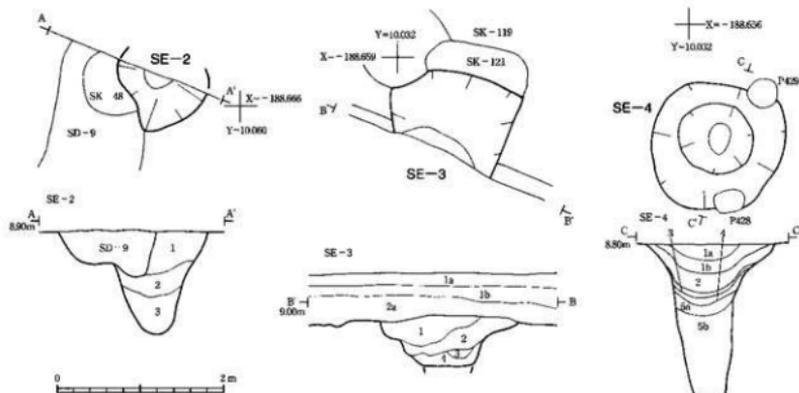
【深さ・断面形】 検出面から底面までの深さは1.3mある。壁面の立ち上がりが比較的緩やかで断面形は不整なU字形を呈する。

【堆積土・出土遺物】 堆積土は3層に分けられた。1、2層が黒褐色のシルトおよび粘土質シルト、3層が暗褐色の粘土質シルトとなっている。1層には炭化物和焼土が多く含まれていた。自然堆積土か人為堆積土かは不明である。遺物は全く出土していない。

SE-3(SK-120)井戸跡 【位置・重複】 1区西部南壁部分で全体の1/3ほど検出された。SK-119・121土坑に切られる。

【平面形・大きさ・施設】 平面形は四角をテラス状の方形に掘り込んだ後、円形に深く掘り込んでいくと推測され

第2節 1区の調査概要



1区 SE-2					1区 SE-4				
土層No.	土色	土質	備 考		土層No.	土色	土質	備 考	
1	10YR5/1	黒褐色 シルト	炭化物、粘土を含む。褐色土を少量含む。		1a	10YR3/2	黒褐色 シルト	褐色土をブロック状に含む。	
2	10YR5/2	黒褐色 凝結シルト	炭化物を含む。褐色土を含む。		1b	10YR3/2	黒褐色 シルト	炭化物、焼土を含む。	
3	10YR3/4	黒褐色 凝結シルト	炭化物を少量含む。		2	10YR2/2	黒褐色 凝結シルト	こがした褐色土をブロック状に含む。炭化物を含む。	
1区 SE-3					3	10YR4/1	黒褐色 シルト層土	褐色土を少量含む。炭化物を少量含む。	
1	10YR2/2	黒褐色 凝結シルト	炭化物を多く含む。褐色土をブロック状に多く含む。		4	10Y5/1	黒褐色 粘土	褐色土をまばらに含む。	
2	10YR3/1	黒褐色 シルト層土	炭化物を含む。焼土を少量含む。褐色土をブロック状に含む。		5a	10YR4/1	黒褐色 粘土	褐色土を少量含む。炭化物を少量含む。	
3	10YR3/1	黒褐色 粘土	炭化物を含む。褐色土を含む。		5b	10YR4/1	黒褐色 粘土	褐色土をまばらに含む。	
4	10YR3/1	黒褐色 粘土	におい・黄褐色に粘土をこまらしたブロック状に多量に含む。						

第19図 1区3層検出SE-2・3・4 (SK-49・120・118) 井戸跡

る。検出面で東西軸1.5mを測る。井戸枠等の施設は確認できなかった。

【深さ・断面形】確認できた検出面からの深さは63cmであるが、さらに50cm以上は深く掘り込まれていることがボーリングをすることで確認できた。

【堆積土・出土遺物】堆積土は黒褐色で4層に分けられた。1層は粘土質シルト、2層はシルト質粘土、3・4層は粘土となっている。全体に炭化物を含んでいる。全層で褐色土をブロック状に含んでいるため、人為的に堆積したものと推測される。遺物は、土師器片1点・鉄滓2点が出土しているのみである。

SE-4 (SK-118) 井戸跡 【位置・重複】1区西部中央で検出された。P-428・429に切られている。

【平面形・大きさ・施設】平面形は南北軸158cm・東西軸157cmの円形を呈している。素掘りの井戸で井戸枠等の施設はない。

【深さ・断面形】検出面からの深さは187cmである。40cm掘り込んだところからはほぼ垂直に掘り込まれており、上部は逆台形であるが下部はほぼ筒形の断面形である。下面はほぼ平らになっている。

【堆積土・出土遺物】堆積土は大きく5層に分けられる。1層は黒褐色のシルト層で、さらに2層に細分される。1b層には炭化物、焼土が含まれている。2層は黒褐色の粘土質シルト層、3層は褐色のシルト質粘土層、4層は褐色の粘土層である。5層は褐色の粘土層で、さらに2層に細分される。5a層には炭化物が含まれている。褐色土の包含状況から、1・2層は人為的堆積であると思われる。出土遺物は、土師器片5点・須恵器片2点・13～14世紀の県内産白石窯系の麩片1点・鉄滓2点が出土しているのみである。

## 4) 土坑

SK-1土坑 【位置・重複】調査区の西部で検出された。SD-1溝跡を切っている。

【平面形・大きさ】平面形は南北軸117cm・東西軸115cmの不整形を呈する。

【深さ・断面形】深さ8cmで、断面形は不整形である。

【堆積土・出土遺物】堆積土は暗褐色シルト1層で、炭化物を含んでいる。遺物は、土師器片7点、鉄滓1点が出土している。

SK-2土坑 【位置・重複】調査区の西部、北壁にかかって検出された。中央がSD-2溝跡に切られている。

【平面形・大きさ】東西長軸100cm・南北短軸60cmの楕円形を呈していると推測される。

【深さ・断面形】平面形は深さ13cmで断面形は舟底形である。

【堆積土・出土遺物】堆積土は2層で黒褐色および暗褐色のシルト層である。遺物は出土していない。

SK-3土坑 【位置・重複】調査区の西部、南側で検出された。他の遺構との重複関係は認められない。

【平面形・大きさ】平面形は東西長軸83cm・南北短軸66cmの楕円形を呈する。

【深さ・断面形】深さ12cmで、断面形は舟底形である。

【堆積土・出土遺物】堆積土は黒褐色シルトで3層に分けられ、炭化物を多く含んでいる。1層は柱痕跡の可能性がある。遺物は、土師器片1点が出土している。

SK-12土坑 【位置・重複】調査区の中央部、北側で検出された。P-52・53に切られている。

【平面形・大きさ】平面形は南北長軸50cm・東西短軸45cmの楕円形を呈する。

【深さ・断面形】深さ10cmで、断面形は舟底形である。

【堆積土・出土遺物】堆積土は黒褐色のシルト層で2層に分けられる。遺物は出土していない。

SK-13土坑 【位置・重複】調査区の中央部、北側で検出された。SB-4掘立柱建物跡に関わるP-57柱穴を切っている。P-349に切られている。

【平面形・大きさ】平面形は南北軸60cm・東西軸45cmの不整形である。

【深さ・断面形】深さは8cmで、断面形は不整形である。

【堆積土・出土遺物】堆積土は黒褐色シルト1層で、炭化物を少量含んでいる。遺物は出土していない。

SK-14土坑 【位置・重複】調査区の中央北側で検出された。SK-19土坑を切り、P-348に切られている。

【平面形・大きさ】平面形は南北軸70cm・東西軸60cmの円形を呈する。

【深さ・断面形】深さは7cmで、断面形は舟底形である。

【堆積土・出土遺物】堆積土は黒褐色シルト1層で、炭化物を少量含んでいる。遺物は出土していない。

SK-15土坑 【位置・重複】調査区の中央部南側で検出された。SK-16土坑を切っている。

【平面形・大きさ】平面形は東西軸70cm・南北軸58cmの不整形である。

【深さ・断面形】深さは7cmで、断面形は舟底形である。

【堆積土・出土遺物】堆積土は黒褐色シルト1層で、炭化物を微量に含んでいる。遺物は出土していない。

SK-16土坑 【位置・重複】調査区の中央で検出された。SK-15土坑に切れ、SK-17土坑を切っている。

【平面形・大きさ】平面形は南北軸56cm・東西軸57cmの不整形である。

【深さ・断面形】深さは8cmで、断面形は舟底形である。

【堆積土・出土遺物】堆積土は黒褐色シルト1層で、炭化物を多く含んでいる。遺物は出土していない。

SK-17土坑 【位置・重複】調査区の中央部南側で検出された。SK-16土坑に切られている。

【平面形・大きさ】平面形は東西軸60cm・東西軸55cmの不整形である。

【深さ・断面形】深さは10cmで、断面形は舟底形である。

【地積土・出土遺物】地積土は黒褐色シルト1層で、炭化物を少量含んでいる。遺物は出土していない。

S K-18土坑 【位置・重複】調査区の中央部、北側で検出された。他の遺構との重複関係は認められない。

【平面形・大きさ】平面形は東西軸53cm・南北軸42cmの不整形である。

【深さ・断面形】深さは4cmで、断面形は舟底形である。南部にピット状の落ち込みがあり深さは9cmである。

【堆積土・出土遺物】堆積土は黒褐色シルト1層で、炭化物を含んでいる。遺物は出土していない。

S K-19土坑 【位置・重複】調査区の中央部北側で検出された。S K-14土坑・P-348に切られている。

【平面形・大きさ】平面形は南北長軸65cm・東西短軸50cmの楕円形を呈する。

【深さ・断面形】深さは3cmで、断面形は舟底形である。

【堆積土・出土遺物】堆積土は黒褐色シルト1層で、炭化物を含んでいる。遺物は出土していない。

S K-20土坑 【位置・重複】調査区の中央部、北壁にかかって検出された。S D-4溝跡を切っている。

【平面形・大きさ】平面形は長軸70cmの楕円形を呈していると推測される。

【深さ・断面形】深さは7cmで、断面形は舟底形である。

【堆積土・出土遺物】堆積土は黒褐色砂質シルト1層で、褐色土を含んでいる。遺物は出土していない。

S K-21土坑 【位置・重複】調査区の中央部北側で検出された。S D-4溝跡を切り、P-69に切られている。

【平面形・大きさ】平面形は南北長軸65cm・東西短軸57cmの楕円形を呈する。

【深さ・断面形】深さは9cmで、断面形は舟底形である。

【堆積土・出土遺物】堆積土は黒褐色シルト層で2層に分かれる。遺物は出土していない。

S K-22土坑 【位置・重複】調査区の中央部で検出された。P-471を切り、P-77・98・347に切られている。

【平面形・大きさ】平面形は東西軸75cm・南北軸71cmの不整形である。

【深さ・断面形】深さは4cmで、断面形は舟底形である。

【堆積土・出土遺物】堆積土は黒褐色シルト1層で、褐色土を多く含んでいる。遺物は出土していない

S K-23土坑 【位置・重複】調査区の中央部で検出された。S K-24土坑・P-83を切っている。

【平面形・大きさ】平面形は東西軸79cm・南北軸74cmの円形を呈する。

【深さ・断面形】深さは11cmで、断面形は舟底形である。

【堆積土・出土遺物】堆積土は黒褐色シルト質砂1層で、炭化物を多く含んでいる。遺物は出土していない。

S K-24土坑 【位置・重複】調査区の中央部で検出された。S K-23土坑に切られている。

【平面形・大きさ】平面形は南北軸48cmの円形を呈していると推測される。

【深さ・断面形】深さは4cmで、断面形は舟底形である。

【堆積土・出土遺物】堆積土は黒褐色シルト1層で、褐色土を多く含んでいる。遺物は出土していない。

S K-25土坑 【位置・重複】調査区の中央部で検出された。P-96に切られている。

【平面形・大きさ】平面形は南北長軸67cm・東西短軸32cmの楕円形を呈する。

【深さ・断面形】深さは7cmで、断面形は舟底形である。

【堆積土・出土遺物】堆積土は黒褐色粘土質シルト1層で、炭化物・焼土を含んでいる。遺物は出土していない。

S K-26土坑 【位置・重複】調査区の中央部北側で検出された。S D-5溝跡に東側半分ほどが切られている。

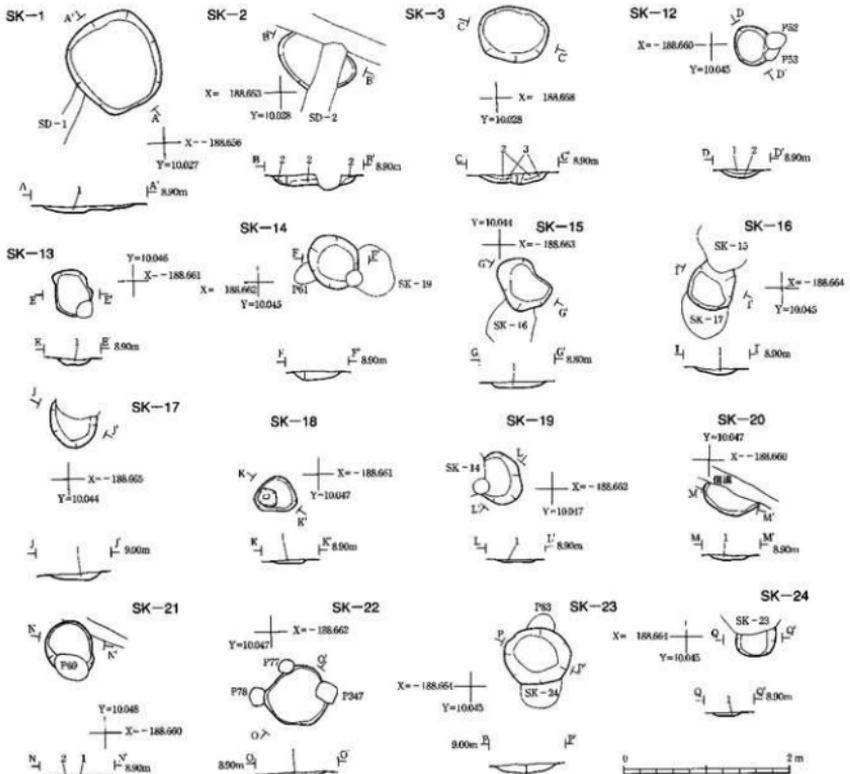
【平面形・大きさ】平面形は南北軸98cmで、円形を呈していると推測される。

【深さ・断面形】深さは8cmで、断面形は不整形である。

【堆積土・出土遺物】堆積土は黒褐色シルト1層で、炭化物を含んでいる。遺物は、土師器片が4点出土している。

S K-27土坑 【位置・重複】調査区の東部で検出された。S D-5溝跡を切っている。

【平面形・大きさ】平面形は東西長軸57cm・南北短軸45cmの楕円形を呈する。



SK-1					SK-17				
土層No.	土色	土質	備	考	土層No.	土色	土質	備	考
1	10YR3/2	暗褐色シルト	褐色土をブロック状に含む。炭化物、砂土粒を含む。		1	10YR2/2	黒褐色シルト	炭化物のまばらに含む。	
SK-2					SK-18				
1	10YR3/2	暗褐色シルト	褐色土を粒状に含む。		1	10YR3/2	暗褐色シルト	炭化物をまばらに含む。	
2	10YR3/4	暗褐色シルト	暗褐色土。黄褐色土をブロック状に含む。						
SK-3					SK-19				
1	10YR3/2	暗褐色シルト	炭化物、粘土を少量含む。		1	10YR3/2	暗褐色シルト	褐色土、黄褐色土を多量に含む。炭化物を含む。	
2	10YR3/2	暗褐色シルト	炭化物を大量に含む。						
3	10YR3/2	暗褐色シルト	褐色土をブロック状に含む。炭化物を含む。						
SK-12					SK-23				
1	10YR3/2	暗褐色シルト	炭化物を多く含む。		1	10YR2/2	黒褐色シルト	炭化物をまばらに含む。	
2	10YR3/2	暗褐色シルト	褐色土をまばらに含む。		2	10YR3/2	暗褐色シルト	炭化物をわずかに含む。褐色土をブロック状に含む。	
SK-15					SK-22				
1	10YR3/2	暗褐色シルト	炭化物を少量含む。		1	10YR3/2	暗褐色シルト	炭化物をまばらに含む。	
SK-14					SK-24				
1	10YR3/2	暗褐色シルト	炭化物を少量含む。		1	10YR3/2	暗褐色シルト	炭化物を少量含む。	
SK-15					SK-21				
1	10YR3/2	暗褐色シルト	炭化物を多量に含む。		1	10YR2/2	黒褐色シルト	褐色土をブロック状に多量に含む。	
SK-16					SK-20				
1	10YR2/3	暗褐色シルト	炭化物を多く含む。		1	10YR2/3	暗褐色シルト	炭化物を多く含む。	

第20図 1区3層検出土坑1

【深さ・断面形】深さは9cmで、断面形は舟底形である。

【堆積土・出土遺物】堆積土は黒褐色で2層に分かれている。遺物は出土していない。

SK-28土坑 【位置・重複】調査区の東部で検出された。SD-6溝跡・SK-106土坑を切り、SK-30土坑・P-132、369、397に切られている。

【平面形・大きさ】平面形は南北軸145cm・東西軸95cmの不整形である。

【深さ・断面形】深さは11cmで、断面形は不整形である。

【堆積土・出土遺物】堆積土は黒褐色砂質シルト1層で、炭化物・焼土粒を含んでいる。遺物は、土師器片5点・角釘1点(N-22:第28図4)・古銭「元豊通寶」1点(N-87:第28図23)が出土している。

SK-29土坑 【位置・重複】調査区の東部北側で検出された。SK-30土坑を切り、P-395に切られている。

【平面形・大きさ】平面形は南北軸42cm・東西軸43cmの円形を呈する。

【深さ・断面形】深さは14cmで、断面形は舟底形である。

【堆積土・出土遺物】堆積土は黒褐色で2層に分かれている。遺物は、土師器片が1点出土している。

SK-30土坑 【位置・重複】調査区の東部、北側で検出された。SK-28・106土坑を切り、SK-29土坑に切られている。

【平面形・大きさ】平面形は東西軸50cmで、円形を呈する。

【深さ・断面形】深さは24cmで、断面形はU字形である。

【堆積土・出土遺物】堆積土は黒褐色シルト1層で、炭化物を含んでいる。遺物は出土していない。

SK-31土坑 【位置・重複】調査区の東部、北側で検出された。SK-33土坑に切られている。

【平面形・大きさ】平面形は南北軸45cm・東西軸43cmの円形を呈する。

【深さ・断面形】深さは16cmで、断面形は舟底形である。

【堆積土・出土遺物】堆積土は黒褐色で2層に分かれ、1層が粗砂・2層が粘土質シルトである。両層に炭化物を含んでいる。遺物は、土師器片1点・13~14世紀の片Iと思われる県内産中世陶器片2点(Ic-9:第25図2A・B)が出土している。

SK-33土坑 【位置・重複】調査区の東部、北側で検出された。SK-31を切り、SB-5掘立柱建物跡に関わるP-133柱穴に切られている。

【平面形・大きさ】平面形は南北長軸65cm・東西短軸40cmの楕円形を呈する。

【深さ・断面形】深さは16cmで、断面形はU字形である。

【堆積土・出土遺物】堆積土は黒褐色粘土質シルト1層で、炭化物・焼土を含んでいる。遺物は出土していない。

SK-34土坑 【位置・重複】調査区の東部、南側で検出された。他の遺構との重複関係は認められない。

【平面形・大きさ】平面形は南北軸54cm・東西軸53cmの円形を呈する。

【深さ・断面形】深さは20cmで、断面形は不整形である。北部がピット状に落ち込んでいる。

【堆積土・出土遺物】堆積土は黒褐色粘土質シルト1層で、炭化物・焼土を含んでいる。遺物は出土していない。

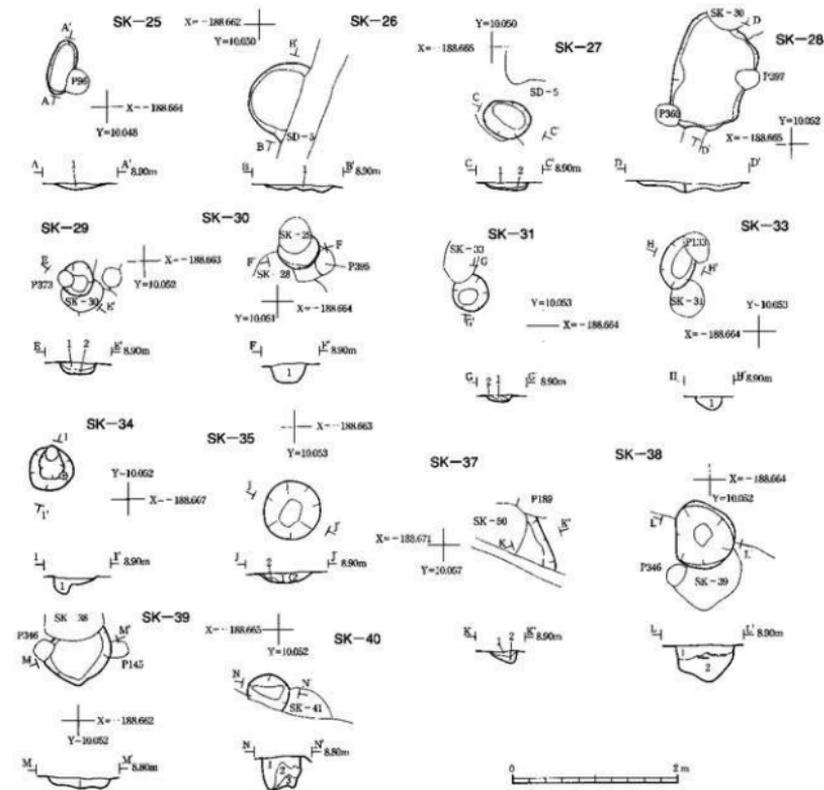
SK-35土坑 【位置・重複】調査区の東部、北側で検出された。他の遺構との重複関係は認められない。

【平面形・大きさ】平面形は南北軸71cm・東西軸69cmの円形を呈する。

【深さ・断面形】深さは12cmで、断面形は舟底形である。

【堆積土・出土遺物】堆積土は黒褐色で2層に分かれている。1層が砂質シルト・2層が粗砂であり、両層に炭化物を含んでいる。遺物は、土師器片が1点出土している。

SK-37土坑 【位置・重複】調査区の東部、南側にかかって検出された。SB-6掘立柱建物跡に関わるP-189柱穴・SK-50土坑に切られている。



SK-25					SK-31				
土層No.	土色	土質	備考	備考	土層No.	土色	土質	備考	備考
1	10YR3/1	黒褐色	灰化土	灰化土、焼土を含む。褐色土を伴う。	1	10YR3/1	黒褐色	粘土質シルト	灰化土、焼土を含む。褐色土をブロック状に含む。
SK-26					SK-35				
土層No.	土色	土質	備考	備考	土層No.	土色	土質	備考	備考
1	10YR3/2	黒褐色	シルト	灰化物をまばらに含む。褐色土を少量含む。	1	10YR3/1	黒褐色	粘質シルト	灰化物を含む。褐色土を含む。黒褐色の砂を含む。
SK-27					SK-37				
土層No.	土色	土質	備考	備考	土層No.	土色	土質	備考	備考
1	10YR3/2	黒褐色	シルト	灰化物をまばらに含む。褐色土を少量含む。	1	10YR2/2	黒褐色	粘質シルト	褐色土を少量含む。灰化土、焼土を多量に含む。
2	10YR3/1	黒褐色	粘砂	灰化物を多量に含む。褐色土を少量含む。	2	10YR3/1	黒褐色	粘質シルト	褐色土を少量含む。褐色土をブロック状に含む。
SK-28					SK-38				
土層No.	土色	土質	備考	備考	土層No.	土色	土質	備考	備考
1	10YR3/2	黒褐色	粘質シルト	褐色土、灰化土、焼土を含む。	1	10YR2/2	黒褐色	粘質シルト	灰化物を多量に含む。褐色土を少量含む。褐色の砂を含む。
2	10YR3/2	黒褐色	粘質シルト	褐色土を少量含む。	2	10YR3/1	黒褐色	粘質シルト	灰化物を多量に含む。褐色土を少量含む。褐色土をブロック状に含む。
SK-29					SK-39				
土層No.	土色	土質	備考	備考	土層No.	土色	土質	備考	備考
1	10YR3/1	黒褐色	粘質シルト	灰化物を含む。褐色土を含む。	1	10YR3/1	黒褐色	粘質シルト	灰化物を多量に含む。褐色土を少量含む。褐色土をブロック状に含む。
2	10YR3/2	黒褐色	粘質シルト	褐色土を少量含む。	2	10YR3/2	黒褐色	粘質シルト	灰化物を多量に含む。褐色土を少量含む。
SK-30					SK-40				
土層No.	土色	土質	備考	備考	土層No.	土色	土質	備考	備考
1	10YR3/2	黒褐色	シルト	灰化物を少量含む。褐色土を少量含む。	1	10YR2/3	黒褐色	粘土質砂	灰化物を含む。焼土を多量に含む。
SK-31					SK-41				
土層No.	土色	土質	備考	備考	土層No.	土色	土質	備考	備考
1	10YR3/1	黒褐色	粘質シルト	灰化物を多量に含む。褐色土を少量含む。褐色土をブロック状に含む。	1	10YR3/1	黒褐色	粘質シルト	灰化物を多量に含む。褐色土を少量含む。褐色土をブロック状に含む。
2	10YR3/1	黒褐色	粘質シルト	褐色土を多量に含む。	2	10YR3/2	黒褐色	粘質シルト	褐色土を多量に含む。
3	10YR3/4	褐色	粘質砂	焼土の花殻が見られる。(焼土に近い)					

第21図 1区3層検出土坑2

【平面形・大きさ】検出された平面形の軸は50cm前後であるが、全体の形、大きさは不明である。

【深さ・断面形】深さは15cmで、断面形は不明である。

【堆積土・出土遺物】堆積土は黒褐色砂質シルトで2層に分けられ、1層に炭化物・焼土粒を多く含んでいる。遺物は出土していない。

SK-38土坑 【位置・重複】調査区の東部、南側で検出された。SD-5溝跡・SK-39土坑を切っている。

【平面形・大きさ】平面形は南北軸85cm・東西軸75cmの不整な円形を呈する。

【深さ・断面形】深さは46cmで、断面形は不整なU字形である。

【堆積土・出土遺物】堆積土は黒褐色で2層に分かれている。1層が砂質シルト・2層がシルトであり、両層に炭化物を含んでいる。2層の上面で中世陶器がまとまって出土した。遺物は、土師器片2点・押印のある常滑産の中世陶器甕片3点（Ic-13：第25図3A・B）・県内産の中世陶器片3点・産地不明の施釉陶器片1点・角釘7点（N-23～29・43：第28図5～12）が出土している。

SK-39土坑 【位置・重複】調査区の東部、南側で検出された。SK-38土坑に切られている。

【平面形・大きさ】平面形は東西軸83cm・南北軸70cmほどの不整な円形を呈する。

【深さ・断面形】深さは9cmで、断面形は不整形である。

【堆積土・出土遺物】堆積土は黒褐色シルト質砂1層で、炭化物を含んでいる。遺物は、施釉陶器の甕の破片が1点（Id-2：第25図4）出土している。甕には鉄化粧の上に鉛軸がかけられている。福島県岸富窯の製品で、17世紀のものと考えられる。

SK-40土坑 【位置・重複】調査区の東部で検出された。SK-41土坑を切り、SD-5溝跡に切られている。

【平面形・大きさ】平面形は東西長軸51cm・南北短軸47cmほどの楕円形を呈していると推測される。

【深さ・断面形】深さは43cmで、断面形は不整形である。

【堆積土・出土遺物】堆積土は3層に分かれている。1・2層が黒褐色のシルト、3層が砂質粘土である。1層に炭化物を含んでいる。遺物は、土師質土器片1点が出土している。

SK-41土坑 【位置・重複】調査区の東部で検出された。SD-5溝跡・SK-40土坑に切られている。

【平面形・大きさ】平面形は不明で、東西軸63cm・南北軸35cmほどを測る。

【深さ・断面形】深さは11cmで、断面形は舟底形である。

【堆積土・出土遺物】堆積土は黒褐色砂質シルト1層で、炭化物・焼土を含んでいる。遺物は出土していない。

SK-42土坑 【位置・重複】調査区の東部で検出された。P-148に切られている。

【平面形・大きさ】平面形は東西軸81cm・南北軸70cmの円形を呈する。

【深さ・断面形】深さは11cmで、断面形は舟底形である。

【堆積土・出土遺物】堆積土は黒褐色シルト1層で、炭化物を含んでいる。遺物は出土していない。

SK-43土坑 【位置・重複】調査区の東部、北側で検出された。他の遺構との重複関係は認められない。

【平面形・大きさ】平面形は南北長軸92cm・東西短軸69cmの不整な楕円形を呈する。

【深さ・断面形】深さは17cmで、断面形は不整形である。

【堆積土・出土遺物】堆積土は黒褐色で2層に分けられる。1層は砂質シルトで炭化物を含み、2層はシルトである。遺物は、土師器片2点が出土している。

SK-44土坑 【位置・重複】調査区の東部北側で検出された。P-150を切っている。

【平面形・大きさ】平面形は南北長軸83cm・東西短軸73cmの不整な楕円形を呈する。

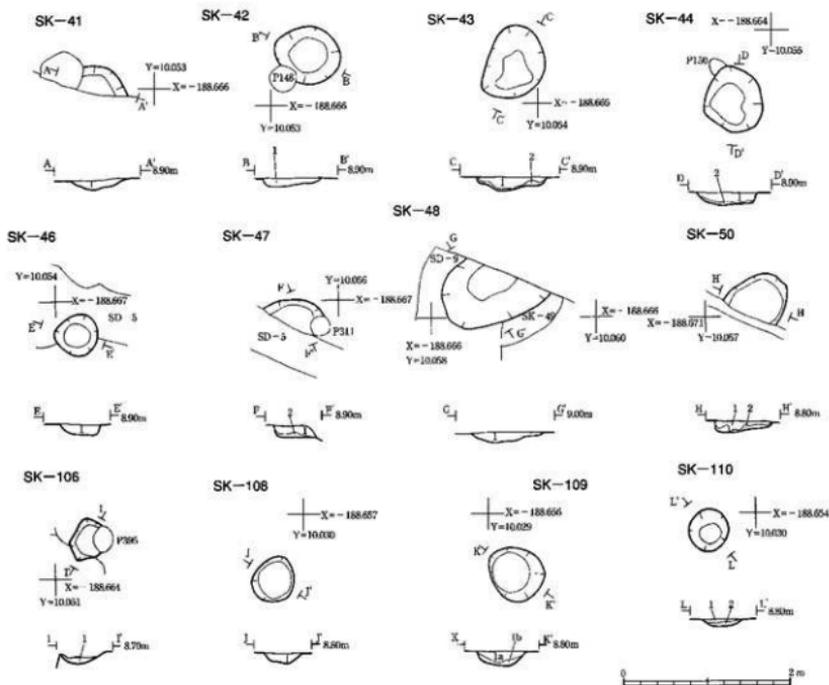
【深さ・断面形】深さは17cmで、断面形は不整形である。

【堆積土・出土遺物】堆積土は2層に分けられる。1層は黒褐色のシルトで炭化物・焼土粒を含み、2層は褐色の

砂質シルトで、黒褐色土をブロック状に含んでいる。遺物は、土師器片2点・13~14世紀の県内産白石窯系の鉢片1点・棒状の鉄製品1点(N-30:第28図13)が出土している。

SK-46土坑 【位置・重複】調査区の東部で検出された。SD-5溝跡を切っている。

【平面形・大きさ】平面形は東西軸53cm・南北軸52cmの円形を呈する。



土層No.	土色	土質	備考
1	10YR3/1	赤褐色	炭化物、焼土粒を含む。褐色土粒を含む。
SK-42			
1	10YR3/1	黒褐色	シルト
SK-43			
土層No.	土色	土質	備考
1	10YR3/1	黒褐色	シルト
2	10YR3/1	黒褐色	シルト
SK-44			
土層No.	土色	土質	備考
1	10YR3/1	黒褐色	シルト
2	10YR3/1	黒褐色	シルト
SK-46			
土層No.	土色	土質	備考
1	10YR3/1	赤褐色	シルト
2	10YR3/1	赤褐色	シルト
SK-47			
土層No.	土色	土質	備考
1	10YR3/1	赤褐色	シルト
2	10YR3/1	赤褐色	シルト
SK-48			
土層No.	土色	土質	備考
1	10YR3/1	赤褐色	シルト
2	10YR3/1	赤褐色	シルト
SK-49			
土層No.	土色	土質	備考
1	10YR3/1	赤褐色	シルト
2	10YR3/1	赤褐色	シルト
SK-50			
土層No.	土色	土質	備考
1	10YR3/1	赤褐色	シルト
2	10YR3/1	赤褐色	シルト
SK-106			
土層No.	土色	土質	備考
1	10YR3/1	赤褐色	シルト
2	10YR3/1	赤褐色	シルト
SK-108			
土層No.	土色	土質	備考
1	10YR3/1	赤褐色	シルト
2	10YR3/1	赤褐色	シルト
SK-109			
土層No.	土色	土質	備考
1	10YR3/1	赤褐色	シルト
2	10YR3/1	赤褐色	シルト
SK-110			
土層No.	土色	土質	備考
1	10YR3/1	赤褐色	シルト
2	10YR3/1	赤褐色	シルト

第22区 1区3層出土土坑3

【深さ・断面形】深さは14cmで、断面形は舟底形である。

【堆積土・出土遺物】堆積土は黒褐色砂1層で、黒褐色シルトを含む。遺物は、土師器片1点が出土している。

SK-47土坑 【位置・重複】調査区の東部で検出された。P-311・SD-5溝跡に切られている。

【平面形・大きさ】検出された部分の平面形は東西軸69cm・南北軸37cmほどであるが全体形は不明である。

【深さ・断面形】深さは15cmで、断面形は舟底形であると推測される。

【堆積土・出土遺物】堆積土は2層に分けられる。1層は黒褐色砂質シルトで炭化物を含み、2層は暗褐色砂質シルトである。遺物は出土していない。

SK-48土坑 【位置・重複】調査区の東部で北壁にかかって検出された。SD-9溝跡・SE-5井戸跡を切っている。

【平面形・大きさ】平面形は南北長軸123cm・東西短軸81cmほどであり、楕円形であると推測される。

【深さ・断面形】深さは9cmで、断面形は不整な舟底形であると推測される。

【堆積土・出土遺物】堆積土は黒褐色の砂質シルト1層で、炭化物・焼土を大量に含んでいる。遺物は、土師器片2点が出土している。

SK-50土坑 【位置・重複】調査区の東部で南壁にかかって検出された。SB-6掘立柱建物跡に関わるP-189柱穴・SK-37土坑を切っている。

【平面形・大きさ】検出部分の平面形は南北短軸59cm・東西長軸72cmほどであり、楕円形であると推測される。

【深さ・断面形】深さは16cmで、断面形は不整な舟底形である。

【堆積土・出土遺物】堆積土は2層に分けられる。1層は黒褐色シルトで炭化物・焼土を含み、2層は黒褐色を含む褐色粘土質シルトである。遺物は、土師器片1点・産地不明の無輪陶器片1点が出土している。

SK-106土坑 【位置・重複】調査区の東部、北側で検出された。SK-28土坑を切り、SK-30土坑・P-395に切られている。

【平面形・大きさ】平面形は南北長軸54cm・東西短軸47cmほどであり、不整な楕円形を呈していると推測される。

【深さ・断面形】深さは15cmで、断面形は舟底形である。

【堆積土・出土遺物】堆積土は黒褐色のシルト1層である。遺物は出土していない。

SK-108土坑 【位置・重複】調査区の西部で検出された。他の遺構との重複関係は認められない。

【平面形・大きさ】平面形は南北軸58cm・東西軸50cmの円形を呈する。

【深さ・断面形】深さは13cmで、断面形は舟底形である。

【堆積土・出土遺物】堆積土は黒褐色のシルト1層で、炭化物を含んでいる。遺物は出土していない。

SK-109土坑 【位置・重複】調査区の西部で検出された。他の遺構との重複関係は認められない。

【平面形・大きさ】平面形は東西軸70cm・南北軸62cmの円形を呈する。

【深さ・断面形】深さは18cmで、断面形は舟底形である。

【堆積土・出土遺物】堆積土は2層に分けられる。1層は黒褐色シルト、2層は暗褐色シルトである。両層に炭化物を含んでいる。遺物は出土していない。

SK-110土坑 【位置・重複】調査区の西部北側で検出された。他の遺構との重複関係は認められない。

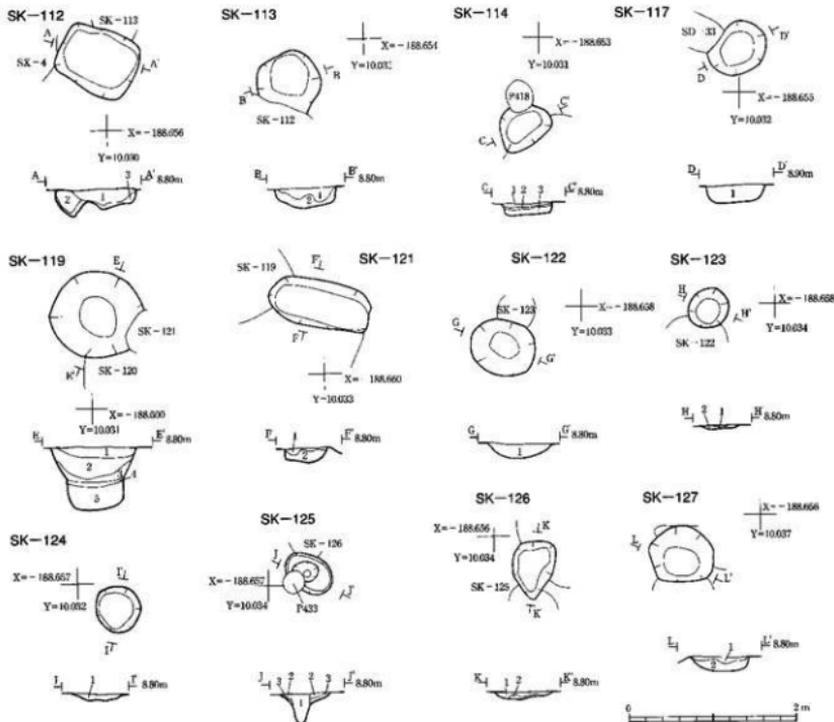
【平面形・大きさ】平面形は南北軸53cm・東西軸48cmの円形を呈する。

【深さ・断面形】深さは10cmで、断面形は舟底形である。

【堆積土・出土遺物】堆積土は黒褐色シルトで2層に分けられる。1層に炭化物を含む。遺物は出土していない。

SK-112土坑 【位置・重複】調査区の西部で検出された。SK-113土坑・SX-4遺構を切っている。

【平面形・大きさ】平面形は東西軸95cm・南北軸79cmの隅丸方形を呈する。



SK-112				SK-121			
土層No.	土色	土質	備考	土層No.	土色	土質	備考
1	10YR3/1	黒褐色シルト	炭化物、焼土粒を多く含む。および黄褐色土をまばらに含む。	1	10YR3/2	黒褐色シルト	炭化物、褐色土粒を少量含む。
2	10YR3/1	黒褐色シルト	褐色土、および黄褐色土をアロク状に含む。炭化物を少量含む。	2	10YR3/2	黒褐色粘土質シルト	褐色土、黄褐色土をアロク状に多く含む。
3	10YR3/3	暗褐色粘り状シルト	暗褐色土、褐色土、および黄褐色土をまばらに含む。				
SK-113				SK-122			
土層No.	土色	土質	備考	土層No.	土色	土質	備考
1	10YR3/1	黒褐色シルト	炭化物、焼土粒を含む。褐色土をまばらに含む。	1	10YR3/1	黒褐色粘り状シルト	炭化物を含む。褐色土を少量含む。
2	10YR3/2	黒褐色粘り状シルト	炭化物を少量含む。褐色土をブロック状に多量に含む。				
SK-114				SK-123			
土層No.	土色	土質	備考	土層No.	土色	土質	備考
1	10YR3/1	黒褐色シルト	炭化物を大量に含む。	1	10YR3/2	黒褐色シルト	炭化物、焼土粒を少量含む。
2	10YR3/2	黒褐色粘り状シルト	褐色土、および黄褐色土を多量に含む。	2	10YR3/2	黒褐色粘り状シルト	炭化物、褐色土を少量含む。
3	10YR3/2	黒褐色粘り状シルト	褐色土、および黄褐色土、鉄分を多く含む。				
SK-117				SK-124			
土層No.	土色	土質	備考	土層No.	土色	土質	備考
1	10YR3/2	暗褐色粘り状シルト	暗褐色土、褐色土、黄褐色土をまばらに含む。炭化物、焼土粒を少量含む。	1	10YR3/2	黒褐色粘り状シルト	炭化物を少量含む。褐色土を少量含む。
2	10YR3/2	暗褐色粘り状シルト	暗褐色土、褐色土、黄褐色土をまばらに含む。炭化物、焼土粒を少量含む。	2	10YR3/2	黒褐色粘り状シルト	炭化物を少量含む。褐色土を少量含む。
3	10YR3/2	暗褐色粘り状シルト	暗褐色土、褐色土、黄褐色土をまばらに含む。炭化物、焼土粒を少量含む。				
SK-119				SK-125			
土層No.	土色	土質	備考	土層No.	土色	土質	備考
1	10YR3/2	暗褐色粘り状シルト	暗褐色土、褐色土、黄褐色土をアロク状に含む。炭化物を含む。	1	10YR3/1	黒褐色粘り状シルト	褐色土をブロック状に含む。炭化物を少量含む。
2	10YR3/1	黒褐色粘り状シルト	炭化物、焼土粒を多く含む。	2	10YR3/2	黒褐色シルト	褐色土を少量含む。
3	10YR3/2	暗褐色粘り状シルト	褐色土をアロク状に大量に含む。	3	10YR3/2	暗褐色粘り状シルト	暗褐色土、褐色土を多く含む。
4	10YR3/1	黒褐色粘り状シルト	炭化物を少量含む。				
5	10YR3/2	暗褐色粘り状シルト	暗褐色土を多量に含む。				
SK-126				SK-127			
土層No.	土色	土質	備考	土層No.	土色	土質	備考
1	10YR3/1	黒褐色粘り状シルト	褐色土をアロク状に含む。炭化物を少量含む。	1	10YR3/1	黒褐色粘り状シルト	炭化物、褐色土を多く含む。褐色土をアロク状に少量含む。
2	10YR3/2	黒褐色粘り状シルト	褐色土をアロク状に少量含む。	2	10YR3/2	黒褐色粘り状シルト	褐色土をアロク状に少量含む。
3	10YR3/2	暗褐色粘り状シルト	暗褐色土、褐色土を多く含む。				
SK-126				SK-127			
土層No.	土色	土質	備考	土層No.	土色	土質	備考
1	10YR3/1	黒褐色粘り状シルト	褐色土をアロク状に含む。炭化物を少量含む。	1	10YR3/1	黒褐色粘り状シルト	炭化物、褐色土を多く含む。褐色土をアロク状に少量含む。
2	10YR3/2	黒褐色粘り状シルト	褐色土をアロク状に少量含む。	2	10YR3/2	黒褐色粘り状シルト	褐色土をアロク状に少量含む。
3	10YR3/2	暗褐色粘り状シルト	暗褐色土、褐色土を多く含む。				
SK-126				SK-127			
土層No.	土色	土質	備考	土層No.	土色	土質	備考
1	10YR3/2	暗褐色粘り状シルト	暗褐色土を多量に含む。炭化物を多く含む。焼土粒を少量含む。	1	10YR3/2	暗褐色粘り状シルト	暗褐色土を多量に含む。炭化物を多く含む。焼土粒を少量含む。
2	10YR3/1	黒褐色粘り状シルト	暗褐色土を多量に含む。	2	10YR3/1	黒褐色粘り状シルト	暗褐色土を多量に含む。

第23図 1区3層検出土坑4

【深さ・断面形】深さは34cmで、断面形は不整形である。

【堆積土・出土遺物】堆積土は3層に分けられる。1、2層は黒褐色シルトで、3層は暗褐色粘土質シルトである。1層は炭化物を多く含んでいる。遺物は、土師器片6点・須恵器片1点・棒状の鉄製品1点(N-31:第28図14)・鉄滓2点が出土している。

SK-113土坑 【位置・重複】調査区の西部北側で検出された。SK-112土坑に切られ、SX-4遺構を切っている。

【平面形・大きさ】平面形は東西軸78cm・南北軸71cmの不整な円形を呈する。

【深さ・断面形】深さは27cmで、断面形は舟底形である。

【堆積土・出土遺物】堆積土は黒褐色で2層に分けられる。1層はシルトで、2層は粘土質シルトである。両層に炭化物を含んでいる。遺物は、土師器片2点・鉄滓1点が出土している。

SK-114土坑 【位置・重複】調査区の西部北側で検出された。SD-33溝跡を切り、P-418に切られる。

【平面形・大きさ】平面形は東西長軸68cm・南北短軸53cmの不整な楕円形を呈する。

【深さ・断面形】深さは16cmで、断面形は凹形である。

【堆積土・出土遺物】堆積土は黒褐色で3層に分けられる。1層はシルトで炭化物を大量に含み、2層は粘土質シルト、3層は砂質粘土である。遺物は出土していない。

SK-117土坑 【位置・重複】調査区の西部北側で検出された。SD-33溝跡に切られている。

【平面形・大きさ】平面形は東西軸53cm・南北軸59cmの不整な円形を呈する。

【深さ・断面形】深さは22cmで、断面形は舟底形である。

【堆積土・出土遺物】堆積土は暗褐色の粘土質シルト1層である。遺物は、土師器片1点が出土している。

SK-119土坑 【位置・重複】調査区の西部南側で検出された。SE-3井戸跡を切り、SK-121土坑に切られている。

【平面形・大きさ】平面形は東西軸112cm・南北軸106cmの円形を呈する。

【深さ・断面形】深さは76cmで、断面形は逆台形である。

【堆積土・出土遺物】堆積土は黒褐色で5層に分けられる。1層はシルト、2層は粘土質シルト、3層はシルト質粘土、4・5層は粘土である。1層から4層まで炭化物を含んでいる。遺物は出土していない。

SK-121土坑 【位置・重複】調査区西部南側で検出された。SE-3井戸跡・SK-119土坑を切っている。

【平面形・大きさ】平面形は東西長軸125cm・南北短軸59cmの楕円形を呈する。

【深さ・断面形】深さは18cmで、断面形は舟底形である。

【堆積土・出土遺物】堆積土は黒褐色で2層に分けられる。1層はシルトで炭化物を含み、2層は粘土質シルトである。遺物は、土師器片3点が出土している。

SK-122土坑 【位置・重複】調査区の西部で検出された。SK-123土坑に切られている。

【平面形・大きさ】平面形は東西軸80cm・南北軸67cmの円形を呈する。

【深さ・断面形】深さは18cmで、断面形は舟底形である。

【堆積土・出土遺物】堆積土は黒褐色の粘土質シルト1層で、炭化物を含む。遺物は、土師器片4点が出土している。

SK-123土坑 【位置・重複】調査区の西部で検出された。SK-122土坑を切っている。

【平面形・大きさ】平面形は南北軸51cm・東西軸47cmの円形を呈する。

【深さ・断面形】深さは5cmで、断面形は舟底形である。

【堆積土・出土遺物】堆積土は黒褐色で2層に分けられる。1層はシルト、2層は粘土質シルトで、両層に炭化物

を含んでいる。遺物は出土していない。

**SK-124土坑** 【位置・重複】調査区の西部で検出された。他の遺構との重複関係は認められない。

【平面形・大きさ】平面形は南北軸57cm・東西軸55cmの円形を呈する。

【深さ・断面形】深さは9cmで、断面形は不整形である。

【堆積土・出土遺物】堆積土は黒褐色の粘土質シルト1層で、炭化物を含む。遺物は出土していない。

**SK-125土坑** 【位置・重複】調査区の西部で検出された。SK-126土坑・P-433に切られている。

【平面形・大きさ】平面形は東西長軸62cm・南北短軸43cmの楕円形を呈する。

【深さ・断面形】深さは38cmで、断面形はV字形である。中央がビット状に落ち込んでいる。

【堆積土・出土遺物】堆積土は3層に分けられる。1層は黒褐色のシルト質粘土で炭化物を含む、2層は黒褐色のシルト、3層は暗褐色の粘土質シルトである。1層は柱痕跡の可能性もある。遺物は出土していない。

**SK-126土坑** 【位置・重複】調査区の西部北側で検出された。SK-125・134土坑を切っている。

【平面形・大きさ】平面形は南北軸70cm・東西軸52cmの不整形である。

【深さ・断面形】深さは9cmで、断面形は舟底形である。

【堆積土・出土遺物】堆積土は黒褐色で2層に分けられる。1層には炭化物、2層には焼土が含まれる。遺物は出土していない。

**SK-127土坑** 【位置・重複】調査区の西部北側で検出された。SK-131・132土坑に切られている。

【平面形・大きさ】平面形は東西軸78cm・南北軸72cmの不整形な円形を呈する。

【深さ・断面形】深さは18cmで、断面形は舟底形である。

【堆積土・出土遺物】堆積土は黒褐色で2層に分けられる。1層は粘土質シルトで炭化物を多く含み、2層はシルト質粘土である。遺物は出土していない。

**SK-128土坑** 【位置・重複】調査区の西部で北壁にかかって検出された。SK-134土坑を切っている。

【平面形・大きさ】検出できた部分で平面形は南北長軸69cm・東西短軸57cmの楕円形を呈していると推測される。

【深さ・断面形】深さは11cmで、断面形は舟底形である。

【堆積土・出土遺物】堆積土は黒褐色で2層に分けられる。1層は粘土質シルトで、2層はシルト質粘土である。炭化物を多く含んでいる。遺物は、須恵器片1点が出土している。

**SK-129土坑** 【位置・重複】調査区の西部北側で検出された。SK-129土坑を切り、SK-130土坑に切られている。

【平面形・大きさ】平面形は東西軸67cm・南北軸62cmの円形を呈する。

【深さ・断面形】深さは10cmで、断面形は不整形である。

【堆積土・出土遺物】堆積土は黒褐色で2層に分けられる。1層はシルトで、2層は粘土質シルトである。両層に炭化物を含んでいる。遺物は、鉄滓1点が出土している。

**SK-130土坑** 【位置・重複】調査区の西部北側で検出された。SK-129土坑を切っている。

【平面形・大きさ】平面形は東西軸50cm・南北軸44cmの不整形な円形を呈する。

【深さ・断面形】深さは15cmで、断面形は不整形である。

【堆積土・出土遺物】堆積土は黒褐色で2層に分けられる。1層はシルトで炭化物・焼土を含み、2層は粘土質シルトである。遺物は、土師器片1点が出土している。

**SK-131土坑** 【位置・重複】調査区の西部北側で検出された。SK-127土坑を切っている。

【平面形・大きさ】平面形は東西軸72cm・南北軸65cmの不整形な円形を呈する。

【深さ・断面形】深さは21cmで、断面形は舟底形である。

【堆積上・出土遺物】堆積土は2層に分けられる。1層は黒褐色の粘土質シルトで、炭化物・焼土を含み、2層は暗褐色の粘土質シルトである。遺物は、土師器片1点が出土している。

S K-132土坑 【位置・重複】調査区の西部北側で検出された。S K-127土坑を切り、S K-133土坑に切られている。

【平面形・大きさ】平面形は東西長軸109cm・南北短軸42cmの不整な楕円形を呈する。

【深さ・断面形】深さは19cmで、断面形は不整なV字形である。

【堆積上・出土遺物】堆積土は黒褐色の粘土質シルト1層で、炭化物を含む。遺物は出土していない。

S K-133土坑 【位置・重複】調査区の西部北側で検出された。S K-132土坑を切っている。

【平面形・大きさ】平面形は東西軸44cm・南北軸41cmの不整な円形を呈する。

【深さ・断面形】深さは7cmで、断面形は不整形である。

【堆積上・出土遺物】堆積土は黒褐色の粘土質シルト1層で、炭化物、焼土を含む。遺物は出土していない。

S K-134土坑 【位置・重複】調査区の西部で北壁にかかって検出された。S K-126・128・129土坑・S B-1孤立柱建物跡に関わるP-468柱穴に切られている。

【平面形・大きさ】検出された部分で平面形は南北軸148cm・東西軸146cmの不整な円形であると推測される。

【深さ・断面形】深さは29cmで、断面形は不整形である。

【堆積上・出土遺物】堆積土は3層に分けられる。1層は黒褐色のシルト、2層は黒褐色の粘土質シルトで、両層に炭化物を多く含んでいる。3層は暗褐色のシルト質粘土である。遺物は、土師器片4点が出土している。

S K-135土坑 【位置・重複】調査区の西部で検出された。S K-136土坑を切っている。

【平面形・大きさ】平面形は東西軸52cm・南北軸44cmの不整な円形を呈する。

【深さ・断面形】深さは12cmで、断面形は舟底形である。

【堆積上・出土遺物】堆積土は黒褐色のシルト質粘土1層で、炭化物・焼土を含む。遺物は出土していない。

S K-136土坑 【位置・重複】調査区の西部で検出された。S K-135土坑に切られている。

【平面形・大きさ】平面形は東西軸62cm・南北軸59cmの円形を呈する。

【深さ・断面形】深さは11cmで、断面形は舟底形である。

【堆積上・出土遺物】堆積土は2層に分けられる。1層は黒褐色のシルトで、2層は黒褐色土を多く含んだにぶい黄褐色の粘土質シルトである。遺物は、土師器片1点が出土している。

S K-137土坑 【位置・重複】調査区の西部で検出された。他の遺構との重複関係は認められない。

【平面形・大きさ】平面形は南北長軸104cm・東西短軸85cmの不整な楕円形を呈する。

【深さ・断面形】深さは19cmで、断面形は舟底形である。

【堆積上・出土遺物】堆積土は黒褐色の粘土質シルト1層で、炭化物・焼土を含む。遺物は出土していない。

S K-138土坑 【位置・重複】調査区の中西部で検出された。S D-37溝跡に切られている。

【平面形・大きさ】平面形は南北軸98cm・東西軸85cmの円形を呈する。

【深さ・断面形】深さは14cmで、断面形は舟底形である。

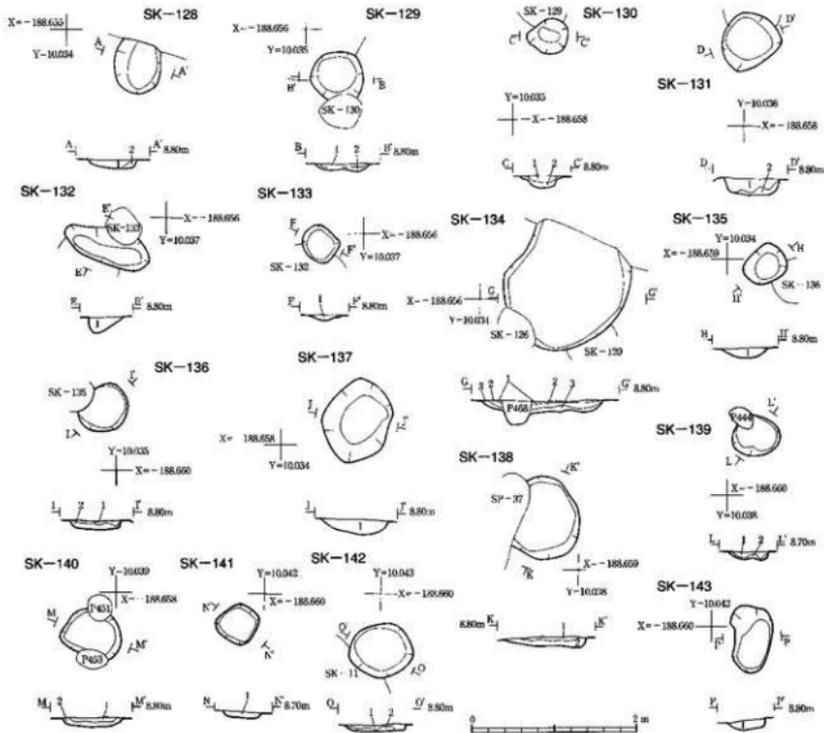
【堆積上・出土遺物】堆積土は2層に分けられる。1層は黒褐色の粘土質シルトで、炭化物を含む。2層は暗褐色のシルト質粘土である。遺物は、土師器片1点が出土している。

S K-139土坑 【位置・重複】調査区の中西部で検出された。P-444に切られている。

【平面形・大きさ】平面形は東西軸54cm・南北軸50cmの円形を呈する。

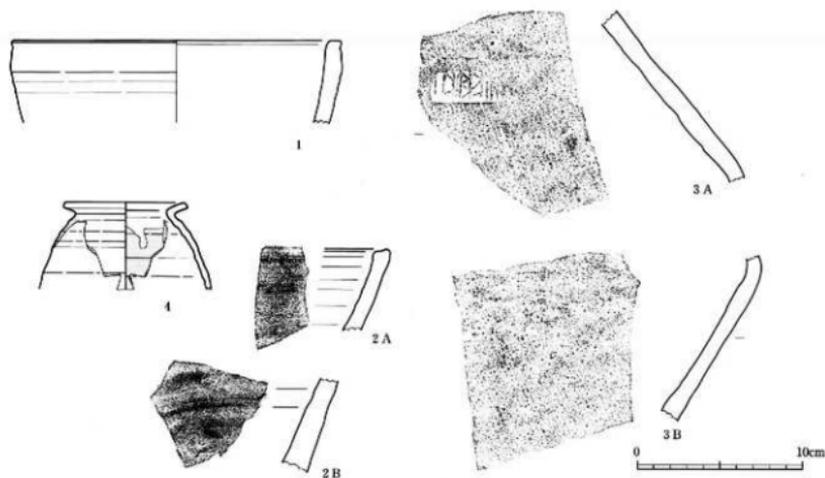
【深さ・断面形】深さは11cmで、断面形は不整な舟底形である。

【堆積上・出土遺物】堆積土は2層に分けられる。1層は黒褐色の粘土質シルトで、炭化物を含む。2層は暗褐色



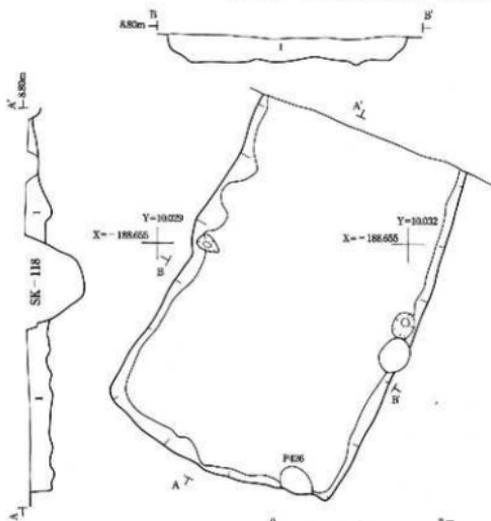
土層No.	土色	土質	備	考
1	10YR3/1 灰褐色	粘り質シト	炭化物、焼土粒を多く含む。褐色土を少量含む。	
2	10YR3/2 黒褐色	粘り質シト	炭化物を多量に含む。	
土層No.	土色	土質 <td>備 <td>考</td> </td>	備 <td>考</td>	考
1	10YR3/1 灰褐色	シルト	炭化物、焼土粒を多く含む。褐色土をまだらに含む。	
2	10YR3/3 黒褐色	粘り質シト	褐色土をブロック状に含む。炭化物を少量含む。	
土層No.	土色	土質 <td>備 <td>考</td> </td>	備 <td>考</td>	考
1	10YR3/1 灰褐色	粘り質シト	炭化物、焼土粒を多く含む。褐色土をまだらに含む。	
2	10YR3/2 黒褐色	粘り質シト	褐色土をブロック状に含む。炭化物を多く含む。	
土層No.	土色	土質 <td>備 <td>考</td> </td>	備 <td>考</td>	考
1	10YR3/2 黒褐色	粘り質シト	炭化物、焼土粒を多く含む。褐色土を少量含む。褐色土を多く含む。	
2	10YR3/3 黒褐色	粘り質シト	褐色土をブロック状に含む。炭化物を多く含む。	
土層No.	土色	土質 <td>備 <td>考</td> </td>	備 <td>考</td>	考
1	10YR3/1 灰褐色	粘り質シト	炭化物、焼土粒を多く含む。褐色土をまだらに含む。	
2	10YR3/2 黒褐色	粘り質シト	褐色土をブロック状に含む。炭化物を多く含む。	
土層No.	土色	土質 <td>備 <td>考</td> </td>	備 <td>考</td>	考
1	10YR3/1 灰褐色	粘り質シト	炭化物、焼土粒を多く含む。褐色土を少量含む。	
2	10YR3/2 黒褐色	粘り質シト	炭化物を少量に含む。褐色土を多く含む。	
3	10YR3/3 暗褐色	粘り質シト	褐色土をブロック状に含む。炭化物を多く含む。	
土層No.	土色	土質 <td>備 <td>考</td> </td>	備 <td>考</td>	考
1	10YR3/2 黒褐色	粘り質シト	炭化物、焼土粒を多く含む。褐色土を少量含む。	
2	10YR3/3 暗褐色	粘り質シト	褐色土をまだらに含む。炭化物を多く含む。	
3	10YR3/3 暗褐色	粘り質シト	褐色土をブロック状に含む。炭化物を多く含む。	
土層No.	土色	土質 <td>備 <td>考</td> </td>	備 <td>考</td>	考
1	10YR3/2 黒褐色	粘り質シト	炭化物、焼土粒を多く含む。褐色土を少量含む。	
2	10YR3/3 暗褐色	粘り質シト	褐色土をまだらに含む。炭化物を多く含む。	
3	10YR3/3 暗褐色	粘り質シト	褐色土をブロック状に含む。炭化物を多く含む。	
土層No.	土色	土質 <td>備 <td>考</td> </td>	備 <td>考</td>	考
1	10YR3/2 黒褐色	粘り質シト	炭化物、焼土粒を多く含む。褐色土を少量含む。	
2	10YR3/3 暗褐色	粘り質シト	褐色土をまだらに含む。炭化物を多く含む。	
3	10YR3/3 暗褐色	粘り質シト	褐色土をブロック状に含む。炭化物を多く含む。	

第24図 1区3層検出土坑5



図中 番号	登録番号	出土区	出土地 本層	遺物名	発掘層	取上No.	分類	種類	器高・長	口径・幅	底径・厚	特徴・備考	写真図版
1	1c-8	1区	SK-4	無軸陶器	1層		無軸陶器	鉢	5.0	20.0		片口? 13c後半-14c前半	白石窯 45-4
2	1c-9	1区	SK-31	無軸陶器	1層		無軸陶器	鉢				片口? 13c後半-14c前半	在焼 45-5
3	1c-13	1区	SK-36	無軸陶器	1層		無軸陶器	甕				中登 押印	在焼 45-5
4	1d-2	1区	SK-39	施釉陶器	1層		施釉陶器	甕	5.3	7.3		熟化痕 起線 17c	厚塗系(髹高) 47-8

第25図 1区土坑出土遺物（無軸陶器・施釉陶器）



土層No.	土色	土質	備考
層土1	10Y2.5/1 褐色色	シルト質砂	層5-10cm程の鉄分をプロット状に含む。 層10-30cm程の褐色の粘土をプロット状に含む。 層10-30cm程の黒褐色の粘土をプロット状に含む。

第26図 1区3層検出SX-4遺構

のシルト質粘土である。遺物は出土していない。

SK-140土坑 【位置・重複】調査区の中西部で検出された。P-451・453に切られている。

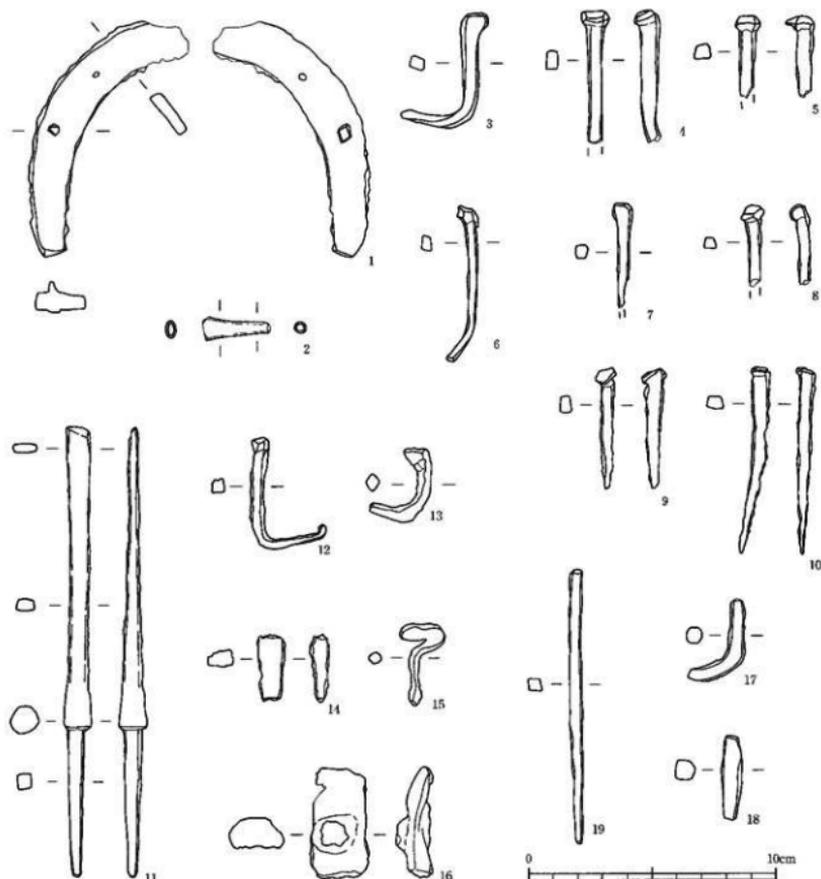
【平面形・大きさ】平面形は東西長軸73cm・南北短軸58cmの楕円形を呈する。

【深さ・断面形】深さは11cmで、断面形は舟底形である。

【堆積土・出土遺物】堆積土は2層に分けられる。1層は暗褐色の粘土質シルトで炭化物を含む。2層はにぶい黄褐色のシルト質粘土で暗褐色土を含んでいる。遺物は出土していない。

SK-141土坑 【位置・重複】調査区の中央部で検出された。他の遺構との重複関係は認められない。

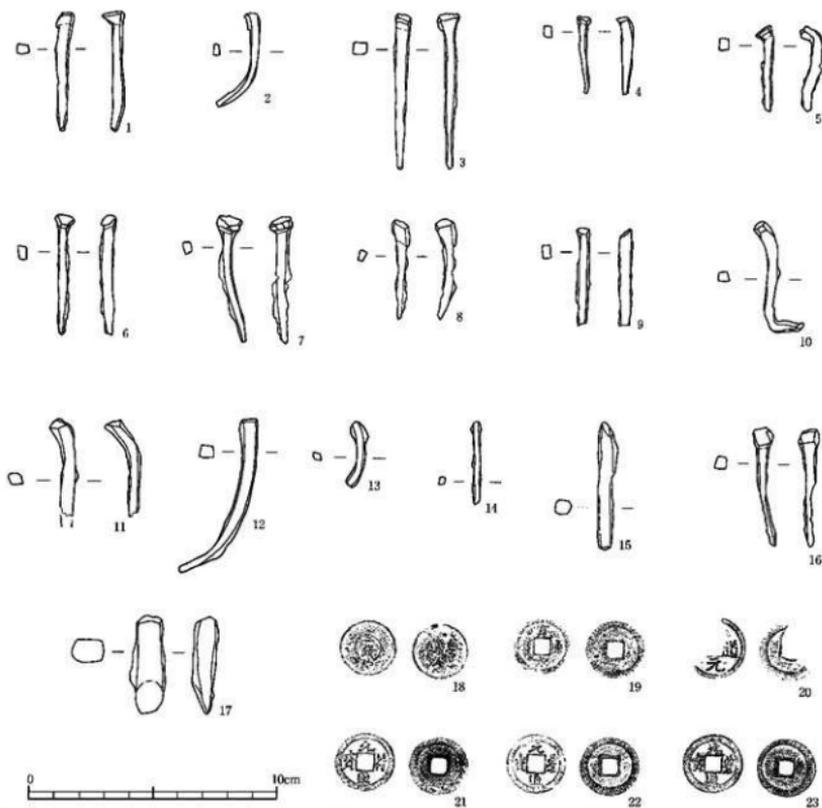
【平面形・大きさ】平面形は東西軸・南北



編年 番号	交絡番号	出土区	基本層	遺構名	遺構階	取上No.	分類	材質	器名・品名	寸法	重量	備考	写真図版
1	N-9	1区	1層				金属製品	鍔鉄	(9.7)	2.0	1.2 J 残存		55-3
2	N-80	1区	1層				金属製品	鍔管	22.8	1.0×0.3	0.1 鋭い口片 (開口部(4×0.5cm))		55-1
3	N-1	1区	1層				金属製品	釘	(4.7)	0.6	0.5 角釘 曲がりあり		56-1
4	N-2	1区	1層				金属製品	釘	(5.4)	0.5	0.5 角釘 先端折れ		56-2
5	N-3	1区	1層				金属製品	釘	(3.4)	0.7	0.7 角釘 先端折れ		56-3
6	N-5	1区	1層				金属製品	釘	(6.4)	0.4	0.6 角釘 曲がりあり		56-4
7	N-4	1区	1層				金属製品	釘	(4.3)	0.5	0.6 角釘 先端折れ		
8	N-6	1区	1層				金属製品	釘	(3.3)	0.5	0.5 角釘 先端折れ		
9	N-8	1区	1層				金属製品	釘	(4.9)	0.5	0.7 角釘		56-5
10	N-7	1区	1層				金属製品	釘	7.6	0.7	0.5 角釘		56-12
11	N-10	1区	2a層				金属製品	鍔	18.4		刀長 12.4 刀厚 1.9 刀先 0.4 刀背 0.6 刀柄 0.7		55-4
12	N-14	1区	2a層				金属製品	釘	(4.7)	0.5	0.5 角釘 曲がりあり		56-6
13	N-15	1区	2a層				金属製品	釘	(3.0)	0.6	0.7 角釘 曲がりあり		56-7
14	N-12	1区	2a層				金属製品	不明	(2.7)	1.1	0.7 鍔状		
15	N-13	1区	2a層				金属製品	不明	(3.3)	0.5	0.5 下唇曲れ		56-9
16	N-11	1区	2a層				金属製品	不明	(5.5)	2.4	1.2 鍔状		55-10
17	N-16	1区	SD-5	1層			金属製品	釘	(3.4)	0.6	0.7 角釘 断面欠損		
18	N-17	1区	SD-5	1層			金属製品	不明	(3.5)	0.8	0.8 角釘?		
19	N-18	1区	SD-5				金属製品	釘	(11.2)	0.5	0.5		56-11

第27図 1区1層・2a層・清跡出土金属製品

第2節 1区の調査概況



図号 番号	登録番号	出土地点			数量・No.	種類	時期	長さ	口径・輪径	厚	特徴・備考	所在関係
		所出区	基本層	遺構名								
1	N-19	1区	SK-4	1層	1	金製製品	釘	(4.0)	0.5	0.2	角釘	56-8
2	N-20	1区	SK-5	1層	1	金製製品	釘	(3.0)	0.3	0.3	角釘 歯がりあり	
3	N-21	1区	SK-9	1層	1	金製製品	釘	(6.4)	0.6	0.3	角釘	56-10
4	N-22	1区	SK-28	1層	1	金製製品	釘	(3.2)	0.3	0.3	角釘	
5	N-23	1区	SK-28	1層	1	金製製品	釘	(3.5)	0.5	0.5	角釘	56-9
6	N-24	1区	SK-28	1層	1	金製製品	釘	(5.0)	0.4	0.6	角釘	
7	N-25	1区	SK-28	1層	1	金製製品	釘	(5.2)	0.4	0.5	角釘	56-13
8	N-26	1区	SK-28	1層	1	金製製品	釘	(4.1)	0.3	0.5	角釘	
9	N-27	1区	SK-28	1層	1	金製製品	釘	(4.0)	0.4	0.6	角釘	
10	N-28	1区	SK-28	1層	1	金製製品	釘	(4.5)	0.5	0.4	角釘 歯がりあり	
11	N-29	1区	SK-28	1層	1	金製製品	釘	(4.0)	0.6	0.5	角釘 先端欠損	
12	N-43	1区	SK-28	1層	1	金製製品	釘	(6.2)	0.6	0.5	角釘 歯がりあり	56-11
13	N-30	1区	SK-44	1層	1	金製製品	不明	(2.7)	0.3	0.3	棒状	
14	N-31	1区	SK-112	1層	1	金製製品	不明	(3.4)	0.2	0.3	棒状	
15	N-32	1区	P-9	1層	1	金製製品	不明	(3.2)	0.7	0.6	丸棒状	
16	N-33	1区	P-141	1層	1	金製製品	釘	(4.8)	0.5	0.5	角釘	
17	N-77	1区	P-445	1層	1	金製製品	不明	(4.0)	1.3	1.0		
18	N-83	1区	1層		1	金製製品	古銭				「一銭」	56-24
19	N-84	1区	1層		1	金製製品	古銭				「寛永通宝」	56-23
20	N-85	1区	1a層		1	金製製品	古銭				「建元」	56-22
21	N-82	1区	1層		1	金製製品	古銭				「光緒通宝」	56-21
22	N-86	1区	SK-4	1層	1	金製製品	古銭				「元豊通宝」	56-25
23	N-87	1区	SK-28	1層	1	金製製品	古銭				「元豊通宝」	56-26

第28図 1区土坑・Pit出土金属製品・古銭

軸とも47cmの不整な隅丸方形を呈する。

【深さ・断面形】深さは8cmで、断面形は舟底形である。

【堆積土・出土遺物】堆積土は黒褐色のシルト1層である。遺物は、須恵器片1点が出土している。

SK-142土坑 【位置・重複】調査区の中央部で検出された。他の遺構との重複関係は認められない。

【平面形・大きさ】平面形は東西軸74cm・南北軸70cmの円形を呈する。

【深さ・断面形】深さは8cmで、断面形は舟底形である。

【堆積土・出土遺物】堆積土は2層に分けられる。1層は黒褐色の粘土質シルトで、炭化物を含む。2層は暗褐色の粘土質シルトである。遺物は、土師器片1点が出土している。

SK-143土坑 【位置・重複】調査区の中央部で検出された。他の遺構との重複関係は認められない。

【平面形・大きさ】平面形は南北軸83cm・東西軸52cmの不整形である。

【深さ・断面形】深さは12cmで、断面形は舟底形である。

【堆積土・出土遺物】堆積土は黒褐色の粘土質シルト1層で、炭化物を含んでいる。遺物は出土していない。

## 5) その他の遺構

SX-4遺構 【位置・重複】調査区の西部で北壁にかかって検出された堅穴状の遺構である。SD-33・34溝跡・SK-112・113・114・117土坑に切られている。

【平面形・大きさ】平面形は東西長軸4.4m以上・南北短軸2.9mで、隅丸長方形であると推測される。遺構は北側にさらに続いている。

【深さ・断面形】深さは20~30cmほどで、床面には掘削具の痕跡と思われる凸凹がある。壁はほぼ垂直に立ち上がる。

【堆積土・出土遺物】堆積土は褐色のシルト質砂の1層で、他の1区検出遺構の堆積土が黒褐色および暗褐色土であるのに対し、比較的基本層3層の土色に近い。褐色および黒褐色の粘土をブロック状に含んでいるため、人為的な堆積と思われる。遺物は、土師器片20点・須恵器片9点・常滑窯の無輪陶器片1点が出土している。

## 第3節 2区の調査概要

### 1 2b層検出遺構

2b層では、柱列1列・獨立柱建物跡6棟・溝跡13条・井戸跡4基・堅穴住居跡1軒・土坑3基・ピット多数が検出されている。

#### 1) 柱列

SA-1柱列 【位置・重複】2区の北側で、調査区の北壁にほぼ平行して調査区を東西に縦断するように検出された。東側はSD-25溝跡と、西側はSE-1井戸跡と重複するが、前後関係は明らかでない。

【配置・方向】検出部は西からP-199・P-208・P-353・(SK-60)・P-253・(SE-8)・P-289・P-296の6個のピットが並ぶ。間隔は西から400cm・410cm・850cm・850cm・420cmである。柱列の方向はN-68°-Wである。

【柱穴・柱痕跡】柱穴は直径20~30cmの円形ないし楕円形である。各ピットとも柱痕跡は検出されなかった。

【出土遺物】遺物は出土していない。

## 2) 掘立柱建物跡

2区2b層では、6棟の建物が復元された。大型の建物3棟と、1間×1間の小さな建物3棟がある。

**S B-7 掘立柱建物跡** 【位置・重複】2区の中央部で検出された。S B-8 掘立柱建物跡の柱穴P-227をP-228が切っていることから、S B-8 掘立柱建物跡より新しいと考えられる。S D-14溝跡・S K-68上坑に切られ、S K-54・57土坑を切る。

【規模・配置・方向】検出部の北東辺で全長10.1m、東南辺で11.1mを測るが、南西側にさらに伸びている可能性がある。方向は北西辺でN-26°-Eである。妻側にあたる北東辺は、S K-54土坑と重複するところに柱穴が存在したとすると、不等間の4間と推定される。桁行きは、東南辺で5間分が検出され、柱間隔は北側2間分が2.4~2.5m・南側3間分が2.0~2.1mである。北西辺は4間分が検出されたが、北側の2間分は、柱間隔が3.6mと長く、南側の2間分は2.0~2.1mである。北西辺の北側の2間は、南東辺の北側3間分に対応する。周仕切は第31図のように想定したが、南東側の1間が庇、南東辺から2間口と北西側の1間分が縁と考えることもできる。

【柱穴・柱痕跡】柱穴の掘り方は、直径30~40cmの円形ないし楕円形である。柱痕跡は直径12cm前後である。

【出土遺物】遺物は土師器(第34図1)を含む土師器片31点と須恵器片1点が出土しているだけである。

**S B-8 掘立柱建物跡** 【位置・重複】2区の中央部南部で検出された。S B-7 掘立柱建物跡の柱穴P-228にP-227が切られていることから、S B-7 掘立柱建物跡より古い。S K-67上坑を切る。

【規模・配置・方向】南北棟建物の北妻部分と考えられる。身舎は2間(全長5.3m)で、北辺と東西両側に庇または縁が付く。検出部の北辺は4間で、全長10.7mを測る。北辺の柱間寸法は2.7m等間である。身舎と庇・縁の間隔は東西側が2.7m、北辺が1.5mである。方向は北辺でN-76°-Wである。

【柱穴・柱痕跡】柱穴の掘り方は、直径25~50cmの円形ないし楕円形である。柱痕跡は直径12~14cmである。

【出土遺物】遺物は、土師器片36点と須恵器片5点が出土しているだけである。

**S B-9 掘立柱建物跡** 【位置・重複】2区の北西部で検出された。S A-11柱列の柱穴を切っている。

【規模・配置・方向】東西・南北とも1間の建物である。東西の柱間寸法4.7m・南北の柱間寸法2.0mで、東西間隔が南北間隔よりも倍以上長い。方向は南辺でN-65°-Wである。S B-9 掘立柱建物跡の柱の配置は、S B-11・S B-10掘立柱建物跡に類似性がある。S B-11掘立柱建物跡とは方向もほぼ一致し、S B-10掘立柱建物跡の方向は約90度振れている。

【柱穴・柱痕跡】柱穴の掘り方は、直径30cm前後の円形ないし楕円形である。柱痕跡は検出されていない。

【出土遺物】遺物は、1個の柱穴から土師器片が2点出土しているだけである。

**S B-10 掘立柱建物跡** 【位置・重複】2区の西部中央で検出された。S D-17溝跡を切っている。

【規模・配置・方向】東西・南北とも1間の建物である。南北の柱間寸法4.6m・東西の柱間寸法2.1mで、南北間隔が東西間隔よりも倍以上長い。方向は南辺でN-22°-Eである。

【柱穴・柱痕跡】柱穴の掘り方は、直径30cm前後の円形ないし楕円形であるが、東南角の柱穴はこれより大きい。柱痕跡は北東と南西の柱穴で検出されている。柱痕跡の直径は、8~10cmである。

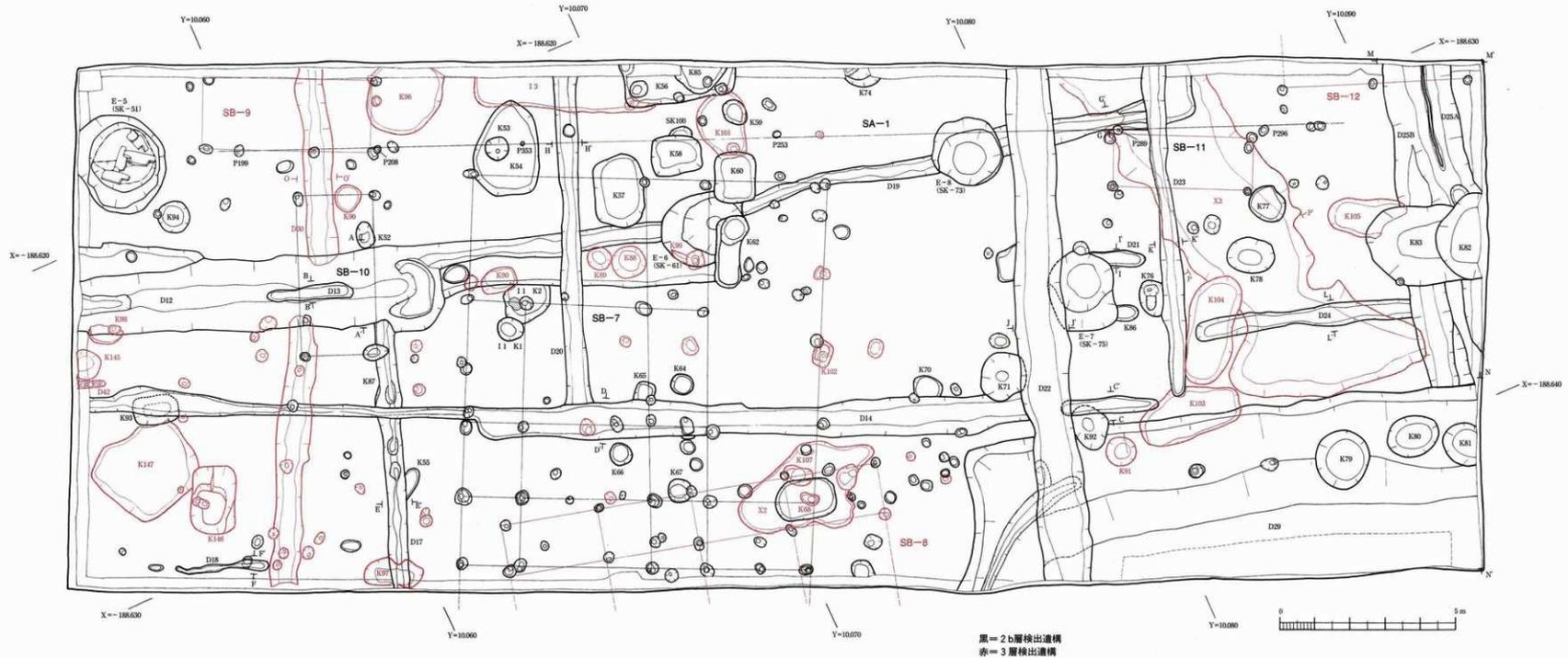
【出土遺物】遺物は、2個の柱穴から土師器片が4点出土しているだけである。

**S B-11 掘立柱建物跡** 【位置・重複】2区の東部北側で検出された。

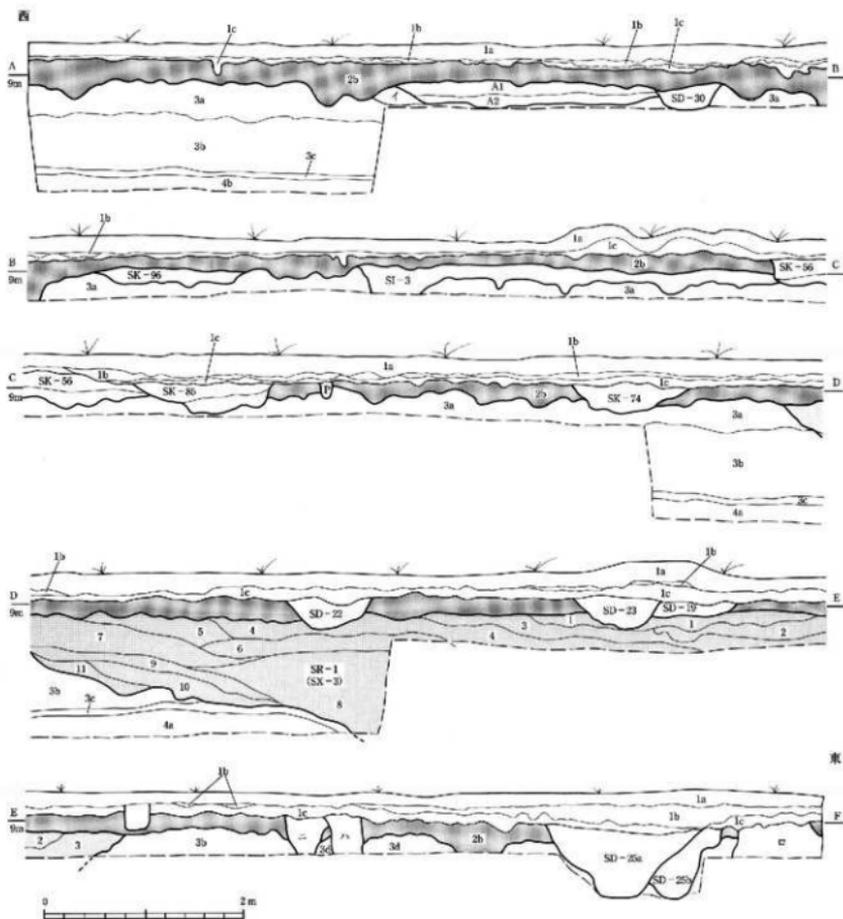
【規模・配置・方向】東西・南北とも1間の建物である。東西の柱間寸法3.9m・南北の柱間寸法1.5mで、東西間隔が南北間隔よりも倍近い。方向は南辺でN-65°-WでS B-9 掘立柱建物跡と同じである。

【柱穴・柱痕跡】柱穴の掘り方は、直径20~30cmの円形である。柱痕跡は南側の2個で検出され、直径は8cm前後である。

【出土遺物】遺物は、合計9点の土師器片が各柱穴から出土している。



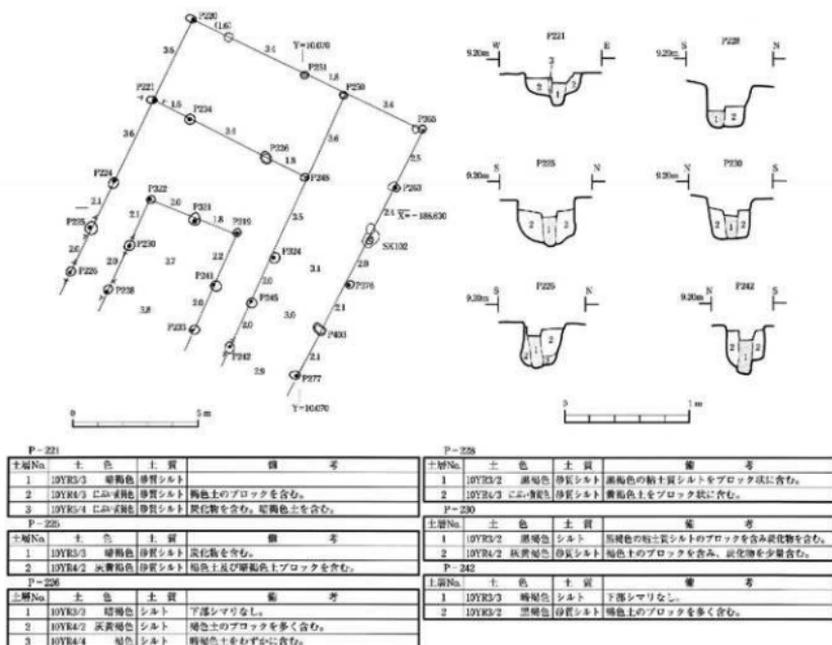
第29図 2区遺構配置図



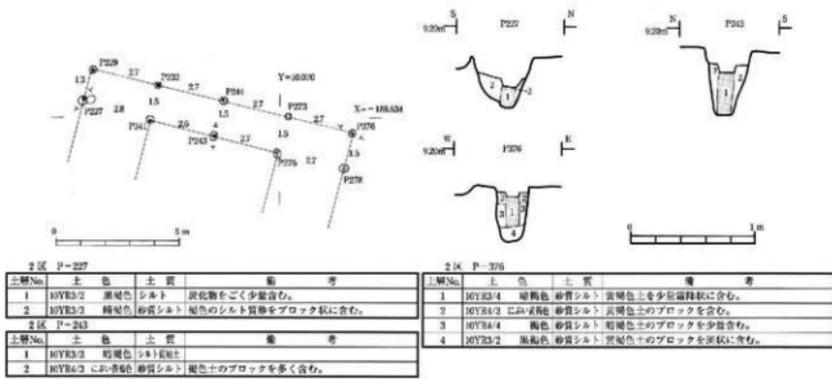
上層No.	土色	土質	備考	上層No.	土色	土質	備考
1a	HOYR4-2 灰云褐色	砂質シルト	酸化鉄を散状に含む。下部に酸化鉄、マンガン浸染。	11	HOYR4-3 C.D.赤褐色	シルト質砂	シルト質砂
1b	2SY6-4 におい黄色	土砂	礫土層	12	HOYR4-4 褐色	シルト	炭化物をわずかに含む。
1c	HOYR3-4 暗褐色	砂質シルト	マンガン鉄を多く含む。堆土以前の耕作土下部。	13	HOYR3-3 暗褐色	砂質シルト	炭化物、礫土をわずかに含む。
2a	HOYR4-2 におい赤褐色	砂質シルト	土砂層、硬巻砂片を多く含む。	SR-1	1 HOYR3-3 暗褐色	シルト	土砂層を多く含む。
2b	HOYR5-4 黄褐色	シルト質砂	地層によっては褐色を出す。基盤は含まれない。	2	10YR5-2 灰黄褐色	土質シルト	土砂層を含む。褐色土、礫粘土上のブロックを含む。
2c	HOYR5-4 におい赤褐色	シルト	砂質土の礫を層を不規則に混入する。	3	10YR5-3 におい赤褐色	砂質シルト	土砂層を多く含む。礫粘土土を少量含む。
3a	SY74-4 におい赤褐色	シルト質砂	酸化鉄を散状に含む。	4	HOYR4-4 褐色	砂質	部分的に10~10mmの礫を含む。
3b	2SY6-3 におい黄色	シルト質砂	シマリ層	5	HOYR4-6 褐色	シルト質砂	
3c	2SY6-2 黄褐色	シルト質砂	シマリ層	6	10YR4-4 褐色	シルト	シルト及び礫砂を散状に含む。
4a	HOYR5-3 におい赤褐色	シルト質砂	黄褐色土、暗褐色土を散状に含む。	7	HOYR4-4 褐色	シルト質砂	
4b	HOYR5-3 におい赤褐色	シルト質砂	黄褐色土を塊状に含む。酸化鉄を含む。	8	HOYR5-4 におい赤褐色	粗砂	小礫、砂鉄を散状に含む。
A1	HOYR5-3 におい赤褐色	シルト質砂	黄褐色土を塊状に含む。酸化鉄を含む。	9	2SY4-4 黄褐色	シルト質砂	砂、シルトを塊状に含む。
α	HOYR4-3 におい赤褐色	砂質シルト	褐色土を塊状に含む。	10	2SY4-2 暗赤黄色	砂	砂鉄を塊状に含む。
α	HOYR5-4 におい赤褐色	砂質シルト	褐色シルトのブロックを含む。	11	HOYR4-3 C.D.赤褐色	シルト質砂	
α	HOYR5-4 暗褐色	シルト	炭土、炭化物を多く含む。				

第30図 2区北壁断面図

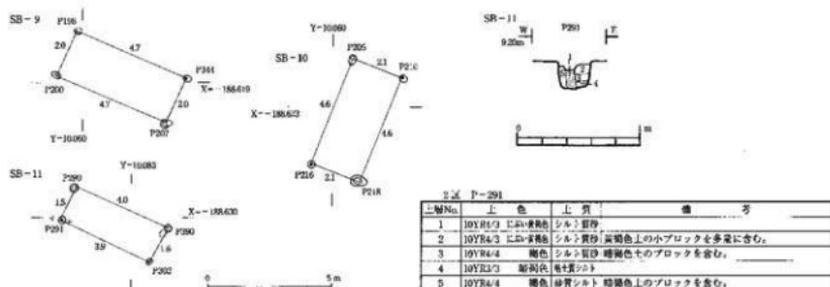
第3節 2区の調査概要



第31図 2区SB-7 掘立柱建物跡



第32図 2区SB-8 掘立柱建物跡



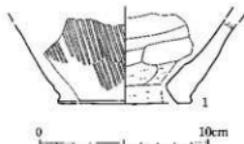
第33図 2区SB-9・10・11掘立柱建物

SB-12掘立柱建物跡 【位置・重複】2区の北東部で検出された。

【規模・配置・方向】掘立柱建物跡の南側柱列の西から2間分が検出された。建物は調査区の北側及び東側に伸びている可能性がある。検出された柱列の全長は5.3mで、柱間寸法は西から2.6mと2.7mである。方向は $N-70^{\circ}-W$ である。

【柱穴・柱痕跡】柱穴の掘り方は、直径25~30cmの円形である。柱痕跡は検出されなかった。

【出土遺物】遺物は、出土していない。



図中の 番号	発掘番号	出土区	基平別	遺構名	遺構No.	出土No.	種別	器種	器高	口径	底径	厚	特徴・留意	写真図版
1	C-20	2区	SB-7	P203			土師器	甕	(5.4)		(8.0)		外周ヘケテ 内面ナデ・ヘケテリ	38-14

第34図 2区掘立柱建物跡出土土器

### 3) 溝跡

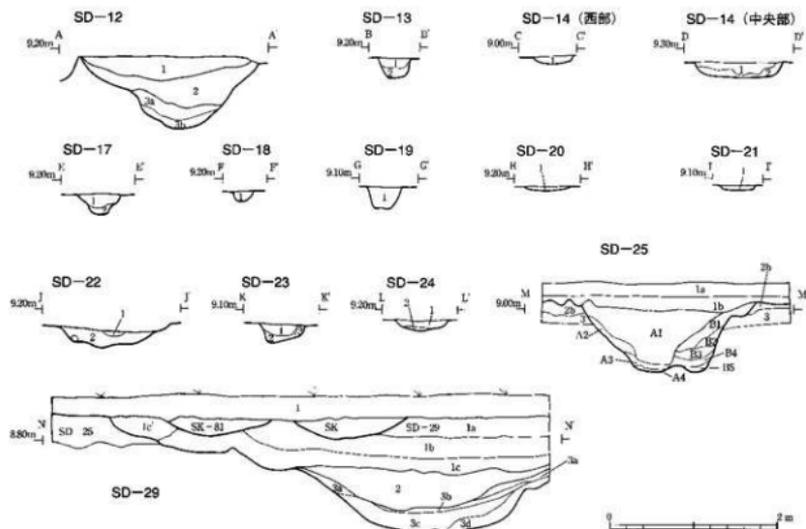
SD-12溝跡 【位置・重複】2区の中央から西壁にかけて検出された。西側は調査区の外にのびている。東側は、調査区西壁から約10mのところから段がついて浅くなる。段から東側は、北端際だけがやや深くなって6mほどのびてSE-6井戸跡に切られる。SE-6井戸跡の東側は、幅の広い部分ののびは不明になるが、狭くてやや深い部分は、多少方向が北に折れるが、SD-19溝跡に続く可能性もある。SK-88・89・98土坑を切り、SD-13・20溝跡・SK-61土坑に切られる。

【方向・幅】幅の広い部分で方向は $N-68^{\circ}-W$ である。幅は広い西部で上面で210cm・底面で50cm前後である。東側の狭い部分は、上面で60cm・底面で30cm前後である。

【深さ・断面形】深さは80cm前後で、西側がやや低くなっている。断面形は不整な舟底形を呈する。

【堆積土・出土遺物】堆積土は人別3層・細別4層に分けられる。層の中ほどは人為的に埋められた可能性がある。遺物は、土師器・須臾器・瓦質陶器・無釉陶器・青磁・石製品・鉄製品・古銭など多数出土している。土師器はD-23・24(第36図9・11)のほか破片多数が出土している。須臾器は40点出土しているがいずれも破片である。瓦質陶器は鉢または甕の破片(1b-1:第36図2)で、16世紀頃のものと考えられる。無釉陶器は、12~13世紀前半のものと考えられる常滑産の片1鉢破片(1c-11:第36図1)をはじめ、常滑産及び県内産の中世陶器が13点出土している。青磁は13~14世紀と見られる龍泉窯産の碗の破片である。石製品は砥石が2点(K-6・11:第69図4・3)出土している。鉄製品は、短い角棒状のもの(N-39:第70図7)である。古銭は照寧元寶と判読不

第3節 2区の調査概要



土層No.	土色	土質	備考
1	10YR4/3 にごみ混入	砂質シルト	炭化物、焼土を多く含む。
2	10YR4/3 にごみ混入	砂質シルト	黄褐色のシルト灰砂をブロック状に多く含む。炭化物、焼土を含む。
3a	10YR4/2 灰黄褐色	砂質シルト	褐色のシルト質砂をブロック状に含む。炭化物を少量含む。炭化鉄の沈殿がみられる。
3b	10YR4/2 灰黄褐色	砂質シルト	褐色のシルト質砂を多数に多量に含む。炭化物を少量含む。炭化鉄の沈殿がみられる。

土層No.	土色	土質	備考
1	10YR3/3 暗褐色	砂質シルト	炭化物、焼土をわずかに含む。
2	10YR3/3 暗褐色	砂質シルト	炭化物を多く含む。焼土をわずかに含む。

土層No.	土色	土質	備考
1	10YR3/4 暗褐色	砂質シルト	褐色土を少量含む。
2	10YR3/3 暗褐色	砂質シルト	褐色土のブロックを多く含む。
3	10YR4/2 にごみ混入	砂質シルト	褐色土のブロックを多く含む。

土層No.	土色	土質	備考
1	10YR3/3 暗褐色	砂質シルト	炭化物、焼土をわずかに含む。
2	10YR3/3 暗褐色	砂質シルト	炭化物を多く含む。焼土をわずかに含む。

土層No.	土色	土質	備考
1	10YR3/3 暗褐色	砂質シルト	褐色土のブロックを含む。
2	10YR4/4 暗褐色	粘土質シルト	黄褐色に層状に分布。

土層No.	土色	土質	備考
1	10YR3/3 暗褐色	砂質シルト	炭化鉄を含む。均質な堆積層。

土層No.	土色	土質	備考
1	10YR4/3 にごみ混入	砂質シルト	炭化鉄を除去に含む。
2	10YR4/3 にごみ混入	砂質シルト	褐色土を少量含む。

土層No.	土色	土質	備考
1a	10YR2/2 灰黄色	シルト質粘土	水田耕作土
1b	25Y6/4 にごみ混入	山砂	露上堆積層
A1	10YR4/3 にごみ混入	砂質シルト	均質な自然堆積層。
A2	10YR4/3 にごみ混入	砂質シルト	炭褐色土のブロックを含む。
A3	25Y4/2 暗灰色	シルト質砂	黄褐色土のブロックを多量に含む。
A4	10YR4/3 にごみ混入	砂	暗褐色土のブロックを含む。
A1	10YR4/3 にごみ混入	砂質シルト	黄褐色土の小ブロックを層状に含む。
B1	10YR4/4 暗褐色	砂質シルト	褐色土をわずかに含む。
B2	10YR4/2 暗褐色	砂質シルト	褐色土のブロックを少量含む。
B3	10YR4/4 暗褐色	砂質シルト	黄褐色土のブロックをわずかに含む。
B4	10YR4/4 暗褐色	シルト質砂	黄褐色土を層状に含む。
B5	10YR4/3 にごみ混入	砂質シルト	暗褐色土をブロック状に少量含む。
3	10YR4/4 暗褐色	シルト質砂	

土層No.	土色	土質	備考
1	10YR3/3 暗褐色	シルト	均質な黄褐色。
2	10YR3/2 暗褐色	シルト	褐色土を少量含む。

土層No.	土色	土質	備考
1	25Y4/2 暗灰色	砂質シルト	水田耕作土下に10cm前後の黄褐色山砂の露上
1a	10YR4/3 にごみ混入	砂質シルト	小塊を含む。均質な土壌。
1b	10YR4/2 灰黄褐色	砂質シルト	ほぼ均質な土壌で、炭化鉄を層状に含む。
1c	10YR3/2 暗褐色	砂質シルト	炭化物、黄褐色土の小ブロックをわずかに含む。
1c'	10YR4/3 にごみ混入	砂質シルト	炭化物をわずかに含む。
2	10YR3/3 暗褐色	シルト質砂	黄褐色土のブロック、砂、焼土を多く含む。
3a	10YR4/2 灰黄褐色	砂質シルト	暗褐色土、明黄褐色土を層状に含む。
3b	10YR2/3 暗褐色	粘土	褐色土をわずかに含む。
3c	10YR4/2 灰黄褐色	砂質シルト	暗褐色、砂質シルト、明黄褐色土のブロックを含む。
3c'	10YR4/2 灰黄褐色	粘土	褐色土を層状に含む。

土層No.	土色	土質	備考
1	10YR3/2 暗褐色	シルト	炭化物を多量に含む。

土層No.	土色	土質	備考
1	10YR4/3 にごみ混入	砂質シルト	黄褐色土を層状に含む。

土層No.	土色	土質	備考
1	10YR4/3 にごみ混入	砂質シルト	黄褐色土を層状に含む。

土層No.	土色	土質	備考
1	10YR4/4 暗褐色	砂質シルト	黄褐色土のブロックを含む。焼土、炭化物を少量含む。

第35図 2区 2b層検出満跡断面

明のもの1点(N-89・90:第71図17・18)である。無軸陶器の13点中12点は3層から出土し、瓦質陶器は1層からの出土である。

**SD-13溝跡** 【位置・重複】2区の西部でSD-12溝跡の堆積土上面で検出された。

【方向・幅】検出された溝跡の全長は2.5mで、方向はN-68°-Wである。幅は上面で40cm・底面で28cm前後である。

【深さ・断面形】深さは25cmで、断面形は、上部の開いたU字形を呈する。

【堆積土・出土遺物】堆積土は2層に分けられる。遺物は土師器片26点と、在地のものともみられる無軸陶器の小破片が1点出土している。

**SD-14溝跡** 【位置・重複】2区の中央から西部の南側で、調査区を縦断するように検出された。西は調査区の外にのび、東はSD-23溝跡とL字状に接しそうな地点で立ちあがる。SB-7掘立柱建物跡に関する柱穴及びSD-17・20溝跡・SK-65・70・78・92・93・103土坑を切り、SD-22溝跡・SK-71土坑に切られている。

【方向・幅】溝の方向はN-67°-Wである。東と西とで幅が異なり、東側は広く上面幅75cm・底面幅40cmである。西側は狭くなっており上面幅15cm・底面幅8cm前後となる。

【深さ・断面形】深さは18cm前後で、断面形は舟底形を呈する。

【堆積土・出土遺物】堆積土は2層に分けられる。遺物は土師器片140点・須恵器片9点・常滑窯と県内産の無軸陶器片各1点・灰軸陶器片1点・鉄軸の鐮鉢片1点(I d-3:第36図3)・肥前磁器片1点・古瓦1点・鉄滓1点・古銭「紹聖元寶」1点(N-5:第71図19)が出土している。鉄軸鐮鉢は、18世紀代の製品と考えられる。

**SD-15・16欠番**

**SD-17溝跡** 【位置・重複】2区の西部の南側で検出された。南は調査区の外にのび、北はSD-12溝跡と直角に接しSD-12溝跡の北側にはのびない。SK-55・87・97土坑を切り、SD-12・14溝跡に切られている。

【方向・幅】溝の方向はN-19°-Eである。上面幅は約50cm・底面幅は15cm前後である。

【深さ・断面形】深さは25cmで、断面形は不整形で底面に凹凸がある。

【堆積土・出土遺物】堆積土は2層に分けられる。遺物は土師器片76点・須恵器片8点のほか角釘の破片と考えられる鉄製品が1点(N-40:第70図8)出土している。

**SD-18溝跡** 【位置・重複】2区の西部の南端で検出された。

【方向・幅】溝の方向はN-69°-Wである。上面幅は約15~30cm・底面幅は10cm前後である。西側で一度途切れて短い溝に繋がる。検出部の全長は3.5mである。

【深さ・断面形】深さは10cmで底面に細かな凹凸がある。断面形はU字形を呈する。

【堆積土・出土遺物】堆積土は黒褐色のシルト1層である。出土遺物はない。溝底面の状況から、上層の畑に伴う耕作痕跡の可能性が高い。

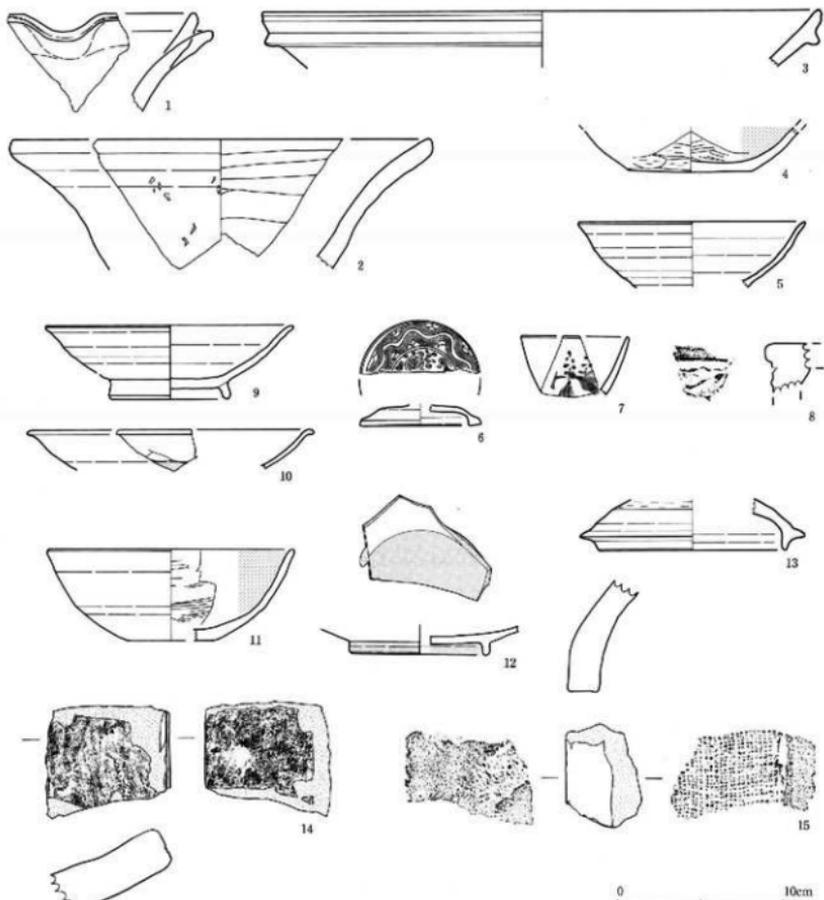
**SD-19溝跡** 【位置・重複】2区の中央北部で検出された。西はSE-6井戸跡に切られ、北側は調査区の外に伸びる。2層検出の遺構では切っているものはなく、SA-1柱列に伴うP-289柱穴及びSE-8井戸跡・SD-22・23溝跡に切られている。

【方向・幅】溝の方向は、SE-6井戸跡からSD-23溝跡との交点付近までは、わずかに蛇行しながらN-78°-Wの方向にのび、溝跡との交点付近で北に折れている。上面幅は30~80cmあり不均一である。

【深さ・断面形】深さは断面位置で27cmで、底面には多少凹凸がある。断面形は概ね逆台形を呈する。

【堆積土・出土遺物】堆積土は1層である。遺物は土師器片55点・須恵器片4点が出土している。

**SD-20溝跡** 【位置・重複】2区の中央北部でSD-14溝跡の北側だけで検出され、SD-14溝跡より南側にはのびない。SD-12溝跡を切り、SD-14溝跡に切られている。SB-7掘立柱建物跡と重複しているが前後関係



河内 発跡番号	池上区 基本層	遺物名	遺物層	取上No.	分類	器種	高さ・長	口徑・幅	底径・寸	特徴・備考	写真掲載	
1	2区	SD-12	1層		無蓋陶器	片口鉢				3区→3区南平?	45-11	
2	2区	SD-12	1層		瓦管土器	片口鉢	7.9	25.2		内面染化物付着 18c	45-8	
3	2区	SD-14	1層		海部陶器	環鉢	3.4	33.8		表面(内外面) 18c?	45-9	
4	2区	SD-17	1層		土器器	環	(2.4)		7.4	内面・裏面にヘラケズリ、内面ヘラケズリ、見取縁、3区南平ヘラケズリ	47-9	
5	2区	SD-30	1層		無蓋器	環	4.0	13.8		内外面に口口腐食		
6	2区	SD-22	1層		磁器	鉢	1.5	7.3		染付 18c	48-5	
7	2区	SD-22	1層		磁器	鉢	3.5	6.5		染付 銅文 18c?	48-5	
8	2区	SD-22	1層		平瓦	軒平瓦	3.0	2.5			48-5	
9	2区	SD-12	1層		土器器	片口鉢	4.5	15.0	6.9	内外面に口口腐食 底部斜乾糸切	41-6	
10	2区	SD-23	1層		練土陶器	碗				灰層陶器 染付 染付付	45-11	
11	2区	SD-12	1層		土器器	環	5.6	(15.0)	(4.8)	内面ヘラミダキ 染色処理 表面灰乾糸切		
12	2区	SD-24	1層		練土陶器	碗				灰層陶器 二日月高台 ハケ塗	48-10	
13	2区	SD-25	B層		磁器	鉢	3.1	7.1	2.2	2.6	外周に斜乾糸ヘラケズリ 内面に口口調整	43-10
14	2区	SD-25	B層		神瓦	内代瓦	6.8	7.5	3.6	内外面に目ものナシ	44-2	
15	2区	SD-25	A層		神瓦	古瓦	6.3	4.6	2.0	内外面に目 凸面瓦タキのちナシ	44-1	

第36図 2区溝跡出土遺物(土師器・須恵器・瓦・陶器・磁器)

係は不明である。

【方向・幅】溝の方向は、N-20°-Eである。上面幅は54cm・底面幅は34cmほどである。

【深さ・断面形】深さは5cm前後と浅く、断面形は舟底形である。

【堆積土・出土遺物】堆積土は1層である。遺物は坏E-2（第36図5）を含む須恵器片が4点出土している。

SD-21溝跡 【位置・重複】2区の東部中央のSE-7井戸跡の北側で長さ約1.6mだけ検出されたが、堆積土と深さの類似性から、SD-22溝跡の西側の遺構に連続する可能性がある。西側はSE-7井戸跡に切られている。

【方向・幅】溝の方向は、N-67°-Wである。上面幅は40cm・底面幅は30cmである。

【深さ・断面形】深さは5cmと浅い。断面形は舟底形である。

【堆積土・出土遺物】堆積土は1層である。遺物は土師器片が4点出土しているだけである。

SD-22溝跡 【位置・重複】2区の東部で調査区を南北に横断して検出された。関係する遺構の中では最も新しく、SE-7井戸跡・SD-14・19・29溝跡・SK-71・72土坑など全ての遺構を切っている。

【方向・幅】溝の方向は、N-22°-Eである。上面幅は断面実測位置で128cm・底面幅は80cmほどで、全体的には同じ幅である。

【深さ・断面形】深さは25cm前後と浅く、断面形は不整な舟底形である。

【堆積土・出土遺物】堆積土は2層に分けられる。遺物は土師器片21点・須恵器片3点・近世の軒平瓦片1点（G-2：第36図8）・渥美産1点と県内産3点の無軸陶器・肥前産2点（J-6・7：第36図6・7）を含む磁器片5点・釘と見られる鉄製品1点（N-41：第70図9）が出土している。肥前産磁器の蓋J-6は19世紀頃、碗J-7は18世紀頃と考えられる。

SD-23溝跡 【位置・重複】2区の東部で南北にのびて検出された。SD-14溝跡と東端と近接する所で途切れる。SD-19溝跡・SK-76土坑を切っている。

【方向・幅】溝の方向は、N-18°-Eである。上面幅は断面実測位置で54cm・底面幅は25cmで、部分的に若干の広狭の差がある。

【深さ・断面形】深さは24cm前後である。断面形は不整な逆台形である。

【堆積土・出土遺物】堆積土は3層に分けられる。遺物は土師器片114点・須恵器片14点のほか、東海産の灰釉陶器片1点（I d-13：第36図10）と板状の鉄製品が1点（N-42：第70図10）が出土している。I d-13は、外反りの碗で、外面には3回の釉薬の漬け掛けの痕跡が観察される。

SD-24溝跡 【位置・重複】2区の東部中央で東西にのびて検出された。東側はSD-25溝跡に切られ、西側はSD-23溝跡と近接したところで立ちあがる。

【方向・幅】溝の方向は、N-78°-Wである。上面幅は断面実測位置で64cm・底面幅は43cmである。

【深さ・断面形】深さは11cmで、幅の割りに残存部は浅い。断面形は舟底形である。

【堆積土・出土遺物】堆積土は2層に分けられる。遺物は土師器片20点・須恵器片2点及び東海産の灰釉陶器片1点（I d-12：第36図12）が出土している。

SD-25溝跡 【位置・重複】2区の北東角で南北にのびて検出された。SD-24溝跡を切り、南側をSD-29溝跡に、検出部の中央をSK-82・83土坑に切られる。前後2時期あり、西側が新しい。

【方向・幅】溝の方向は、N-20°-Eである。調査区北壁断面で新期の上面幅は170cm・底面幅は40cmである。古期の上面幅は不明であるが、底面幅は25cm前後である。

【深さ・断面形】深さは新期・古期とも北壁で75cm程である。断面形は両期とも逆台形である。

【堆積土・出土遺物】堆積土は、新期が4層・古期が5層に分けられる。遺物は土師器片155点・返りのある壺（R-3：第36図13）を含む須恵器片23点・中世の常滑産無軸陶器片4点・東海産の灰釉陶器片3点・古瓦2点

(F-1・G-3：第36図14・15)が出土している。

SD-29溝跡 【位置・重複】2区の南東部で検出された。大きな溝の角の部分にあたる。SD-25溝跡を切り、SD-22溝跡・SK-79・80・81・92土坑に切られる。

【方向・幅】溝は、調査区の東壁からN-70°-Wの方向で約15m東にのび、そこからほぼ直角に南方に折れる。上面の幅は5m以上ある。溝の上部は50~60cmの深さで1段下がり、幅2m前後のテラス状に平坦面が形成され、この部分に1層が堆積している。溝本体は、そこから80cm下がって底面となる。底面の幅は150cm前後ある。

【深さ・断面形】検出面からの深さは140cm程である。断面形は不整な舟底ないし逆台形である。

【堆積土・出土遺物】堆積土は、大別3層・細別8層に分けられる。遺物は土師器片228点・須恵器片11点・土師質土器1点・瓦質陶器片20点・中世の常滑産無軸陶器片3点・県内産無軸陶器片1点・美濃産陶器片1点・灰軸陶器細片3点を含む施軸陶器片4点・磁器片1点・古瓦2点・石硯片1点(K-7：第69図5)などの石製品の破片4点・鉄製品片1点・鉄滓2点などが出土している。これらの遺物は、常滑産の無軸陶器片のうち1点が2層中から出土している他はいずれも1層からの出土品である。

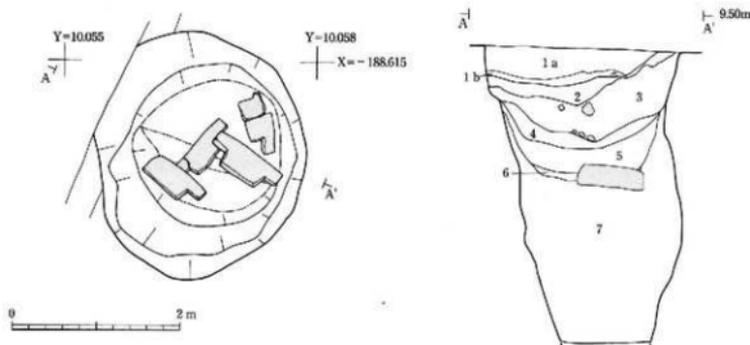
#### 4) 井戸跡

SE-5井戸跡(SK-51) 【位置・重複】2区の北西角で検出された。SA-1柱列と重複するが前後関係は不明である。

【平面形・大きさ・施設】平面形は略円形を呈し、検出面で東西軸2.5m以上・南北軸2.9mを測る。底面は検出していない。調査範囲内では井戸枠に関する施設はない。ただし、後述する井戸枠の上部に関係すると考えられる石材が出土している。

【深さ・断面形】検出面から3.5mの深さまで掘り下げたが底面に至らなかった。壁面上部は崩落による凹凸が生じている。断面形は下部に移行するにしたがって狭くなる。

【堆積土・出土遺物】堆積土は調査部分で7層に分けられた。1層から7層上面までは、遺構の時期と関係すると考えられる遺物が多く出土したが、7層中からの遺物は土師器・須恵器となる。3・4層、特に4層からは木製品



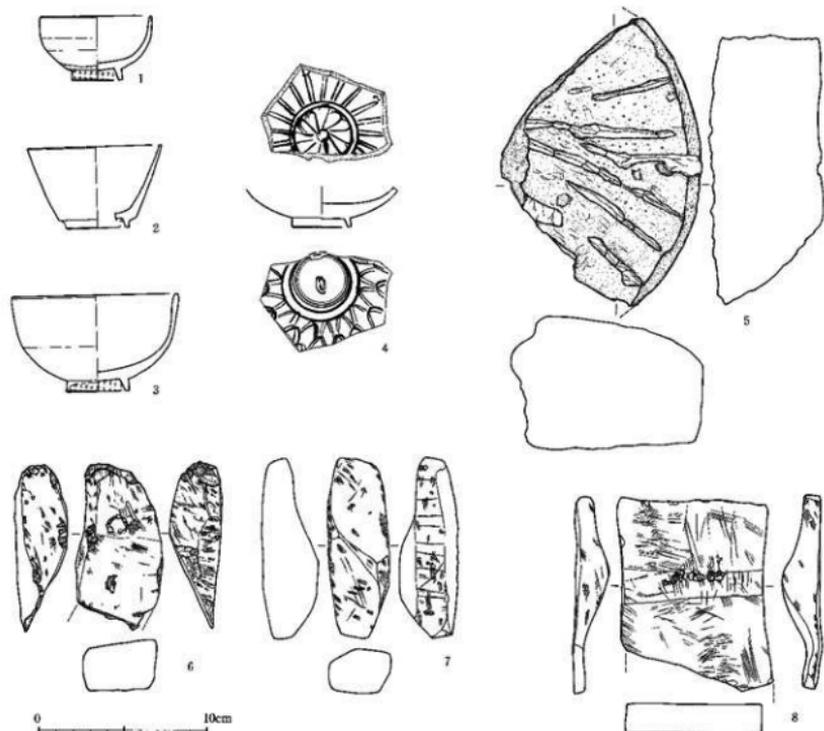
SE-5 (SK-51)

土層No.	土色	土質	備考	土層No.	土色	土質	備考
1a層	19YR3/3	暗褐色 砂質シルト	褐色、灰褐色のブロックを含む。	4層	10YR2/1	無彩色 シルト	3層にみられる石がみられなくなる。
1b層	19YR3/3	暗褐色 砂質シルト	褐色色のブロックを含むが、1a層より少ない。	5層	7.5Y2/1	無彩色 シルト	4層がアイロしたものと考えられる。
2層	19YR3/4	褐色 砂質シルト	1層以上に灰褐色のブロックが多く含む。また磁器7079A&Bを含む。	6層	7.5Y2/1	無彩色 砂質シルト	クミナ波に露出含む。
3層	19YR3/2	黒褐色 シルト層砂	褐色ブロックを含む。また19Y10-23cm層の石を含む。	7層	7.5Y4/1	暗褐色 砂	暗褐色の瓦上ブロックを1ヶ所に含む。遺跡上?

第37図 2区2b層検出SE-5 (SK-51) 井戸跡

が多く出土している。主な出土遺物には大塚相馬系の碗・杯 (I d-9~11: 第38図1~3)・肥前の染付碗 (J-14: 第38図4)・石臼 (K-22: 第38図5)・砥石 (K-3・4・221: 第38図6~8)・黒地に朱漆で「丸に菱形文」の両かれた漆器椀 (L-12: 第42図1)・連函下駄 (L-2: 第42図2)・容器円板 (L-8: 第42図4)・桶側板 (L-4~7: 第42図9~12)・不明木製品 (L-1・3・11: 第42図3・5・8)・竹材 (L-9・10: 第42図6・7)・鉄製品 (N-44~51: 第43図) などがある。大塚相馬系の碗・杯及び肥前の染付碗はいずれも18世紀代の製品と考えられる。

上記の遺物の他、煤の付着した石材と切石の石材も出土している。煤付着石材 (K-23・24: 第39図1~4)は、凝灰岩を素材としている。鑿による加工の痕跡が部分的に残り、円形及び方形の面や突起を作り出している。割れ



図中 番号	発跡番号	出土位置			分層	用途	材質	長さ	幅	厚	重量	備考	年代
		出+区	基本層	遺構名									
1	I d-9	2区	SE-5	4層	陶器	碗	4.0	6.6	2.9	白磁	18c. 授手以降	大塚相馬	
2	I d-11	2区	SE-5	2層	陶器	小杯	5.0	7.9	3.7	灰 磁	18c.	大塚相馬	47-4
3	I d-10	2区	SE-5	1~2層	陶器	碗	5.9	10.0	3.6	灰 磁	18c.	大塚相馬	47-3
4	J-14	2区	NK-5	3層	陶器	碗	2.5	3.6	0.4	染付(網目文)	18c.	肥前	48-7
5	K-22	2区	SE-5	1層	石製品	石臼	17.6	12.0	8.2	下口表面に煤状の磨痕を全残す。			49-2
6	K-3	2区	SE-5	4層	石製品	砥石	10.2	5.2	2.9	両面及び右側面同形。片側中央部、片側加工痕跡			50-1
7	K-4	2区	SE-5	2層	石製品	砥石	11.1	3.6	3.4	1面鏡面。片側先少部磨削加工痕跡。中央~端部摩滅			50-2
8	K-9	2区	SE-5	3層	石製品	砥石	12.0	9.0	2.2	4面鏡面。片側中央~端部著しく摩滅。厚削			50-3

第38図 2区SE-5 (SK-51) 井戸跡出土陶器・磁器・石製品

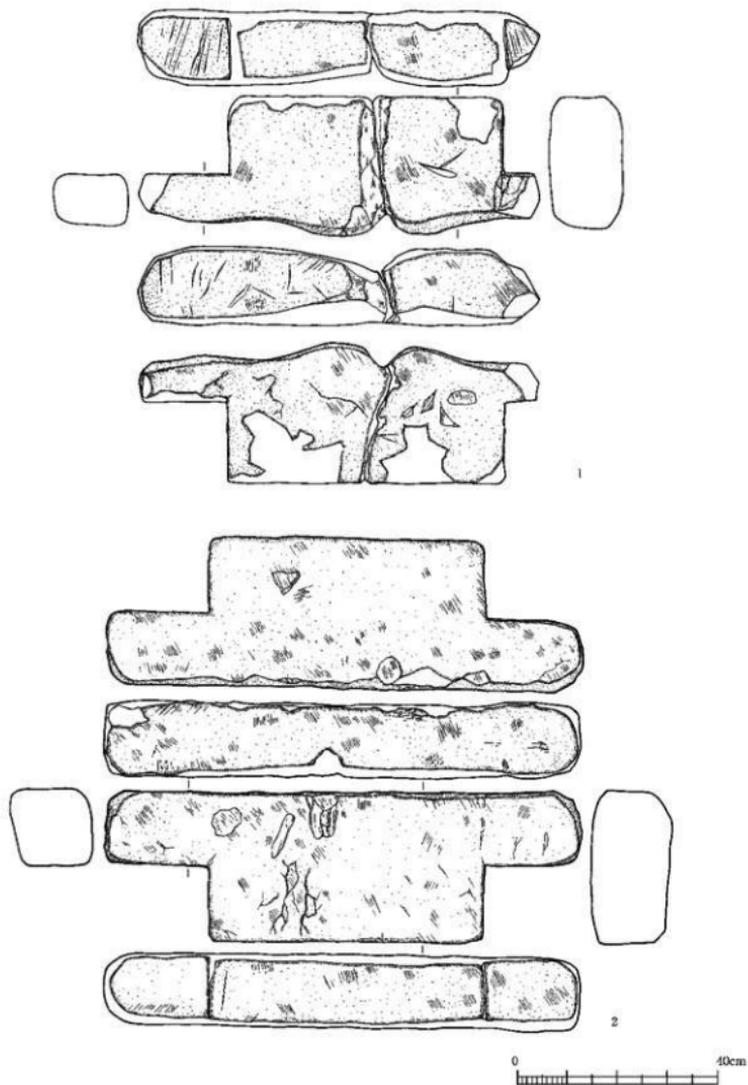
で破片となる前に火を受けており、部分的に煤が付着している。破片の大きさや受熱・煤付着の状況から、石製のカマドの破片である可能性が考えられる。

切石石材は凝灰岩製ではほぼ同形のもの4点ある（K-25～28：第40・41図）。完全なもの（K-25）は、長さ約96cm・幅約30cm・厚さ16cm前後で、片側の側面を幅の1/2ほどの深さで両端から18～20cm長さで切り取ってT字状の形に加工したものである。K-25（第40図2）は、最も保存状態の良いものである。側面が切り取られておらず長い側（長側面）と、切り取られて短い側（短側面）を比較すると、長側面側の角の風化が進んでいる。長側面の中央付近の角から片面の一部にかけては、浅い溝状の加工痕跡がある。K-26（第41図1）は、短側面の風化が進んでおり、さらに短側面の片側の端部が削られて突起部との段差が低くなっている。比較的保存状態の良い片面には、線状の×形の描画痕跡がある。K-27（第41図2）は、片方の突起状の端部を欠損する。短側面は角の部分を中心に風化が進んでいる。片面に線状の×形の描画痕跡がある。K-28（第40図1）は、片方の突起状部分が短くなっている。長側面は全体に磨ったような摩滅があり、側面の縦中軸線が高く、両面の角に向かって低くなっている。また長側面の中央は、山形に高くなりその山の頂部が谷状に窪んでいる。この谷状の部分に対応して、石材の片側の面が溝状に擦り減っている。これらの石材は、長側面と短側面を交互に上下になるように組合せて、方形の枠を形成するための石材と考えられる。組合せた場合、内法が55cm前後、外寸が約90cm程度となり、長側面の先端が僅かに飛び出すような形状となる。K-28の長側面及び片面における溝状の窪みは、ロープ状の紐磨れの痕跡と観察される。このような紐磨れの成因は、出土場所が井戸ということもあり、井戸の水を汲み上げる際にロープで擦られたことによるものと考えられる。したがって、この石材は、井戸枠に関係するものと判断される。



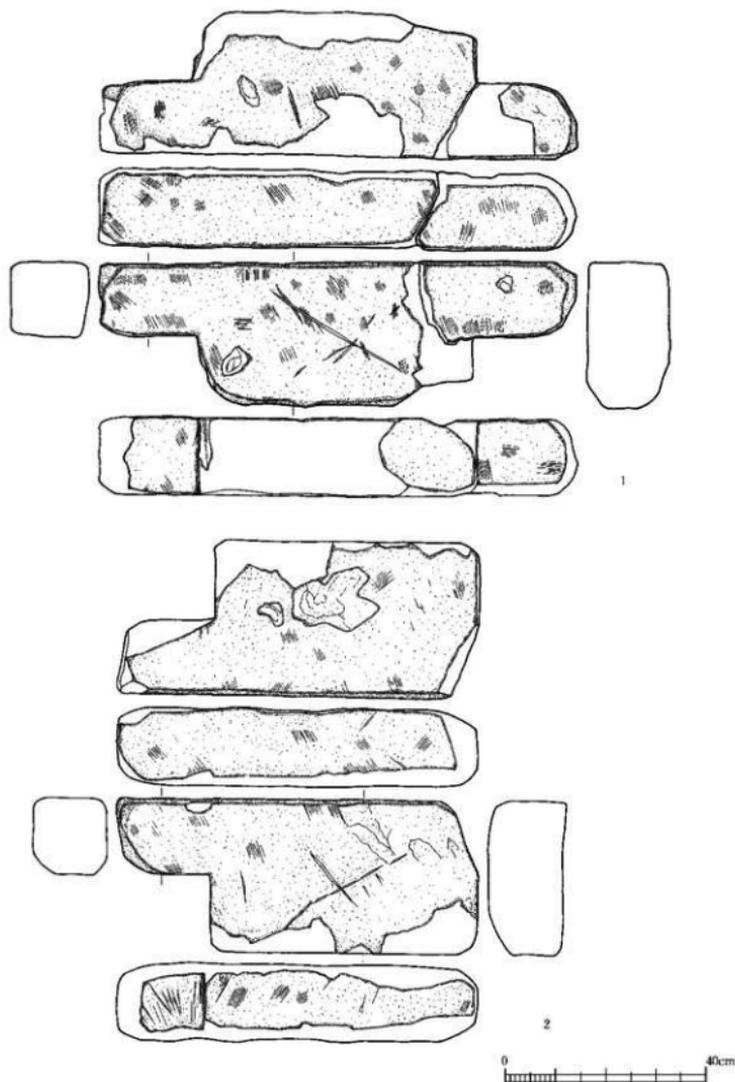
図中 番号	登録番号	出土 区	基層	遺構	遺構層	取上No.	種類	用途	測定 長さ	幅	厚さ	特徴・備考	写真 図録
1	K-25A	2区	SE-5	7層			石製品	不明	(10.6)	(15.0)	8.2	下下石脚欠損。表面に加工。残存部黒色化	
2	K-25C	2区	SE-5	7層			石製品	不明	10.9	12.9	9.2	下面両側面欠損。全体に磨滅。残存部黒色化	51-7
3	K-27B	2区	SE-5	7層			石製品	不明	10.1	11.4	7.1	表面大部分欠損。表面に加工。残存部黒色化	
4	K-28	2区	SE-5	3層			石製品	不明	15.9	13.3	11.6	下面・側面欠損。表面に加工。上面表面に磨滅黒色化	51-8

第39図 2区SE-5 (SK-51) 井戸跡出土石材1



図中 番号	記録番号	出土点				出土No.	分類			用途			材質・備考 (調整・乳色・素材・経緯・木取・炭地・貯蔵)	写真図録
		出土区	基本層	遺物名	特徴		種別	器種	器高・長	口径・幅	底径・型			
1	K-28	2区	SE-5	7層	No.34	石製品	井戸枠?	80.0	28.8	16.0	表面中央、伊蓋痕あり、加工痕残存、全面磨後残す	52-1		
2	K-25	2区	SE-5	7層	No.33	石製品	井戸枠?	90.0	30.8	16.0	表面中央、経緯痕あり、加工痕残存、全面磨後残す	52-2		

第40図 2区SE-5 (SK-51) 井戸跡出土石材2



図中 番号	発掘番号	出土区	基本層	調査名	遺物番号	出土No.	分類	材質	長さ	幅	厚さ	重量	特徴・備考	写真版		
1	K-26	2区		SE-5	7層	No.32	石製品	井戸物?	95.6	29.2	16.8	16.8	16.8	16.8	16.8	53-1
2	K-27	2区		SE-5	7層	No.31	石製品	井戸物?	72.4	31.6	14.8	14.8	14.8	14.8	14.8	53-2

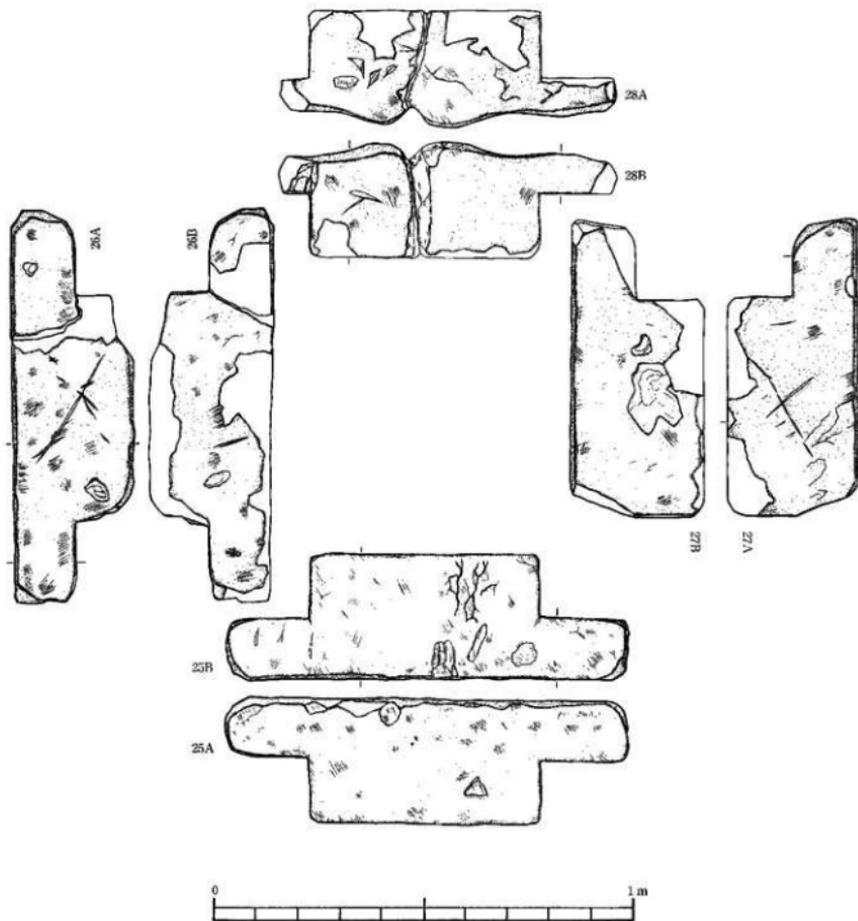
第41図 2区SE-5 (SK-51) 井戸跡出土石材 3

各石材の組合せについては、摩滅状態や線画の状況から第44図のようにK-25とK-28が長側面を上にして対面し、K-26とK-27が短側面を上にして組んだものと推察される。

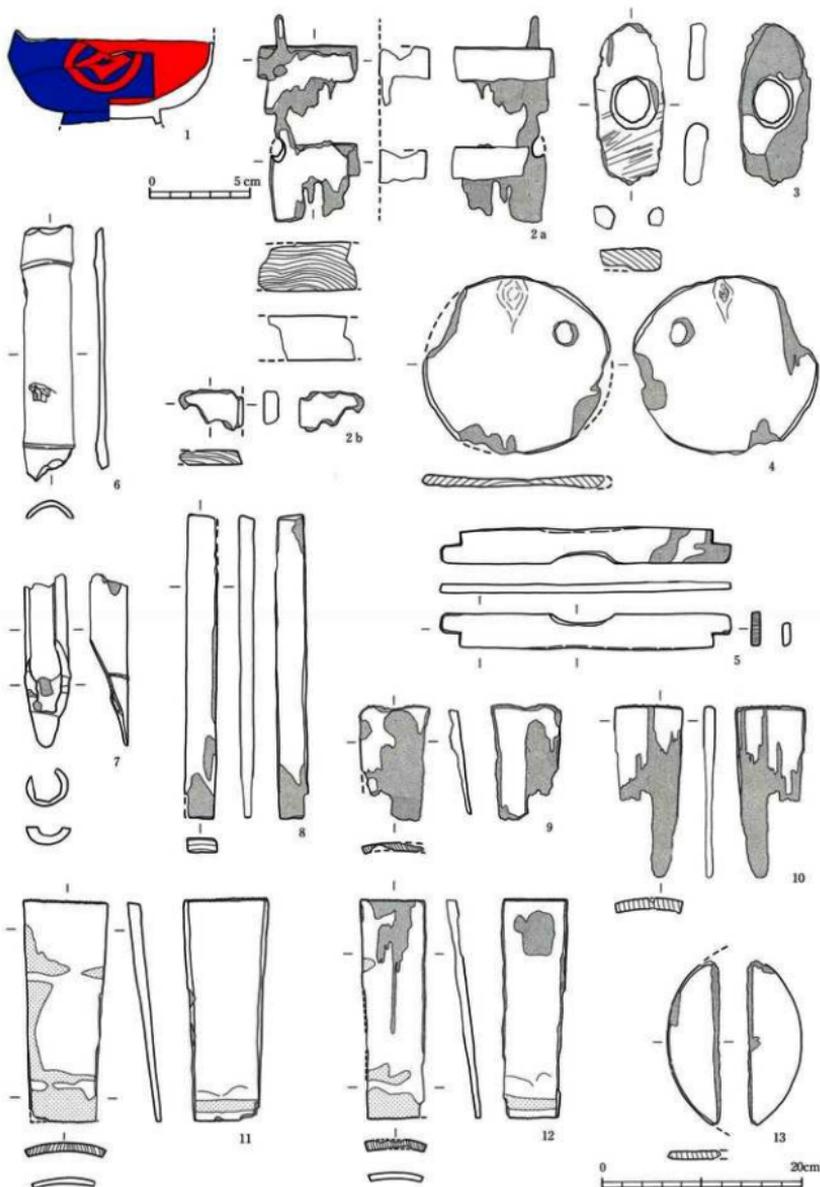
SE-6井戸跡(SK-61) 【位置・重複】2区中央やや北側で検出された。SD-19溝跡を切り、SK-60・62土坑に切られる。

【平面形・大きさ・施設】平面形はやや東西に長い略円形を呈し、検出面で東西軸2.5m・南北軸2.1mを測る。素掘りの井戸で井戸枠等の施設はない。

【深さ・断面形】検出面から底面までは深さは1.7mある。壁面は上部が部分的に崩落している。断面形は逆台形



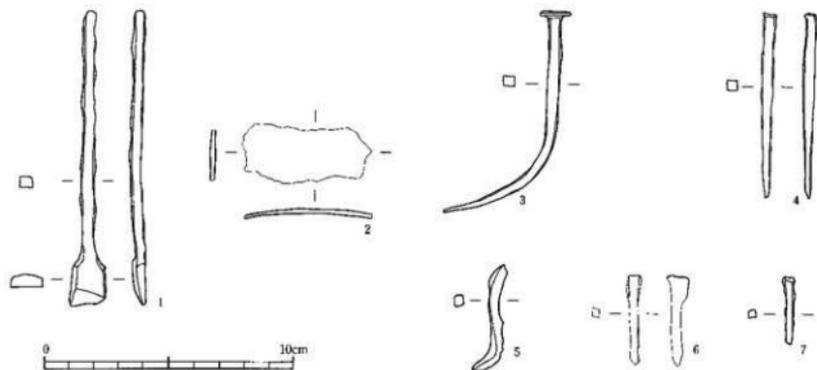
第42図 SE-5 (SK-51) 井戸跡出土石材の組み合わせ推定図



第43図 SE-5 (SK-51)・SE-8 (SK-73) 井戸跡出土木製品類

第43図 観察表

図中番号	遺跡番号	出土地点				分類	法		用途・備考	写真掲載
		出上区	品名	遺物名	取上No.		製法	用途		
1	L-12	2区	基本層	遺物名	取上No.	木製品	製法	用途	写真掲載	
2	L-2	2区	SE-5	3層	木材 No.23	木製品	製法	用途	写真掲載	
3	L-3	2区	SE-5	3層	木材 No.24	木製品	製法	用途	写真掲載	
4	L-8	2区	SE-5	4層	木材 No.28	木製品	製法	用途	写真掲載	
5	L-10	2区	SE-5	4層	木材 No.19	木製品	製法	用途	写真掲載	
6	L-10	2区	SE-5	4層	木材 No.8	木製品	製法	用途	写真掲載	
7	L-9	2区	SE-5	4層	木材 No.31	木製品	製法	用途	写真掲載	
8	L-1	2区	SE-5	4層	木材 No.18	木製品	製法	用途	写真掲載	
9	L-7	2区	SE-5	4層	木材 No.29	木製品	製法	用途	写真掲載	
10	L-4	2区	SE-5	4層	木材 No.9	木製品	製法	用途	写真掲載	
11	L-6	2区	SE-5	4層	木材 No.7	木製品	製法	用途	写真掲載	
12	L-5	2区	SE-5	3層	木材 No.27	木製品	製法	用途	写真掲載	
13	L-14	2区	SE-8	3層	No.無し	木製品	製法	用途	写真掲載	



図中番号	遺跡番号	出土地点				分類	法		用途・備考	写真掲載
		出上区	品名	遺物名	取上No.		製法	用途		
1	N-40	2区	SE-5	3層	金属製品	不明	製法	用途	写真掲載	
2	N-50	2区	SE-5	3層	金属製品	不明	製法	用途	写真掲載	
3	N-40	2区	SE-5	1-2層	金属製品	不明	製法	用途	写真掲載	
4	N-47	2区	SE-5	1-2層	金属製品	不明	製法	用途	写真掲載	
5	N-46	2区	SE-5	1層	金属製品	不明	製法	用途	写真掲載	
6	N-44	2区	SE-5	1層	金属製品	不明	製法	用途	写真掲載	
7	N-45	2区	SE-5	1層	金属製品	不明	製法	用途	写真掲載	

第44図 2区SE-5 (SK-51) 井戸跡出土金属製品

ない狭い溜鉢状を呈する。

【堆積土・出土遺物】堆積土は大別3層・細別9層に分けられた。上部の1層はブロック状の堆積土を含む人為的堆積層である。2層には多量の炭化物が含まれている。出土遺物には土師器片55点・須恵器片6点・土師質土器片1点・瀬美産無釉陶器片1点・東海産灰釉陶器片1点・中国青磁片1点がある。いずれも中世以前のものであり、近世に下る遺物は出土していない。

SE-7井戸跡 (SK-75) 【位置・重複】2区中央東寄りで見出された。SD-21溝跡・SK-86土坑を切り、SD-22溝跡に切られる。

【平面形・大きさ・施設】平面形は中央部が略円形を呈し、上部は南側に張り出している。検出面で東西軸2.0m・南北軸2.4mを測る。素掘りの井戸で井戸枠はない。

【深さ・断面形】検出面から底面までは深さは1.7mある。上面に比して底面が広く、東西方向の断面形はU字形を呈する。

【堆積土・出土遺物】堆積土は大別2層・細別12層に分けられた。大別1層は土色や土質が異なる層が複雑に堆積し、細かく分けられる。大別2層はほぼ均質のぶい黄褐色の砂質粘土層である。遺物は、土師器片35点・須恵器片7点・東海灰釉陶器片1点(I d-5:第47図3)・砥石1点(K-16:第69図8)が出土している。

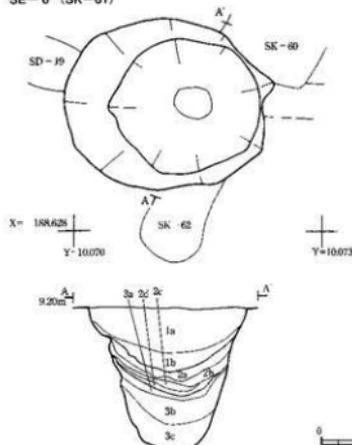
SE-8井戸跡(SK-73) 【位置・重複】2区中央北側で検出された。SD-19溝跡を切る。

【平面形・大きさ・施設】平面形は略円形を呈し、検出面で東西軸・南北軸とも1.9mを測る。素掘りの井戸で井戸枠等の施設はない。ただし、底面の境際から準大～卵大の円礫が数個出土している。

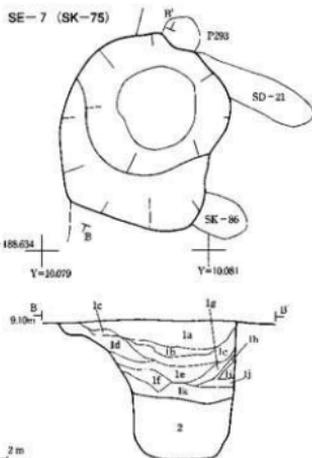
【深さ・断面形】検出面から底面までの深さは3.15mある。壁面は上部ほど崩落による凹凸が生じている。断面形は不整な逆台形を呈する。

【堆積土・出土遺物】堆積土は11層に分けられた。ブロック状の堆積土が大半を占めているが、5～6層は人為的なものと判断されたが、他人為的なものか崩落によるものか判断できない。出土遺物には土師器片53点・常滑産の大甕の一折破片(I c-15:第47図1)を含む無軸陶器片3点・中国青磁1点(J-9:第47図2)・木製品1点(L-14:第42図13)・刀子状のもの1点と釘が2点の鉄製品(N-66~68:第71図5~7)・管状の土製品1点(P-7:第72図1)などがある。無軸陶器大甕I c-15の外表面には細かい格子の叩きが横位に連続して見られる。青磁J-9は、草花文の刻まれた碗の底部片で、龍泉窯産と観察される。木製品L-14は、容器に付属する底日の円板の破片である。

SE-6 (SK-61)

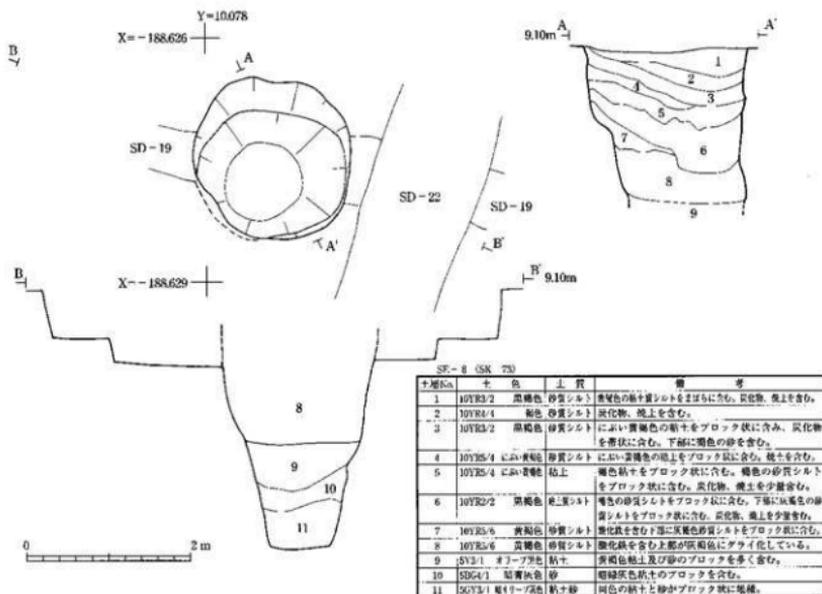


SE-7 (SK-75)

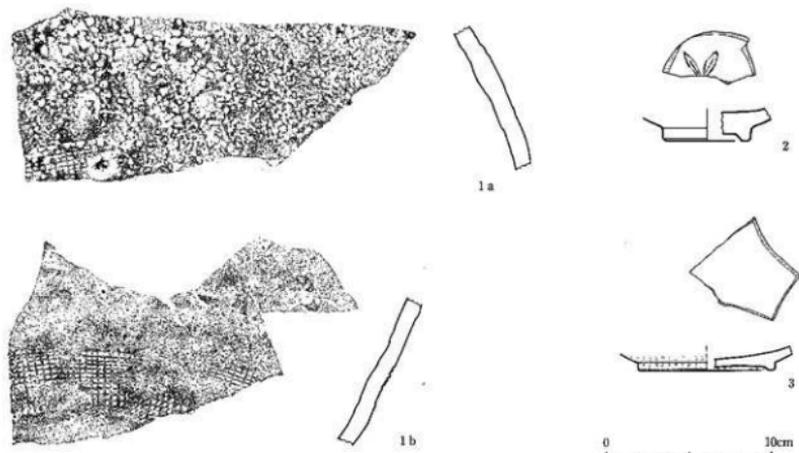


SK-6 (SK-61)		SK-60		SK-62		SK-75 (SK-75)		SK-80		SK-86	
土層No.	土色	土質	備考	土層No.	土色	土質	備考	土層No.	土色	土質	備考
1a	10YR4/2	灰黄褐色	塊状砂質土	1	10YR2/2	黄褐色	砂質シルト	1a	10YR4/2	灰黄褐色	塊状砂質土
1b	10YR4/2	灰黄褐色	塊状砂質土	2	10YR2/2	黄褐色	砂質シルト	1b	10YR4/2	灰黄褐色	塊状砂質土
2b	10YR4/2	灰黄褐色	塊状砂質土	3	10YR2/2	黄褐色	砂質シルト	1c	10YR4/2	灰黄褐色	塊状砂質土
2c	10YR2/1	灰	塊状砂質土	4	10YR4/2	灰黄褐色	砂質シルト	1d	10YR4/2	灰黄褐色	塊状砂質土
2d	10YR4/2	灰黄褐色	塊状砂質土	5	10YR4/2	灰黄褐色	砂質シルト	1e	10YR4/2	灰黄褐色	塊状砂質土
3a	10YR4/1	黄褐色	粘土	6	10YR4/2	灰黄褐色	砂質シルト	1f	10YR4/2	灰黄褐色	塊状砂質土
3b	10YR4/1	黄褐色	粘土	7	10YR4/2	灰黄褐色	砂質シルト	1g	10YR4/2	灰黄褐色	塊状砂質土
3c	10YR5/3	紅褐色	粘土	8	10YR4/2	灰黄褐色	砂質シルト	1h	10YR4/2	灰黄褐色	塊状砂質土
				9	10YR4/2	灰黄褐色	砂質シルト	1i	10YR4/2	灰黄褐色	塊状砂質土
				10	10YR4/2	灰黄褐色	砂質シルト	1j	10YR4/2	灰黄褐色	塊状砂質土
				11	10YR4/2	灰黄褐色	砂質シルト	1k	10YR4/2	灰黄褐色	塊状砂質土
				12	10YR4/2	灰黄褐色	砂質シルト				

第45図 2区2b層検出SE-6(SK-61)・SE-7(SK-75)井戸跡



第46図 2区2b層検出SE-8 (SK-73) 井戸跡



図中 番号	記録番号	出土区	基本層	遺構名	遺構層	取上No.	種類	器種	数量	単位	重量	材質	形状	備考	写真図版
1	1a-15	2区	SE-8	1層			陶器	陶器					粘土押印 中壇		45-6
2	1-9	2区	SE-8	下部3層			磁器	碗	2.0			3.1	管筒 華花文 13c		47-11
3	1d-5	2区	SK-7	2層			磁器	陶器	1.5			8.2	灰釉陶器 9c?~10c		45-9

第47図 2区SE-7 (SK-75)・SE-8 (SK-73) 井戸跡出土遺物(陶器・磁器)

## 5) 竪穴住居跡

SI-1 竪穴住居跡 【位置・重複・遺存状況】2区の中央西寄りのSD-12・14・17・20溝跡に囲まれたところで、2b層除去作業中に検出された。焼土面とその周辺から多くの遺物が出土したことから、住居跡のプランの検出に努めたが、焼上面がのる土坑(SK-2土坑)と、これを切る土坑が検出されただけで、住居跡全体のプランは確認できなかった。出土遺物から竪穴住居跡に附属すると考えられるSK-2土坑を、SB-8掘立柱建物跡の柱穴及びSK-90土坑が切っている。

【平面形・規模・方向】平面形・規模・方向とも不明である。

【堆積土】検出面が床面またはそれより下位にあたるので、堆積土は記録できなかった。

【床面・壁面】焼土面と2基の土坑が検出されているが、詳細は不明である。

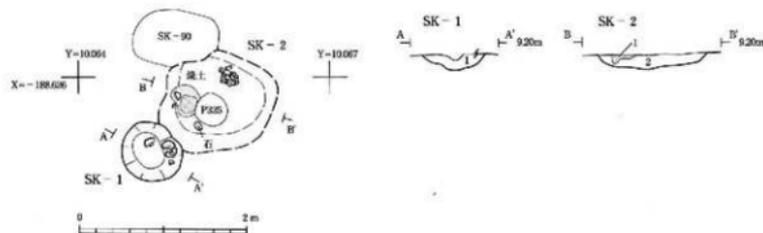
【柱穴・カマド・施設】柱穴の配置は不明である。カマドは、四壁のどの面に設置されたか不明であるが、直径20cmの範囲が強く焼けて堅く締まり、さらにその周囲が弱く焼けている。焼土面周辺から出土した遺物の所属時期から、この部分にカマドが存在したと考えられる。

住居に関連する施設としては、2基の土坑がある。SK-1土坑は焼土面の南西側で検出された。同じ面で検出されたSK-2土坑を切る。平面形は長軸75cm・短軸65cmの略円形で、深さは15cm前後あり、断面形は浅い舟底状を呈する。堆積土は暗褐色の砂質シルトで、堆積土中より土師器の杯(D-34:第49図5)などが出土している。SK-2土坑は焼土面の下で検出された。平面形は東西軸120cm・南北軸130cmの不整丸方形を呈する。深さは15cm前後で、断面形は浅い舟底状を呈する。堆積土にはぶい黄褐色の砂質シルトである。

【出土遺物】焼土面周辺及び土坑中から出土した遺物を図化したのが第49図である。土師器と古代の瓦がある。土師器はいずれもロクロを使用したもので、坏と甕の2器種がある。坏は内外面ともロクロ調整だけによるものと(D-26・27:第49図1・2)、内面がヘラミガキ調整されるもの(D-28・29・34・35:第49図3~6)がある。前者はいわゆる「赤焼け土器」である。後者には黒色処理されたもの(D-34・35)と処理されていないもの(D-28・29)がある。ヘラミガキされた坏は、口径の割りに器高が高く腰部に張りをもつ。これに対して赤焼け土器は小ぶり器高も低く底部から口縁部まで直線的に広がる傾向がある。

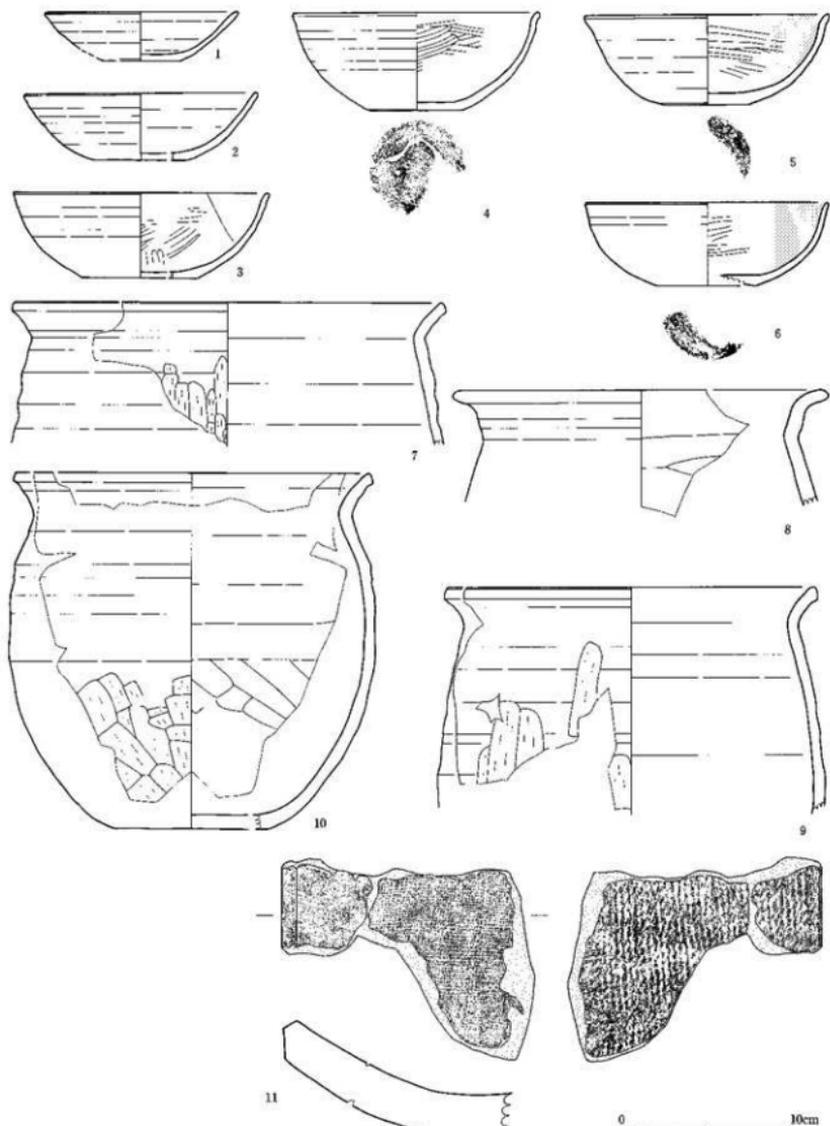
甕(D-30~33:第49図7~10)は、頸部が僅かにくびれて口縁部が外反するものである。整形にはロクロを用い、階面の体部下半をヘラケズリ調整している。

瓦は、平瓦の破片で、凸面縄叩き目・凹面布目瓦痕が観察される。



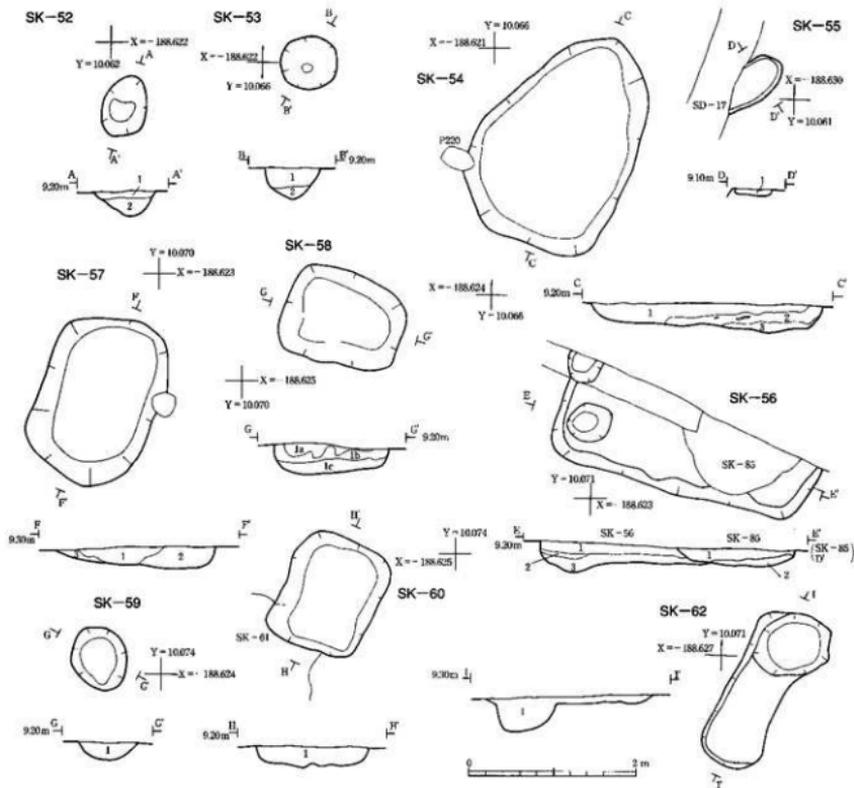
SI-1のSK-1					SI-1のSK-2				
土器No.	土色	土質	備	考	土器No.	土色	土質	備	考
1	10YR3/3	暗褐色	砂質シルト	炭化物、赤色土ブロックを含む、土師器出土。	1	7.5YR3/2	黒褐色	砂質シルト	深い焼けの焼土面(焼土片を含む)。
					2	10YR4/3	ぶい黄褐色	砂質シルト	焼土土坑、焼土ブロックを含む、土師器出土。

第48図 2区2b層中検出SI-1 竪穴住居跡



図号	発掘層位	区	遺構名	遺物名	取付 No.	種別	材質	数量	口径	底径	高さ	重量	特徴	写真図版
1	D-26	2区	SI-1	赤土		土師器	鉢	30	116	(4.6)			内外面ロタロ調粒 底面同粒赤土	41-1
2	D-27	2区	SI-1	赤土		土師器	鉢	47	(14.1)	(5.8)			内外面ロタロ調粒	
3	D-28	2区	SI-1	赤土		土師器	鉢	62	(18.4)	(7.0)			内面ヘラミダ平 (厚差なし)。底面同粒赤土。底面同粒赤土	39 12
4	D-29	2区	SI-1	赤土		土師器	片	62	14.9	3.2			内面ヘラミダ平。底面同粒赤土。底面同粒赤土	
5	D-34	2区	SI-1	SK-1	No.3	土師器	片	55	14.7	(5.6)			内面ヘラミダ平赤土。底面同粒赤土	40-1
6	D-35	2区	SI-1	赤土		土師器	片	5	(34.6)	(6.0)			内面ヘラミダ平赤土。底面同粒赤土	40-2
7	D-31	2区	SI-1	赤土		土師器	鉢	(6.7)	(26.3)				内外面ロタロ調粒のち底面ヘラミダ平。内面ロタロ調粒	
8	D-33	2区	SI-1	赤土		土師器	鉢	(7.1)	(22.8)				内外面ロタロ調粒のち底面ヘラミダ平	43-4
9	D-30	2区	SI-1	赤土		土師器	鉢	(15.6)	(22.5)				内外面ロタロ調粒のち底面ヘラミダ平。内面ロタロ調粒	42-2
10	D-32	2区	SI-1	赤土		土師器	鉢	21.8	(21.4)	(9.4)			内外面ロタロ調粒。底面ヘラミダ平。内面ロタロのち底面ヘラミダ平	42-3
11	G-4	2区	SI-1	赤土		土師器	片	12.4	15.1	2.5			内外面同粒赤土。底面同粒赤土	44-3

第49図 2区SI-1 竪穴住居跡出土遺物



SK-52				
土層No.	土色	土質	備	考
1	10YR4/3 にごり状	砂質シルト		
2	10YR4/2 灰黄褐色	砂質シルト	炭化物を少量含む。	

SK-53				
土層No.	土色	土質	備	考
1	10YR4/2 灰黄褐色	砂質シルト	炭化物を少量含む。	
2	10YR3/2 暗褐色	砂質シルト	炭質をわずかに含む。褐色土のブロックを含む。	

SK-54				
土層No.	土色	土質	備	考
1	10YR4/3 にごり状	砂質シルト	炭化物を含む。	
2	10YR4/2 灰黄褐色	砂質シルト	焼土、炭化物、灰を多く含む。遺物を少量含む。	
3	10YR2/3 にごり状	シルト質粘土	褐色土のブロックを含む。炭化物をわずかに含む。	

SK-55				
土層No.	土色	土質	備	考
1	10YR3/2 暗褐色	砂質シルト	炭褐色土のブロックを含む。炭化物を多く含む。	

SK-57				
土層No.	土色	土質	備	考
1	10YR4/3 にごり状	砂質シルト	炭化物を少量含む。	
2	10YR3/2 暗褐色	砂質シルト	炭質をわずかに含む。褐色土のブロックを含む。	

SK-58				
土層No.	土色	土質	備	考
1	10YR4/3 にごり状	砂質シルト	炭化物を含む。	
2	10YR4/2 灰黄褐色	砂質シルト	焼土、炭化物、灰を多く含む。遺物を少量含む。	
3	10YR2/3 にごり状	シルト質粘土	褐色土のブロックを含む。炭化物をわずかに含む。	

SK-59				
土層No.	土色	土質	備	考
1	10YR3/2 暗褐色	砂質シルト	炭褐色土のブロックを含む。炭化物を多く含む。	

SK-60				
土層No.	土色	土質	備	考
1	10YR4/3 にごり状	砂質シルト	炭褐色土のブロックを含む。	
2	10YR3/2 暗褐色	シルト質砂	褐色土のブロックを含む。	
3	10YR4/2 灰黄褐色	シルト質砂	褐色土のブロックを含む。	

SK-61				
土層No.	土色	土質	備	考
1	10YR3/2 暗褐色	砂質シルト	炭褐色土のブロックを含む。炭化物を多く含む。	

SK-62				
土層No.	土色	土質	備	考
1	10YR3/2 暗褐色	砂質シルト	炭褐色土のブロックを含む。炭化物を多く含む。	

SK-56				
土層No.	土色	土質	備	考
1	10YR4/3 にごり状	砂質シルト	炭化物を少量含む。	
2	10YR4/2 灰黄褐色	砂質シルト	褐色土のブロックを含む。	
3	10YR3/2 暗褐色	砂質シルト	褐色土のブロックを含む。	

SK-58				
土層No.	土色	土質	備	考
1a	10YR2/2 黒褐色	粘土質シルト	炭化物、焼土を多く含む。にぶい黄褐色土、褐色土をブロック状に含む。また遺物を多く含む。	
1b	10YR3/2 にごり状	黄褐色シルト	炭化物、焼土を多く含む。黄褐色土、褐色土をブロック状に含む。また遺物を多く含む。	
2	10YR4/4 褐色	砂質シルト	炭化物、焼土を含み、灰褐色土。にぶい黄褐色土を少量ブロック状に含む。	

SK-59				
土層No.	土色	土質	備	考
1	10YR3/2 暗褐色	砂質シルト	焼土、炭化物、黄褐色土のブロックを含む。	

SK-60				
土層No.	土色	土質	備	考
1	10YR3/2 暗褐色	砂質シルト	炭褐色土のブロックを含む。	
2	10YR3/2 暗褐色	砂質シルト	炭褐色土のブロックを含む。	

SK-61				
土層No.	土色	土質	備	考
1	10YR3/2 暗褐色	砂質シルト	炭褐色土のブロックを含む。	
2	10YR3/2 暗褐色	砂質シルト	炭褐色土のブロックを含む。	

SK-62				
土層No.	土色	土質	備	考
1	10YR3/2 暗褐色	砂質シルト	炭褐色土のブロックを含む。炭化物を多く含む。焼土、褐色土のブロックを含む。	

第50図 2区2b層検出土坑1

## 6) 土坑

SK-52土坑 【位置・重複】2区西部中央より北側で検出された。重複はない。

【平面形・大きさ】平面形は楕円形で、南北長軸78cm・東西短軸56cmを測る。

【深さ・断面形】深さは32cmで、断面形は舟底形である。

【堆積土・出土遺物】堆積土は2層に分けられ、下層にブロック状の堆積土を含む。遺物は土師器片が9点出土しているだけである。

SK-53土坑 【位置・重複】2区中央北側のSK-54土坑堆積土上面で検出された。SK-54土坑を切る。

【平面形・大きさ】平面形は円形で、南北長軸70cm・東西短軸56cmを測る。

【深さ・断面形】深さは39cmで、断面形はV字形である。

【堆積土・出土遺物】堆積土は2層に分けられ、両層に炭化物を含む。遺物は、高台付き杯(D-36:第57図1)を含む土師器片16点・須恵器片が3点・鉄製品が2点(N-51・52:第70図11・12)出土している。

SK-54土坑 【位置・重複】2区中央北側で検出された。SB-8掘立柱建物跡の柱穴・SK-53土坑に切られる。底面でSA-1柱列の柱穴が検出されたが、正確な新旧は不明である。SA-1柱列が新しい可能性が高い。

【平面形・大きさ】平面形は不整形楕円形を呈する。南北長軸274cm・東西短軸192cmを測る。

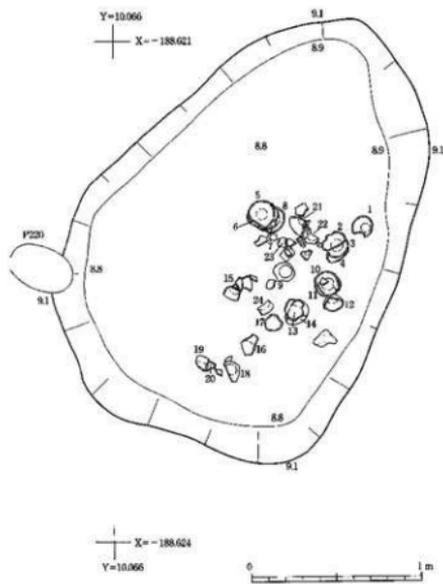
【深さ・断面形】深さは35cm前後で、断面形は浅いじ字形を呈する。底面はほぼ平である。

【堆積土・出土遺物】堆積土は3層に分けられ、各層とも人為的な堆積層と考えられる。2層を主として多量の遺物が出土し(第51図)、坏には重なった状態のものもある。

遺物には土師器片430点(D-37~52:第52図1~14・第53図1・2を含む)・須恵器片49点(E-4~11:第53図3~10)・灰釉陶器片1点・瓦片1点・鉄製品9点がある。土師器は坏と甕があり、坏はほとんどが内面がヘラミガキ調整の後黒色処理されているが、内外面ともロクロ調整で黒色処理されていない赤焼け土器もある(第52図14)。黒色処理されていない赤焼け土器もある(第52図14)。黒色処理された坏は、口径の割りに器高が低く、底径の割合は比較的大きい印象を受けるものである。土師器の甕は比較的小形のもので、内外面ともにロクロ調整だけのものである(第53図1・2)。須恵器の坏は、いずれも底部は回転糸切り無調整のもので、割合深さがある。やや軟質の焼けで黒斑のあるものが多い。瓦は古代のものの破片である。鉄製品は鐵・釘・その他不明品など9点が出土している(N-53~61:第70図13~21)。

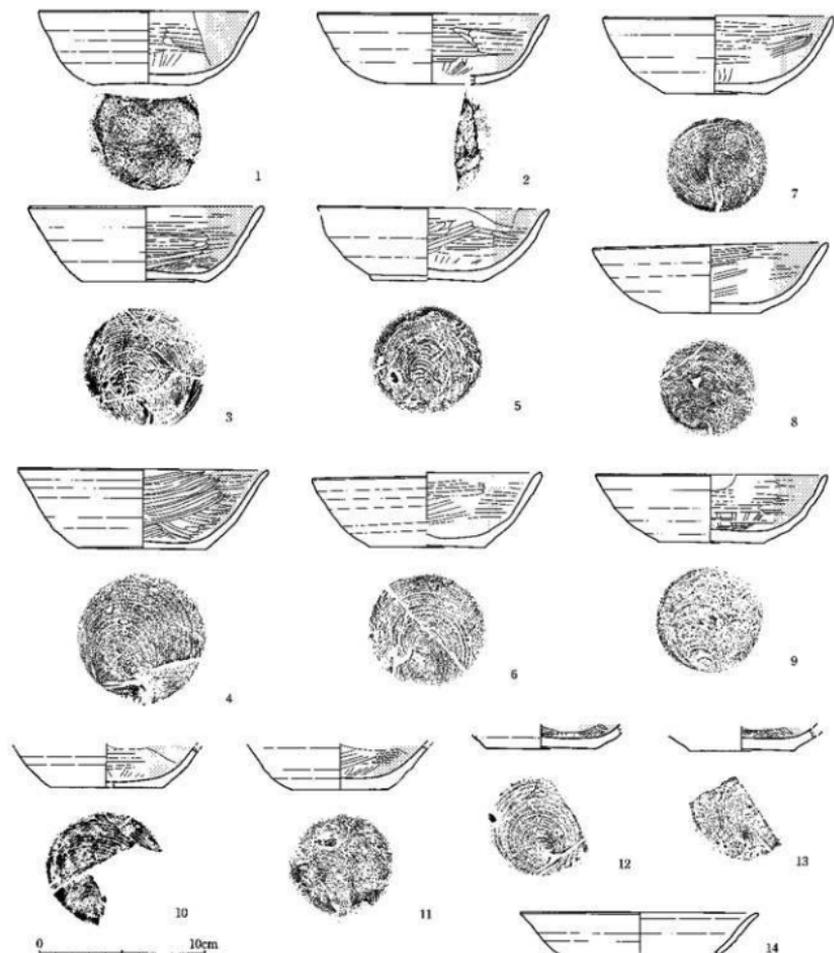
SK-55土坑 【位置・重複】2区西部南側で検出された。SD-17溝跡に南半部を切られる。

【平面形・大きさ】平面形は楕円形を呈するものと考えられる。残存長軸85cm・短軸



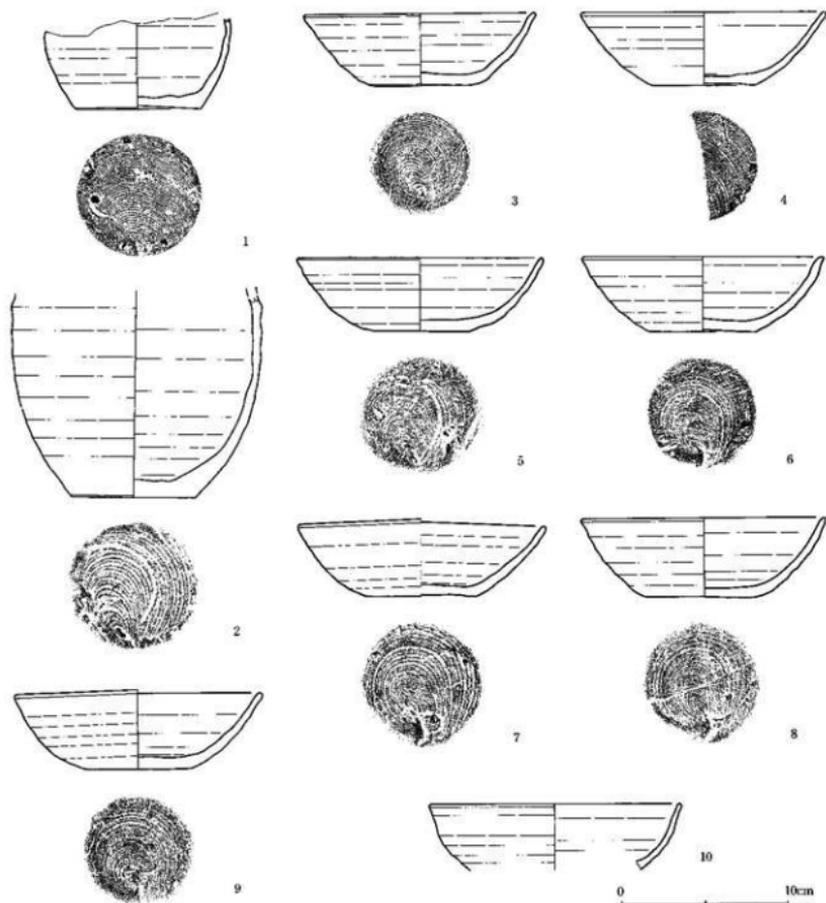
第51図 2区SK-54土坑遺物出土状況

第3節 2区の調査概要



図中 番号	器名 番号	出土区	土層	出 土 地 点	分 類	注	法 量	特 徴 ・ 書 号	写真 図版		
1	D-17	2区	SK-54	2層	No.16	土師器	4.5	(13.2)	6.5	内面ヘラミダキ彩色処理、底面刷毛赤彩	40-4
2	D-46	2区	SK-54	2層	No.13	土師器	4.8	14.0	(6.1)	内面ヘラミダキ彩色処理、底面刷毛赤彩	40-5
3	D-40	2区	SK-54	2層	No.4	土師器	4.6	14.1	7.0	内面ヘラミダキ彩色処理、底面刷毛赤彩	40-8
4	D-41	2区	SK-54	2層	No.6	土師器	4.9	15.1	7.7	内面ヘラミダキ彩色処理、底面刷毛赤彩	40-9
5	D-19	2区	SK-54	2層	No.19	土師器	4.5	14.0	6.6	内面ヘラミダキ彩色処理、底面刷毛赤彩	40-7
6	D-42	2区	SK-54	2層	No.7	土師器	4.6	14.0	7.0	内面ヘラミダキ彩色処理、底面刷毛赤彩	40-8
7	D-44	2区	SK-54	2層	No.10	土師器	4.8	14.0	6.0	内面ヘラミダキ彩色処理、底面刷毛赤彩	40-9
8	D-50	2区	SK-54	2層	No.20	土師器	4.4	14.2	6.0	内面ヘラミダキ彩色処理、底面刷毛赤彩	40-8
9	D-39	2区	SK-54	2層	No.3	土師器	4.2	14.1	6.7	内面ヘラミダキ彩色処理、底面刷毛赤彩	40-9
10	D-51	2区	SK-54	2層	No.22	土師器	4.6	(2.6)	3.0	内面ヘラミダキ彩色処理、底面刷毛赤彩	40-8
11	D-48	2区	SK-54	2層	No.17	土師器	4.6	(2.7)	6.6	内面ヘラミダキ彩色処理、底面刷毛赤彩	40-9
12	D-38	2区	SK-54	1層	土師器	4.5	(1.5)	6.4	内面ヘラミダキ彩色処理、底面刷毛赤彩	40-8	
13	D-37	2区	SK-54	1層	土師器	4.6	(1.0)	6.3	内面ヘラミダキ彩色処理、底面刷毛赤彩	40-9	
14	D-52	1区	SK-54	2層	土師器	4.6	(2.7)	14.2	内外面に土師器	40-8	

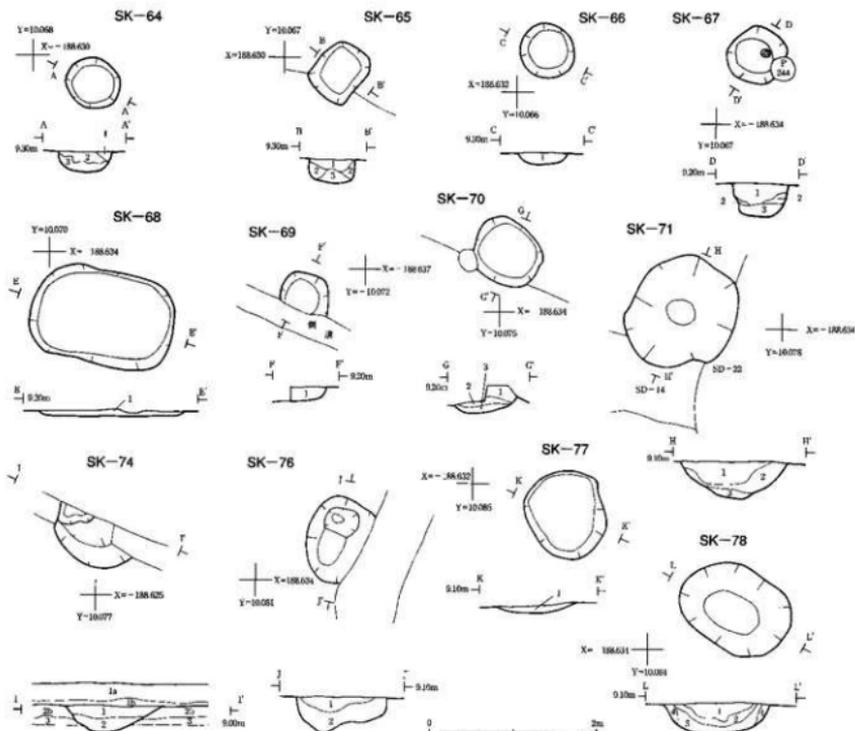
第52図 2区SK-54土坑出土遺物(土師器1)



調査 番号	西 上 路 点				取上. No.	分 類		法 量		備 考 (調整・重畳・裏材・埋埋・水取・奇地・時期)	考古図 番号
	出土区	基本層	遺構名	遺構層		種 別	器 種	器高・長	口径・幅 底径・厚		
1 D-45	2区	基本層	SK-54	2層	No.12	土師器	甕	他定	7.4	内外面口タテ調整。底面磨転糸切。	42-6
2 D-45	2区		SK-54	2層	No.9	土師器	甕	(17.4)	7.2	内外面口タテ調整。底面磨転糸切。	42-5
3 E-9	2区		SK-54	2層	No.1	須恵器	杯	4.4	14.1	5.6 内外面口タテ調整。底面磨転糸切。部分に黒色あり。	43-2
4 F-11	2区		SK-54	2層	No.24	須恵器	杯	4.5	14.8	6.4 内外面口タテ調整。底面磨転糸切。	43-8
5 E-8	2区		SK-54	2層	No.8	須恵器	杯	5.5	14.9	5.6 内外面口タテ調整。底面磨転糸切。縁高の2/3以下黒色。	43-5
6 E-7	2区		SK-54	2層	No.5	須恵器	杯	4.6	14.6	6.5 内外面口タテ調整。底面磨転糸切。縁高の2/3以下黒色。	43-4
7 F-9	2区		SK-54	2層	No.11	須恵器	杯	4.8	15.0	6.8 内外面口タテ調整。底面磨転糸切。	43-6
8 E-6	2区		SK-54	2層	No.2, No.21	須恵器	杯	4.9	14.8	6.7 内外面口タテ調整。器高の3/4以下黒色。底面磨転糸切。へうきさ。	43-3
9 K-10	2区		SK-54	2層	No.14	須恵器	杯	4.9	15.0	6.7 内外面口タテ調整。底面磨転糸切。	43-7
10 E-4	2区		SK-54	1層	他定	杯	他定	4.6	15.1	内外面口タテ調整。	

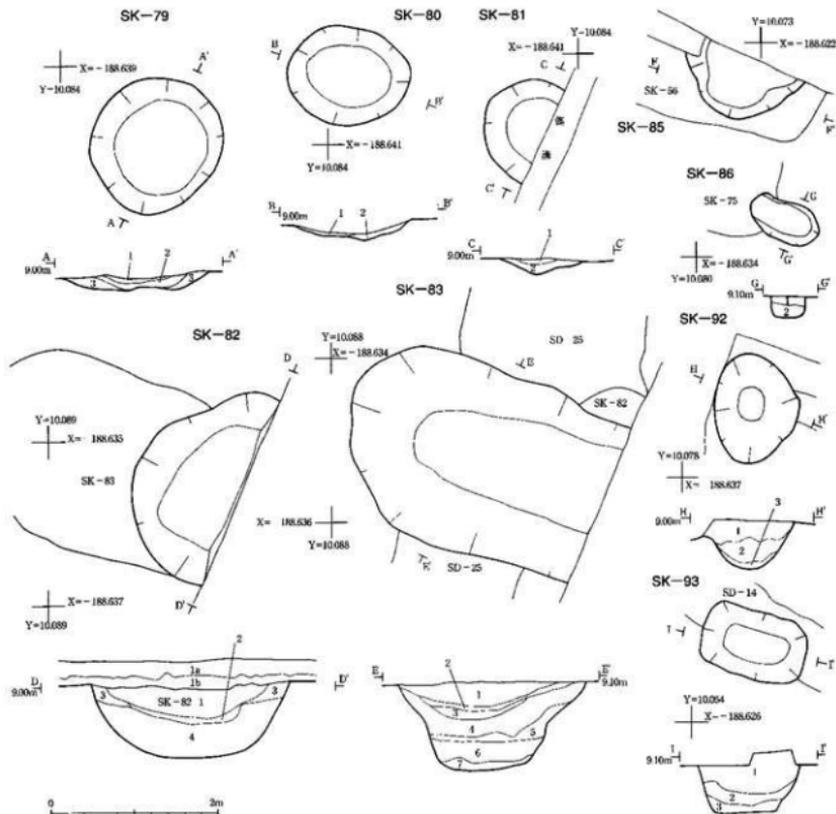
第53図 2区SK-54土坑出土遺物(土師器2・須恵器)

第3節 2区の調査概要



層No.	土色	土質	備考
<b>SK-64</b>			
1	10YR4/3	赤褐色 砂質シルト	暗褐色土のブロックを含む。
2	10YR3/2	暗褐色 砂質シルト	横上、灰化物をまばらに含む。
3	10YK5/3	暗褐色 砂質シルト	暗褐色土のブロックを多く含む。
<b>SK-65</b>			
1	10YR4/3	赤褐色 砂質シルト	横上、灰化物、褐色土を多く含む。
2	10YR4/3	赤褐色 砂質シルト	褐色土を連続的に含む。
3	10YK5/6	黄褐色 砂質シルト	暗褐色土のブロックを少量含む。
<b>SK-66</b>			
1	10YR3/3	暗褐色 砂質シルト	灰化物を多く含む。
2	10YR3/2	暗褐色 砂質シルト	灰化物を含む。
3	10YR4/4	暗褐色 シルト質砂	暗褐色の粘土質シルトをブロック状に含む。灰化物を含む。
<b>SK-67</b>			
1	10YR4/3	赤褐色 砂質シルト	マンガンを顕微鏡に含む。
2	10YR3/3	暗褐色 砂質シルト	黄褐色土のブロックをわずかに含む。
3	10YR4/2	灰黄褐色 シルト質砂	砂質シルトを多く含む。
<b>SK-68</b>			
1	10YR3/2	暗褐色 砂質シルト	横上、灰化物をわずかに含む。
<b>SK-69</b>			
1	10YR3/3	暗褐色 シルト質砂	灰化物を含む。
2	10YR4/3	赤褐色 砂質シルト	暗褐色土のブロックを含む。
3	10YR4/4	赤褐色 砂質シルト	褐色土を連続的に含む。
<b>SK-70</b>			
1	10YR3/3	暗褐色 シルト質砂	横上、灰化物を多く含む。
2	10YR3/2	暗褐色 砂質シルト	灰化物を含む。
3	10YR4/4	暗褐色 シルト質砂	暗褐色の粘土質シルトをブロック状に含む。灰化物を含む。
<b>SK-71</b>			
1	10YR3/3	暗褐色 シルト質砂	灰化物を含む。
2	10YR3/2	暗褐色 砂質シルト	灰化物を含む。
3	10YR4/2	灰黄褐色 シルト質砂	暗褐色土のブロックを含む。
<b>SK-72</b>			
1	10YR4/3	赤褐色 シルト質砂	横上、灰化物を含む。黄褐色土の小ブロックを含む。
<b>SK-73</b>			
1	10YR4/3	赤褐色 シルト質砂	横上、灰化物を含む。
2	10YR4/2	灰黄褐色 シルト質砂	暗褐色土のブロックを含む。
3	10YR4/3	赤褐色 シルト質砂	暗褐色土のブロックを含む。
4	10YR6/3	赤褐色 シルト質砂	暗褐色土を多く含む。

第54図 2区2b層出土坑2



SK-79			
土層No.	土色	土質	備考
1	10YR4/3 褐色	シルト質砂	
2	10YR4/4 褐色	砂質シルト	礫を含む。
3	10YR5/3 褐色	シルト質砂	礫層を多く含む。

SK-80			
土層No.	土色	土質	備考
1	10YR3/3 暗褐色	シルト	炭化物粒を含む。
2	10YR5/3 褐色	粘土質シルト	礫砂を含む。

SK-81			
土層No.	土色	土質	備考
1	10YR4/3 褐色	シルト	下部に礫を塊状に含む。
2	10YR4/2 灰黄色	シルト	炭化物、黄褐色土小アロックを含む。

SK-82			
土層No.	土色	土質	備考
1a	10YR5/3 褐色	砂質シルト	田水田耕作土。下部に白砂層。
1b	10YR2/3 暗褐色	シルト質砂	SK-82 1層境界の境上。炭化物を含む。
2	10YR4/2 灰黄色	シルト	炭化物、炭を含む。貝ガクを含む。
3	10YR3/3 暗褐色	シルト質砂	炭化物をわずかに含む。
4	10YR4/3 褐色	砂質シルト	黄褐色土のアロックを部分的に混入し砂を含む。

SK-83			
土層No.	土色	土質	備考
1	10YR3/3 暗褐色	砂質シルト	炭化物を多く含む塊状に含む。
2	10YR4/3 褐色	シルト質砂	同色の砂を部分的に含む。
3	10YR4/2 灰黄色	砂質シルト	同色のシルト質粘土上をブロック状に含む。
4	10YR4/3 褐色	シルト質砂	黄褐色のシルト質粘土上及び白砂層上のブロックを含む。
5	10YR3/3 暗褐色	シルト質砂	同色の粘土を塊状に含む。
6	10YR4/2 灰黄色	シルト	同層の砂質シルト及び白砂層上の砂をブロック状に含む。
7	10YR5/3 褐色	砂	同一黄褐色のシルト質粘土上のブロックを多く含む。

SK-86			
土層No.	土色	土質	備考
1	10YR4/3 褐色	砂質シルト	黄褐色の砂質シルトをブロック状に含む。炭化物を少量含む。
2	10YR4/2 灰黄色	砂質シルト	同色の砂質シルトを多量にブロック状に含む。炭化物を少量含む。

SK-89			
土層No.	土色	土質	備考
1	10YR4/3 褐色	砂質シルト	炭質シルトを含む。(自然堆積)
2	10YR4/4 褐色	砂質シルト	同色の砂質シルトを多量に含む。(人為堆積)
3	10YR1/2 灰黄色	シルト質砂	層下に礫(ウリア)を多量に含む。(自然堆積)

SK-92			
土層No.	土色	土質	備考
1	10YR3/3 暗褐色	砂質シルト	炭土。炭化物粒を少量含む。
2	10YR2/2 黒褐色	シルト質粘土	炭化物を含む。
3	10YR3/3 暗褐色	砂質シルト	同色の砂質シルト。

SK-93			
土層No.	土色	土質	備考
1	10YR3/3 暗褐色	砂質シルト	炭土。炭化物粒を少量含む。
2	10YR2/2 黒褐色	シルト質粘土	炭化物を含む。
3	10YR3/3 暗褐色	砂質シルト	同色の砂質シルト。

第55図 2区2b層検出土坑3

48cmを測る。

【深さ・断面形】深さは8cmで、断面形は凹形である。

【堆積土・出土遺物】堆積土は暗褐色の砂質シルト1層である。遺物は、土師器片2点が出土しただけである。

SK-56土坑 【位置・重複】2区中央北壁際で検出され、北側は調査区の外にのびる。SK-85土坑に切られる。

【平面形・大きさ】検出部の平面形は隅丸方形を呈し、南北の検出部長125cm・東西軸長274cmを測る。

【深さ・断面形】深さは深いところで37cmある。断面形は浅いU字形で、底面には緩やかな起伏がある。

【堆積土・出土遺物】堆積土は3層に分けられる。遺物は土師器片129点と須恵器片4点が出土している。

SK-57土坑 【位置・重複】2区中央北側で検出された。SD-12溝跡を切り、SB-7掘立柱建物跡の柱穴に切られる。

【平面形・大きさ】長辺が平行し短辺が外に膨らむ俵形を呈し、南北長軸212cm・東西短軸148cmを測る。

【深さ・断面形】深さは28cmある。断面形は舟底形であるが、北側より南側が深くなっている。

【堆積土・出土遺物】堆積土は3層に分けられる。遺物は土師器片30点・常滑産無輪陶器片1点・大瀬相馬系施釉陶器片1点・鉄製品3点(角釘N-62:第71図1他)が出土している。

SK-58土坑 【位置・重複】2区中央北側で検出された。SK-100土坑を切る。

【平面形・大きさ】不整長方形を呈し、東西長軸147cm・南北短軸118cmを測る。

【深さ・断面形】深さは39cmある。断面形はU字形を呈する。

【堆積土・出土遺物】堆積土はブロック状の土塊を含み、3層に分けられる。上部の2層から遺物が出土している。出土遺物には、土師器片17点・土師質土器の皿1点(Ia-4:第57図2)・砥石1点(K-1:第69図6)・鉄製品3点(釘N-63・64:第71図2・3他)が出土している。土師質土器の皿は、13世紀代と考えられる。

SK-59土坑 【位置・重複】2区中央北側で検出された。

【平面形・大きさ】略円形を呈し、南北軸83cm・東西軸67cmを測る。

【深さ・断面形】深さは21cmある。断面形は舟底形を呈する。

【堆積土・出土遺物】堆積土はにぶい黄褐色の粘土質シルト層1層である。出土遺物は土師器片8点である。

SK-60土坑 【位置・重複】2区中央北側で検出された。SE-6井戸跡・SD-19溝跡を切る。

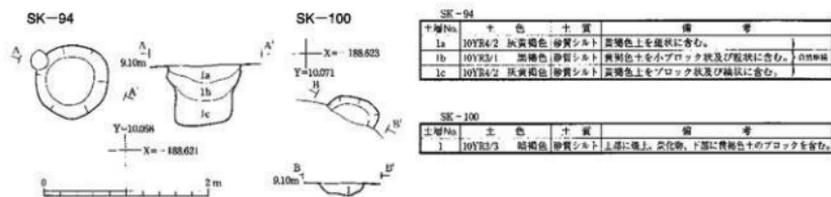
【平面形・大きさ】比較的形の整った長方形を呈し、南北長軸145cm・東西短軸118cmを測る。

【深さ・断面形】深さは26cmある。断面形は浅いU字形を呈する。

【堆積土・出土遺物】堆積土は炭化物を多く含む暗褐色の砂質シルト層である。遺物は、土師器片が15点出土している。

SK-62土坑 【位置・重複】2区中央で検出された。SE-6井戸跡を切る。

【平面形・大きさ】検出部分で不整長方形を呈し、北側は円形に下がる。東側は試掘調査の際に削平されている。南北長軸207cm・東西残存軸97cmを測る。



第56図 2区2b層検出土坑4

【深さ・断面形】深さは北側で42cm・南側で10cm前後である。断面形は不整な舟底形を呈する。

【堆積土・出土遺物】堆積土は暗褐色の砂質シルト1層である。遺物は、土師器片14点・無釉陶器片1点・鉄滓4点が出土している。

S K-64土坑 【位置・重複】2区中央で検出された。重複はない。

【平面形・大きさ】整った円形を呈し南北軸長68cm・東西軸長61cmを測る。

【深さ・断面形】深さは北側で25cmで、断面形はU字形を呈する。

【堆積土・出土遺物】堆積土は3層に分けられる。遺物は、土師器片が13点出土している。

S K-65土坑 【位置・重複】2区中央南側で検出された。S D-14溝跡に南側の上部を切られる。

【平面形・大きさ】略長方形を呈し、南西-北東長軸73cm・北西-南東短軸58cmを測る。

【深さ・断面形】深さは25cmで、断面形はU字形である。

【堆積土・出土遺物】堆積土は3層に分けられる。遺物は土師器片7点・須恵器片1点・砥石1点（K-20：第69図7）・鉄製品1点（N-65：第71図4）が出土している。

S K-66土坑 【位置・重複】2区中央南側で検出された。

【平面形・大きさ】円形を呈し、南北軸69cm・東西短軸65cmを測る。

【深さ・断面形】深さは15cmで、断面形は舟底形である。

【堆積土・出土遺物】堆積土は暗褐色の砂質シルト1層である。遺物は出土していない。

S K-67土坑 【位置・重複】2区中央南側で検出された。S B-7掘立柱建物跡の柱穴に切られている。

【平面形・大きさ】円形を呈し東西軸70cm・南北軸67cmを測る。

【深さ・断面形】深さは41cmで、断面形はU字形である。

【堆積土・出土遺物】堆積土は3層に分けられる。遺物は土師器片が20点出土している。

S K-68土坑 【位置・重複】2区中央南側で検出された。底面でS B-8掘立柱建物跡の柱穴が検出された。

【平面形・大きさ】楕形を呈し東西長軸174cm・南北短軸120cmを測る。

【深さ・断面形】深さは9cmで、断面形は浅いU字形である。

【堆積土・出土遺物】堆積土は黒褐色の砂質シルト1層である。遺物は土師器片が9点出土している。

S K-69土坑 【位置・重複】2区中央南壁際で検出された。倒溝を掘削した際に南側を壊した。

【平面形・大きさ】残存部の形状は半円形を呈し、東西軸63cm・南北残存長48cmを測る。

【深さ・断面形】深さは18cmである。断面形はU字形である。

【堆積土・出土遺物】堆積土は暗褐色の砂質シルト層である。遺物は土師器片4点・須恵器片1点が出土している。

S K-70土坑 【位置・重複】2区中央東寄りで検出された。上部をS D-14溝跡に切られている。

【平面形・大きさ】残存部の平面形は円形を呈し、南北軸87cm・東西軸75cmを測る。

【深さ・断面形】深さは残存部上端から計測して35cmである。断面形は舟底形である。

【堆積土・出土遺物】堆積土は3層に分けられる。遺物は、土師器片16点（環D-53：第57図3を含む）が出土している。

S K-71土坑 【位置・重複】2区中央東寄りで検出された。S D-14溝跡を切りS D-22溝跡に切られている。

【平面形・大きさ】不整円形を呈し、東西軸143cm・南北軸130cmを測る。

【深さ・断面形】深さは46cmである。断面形は舟底形で、底面が小さく挿鉢状を呈す。

【堆積土・出土遺物】堆積土は3層に分けられる。遺物は、土師器片11点・常滑産無釉陶器の挿鉢片1点（I c-14：第57図6）・県内産無釉陶器片1点・東海産灰釉陶器片1点・大塚相馬系施釉陶器碗（I d-4：第57図5）・中国青磁片2点・肥前磁器皿1点（J-8：第57図4）・砥石1点（K-2：第69図9）などが出土している。

る。常滑産無蓋鉢は14～15世紀頃と考えられる。大塚相馬系碗は外面底部に「合」の黒書がある。18世紀後半以降のものと考えられる。肥前磁器皿は、内面蛇の目軸刺ぎの染付で、18世紀以降と判断される。

**SK-74土坑** 【位置・重複】2区中央東北壁際で検出された。額溝に切れ、北部は調査区の外にのびている。

【平面形・大きさ】残存部の平面形は円形状を呈す。南北検出長58cm・東西検出幅108cmを測る。

【深さ・断面形】深さは北壁断面で34cmである。断面形は舟底形を呈す。

【堆積土・出土遺物】堆積土は2層に分けられる。遺物は出土していない。

**SK-76土坑** 【位置・重複】2区東部中央で検出された。SD-23溝跡に切られている。

【平面形・大きさ】楕円形を呈し、南北長軸105cm・東西短軸71cmを測る。

【深さ・断面形】深さは46cmである。断面形は不整形で、壁面の凹凸が著しい。

【堆積土・出土遺物】堆積土は2層に分けられる。遺物は須恵器片が1点出土している。

**SK-77土坑** 【位置・重複】2区東部中央で検出された。

【平面形・大きさ】楕円形を呈し、南北軸110cm・東西軸97cmを測る。

【深さ・断面形】深さは13cmである。断面形は浅い舟底状を呈する。

【堆積土・出土遺物】堆積土はにぶい黄褐色のシルト質砂層1層である。遺物は土師器片が10点出土している。

**SK-78土坑** 【位置・重複】2区東部中央で検出された。

【平面形・大きさ】楕円形を呈し、東西長軸135cm・南北短軸100cmを測る。

【深さ・断面形】深さは37cmである。断面形はU字形に近い舟底形を呈す。

【堆積土・出土遺物】堆積土は4層に分けられる。遺物は土師器片32点(皿D-54:第57図7を含む)と中国青磁片1点が出土している。土師器の皿D-54は、浅く直線的に外傾して立ちあがる小型の製品である。他のロクロ土師器と同様に胎土中に多くの砂粒を含み、土師質土器と区別されることから土師器に分類して扱った。器形の特徴を考えると、むしろ土師質土器いわゆる「かわらけ」として分類したほうが適当かもしれない。

**SK-79土坑** 【位置・重複】2区東部南側のSD-29溝跡の堆積土上面で検出された。

【平面形・大きさ】円形を呈し、南北軸170cm・東西軸152cmを測る。

【深さ・断面形】深さは18cmである。断面形は浅い舟底状を呈する。底面に起伏がある。

【堆積土・出土遺物】堆積土は3層に分けられる。遺物は出土していない。

**SK-80土坑** 【位置・重複】2区東部南側でSD-29溝跡の堆積土上面で検出された。

【平面形・大きさ】楕円形を呈し、東西長軸145cm・南北短軸121cmを測る。

【深さ・断面形】深さは10cmである。断面形は不整な舟底状を呈する。

【堆積土・出土遺物】堆積土は2層に分けられる。遺物は、土師器片5点と須恵器片1点が出土している。

**SK-81土坑** 【位置・重複】2区東部東壁際のSD-29溝跡の堆積土上面で検出された。

【平面形・大きさ】検出部分で半楕円形を呈し、東西長軸検出部長78cm・南北短軸127cmを測る。

【深さ・断面形】深さは20cmである。断面形は不整な舟底状を呈する。

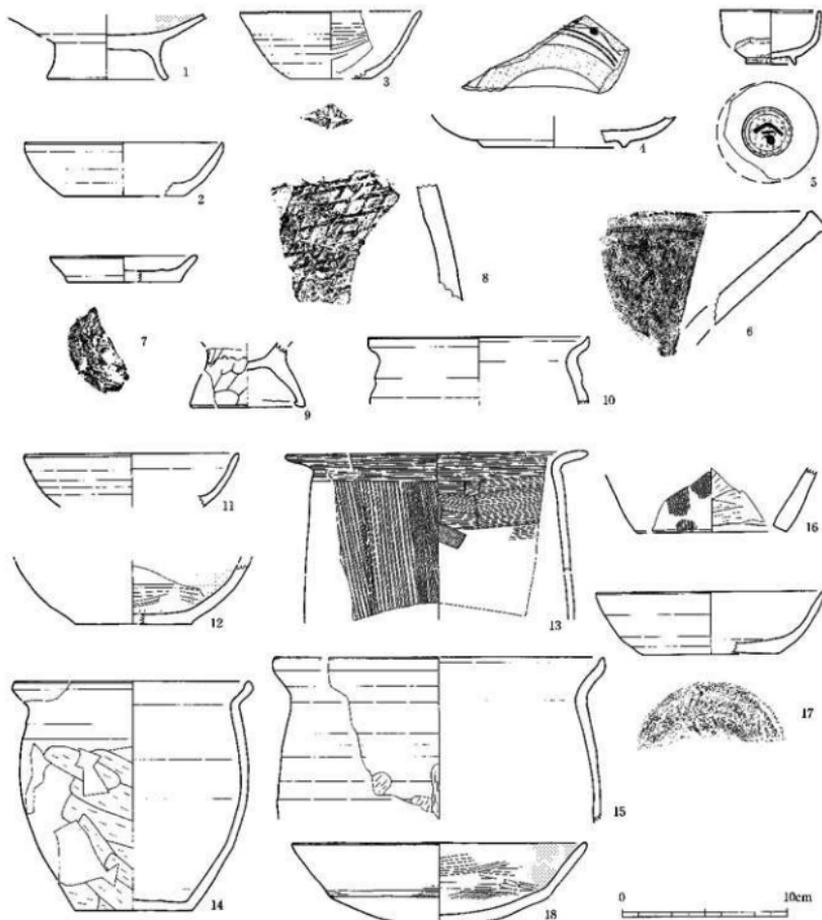
【堆積土・出土遺物】堆積土は2層に分けられる。遺物は出土していない。

**SK-82土坑** 【位置・重複】2区東部東壁際で検出された。東部は調査区の外にのびる。SD-25溝跡・SK-83土坑を切る。

【平面形・大きさ】検出部で半円形を呈し、東西検出部長130cm・南北軸長245cmを測る。

【深さ・断面形】深さは120cmと深い。断面形はU字形に近い舟底状を呈する。

【堆積土・出土遺物】堆積土は4層に分けられ、1層中からは多量の灰・焼土・炭化物・焼けた貝殻が多量に出土した。遺物は、土師器片31点・須恵器片6点・砥石1点(K-5第69図10)が出土している。



図中番号	発掘番号	出土区	基本層	遺物名	遺物層	取上No.	原別	器種	口径	底径	高さ	容量	重量	材質・形状・文様・用途・特徴	写真図取
1	D-36	2区	SK-53	1層	土師器	内付環			0(6)		7.1			内面ヘラミガキノ黒色処理	41-7
2	Is-4	2区	SK-58	1層	土師器	十郎器			3.3	12.1	7.4			ロケは外周 13c	赤地 44-7
3	D-53	2区	SK-70	1層	土師器	坪			4.2 (11.6)	(4.9)	8.6			内面ヘラミガキ 黒色処理(赤地?)	
4	J-R	2区	SK-71	3層	須恵器	皿			-9		8.6			匙付 くらわんか手 18c	黒地 58-9
5	Is-4	2区	SK-71	1層	須恵器	碗			3.3	16.2	4.0			内周縁(内外面) 黒色処理 外18c後半以降 粗地	47-1
6	Is-21	2区	SK-71	3層	須恵器	鉢								14c後半-15c前半	黒地 45-7
7	D-54	2区	SK-78	4層	土師器	皿			1.6	8.9	(6.9)			内周縁ロケは調整、黒色処理(赤地?)	41-13
8	Is-19	2区	SK-83		須恵器	須								調整ノチホキ野原 中仕	小形 46-7
9	C-12	2区	SK-95	1層	土師器	内付環			(4.9)		7.0			(黒地片) ヘラミガキ	39-5
10	D-55	2区	SK-95	1層	土師器	釜			(4.1)	(13.4)				内周縁ロケは黒地	42-7
11	Is-12	2区	SK-97	1層	赤山部	皿			3.2	13.1				内周縁ロケは調整	
12	D-56	2区	SK-97	1層	赤山部	鉢			(3.8)	(7.0)				外周ロケ調整(ヘラミガキ?) 内面ヘラミガキ(赤地?)	
13	C-27	2区	SK-97	1層	土師器	須?			(7.2)	(18.4)				外周ロケ調整、外周ヘラミガキ	39-3
14	D-59	2区	SK-98	1層	土師器	鉢			14.0	(14.6)	7.2			外周ロケ調整、外周ヘラミガキ、調整ノチホキ(調整ノチホキ?)	42-9
15	D-58	2区	SK-98	1層	土師器	須			(9.8)	(30.1)				外周ロケ調整(赤地?) 調整ノチホキ	42-8
16	C-13	2区	SK-101	1層	土師器	鉢			(3.9)	(9.0)				外周ヘラミガキ	39-6
17	K-13	2区	SK-146	1層	須恵器	坪			3.8	13.9	8.2			内周縁ロケ調整、調整ノチホキ(調整ノチホキ?)	43-9
18	C-14	2区	SK-147	2層上層	土師器	坪			5.0	(17.8)				外周ヘラミガキ(調整ノチホキ?)	38-6

第57図 2区土坑出土遺物(土師器・須恵器・陶器・磁器)

SK-83土坑 【位置・重複】2区東部の東壁際で検出された。SD-25溝跡を切り、SK-82土坑に切られる。

【平面形・大きさ】検出部で半楕円形を呈し、東西検出部長327cm・南北軸長244cmを測る。

【深さ・断面形】深さは110cmと深い。断面形は逆台形で、上半部が広がる。

【堆積土・出土遺物】堆積土は7層に分けられ、下部には砂が堆積している。遺物は、土師器片21点・須恵器片4点・常滑産無軸陶器1点・産地不明の格子叩きのある中世陶器片1点（Ic-19第57図8）・東美濃産灰軸陶器片1点・東海産灰軸陶器片1点などが出土している。

SK-85土坑 【位置・重複】2区中央北壁際で検出された。北部は調査区の外にのびる。SK-56土坑を切る。

【平面形・大きさ】検出部で半円形を呈し、南北検出部長145cm・南北検出部長79cmを測る。

【深さ・断面形】深さは11cmである。断面形は舟底状を呈する。

【堆積土・出土遺物】堆積土は2層に分けられる。遺物は、土師器片25点・須恵器片1点が出土している。

SK-86土坑 【位置・重複】2区東部中央で検出された。西側をSE-7井戸跡に切られている。

【平面形・大きさ】検出部で半楕円形を呈し、東西長軸検出部長88cm・南北短軸49cmを測る。

【深さ・断面形】深さは26cmである。断面形はU字形を呈する。

【堆積土・出土遺物】堆積土は2層に分けられる。遺物は、土師器片が1点と角釘が1点（N-69：第71図8）出土している。

SK-92土坑 【位置・重複】2区東部南側で検出された。SD-14・22溝跡に切れられ、SD-29溝跡を切る。

【平面形・大きさ】上部の一部を切られるが、現存部は楕円形を呈し、南北長軸135cm・東西短軸104cmを測る。

【深さ・断面形】深さは60cmである。断面形は舟底状を呈する。

【堆積土・出土遺物】堆積土は3層に分けられる。遺物は、棒状の鉄製品が2点（N-72・73：第71図11・12）出土している。

SK-93土坑 【位置・重複】2区西部南側の西壁寄りで検出された。SD-14溝跡に切られる。

【平面形・大きさ】上部を切られるが、整った隅丸長方形を呈し、東西長軸127cm・南北短軸85cmを測る。

【深さ・断面形】深さは75cmで、大きさの割りに深い。断面形は逆台形を呈する。

【堆積土・出土遺物】堆積土は3層に分けられる。遺物は、土師器片29点と須恵器片1点が出土している。

SK-94土坑 【位置・重複】2区西部北側で検出された。

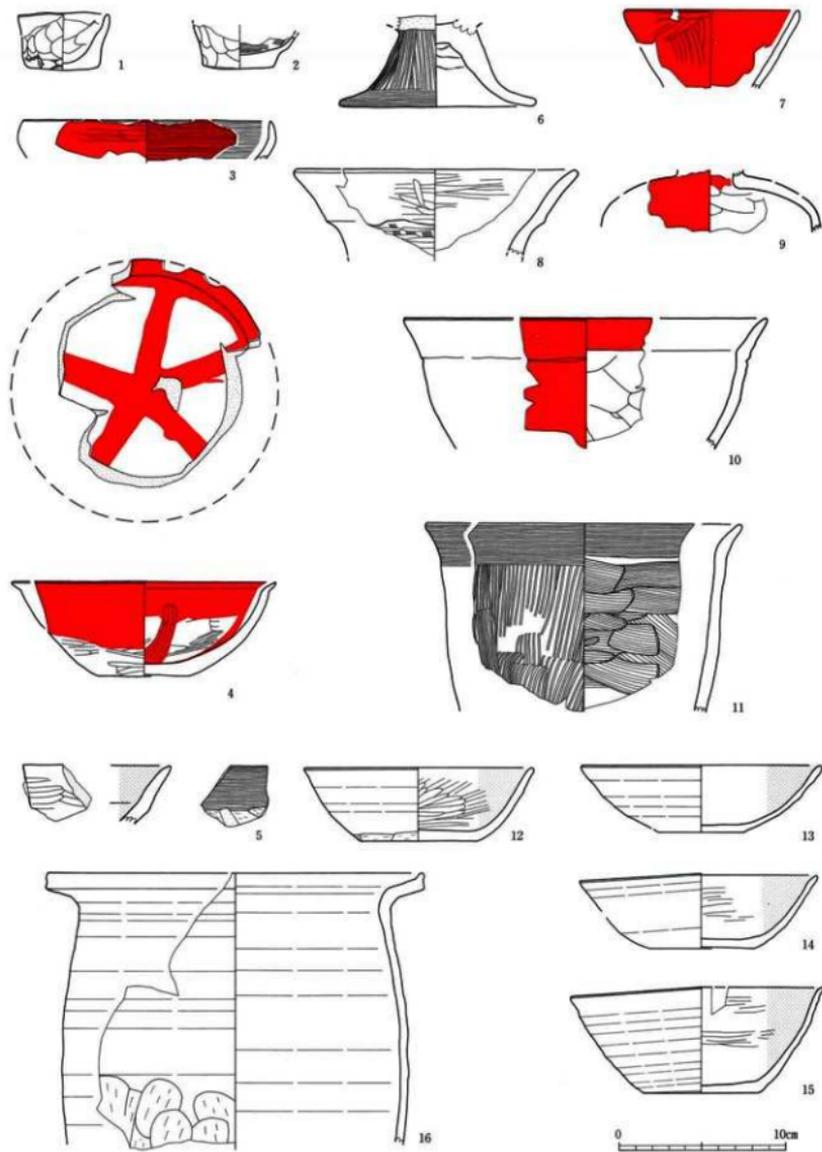
【平面形・大きさ】整った円形を呈し、南北軸92cm・東西軸90cmを測る。

【深さ・断面形】深さは85cmで、大きさの割りに深い。断面形は凹形を呈するが上部がやや開いている。

【堆積土・出土遺物】堆積土は3層に分けられる。遺物は、土師器片が29点出土している。

第58図観音表

観音番号	登録番号	出土区	土坑名	遺物名	遺物層	取上No.	分類	形	寸法	量	出所	製法	備考	写真掲載
1	C-5	2区	2土坑				土師器	1コマナサ	5(0)		5.5	内側ハケミ		38-2
2	C-6	2区	2土坑				土師器	1コマナサ	7(27)		4.2	内側ハケミ	内側ハケミ	38-2
3	C-8	2区	2土坑				土師器	片	2(4)	14(4)			内側ハケミ	38-2
4	C-1	2区	2土坑				土師器	片	5(8)	16(6)	5.4	内側ハケミ	内側ハケミ	38-2
5	C-7	2区	2土坑				土師器	片	3(6)				内側ハケミ	38-7
6	C-2	2区	2土坑				土師器	片	3(6)		11.9	内側ハケミ	内側ハケミ	38-10
7	C-9	2区	2土坑				土師器	片	4(8)	10(7)			内側ハケミ	38-11
8	C-4	2区	2土坑				土師器	片	5(3)	17(2)			内側ハケミ	38-13
9	C-11	2区	2土坑				土師器	片	3(8)				内側ハケミ	38-13
10	C-10	2区	2土坑				土師器	片	4(0)	21(8)			内側ハケミ	38-13
11	C-3	2区	2土坑				土師器	片	11(1)	15(2)			内側ハケミ	39-2
12	D-8	2区	2土坑				土師器	片	4(8)	13(8)	7.0		内側ハケミ	39-7
13	D-12	2区	2土坑				土師器	片	4(1)	14(5)	5.2		内側ハケミ	39-10
14	D-10	2区	2土坑				土師器	片	4(8)	14(4)	6.2		内側ハケミ	39-9
15	D-9	2区	2土坑				土師器	片	6(5)	15(3)	6.0		内側ハケミ	39-8
16	D-11	2区	2土坑				土師器	片	1(6)	22(8)			内側ハケミ	39-1



第58図 2区2b層出土遺物（土師器）

SK-100土坑 【位置・重複】2区中央部北側で検出された。SK-58土坑に南半部を切られる。

【平面形・大きさ】残存部は半円形を呈す。残存南北軸長33cm・残存東西軸長63cmを測る。

【深さ・断面形】深さは17cmである。断面形は舟底形を呈する。

【堆積上・出土遺物】堆積土は暗褐色の砂質シルト1層である。遺物は出土していない。

## 2 2b層出土遺物

### 1) 2b層中の遺物

2区2b層中からは、多数の上師器・須恵器片のほか、無釉陶器・中国青磁・瓦・土製品等が出土している。土師器は、ロクロを使用以前のもので、ロクロを使用したものが混在している。破片点数としては、非ロクロ土師器片2226点・ロクロ土師器片239点を数える。

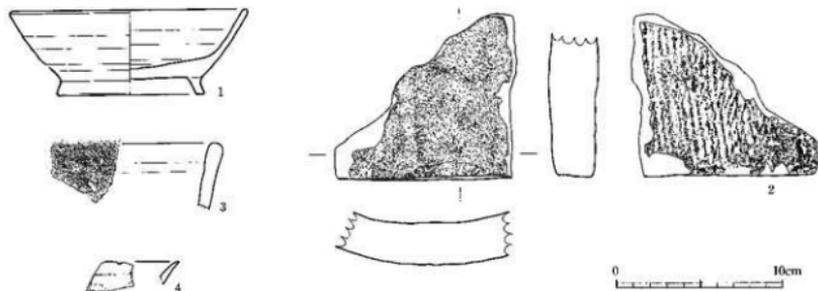
ロクロ使用以前の土師器には、小型手握ね土器（C-5・6：第58図1・2）・坏（C-1・7・8：第58図3～5）・高杯（C-2：第58図6）・壺（C-4・9・11：第58図7～9）・鉢形土器（C-10：第58図10）・甕（C-3：第58図11）が含まれている。器形や調整の特徴から、C-10は古墳時代前期埴笠式、C-4・9・11は埴笠式ないし古墳時代中期南小泉式、C-1・8は南小泉式、C-7は古墳時代後期住社式、C-2・3は住社式から古墳時代終末期の架開式に相当すると思われる。なお、C-1・8・9・10・11には赤色顔料による着色が行われている。他の破片にも赤彩されているものが多い。

ロクロ土師器は、坏（D-8～10・12：第58図12～15）と甕（D-11：第58図16）がある。坏は、図化したものは内面がヘラミガキ調整のうえ黒色処理されている。

須恵器は、坏及び甕・壺類の破片などが121点ある。図化したのは台付坏1点（E-1：第59図1）だけである。E-1は、底部の切り離し技法は不明で、切り離した後ロクロ調整されている。底部から口縁部まで直線的に外傾して立ちあがる。

瓦は古代の平瓦で、凹面ナデ・凸面縄叩き後軽くナデ調整されている（G-1：第59図2）。

無釉陶器は、東海産の山茶碗系の鉢片（Ic-10：第59図3）のほか、瀬美産1点・常滑産10点・県内産2点・その他3点の破片がある。中国青磁は、龍泉窯系の燻反り碗の破片（J-5：第59図4）がある。土製品は、小さ



図中 番号	登録番号	出土区	基本層	遺物名	遺物種	取上 No.	類別	器 種	器 高	口径	底径	厚	特徴・備考	写真掲載
1	E-1	2区	2b層	須恵器	須恵器	144	須恵器	内付坏	5.3	14.4	9.0	内面縞口平口調整 底部切離し不明なナデ	43-1	
2	G-1	2区	2b層	瓦	瓦	102	瓦	平瓦	10.2	11.1	3.0	凹面ナデ 凸面縄叩き後のナデ		
3	Ic-10	2区	2b層	無釉陶器	鉢		無釉陶器	鉢				山東産 13-13c	常滑 45-6	
4	J-5	2区	2b層	中国青磁	燻反り碗		中国青磁	燻反り碗				内面片切彫文 13c	龍泉窯 47-10	

第59図 2区2b層出土遺物（須恵器・瓦・陶器・磁器）

な管状の製品が1点出土している（P-4：第72図2）。

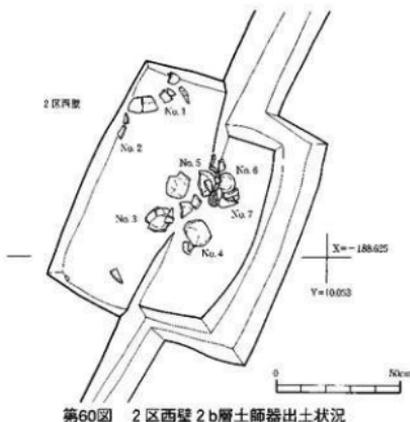
以上のように、2区2b層中からの出土遺物として取上げたものには、古墳時代前期から13世紀頃の中世までの遺物が混在して出土している。これらの遺物のうち、非ロクロ土師器については、2b層除去後の調査においても、当該期の明確な遺構が検出されていないことや、小破片が多いことから、近隣からの流入土に混じって堆積した2次的な遺物と考えられる。また、前記したように、2b層中でS T-1堅穴住居跡に伴う焼土面が検出されたことや、後述するように2区西壁にかかって古代の土器が面的にまとまって出土したことを考慮すると、2b層は平安時代中にすでに形成されていたと判断しなければならない。また、2b層中からも中世の遺物が少なからず出土していることは、中世になってもなお2b層の形成に関する堆積作用（耕作などの地表面の掘削等を含む）が継続していたことを示唆しているものと理解される。ただし、2b層出土の中世期の遺物については、2b層上面で検出された掘立柱建物跡の柱穴の一部が、2b層除去後に発見された例があることから、2b層上面での遺構検出の際に、検出エラーがあり、その遺構に含まれていた遺物である可能性を完全には否定できない。

## 2) 西壁際の2b層一括土器

2区西壁の壁際に細溝を掘り下げた際に、西壁の中央付近の2b層中から平面的な広がりを持って土師器が出土した（第60図・図版35-5）。西側に1mの幅で50cmほど拡張したところ、遺物はさらに西側にのびて分布していることが確認された。拡張部の平面及び西壁の断面を精査したが、土器群を含む遺構の輪郭は確認できなかった。遺物は2層中に平面的に広がるような状態で、一部重なって出土している。7個体に分けて取り上げたが、接合の結果10個体に分類された。

出土した土器はいずれもロクロを使用した土師器である。内外面ともロクロ調整のみで、黒色処理されていないもの（D-16-22：第61図1～7）と、内面がヘラミガキの後黒色処理されたもの（D-13-15：第

61図8～10）とがある。前者の底部が残存するものはいずれも高台が付く。前者は口径と深さによって、小型の浅い皿状のもの（D-16・18・19・21）、中型のやや深い碗状のもの（D-20・22）、大型で深い碗状となると推定されるもの（D-17）の3種類に分けられる。後者は、台付きで口径も大きく深いもの（D-15）、台が無くやや深いもの（D-13）、台が無くやや小型で比較的浅いもの（D-14）がある。これらの遺物については、ブランは検出できなかったが、2b層の何らかの遺構に関係する一括の土器群と理解される。



第60図 2区西壁2b層土師器出土状況

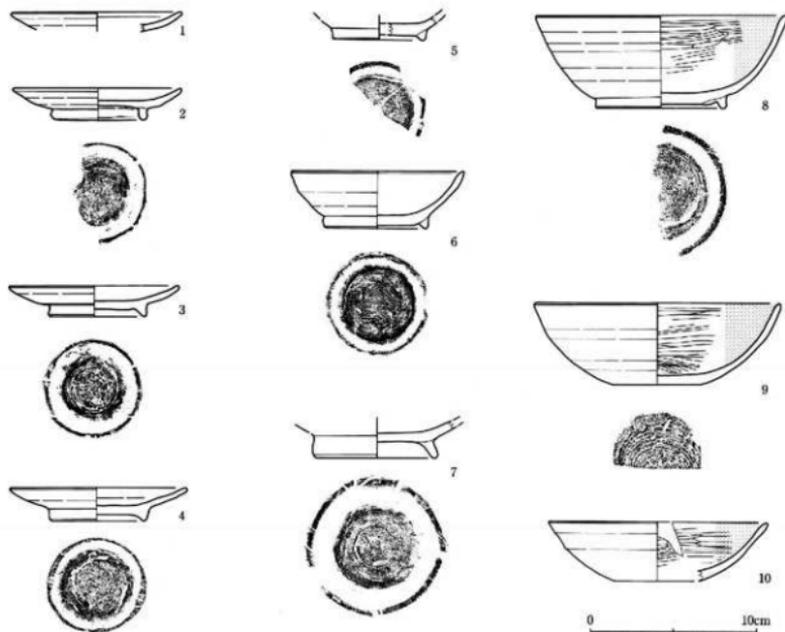
## 3 3層上面検出遺構

3層上面では溝跡2条・堅穴遺構1基・土坑17基・その他の遺構2基が検出された。またピットが新たに30個検出されているが、これらのほとんどは2b層における検出エラーによって3層の調査段階になって発見できたものと考えられる。

### 1) 溝跡

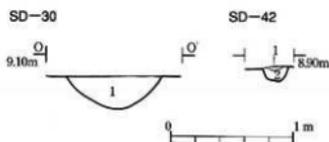
S D-30溝跡 【位置・重複】2区の西部を南北に横断して検出された。中央部を2b層のS D-12溝跡に切ら

第3節 2区の調査概要



図中 番号	登録番号	出土区	土層	基本形	遺物名	出土No.	分類	分形	法	量	母体・備考	写真図版	
1	D-18	2区	2b層	西壁			土師器	皿	器高・長(口径・幅)	底径・厚	(調整・産地・素材・修復・火取・産地・時期)		
2	D-16	2区	2b層	西壁			土師器	台付皿	2.0	10.3	5.8	内外面セラロ調整	41-1
3	D-19	2区	2b層	西壁			土師器	台付皿	1.9	10.1	5.9	内外面セラロ調整、底面回転糸切	41-2
4	D-21	2区	2b層	西壁			土師器	台付皿	2.0	10.7	5.9	内外面セラロ調整、底面回転糸切	41-3
5	D-22	2区	2b層	西壁			土師器	深器	(1.9)		(5.7)	内外面セラロ調整	
6	D-20	2区	2b層	西壁			土師器	台付鉢	3.5	10.5	6.1	内外面セラロ調整、底面回転糸切	41-5
7	D-17	2区	2b層	西壁			土師器	台付鉢	(2.3)		7.5	内外面セラロ調整、底面回転糸切	41-4
8	D-15	2区	2b層	西壁			土師器	台付鉢	5.7	15.3	8.0	外面コテ、刺刺・産地・素材・火取、内面ヘラミダキ、黒色施磨	40-10
9	D-13	2区	2b層	西壁		No4	土師器	鉢	3.0	15.0	5.2	内面ヘラミダキ、黒色施磨、底面回転糸切	
10	D-14	2区	2b層	西壁			土師器	鉢	3.6	15.3		内面ヘラミダキ、黒色施磨	30-11

第61図 2区西壁2b層一括出土土器



土層No.	土色	土質	備考
1	HOY5/2	こぶ・粘り	シルト質砂 礫化鉄を混入含む。

土層No.	土色	土質	備考
1	HOY5/2	こぶ・粘り	砂質シルト
2	HOY5/4	硬砂	砂質シルト 濃い黄褐色土のゾックを多く含む。

第62図 2区3層検出溝跡断面

れている。

【方向・幅】溝の方向は、N-28°-Eである。上面幅は断面実測位置で95cm・底面幅は45cmほどで、全体的にはほぼ同じ幅である。

【深さ・断面形】深さは25cm前後である。断面形は舟底形である。

【堆積土・出土遺物】堆積土は、におい黄褐色のシルト質砂層1層である。遺物は、土師器片が70点と須恵器片が4点出土している。いずれも細片である。

S D-42溝跡 【位置・重複】2区の西壁中央付近で80cmの長さ分が検出された。西傾は調査区の外にのびる。

【方向・幅】溝の方向は、N-66°-Wである。上面幅は断面実測位置で20cm・底面幅は10cmほどである。

【深さ・断面形】底面には細かな起伏があり深いところで13cmほどである。断面形は舟底形である。溝跡底面の起伏は、掘削具によるものと観察される。

【堆積土・出土遺物】堆積土は、3層に類似しているがブロック状の堆積層である。出土遺物はない。

## 2) 竪穴遺構

S I-3竪穴遺構 【位置・重複・遺存状況】2区の中央西寄りの調査区北壁際で検出された。北側は調査区の外にのびている。2b層のS D-20溝跡・S K-54・56土坑に切られている。

【平面形・規模・方向】平面形は検出部で隅丸方形を呈す。検出された南西辺で5.2mを測る。南西辺から1.4mの範囲が検出されている。南西辺の方向はN-64°-Wである。

【堆積土】堆積土は3層に分けられ、壁際には炭化物を多量に含む暗褐色土が薄く分布している。

【底面・壁面】底面は僅かに凹凸がある。調査範囲で周溝、柱穴・貼り床・焼土面等は検出されていない。壁面は、15~20cm残り、比較的急に立ちあがる。

【出土遺物】遺物は、ロクロ使用のものを含む土師器片56点と、須恵器片5点・鉄滓1点が出土している。いずれも小片である。

## 3) 土坑

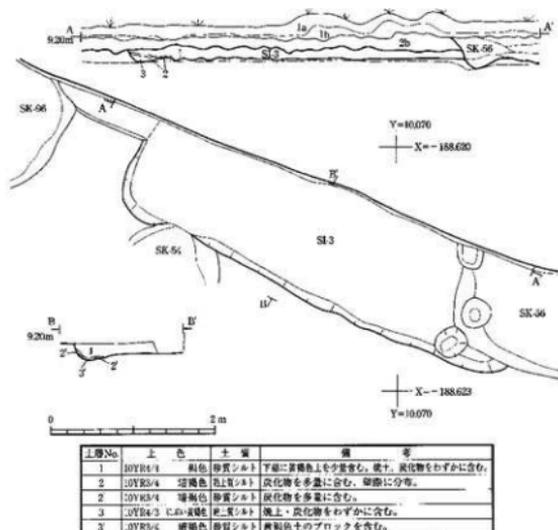
S K-88土坑 【位置・重複】2区中央部の北寄り、S D-12溝跡の底面で検出された。

【平面形・大きさ】円形を呈し、南北軸93cm・東西軸99cmを測る。

【深さ・断面形】深さは38cmで、断面形は不整な舟底形である。

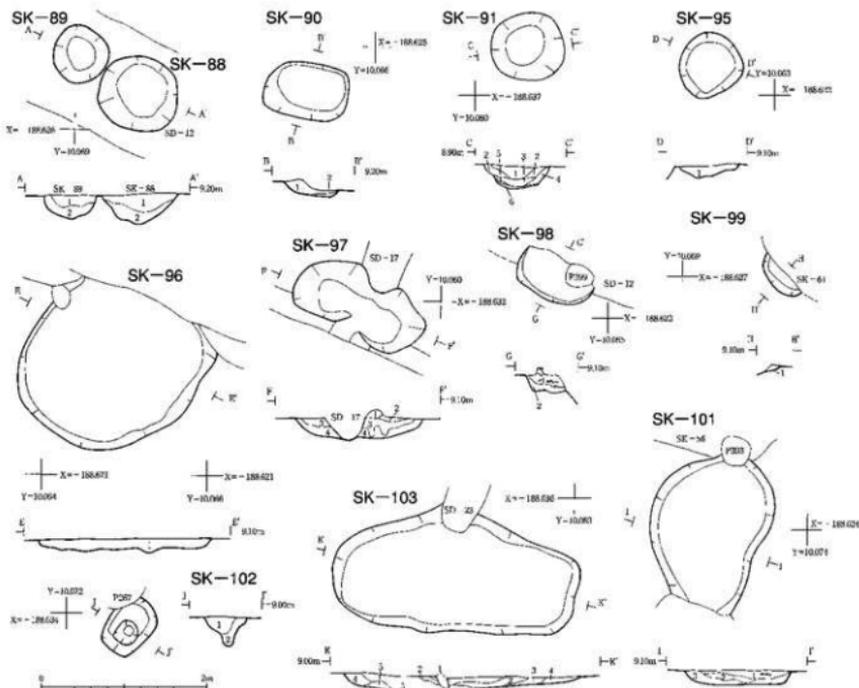
【堆積土・出土遺物】堆積土は2層に分けられ、両層に炭化物を含む。遺物は角釘が2点(N-70・71第71図9・10)が出土している。

S K-89土坑 【位置・重複】2区中央部の北寄り、S D-12溝跡の底面で検出された。S K-88土坑の西隣り



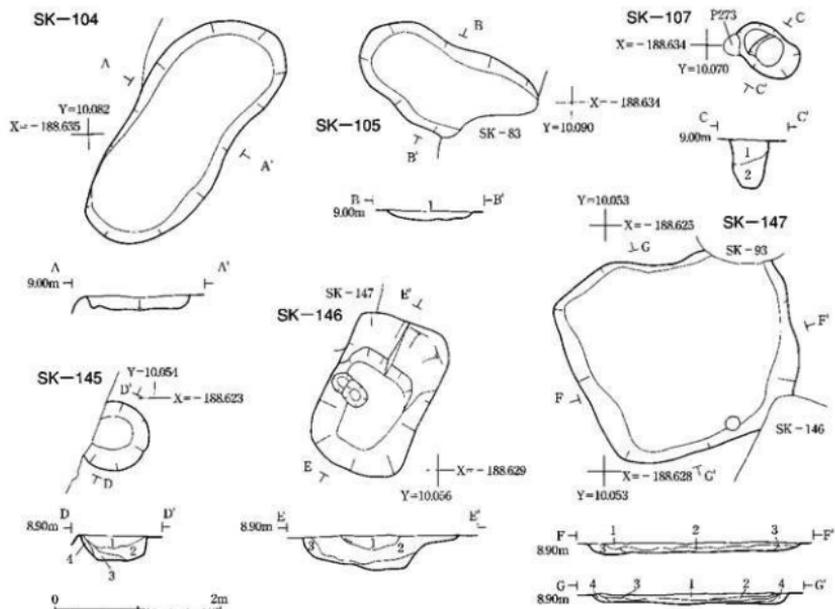
第63図 2区3層検出SI-3竪穴遺構

第3部 2区の調査概要



SK-88 ~ SK-89					SK-96				
土層No.	土色	土質	備考		土層No.	土色	土質	備考	
1	10YR3/3	暗褐色 砂質シルト	炭化物を多量に含む。		1	10YR3/3	暗褐色 シルト	炭化物、焼いたブロッコを多量に含む。土層内、遺物を多く含む。	
2	10YR4/3	紅褐色 シルト	焼土、炭化物、焼いた土を含む。		2	10YR4/4	暗褐色 シルト	焼土、炭化物、焼いた土を少量含む。	
SK-89	10YR2/3	灰褐色 砂質シルト	炭化物、褐色土ブロッコを多く含む。		SK-99	土色	土質	備考	
1	10YR2/3	暗褐色 砂質シルト	炭化物を多量に含む。黄色土のブロッコを含む。		1	10YR3/3	暗褐色 砂質シルト	炭化物、褐色土ブロッコを少量含む。	
SK-90	土色	土質	備考		SK-101	土色	土質	備考	
1	10YR4/3	紅褐色 シルト	炭化物、土層片を含む。		1	10YR3/3	暗褐色 シルト	炭化物、褐色土ブロッコを少量含む。	
2	10YR3/4	暗褐色 シルト	褐色土のブロッコを含む。		SK-102	土色	土質	備考	
SK-91	土層No. <td>土色 <td>土質 <td>備考</td> <td>1</td> <td>10YR3/3</td> <td>暗褐色 シルト</td> <td>炭化物、土層片を含む。</td> </td></td>	土色 <td>土質 <td>備考</td> <td>1</td> <td>10YR3/3</td> <td>暗褐色 シルト</td> <td>炭化物、土層片を含む。</td> </td>	土質 <td>備考</td> <td>1</td> <td>10YR3/3</td> <td>暗褐色 シルト</td> <td>炭化物、土層片を含む。</td>	備考	1	10YR3/3	暗褐色 シルト	炭化物、土層片を含む。	
1	10YR3/3	暗褐色 シルト	炭化物、褐色土ブロッコを少量含む。		2	10YR3/4	暗褐色 シルト	褐色土のブロッコを含む。	
2	10YR4/4	暗褐色 シルト	褐色土のブロッコを含む。		SK-103	土層No. <td>土色 <td>土質 <td>備考</td> </td></td>	土色 <td>土質 <td>備考</td> </td>	土質 <td>備考</td>	備考
3	10YR4/3	暗褐色 シルト	褐色土のブロッコを含む。		1	10YR3/3	暗褐色 シルト	炭化物をわずかに含む。	
4	10YR3/4	暗褐色 シルト	褐色土のブロッコを含む。		2	10YR4/3	暗褐色 シルト	灰白色灰土層 褐色土の白色土層を断続的に含む。	
5	10YR4/2	灰黄色 粘土	粘質土のブロッコを含む。		3	10YR3/4	暗褐色 砂質シルト	褐色土を少量含む。	
6	10YR3/3	暗褐色 粘土			4	10YR4/3	暗褐色 砂質シルト	褐色土を少量含む。	
SK-95	土層No. <td>土色 <td>土質 <td>備考</td> <td>5</td> <td>10YR4/4</td> <td>暗褐色 砂質シルト</td> <td></td> </td></td>	土色 <td>土質 <td>備考</td> <td>5</td> <td>10YR4/4</td> <td>暗褐色 砂質シルト</td> <td></td> </td>	土質 <td>備考</td> <td>5</td> <td>10YR4/4</td> <td>暗褐色 砂質シルト</td> <td></td>	備考	5	10YR4/4	暗褐色 砂質シルト		
1	10YR4/3	暗褐色 シルト	炭化物をわずかに含む。		SK-99	土層No. <td>土色 <td>土質 <td>備考</td> </td></td>	土色 <td>土質 <td>備考</td> </td>	土質 <td>備考</td>	備考
2	10YR4/3	暗褐色 シルト	炭化物をわずかに含む。		1	10YR3/3	暗褐色 シルト	炭化物、褐色土ブロッコを少量含む。	
3	10YR3/4	暗褐色 シルト	褐色土を少量含む。		2	10YR4/4	暗褐色 シルト	褐色土のブロッコを含む。	
4	10YR4/3	暗褐色 シルト	褐色土を少量含む。		SK-101	土層No. <td>土色 <td>土質 <td>備考</td> </td></td>	土色 <td>土質 <td>備考</td> </td>	土質 <td>備考</td>	備考
5	10YR4/4	暗褐色 シルト			1	10YR3/3	暗褐色 シルト	炭化物、褐色土ブロッコを少量含む。	
SK-96	土層No. <td>土色 <td>土質 <td>備考</td> <td>2</td> <td>10YR4/3</td> <td>暗褐色 シルト</td> <td>褐色土のブロッコを含む。</td> </td></td>	土色 <td>土質 <td>備考</td> <td>2</td> <td>10YR4/3</td> <td>暗褐色 シルト</td> <td>褐色土のブロッコを含む。</td> </td>	土質 <td>備考</td> <td>2</td> <td>10YR4/3</td> <td>暗褐色 シルト</td> <td>褐色土のブロッコを含む。</td>	備考	2	10YR4/3	暗褐色 シルト	褐色土のブロッコを含む。	
1	10YR3/3	暗褐色 シルト	炭化物を少量含む。		SK-102	土層No. <td>土色 <td>土質 <td>備考</td> </td></td>	土色 <td>土質 <td>備考</td> </td>	土質 <td>備考</td>	備考
2	10YR4/3	暗褐色 シルト	土層片を少量含む。		1	10YR3/3	暗褐色 シルト	炭化物、褐色土ブロッコを少量含む。	
SK-97	土層No. <td>土色 <td>土質 <td>備考</td> <td>2</td> <td>10YR4/3</td> <td>暗褐色 シルト</td> <td>褐色土のブロッコを含む。</td> </td></td>	土色 <td>土質 <td>備考</td> <td>2</td> <td>10YR4/3</td> <td>暗褐色 シルト</td> <td>褐色土のブロッコを含む。</td> </td>	土質 <td>備考</td> <td>2</td> <td>10YR4/3</td> <td>暗褐色 シルト</td> <td>褐色土のブロッコを含む。</td>	備考	2	10YR4/3	暗褐色 シルト	褐色土のブロッコを含む。	
1	10YR3/3	暗褐色 シルト	炭化物を少量含む。		SK-99	土層No. <td>土色 <td>土質 <td>備考</td> </td></td>	土色 <td>土質 <td>備考</td> </td>	土質 <td>備考</td>	備考
2	10YR4/3	暗褐色 シルト	褐色土のブロッコを含む。		1	10YR3/3	暗褐色 シルト	炭化物、褐色土ブロッコを少量含む。	
3	10YR4/3	暗褐色 シルト	褐色土のブロッコを含む。		2	10YR4/4	暗褐色 シルト	褐色土のブロッコを含む。	
4	10YR4/2	灰黄色 粘土	粘質土のブロッコを含む。		SK-101	土層No. <td>土色 <td>土質 <td>備考</td> </td></td>	土色 <td>土質 <td>備考</td> </td>	土質 <td>備考</td>	備考
5	10YR3/3	暗褐色 粘土			1	10YR3/3	暗褐色 シルト	炭化物、褐色土ブロッコを少量含む。	
SK-98	土層No. <td>土色 <td>土質 <td>備考</td> <td>2</td> <td>10YR4/3</td> <td>暗褐色 シルト</td> <td>褐色土のブロッコを含む。</td> </td></td>	土色 <td>土質 <td>備考</td> <td>2</td> <td>10YR4/3</td> <td>暗褐色 シルト</td> <td>褐色土のブロッコを含む。</td> </td>	土質 <td>備考</td> <td>2</td> <td>10YR4/3</td> <td>暗褐色 シルト</td> <td>褐色土のブロッコを含む。</td>	備考	2	10YR4/3	暗褐色 シルト	褐色土のブロッコを含む。	
1	10YR3/3	暗褐色 シルト	炭化物を少量含む。		SK-102	土層No. <td>土色 <td>土質 <td>備考</td> </td></td>	土色 <td>土質 <td>備考</td> </td>	土質 <td>備考</td>	備考
2	10YR4/3	暗褐色 シルト	褐色土のブロッコを含む。		1	10YR3/3	暗褐色 シルト	炭化物、褐色土ブロッコを少量含む。	
3	10YR4/3	暗褐色 シルト	褐色土のブロッコを含む。		2	10YR4/3	暗褐色 シルト	褐色土のブロッコを含む。	
4	10YR4/3	暗褐色 シルト	褐色土のブロッコを含む。		SK-103	土層No. <td>土色 <td>土質 <td>備考</td> </td></td>	土色 <td>土質 <td>備考</td> </td>	土質 <td>備考</td>	備考
5	10YR4/4	暗褐色 シルト			1	10YR3/3	暗褐色 シルト	炭化物を少量含む。	
SK-99	土層No. <td>土色 <td>土質 <td>備考</td> <td>2</td> <td>10YR4/3</td> <td>暗褐色 シルト</td> <td>褐色土のブロッコを含む。</td> </td></td>	土色 <td>土質 <td>備考</td> <td>2</td> <td>10YR4/3</td> <td>暗褐色 シルト</td> <td>褐色土のブロッコを含む。</td> </td>	土質 <td>備考</td> <td>2</td> <td>10YR4/3</td> <td>暗褐色 シルト</td> <td>褐色土のブロッコを含む。</td>	備考	2	10YR4/3	暗褐色 シルト	褐色土のブロッコを含む。	
1	10YR3/3	暗褐色 シルト	炭化物、褐色土ブロッコを少量含む。		SK-99	土層No. <td>土色 <td>土質 <td>備考</td> </td></td>	土色 <td>土質 <td>備考</td> </td>	土質 <td>備考</td>	備考
2	10YR4/4	暗褐色 シルト	褐色土のブロッコを含む。		1	10YR3/3	暗褐色 シルト	炭化物、褐色土ブロッコを少量含む。	
3	10YR4/3	暗褐色 シルト	褐色土のブロッコを含む。		2	10YR4/4	暗褐色 シルト	褐色土のブロッコを含む。	
4	10YR4/3	暗褐色 シルト	褐色土のブロッコを含む。		SK-101	土層No. <td>土色 <td>土質 <td>備考</td> </td></td>	土色 <td>土質 <td>備考</td> </td>	土質 <td>備考</td>	備考
5	10YR4/4	暗褐色 シルト			1	10YR3/3	暗褐色 シルト	炭化物、褐色土ブロッコを少量含む。	
SK-101	土層No. <td>土色 <td>土質 <td>備考</td> <td>2</td> <td>10YR4/3</td> <td>暗褐色 シルト</td> <td>褐色土のブロッコを含む。</td> </td></td>	土色 <td>土質 <td>備考</td> <td>2</td> <td>10YR4/3</td> <td>暗褐色 シルト</td> <td>褐色土のブロッコを含む。</td> </td>	土質 <td>備考</td> <td>2</td> <td>10YR4/3</td> <td>暗褐色 シルト</td> <td>褐色土のブロッコを含む。</td>	備考	2	10YR4/3	暗褐色 シルト	褐色土のブロッコを含む。	
1	10YR3/3	暗褐色 シルト	炭化物、褐色土ブロッコを少量含む。		SK-102	土層No. <td>土色 <td>土質 <td>備考</td> </td></td>	土色 <td>土質 <td>備考</td> </td>	土質 <td>備考</td>	備考
2	10YR4/4	暗褐色 シルト	褐色土のブロッコを含む。		1	10YR3/3	暗褐色 シルト	炭化物、褐色土ブロッコを少量含む。	
3	10YR4/3	暗褐色 シルト	褐色土のブロッコを含む。		2	10YR4/4	暗褐色 シルト	褐色土のブロッコを含む。	
4	10YR4/3	暗褐色 シルト	褐色土のブロッコを含む。		SK-103	土層No. <td>土色 <td>土質 <td>備考</td> </td></td>	土色 <td>土質 <td>備考</td> </td>	土質 <td>備考</td>	備考
5	10YR4/4	暗褐色 シルト			1	10YR3/3	暗褐色 シルト	炭化物を少量含む。	

第64図 2区3層検出土坑1



SK 104				SK 145				
土層No.	土色	土質	備考	土層No.	土色	土質	備考	
1	10YR6/4	褐色	写色	1	10Y2.3/3	暗褐色	砂質シルト	粘土、炭化物を多量に含む。土坑中央上部に分布。
2	10YR6/4	褐色	写色	2	10YR4/2	灰黄褐色	砂質シルト	炭化物をわずかに含む。
3	10YR6/4	褐色	写色	3	10YR5/4	灰黄褐色	砂質シルト	黄褐色土のブロックを多く含む。
4	10YR6/4	褐色	写色	4	10YR5/4	灰黄褐色	砂質シルト	黄褐色土のブロックを多く含む。
5	10YR6/4	褐色	写色	5	10YR5/4	灰黄褐色	砂質シルト	黄褐色土のブロックを多く含む。
6	10YR6/4	褐色	写色	6	10YR5/4	灰黄褐色	砂質シルト	黄褐色土のブロックを多く含む。
7	10YR6/4	褐色	写色	7	10YR5/4	灰黄褐色	砂質シルト	黄褐色土のブロックを多く含む。
8	10YR6/4	褐色	写色	8	10YR5/4	灰黄褐色	砂質シルト	黄褐色土のブロックを多く含む。
9	10YR6/4	褐色	写色	9	10YR5/4	灰黄褐色	砂質シルト	黄褐色土のブロックを多く含む。
10	10YR6/4	褐色	写色	10	10YR5/4	灰黄褐色	砂質シルト	黄褐色土のブロックを多く含む。
11	10YR6/4	褐色	写色	11	10YR5/4	灰黄褐色	砂質シルト	黄褐色土のブロックを多く含む。
12	10YR6/4	褐色	写色	12	10YR5/4	灰黄褐色	砂質シルト	黄褐色土のブロックを多く含む。
13	10YR6/4	褐色	写色	13	10YR5/4	灰黄褐色	砂質シルト	黄褐色土のブロックを多く含む。
14	10YR6/4	褐色	写色	14	10YR5/4	灰黄褐色	砂質シルト	黄褐色土のブロックを多く含む。
15	10YR6/4	褐色	写色	15	10YR5/4	灰黄褐色	砂質シルト	黄褐色土のブロックを多く含む。
16	10YR6/4	褐色	写色	16	10YR5/4	灰黄褐色	砂質シルト	黄褐色土のブロックを多く含む。
17	10YR6/4	褐色	写色	17	10YR5/4	灰黄褐色	砂質シルト	黄褐色土のブロックを多く含む。
18	10YR6/4	褐色	写色	18	10YR5/4	灰黄褐色	砂質シルト	黄褐色土のブロックを多く含む。
19	10YR6/4	褐色	写色	19	10YR5/4	灰黄褐色	砂質シルト	黄褐色土のブロックを多く含む。
20	10YR6/4	褐色	写色	20	10YR5/4	灰黄褐色	砂質シルト	黄褐色土のブロックを多く含む。
21	10YR6/4	褐色	写色	21	10YR5/4	灰黄褐色	砂質シルト	黄褐色土のブロックを多く含む。
22	10YR6/4	褐色	写色	22	10YR5/4	灰黄褐色	砂質シルト	黄褐色土のブロックを多く含む。
23	10YR6/4	褐色	写色	23	10YR5/4	灰黄褐色	砂質シルト	黄褐色土のブロックを多く含む。
24	10YR6/4	褐色	写色	24	10YR5/4	灰黄褐色	砂質シルト	黄褐色土のブロックを多く含む。
25	10YR6/4	褐色	写色	25	10YR5/4	灰黄褐色	砂質シルト	黄褐色土のブロックを多く含む。
26	10YR6/4	褐色	写色	26	10YR5/4	灰黄褐色	砂質シルト	黄褐色土のブロックを多く含む。
27	10YR6/4	褐色	写色	27	10YR5/4	灰黄褐色	砂質シルト	黄褐色土のブロックを多く含む。
28	10YR6/4	褐色	写色	28	10YR5/4	灰黄褐色	砂質シルト	黄褐色土のブロックを多く含む。
29	10YR6/4	褐色	写色	29	10YR5/4	灰黄褐色	砂質シルト	黄褐色土のブロックを多く含む。
30	10YR6/4	褐色	写色	30	10YR5/4	灰黄褐色	砂質シルト	黄褐色土のブロックを多く含む。
31	10YR6/4	褐色	写色	31	10YR5/4	灰黄褐色	砂質シルト	黄褐色土のブロックを多く含む。
32	10YR6/4	褐色	写色	32	10YR5/4	灰黄褐色	砂質シルト	黄褐色土のブロックを多く含む。
33	10YR6/4	褐色	写色	33	10YR5/4	灰黄褐色	砂質シルト	黄褐色土のブロックを多く含む。
34	10YR6/4	褐色	写色	34	10YR5/4	灰黄褐色	砂質シルト	黄褐色土のブロックを多く含む。
35	10YR6/4	褐色	写色	35	10YR5/4	灰黄褐色	砂質シルト	黄褐色土のブロックを多く含む。
36	10YR6/4	褐色	写色	36	10YR5/4	灰黄褐色	砂質シルト	黄褐色土のブロックを多く含む。
37	10YR6/4	褐色	写色	37	10YR5/4	灰黄褐色	砂質シルト	黄褐色土のブロックを多く含む。
38	10YR6/4	褐色	写色	38	10YR5/4	灰黄褐色	砂質シルト	黄褐色土のブロックを多く含む。
39	10YR6/4	褐色	写色	39	10YR5/4	灰黄褐色	砂質シルト	黄褐色土のブロックを多く含む。
40	10YR6/4	褐色	写色	40	10YR5/4	灰黄褐色	砂質シルト	黄褐色土のブロックを多く含む。
41	10YR6/4	褐色	写色	41	10YR5/4	灰黄褐色	砂質シルト	黄褐色土のブロックを多く含む。
42	10YR6/4	褐色	写色	42	10YR5/4	灰黄褐色	砂質シルト	黄褐色土のブロックを多く含む。
43	10YR6/4	褐色	写色	43	10YR5/4	灰黄褐色	砂質シルト	黄褐色土のブロックを多く含む。
44	10YR6/4	褐色	写色	44	10YR5/4	灰黄褐色	砂質シルト	黄褐色土のブロックを多く含む。
45	10YR6/4	褐色	写色	45	10YR5/4	灰黄褐色	砂質シルト	黄褐色土のブロックを多く含む。
46	10YR6/4	褐色	写色	46	10YR5/4	灰黄褐色	砂質シルト	黄褐色土のブロックを多く含む。
47	10YR6/4	褐色	写色	47	10YR5/4	灰黄褐色	砂質シルト	黄褐色土のブロックを多く含む。
48	10YR6/4	褐色	写色	48	10YR5/4	灰黄褐色	砂質シルト	黄褐色土のブロックを多く含む。
49	10YR6/4	褐色	写色	49	10YR5/4	灰黄褐色	砂質シルト	黄褐色土のブロックを多く含む。
50	10YR6/4	褐色	写色	50	10YR5/4	灰黄褐色	砂質シルト	黄褐色土のブロックを多く含む。

第65図 2区3層検出土坑2

に位置する。

【平面形・大きさ】円形を呈し、南北軸70cm・東西軸67cmを測る。

【深さ・断面形】深さは30cmで、断面形はJ字形である。

【堆積土・出土遺物】堆積土は2層に分けられ、堆積土中にはSK-88土坑同様に炭化物を含む。出土遺物はない。

SK-90土坑 【位置・重複】2区中央部の北寄り、SD-12溝跡の底面で検出された。

【平面形・大きさ】不整楕円形を呈し、東西長軸102cm・南北短軸70cmを測る。

【深さ・断面形】深さは20cmで、断面形は浅い逆台形である。

【堆積土・出土遺物】堆積土は2層に分けられる。出土遺物はない。

SK-91土坑 【位置・重複】2区東部南寄りに位置する。SD-29溝跡断面のテラス上の平坦部で検出された。

【平面形・大きさ】円形を呈し、南北軸87cm・東西軸84cmを測る。

【深さ・断面形】深さは29cmで、断面形は舟底形である。

【堆積土・出土遺物】堆積土は2層に分けられ、堆積土中にはSK-88土坑同様に炭化物を含む。出土遺物はない。  
SK-95土坑 【位置・重複】2区西部の北寄りで検出された。

【平面形・大きさ】円形を呈し、南北軸83cm・東西軸78cmを測る。

【深さ・断面形】深さは16cmである。底面・壁面に凹凸があり、断面形は不整形である。

【堆積土・出土遺物】堆積土にはぶい黄褐色のシルト質砂層1層である。遺物は、台付甕の台の破片(C-12;第57図9)を含む非ロクロ土師器が9点出土している。

SK-96土坑 【位置・重複】2区西部の北端際で検出された。北側は調査区の外にのびる。2b層検出のSA-1柱列及びSB-9掘立柱建物跡の柱穴に切られている。

【平面形・大きさ】円形を呈し、南北検出部長200cm・東西軸210cmを測る。

【深さ・断面形】深さは18cmで、底面に凹凸がある。断面形は浅いU字形である。

【堆積土・出土遺物】堆積土は暗褐色のシルト質砂層1層である。遺物は、ロクロ土師器の甕(D-55;第57図10)を含む土師器片が51点出土している。

SK-97土坑 【位置・重複】2区中央の南端際で検出された。南側は調査区の外にのびる。2b層検出のSD-17溝に中央部を切られている。

【平面形・大きさ】不整形円形を呈し、東西長軸167cm・南北短軸90cmを測る。

【深さ・断面形】深さは35cmである。断面形は浅い舟底形である。

【堆積土・出土遺物】堆積土は4層に分けられる。遺物は、非ロクロ土師器片29点(甕C-27;第57図13他)、ロクロ土師器片9点(坏D-56;第57図12他)、須恵器片3点(坏E-12;第57図11他)、角釘1点(N-74;第71図13)が出土している。

SK-98土坑 【位置・重複】2区西部の中央で検出された。北側を2b層検出のSD-12溝跡に切られる。また10坑内の南側をP-399に切られている。

【平面形・大きさ】残存部分は半円形を呈し、東西軸長97cm・南北軸長55cmを測る。

【深さ・断面形】深さは24cmである。断面形は逆台形である。

【堆積土・出土遺物】堆積土は2層に分けられる。遺物は、ロクロ土師器の甕2点(D-58・59;第57図14・15)を含む土師器片63点、須恵器片1点、角釘1点(N-75;第71図14)が出土している。

SK-99土坑 【位置・重複】2区中央北よりで検出された。大部分をSE-6井戸跡とP-363に切られている。

【平面形・大きさ】残存部分は半円形を呈し、東西残存長63cm・南北残存長23cmを測る。

【深さ・断面形】深さは8cmである。断面形は舟底形である。

【堆積土・出土遺物】堆積土は暗褐色の砂質シルト1層である。遺物は出土していない。

SK-101土坑 【位置・重複】2区中央北部で検出された。北側を2b層検出のSK-58土坑、南側をSK-60土坑、遺構堆積土中央上部をSK-59土坑に切られる。

【平面形・大きさ】平面形は不整形円形を呈し、残存南北軸長194cm・東西軸145cmを測る。

【深さ・断面形】深さは18cmである。断面形は浅いU字形である。

【堆積土・出土遺物】堆積土は2層に分けられる。遺物は、非ロクロ土師器の甕1点(C-13;第57図16)を含む非ロクロ土師器片33点が出土している。

SK-102土坑 【位置・重複】2区中央部で検出された。北側を2b層検出のP-267に切られる。

【平面形・大きさ】平面形は隅丸方形を呈し、南北長軸75cm・東西短軸54cmを測る。

【深さ・断面形】深さは37cmである。断面形は不整形で上部が広がる。

【堆積土・出土遺物】堆積土は2層に分けられる。遺物は、土師器片8点と須恵器片1点が出土している。

SK-103土坑 【位置・重複】2区東部中央で検出された。南側の上部を2層SD-29溝跡に、また西側と北側の一部をSD-14・23溝跡にそれぞれ切られている。

【平面形・大きさ】平面形は不整な楕円形を呈し、東西長軸295cm・南北短軸160cmを測る。

【深さ・断面形】深さは20cmである。断面形は浅い舟底形である。

【堆積土・出土遺物】堆積土5層に分けられる。2層中に「灰白色火山灰」類似の白色土壌を含んでいる。遺物は、非ロクロ土師器片が25点出土している。

SK-104土坑 【位置・重複】2区東部中央でSK-3土坑の北に接して検出された。2層SD-23溝跡に切れ、3層検出SX-3遺構を切る。

【平面形・大きさ】平面形は不整な楕円形を呈し、南北長軸319cm・東西短軸142cmを測る。

【深さ・断面形】深さは17cmである。断面形は浅い舟底形である。

【堆積土・出土遺物】堆積土は、褐色砂質シルト1層である。遺物は、非ロクロ土師器片41点、須恵器片3点、砥石1点(K-12:第69図11)、土錘(P-8:第72図3)が出土している。

SK-105土坑 【位置・重複】2区東部中央で検出された。2層検出のSD-25溝跡・SK-83土坑に切られる。

【平面形・大きさ】残存部は不整な楕円形を呈す。東西長軸230cm・東西短軸115cmを測る。

【深さ・断面形】深さは13cmである。断面形は浅い舟底形である。

【堆積土・出土遺物】堆積土は、暗褐色のシルト1層である。遺物は、非ロクロ土師器片が5点出土している。

SK-107土坑 【位置・重複】2区中央南部のSX-2遺構の底面で検出された。2層検出のSB-8掘立柱建物跡の柱穴に切られる。

【平面形・大きさ】平面形は不整な楕円形を呈し、長軸82cm・短軸55cmを測る。

【深さ・断面形】深さは58cmあり、大きさの割りに深い。断面形はU字形である。

【堆積土・出土遺物】堆積土は2層に分けられる。遺物は、非ロクロ土師器片が17点出土している。

SK-145土坑 【位置・重複】2区西壁中央付近で検出された。西側は調査区の外へのびる。

【平面形・大きさ】平面形は円形を呈し、南北長軸85cm・東西検出部長68cmを測る。

【深さ・断面形】深さは31cmである。断面形は浅いU字形である。

【堆積土・出土遺物】堆積土は4層に分けられる。遺物は、土師器片が19点と須恵器片が1点出土している。

SK-146土坑 【位置・重複】2区西部南側で検出された。SK-147土坑を切る。

【平面形・大きさ】平面形は隅丸長方形を呈し、南北長軸197cm・東西短軸122cmを測る。

【深さ・断面形】深さは44cmである。北壁は緩い傾斜から急激に下がる。横断面形は不整な逆台形を呈する。

【堆積土・出土遺物】堆積土は3層に分けられる。遺物は、非ロクロ土師器片が17点と、底部がヘラ切りの後回転ヘラ削りされた須恵器坏(E-13:第57図17)が1点出土している。

SK-147土坑 【位置・重複】2区西部南側で検出された。SK-146土坑に切られる。

【平面形・大きさ】平面形は不整形を呈し、南北長軸197cm・東西短軸122cmを測る。

【深さ・断面形】深さは15cmである。横断面形は浅い逆台形を呈する。

【堆積土・出土遺物】堆積土は4層に分けられる。遺物は、非ロクロ土師器坏(C-14:第57図18)1点を含む非ロクロ土師器8点と、須恵器片が4点出土している。C-14は丸底の坏で、底部と体部の境の内外面に屈曲があり、体部から口縁部は外傾する。内面は黒色処理されている。

4) その他の遺構

SX-2遺構 【位置・重複】2区の中央南側に検出された。2b層検出SB-7・8掘立柱建物跡などの柱穴およびSK-68土坑に切られ、SK-107土坑を切る。

【平面形・大きさ】平面形は不整形で、東西長軸4.2m・南北短軸2.6mを測る。

【深さ・断面形】検出面からの深さは5~15cmである。断面形は浅いU字形である。

【堆積上・出土遺物】堆積土は、焼土を僅かに含む暗褐色の砂質シルト1層である。遺物は、ロクロ土師器1点(D-60;第67図1)を含む土師器片66点と須恵器片1点が出上している。

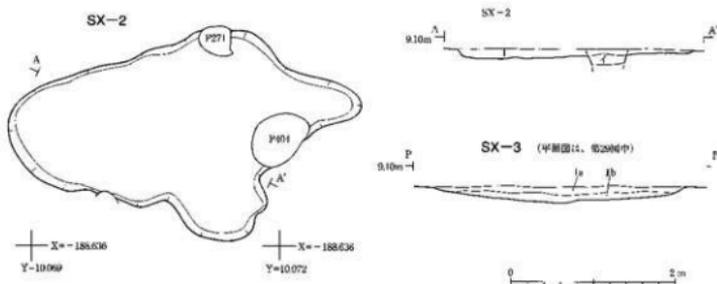
SX-3遺構 【位置・重複】2区の西部で検出された。3層検出遺構としてはSK-104土坑に切られている。

【平面形・大きさ】平面形は不整形で、幅3m前後の溝状に調査区内で12mほどのび、北側は調査区の外に続く。

【深さ・断面形】検出面からの深さは中央部で20cmである。断面形は浅い舟底形である。

【堆積上・出土遺物】堆積土は、上部の暗褐色シルト層と、下部のふい黄褐色のシルト層の2層に分けられる。両層とも土師器片を含んでいる。遺物は、土師器片735点と砥石1点(K-10;第69図10)が出土している。土師器は全て非ロクロ土師器である(第68図1~11他)。器種は、小型手捏土器(C-22;第68図1)・鉢形土器(C-20;第68図2)・坏(C-15・16・19;第68図3~5)・器台(C-18;第68図6)・高杯(C-23;第68図7)・壺(C-17・25;第68図8・9)・壺(C-21・24;第68図10・11)などがある。时期的には、釜蓋式(C-18・20・21・22・24など)から南小泉式(C-16・19・23など)に相当すると考えられる。

2区の東部には、SD-29溝跡の北側壁面および調査区北界断面(第30図)にかかって、基本層3層を切り込



SX-2				SX-3			
土層No.	土色	土質	備考	土層No.	土色	土質	備考
1	10YR5/1	暗褐色	砂質シルト 微小炭化物をわずかに含む。	1a	10YR5/1	暗褐色	シルト 炭化物を少量含む。土師片を多く含む。
2	10YR6/2	紅褐色	粘質シルト	1b	10YR6/2	紅褐色	シルト 土師片を少量含む。

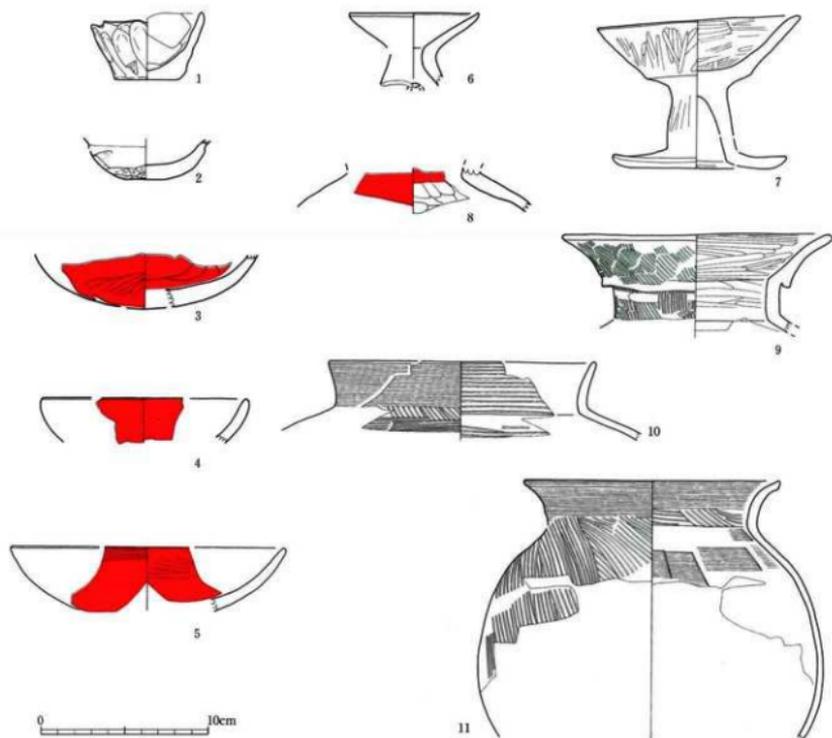
※1a, 1b層とも旧河川堆積土の最上硬塊部。

第66図 3層検出その他の遺構



図中 番号	登録番号	出土区	基本層	遺構名	遺構層	取土No.	形状	器種	器高 (cm)	口徑・底 (cm)	器厚 (cm)	特徴・備考	写真掲載
1	D-60	2区	SX-2	1層			土師器	坏	(5.7)	(17.8)		内面ヘタミガキ 紫色乾煎	
2	D-61	2区	Pit-318	1層			土師器	壺	(3.6)	(13.8)		外面ロクロのちへツケズリ	

第67図 2区3層検出SX-2遺構・Pit318出土土師器



第68図 2区3層検出SX-3遺構出土遺物

図中 番号	登録番号	出土地点			分類	器種	寸法			特徴・備考 (調査・重量・素材・形状・木取・産地・時期)	写真図版	
		出土区	基本層	遺構名			遺構層	取上No.	器高			口径
1	C-22	2区		SX-3	1層	土師器	コナナギナ	4.1	6.8	3.6	内、外面ナデ	38-1
2	C-20	2区		SX-3	1層	土師器	PE	(2.5)			2.4 外面ヘラケズリ、内面ヘラナデ	38-4
3	C-15	2区		SX-3	1層	土師器	PE	(3.3)			外面ナデ、ヘラミギキ、内面ナデ、内外面赤彩あり	
4	C-16	2区		SX-3	1層	土師器	PE	(2.7)	(12.5)		外面ナデ?、内面ナデ、内面ヘラミギキ、内外面赤彩あり	
5	C-19	2区		SX-3	1層	土師器	PE	(4.0)	(16.6)		外面ヨコナデ、ナデ、内面ヘラミギキ、内外面赤彩あり	
6	C-18	2区		SX-3	1層	土師器	器台	(4.4)	(7.8)		内外面赤彩、三方透し	
7	C-23	2区		SX-3	1層	土師器	高坏	9.4	12.3	10.6	外面ヘラミギキ、内面ヘラナデ、ナデ、底面ヘラミギキ	38-9
8	C-17	2区		SX-3	1層	土師器	PE	(2.8)			器部片、内面ヘラミギキ、内外面赤彩あり	
9	C-25	2区		SX-3	1層	土師器	甕	(6.0)	16.4		外面ハケメ、一區3線ヘラミギキ、内面ヘラミギキ	38-12
10	C-31	2区		SX-3	1層	土師器	甕	(4.6)	(16.2)		外面ハケメのちヨコナデ、ハケメ、内面ハケメ、ヘラナデ	39-4
11	C-24	2区		SX-3	1層	土師器	甕	(15.8)	15.6		外面ハケメのちヨコナデ、ハケメ、内面ハケメのちヨコナデ、ヘラナデ	39-1

だ河川跡が存在していることが確認されており、SX-3遺構ははこの河川跡に重複して存在している。したがってSX-3遺構については、河川跡の最終段階の堆積土である可能性が考えられる。その堆積時期は、出土遺物中にロクロ土師器が混じっておらず、時期の判断できる破片が古墳時代前期から中期のものであることから、この時期頃と推定される。

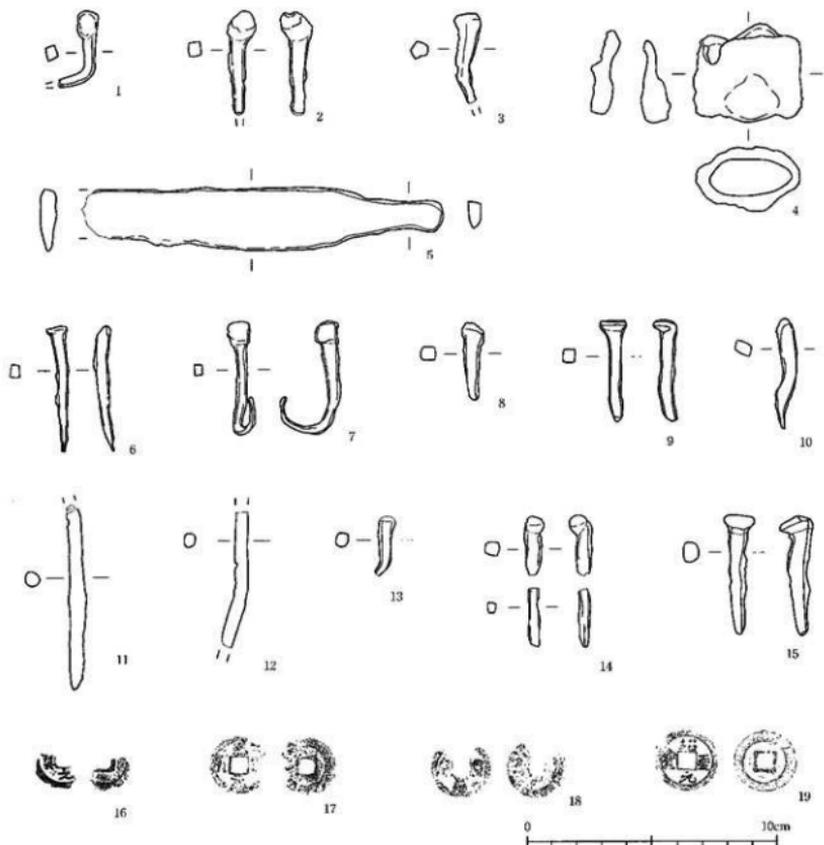


区中 番号	発掘番号	出土		地点	分	法				特	考	写真 図版
		山ノ区	基平層			遺物名	遺物層	取上 No.	種			
1	K-8	2区	1層		石製品	砥石	5.8	4.0	2.2	凹型片、両面及び片割砥面、片両面不明		50-4
2	K-21	2区	1層		石製品	石磨機遺品	2.0	2.7	0.3	凹型片、2孔有り		49-1
3	K-11	2区	1層	SD-12	1層	石製品	砥石	11.1	4.9	5.8	1面砥面、自然磨を添加	51-1
4	K-6	2区		SD-12	1層	石製品	砥石	10.2	6.8	6.8	4面砥面、溝状の加工有り、中央付近より引れ	50-3
5	K-7	2区		SD-20	試掘	石製品	砥石	(7.4)	10.2	2.6	溝付面の細片	40-3
6	K-1	2区		SK-58	1層	石製品	砥石	10.6	3.1	2.9	4面砥面、両端欠損、両面中央部減	49-6
7	K-20	2区		SK-68		石製品	砥石	3.3	2.7	0.7	砥石片の両利型	
8	K-10	2区		SE-7	1層	石製品	砥石	4.5	4.6	2.1	片両面及び両側面砥石、片両面自然	51-5
9	K-2	2区		SK-71	1層	石製品	砥石	9.4	4.5	2.3	片両面及び両側面砥石、片両面加工残存、片端欠損	40-7
10	K-3	2区		SK-82		石製品	砥石	6.3	4.7	3.5	4面砥面、中央部より減損	49-8
11	K-12	2区		SK-104	1層	石製品	砥石	2.8	2.5	1.7	4面砥面、端部平滑に加工	50-7
12	K-10	2区		SK-3	1層	石製品	砥石	6.9	2.3	3.8	砥石片	50-6

第69図 2区出土石製品

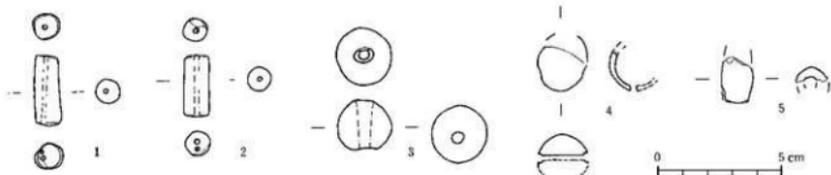


第3節 2区の調査概要



図中 番号	図中番号	出土地			分	類	法	部	材	厚	径	長	幅	重	製作・使用		写真図版
		田中区	基本層	遺跡名											遺積層	出土No.	
1	N-62	2区		SK-57	1層	金属製品	釘	(3.1)	0.5	0.6	角形	先端欠損					
2	N-63	2区		SK-56	1a層	金属製品	釘	(4.3)	0.5	0.6	角形	先端欠損					
3	N-64	2区		SK-58	1a層	金属製品	釘	(3.7)	0.7	0.7	角形	先端欠損					
4	N-65	2区		SK-65	1層	金属製品	不明	4.4	3.4	1.2	不明	0.5 逆輪状					56-15
5	N-68	2区		SK-8	1層	金属製品	不明	(4.6)	0.4	0.3	角形	刃部?					56-16
6	N-66	2区		SK-8	1層	金属製品	釘	5.2	0.4	0.3	角形						56-18
7	N-67	2区		SK-8	1層	金属製品	釘	(4.5)	2.5	0.6	角形	角部あり					56-19
8	N-69	2区		SK-86	1層	金属製品	釘	(3.2)	0.6	0.6	角形						
9	N-70	2区		SK-80	1層	金属製品	釘	(4.2)	0.5	0.6	角形						56-20
10	N-71	2区		SK-88	1層	金属製品	釘	(4.5)	0.7	0.5	角形						
11	N-73	2区		SK-92	1層	金属製品	不明	(7.6)	0.6	0.6	角形	先端欠損					
12	N-72	2区		SK-92	1層	金属製品	不明	(5.5)	0.5	0.6	角形	先端欠損					
13	N-74	2区		SK-97	1層	金属製品	釘	(2.4)	0.5	0.6	角形	先端欠損					
14	N-75	2区		SK-98	1層	金属製品	釘	(4.9)	0.6	0.6	角形						
15	N-76	2区		P-325		金属製品	釘	(4.9)	0.6	0.6	角形						
16	N-91	2区	1層			金属製品	西銭										56-30
17	N-89	2区		SP-12	2層	金属製品	占銭										56-28
18	N-90	2区		SP-12	2層	金属製品	西銭										56-29
19	N-92	2区		P-214		金属製品	占銭										56-31

第71図 2区出土金属製品2・古銭



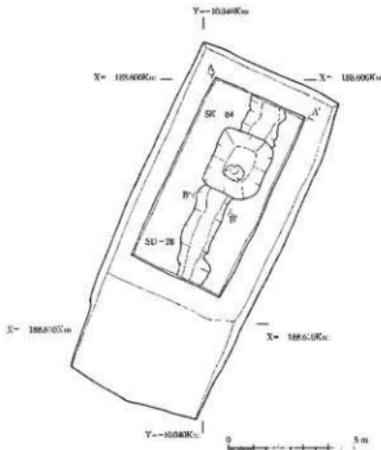
図号	図録番号	出 土 区	出土層	遺構名	遺構層	取上2%	品 名	器 種	標高[m]	口径[mm]	底径[mm]	取付厚	形状・重量・素材・装飾・水取・透地・時期	牙白磁版
1	P-7	2区	2b層	SK-72	3層		土製品	土器	29	1.0			孔径0.2cm (2孔あり)	
2	P-4	2区	2b層				土製品	土器	25	1.0			孔径0.2cm (2孔あり)	
3	P-8	2区		SK-104	1層		土製品	土器	20	2.2	2.3		十字、穿孔等、孔径0.5cm	
4	P-5	2区		SD-14	1層		土製品	土器	18	2.0				
5	P-9	2区		P-274	1層		土製品	土器	19					

第72図 2区出土土製品

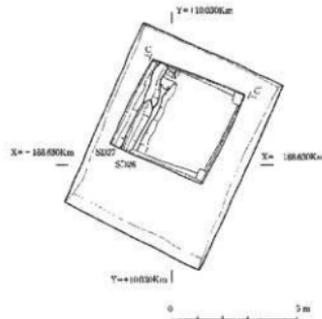
#### 第4節 3区の調査概要

3区は先に記したように、七北田川の堤防築造工事に際して溝状に土取りが行なわれた地区にあたる。このために、この部分の遺跡上部は数十cmの削平を受けている。土取りの後は水田として利用されたのち、この上に盛りが行なわれ、現在は畑地とされている。このような経過で、3区は、60~80cmの盛り上りの下が、近年の水田耕作土となる。水田耕作土は、上下2層(1a・1b層)に分けられ、上部の1a層は、オリブ黒色のシルト質粘土ないし粘土層である。下部の1b層は、起耕頻度の少ない耕作土である。水田耕作土の下は、1区の2a層・2区の2b層に対応する層はなく、1・2区の基本層3層に対応する層となる。

遺構は、3A区で溝跡1条と土坑1基・3B区で溝跡2条が検出されている。

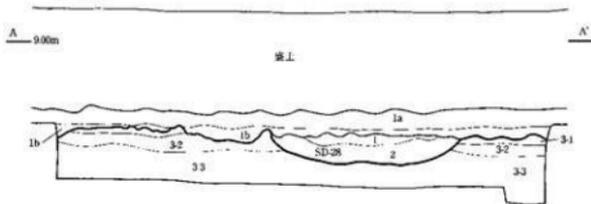


第73図 3A区平面図

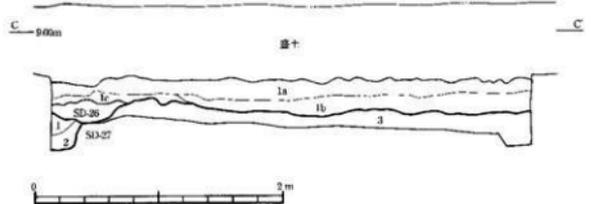


第74図 3B区平面図

3A区北壁



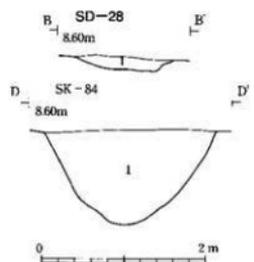
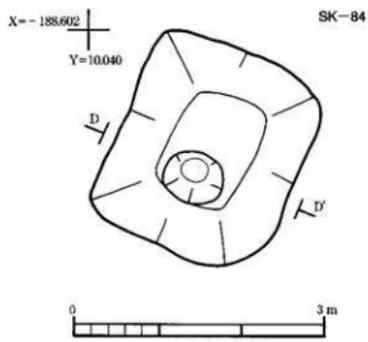
3B区北壁



3A区			
上層No.	土色	土質	備考
1a	10YR2/1	オリーブ褐色 シルト質粘土	沢水田耕作土
1b	10YR4/1	灰色 シルト質粘土	砂粒及び赤オリーブ色のシルト質砂のプロックを含む。
SD-26-1	5Y3/1	オリーブ褐色 シルト質砂	黄褐色土のプロックを塊状に含む。
2	5Y3/1	オリーブ褐色 シルト質砂	黄褐色土のプロック及び暗灰黄色土のプロックを含む。
3-1	5GY4/2	赤オリーブ灰色 シルト質粘土	酸化鉄を塊状に含む。
3-2	5GY4/2	赤オリーブ灰色 砂	酸化鉄を塊状に含む。マンガン板を含む。
3-3	2.5Y5/3	黄褐色(砂質)シルト	酸化鉄を塊状に含む。

3B区			
上層No.	土色	土質	備考
1a	10YR4/2	灰色(黄褐色)	砂
1b	10Y3/1	オリーブ灰色	粘土
1c	10Y4/1	灰色	粘土
1d	5GY4/1	暗緑灰色	砂質シルト
1e	10YR3/1	暗褐色	粘土
SD-27-1	10YR4/2	灰黄褐色	シルト質粘土
SD-27-2	10YR4/2	灰黄褐色	シルト質粘土
SD-27-3	10Y3/1	灰褐色	粘土質砂

第75図 3A・3B区断面図



SD-28			
上層No.	土色	土質	備考
1	7.5Y4/1	灰褐色	シルト質砂

SK-84			
上層No.	土色	土質	備考
1	10GY/1	暗緑灰色	シルト質砂

第76図 3A区検出遺構実測図

## 1 3A区検出遺構

### 1) 溝跡

S D-28溝跡 【位置・重複】3A区の中央を縦断して検出された。SK-84土坑に切られている。

【方向・幅】溝の方向は検出部上面及び底面に細かな蛇行があるが、概ねN-25°-Eの方向でのびている。上面幅120cm前後・底面幅50cm前後である。

【深さ・断面形】深さは北壁面で22cmあるが、南側はこれより浅くなっている。断面形は浅い舟底形を呈する。

【堆積土・出土遺物】堆積土は2層に分けられる(第75図)。遺物は、土師器片18点・須恵器片2点・無釉陶器片1点・大塚相馬系の碗1点(I d-8;第77図2)を含む施釉陶器片7点が出土している。大塚相馬系の碗は、18世紀代のものと考えられる。

### 2) 土坑

SK-58土坑 【位置・重複】3A区中央で検出された。S D-28溝跡を切る。

【平面形・大きさ】隅丸方形を呈し、南北長軸262cm・東西短軸225cmを測る。

【深さ・断面形】深さは117cmある。断面形は逆台形を呈する。南側の底面は円形に1段低くなっている。

【堆積土・出土遺物】堆積土はブロック状の上層からなる1層の堆積土である。遺物は、土師器片2点・須恵器片1点・施釉陶器片3点・肥前磁器1点(J-13;第77図4)・産地不明磁器3点(J-12;第77図3他)・古代瓦片1点が出土している。図示の磁器は、いずれも19世紀代と考えられる。

## 2 3B区検出遺構

### 1) 溝跡

S D-26溝跡 【位置・重複】3B区の西壁際を縦断して検出された。S D-27溝跡を切っている。

【方向・幅】溝の方向はN-25°-Eである。上面幅60cm前後・底面幅20cm前後である。

【深さ・断面形】深さは断面実測をした北壁面で18cmである。断面形は不整な舟底形を呈する。溝の底面は南側半分が数cm下がっている。

【堆積土・出土遺物】堆積土は、黒褐色の粘土層1層である(第75図)。遺物は、土師器片6点・須恵器片1点・泉内産の中世陶器片2点(I c-16・17;第77図5・6)を含む無釉陶器4点・古瀬戸施釉陶器(I d-7;第77図7)・中国産磁器2点(J-10・11;第77図8・9)が出土している。陶器・磁器の年代は、いずれも13~14世紀の時間幅でのまとまりがあると考えられるものである。

S D-27溝跡 【位置・重複】3B区の西壁際を縦断してS D-26溝跡の西側に接して平行するように検出された。東側上部をS D-26溝跡に切られている。

【方向・幅】溝の方向はN-25°-Eである。検出部分の上面幅は42cm前後・底面幅は20cm前後である。

【深さ・断面形】深さは断面実測をした北壁面で25cmである。断面形は逆台形を呈する。

【堆積土・出土遺物】堆積土は、シルト質の粘土層で2層に分けられる(第75図)。S D-27溝跡として取上げた遺物はないが、当初S D-26・27溝跡を区別せずに掘り下げたので、S D-26溝跡出土遺物として報告したものにS D-27溝跡の遺物が含まれている可能性がある。



## 第3章 調査成果のまとめ

### 第1節 出土遺物のまとめ

#### 1 古墳時代の赤彩土師器

古墳時代の土師器は、主に2区2b層中と2区3層検出SK-3遺構から出土しているが、この中で特に注意されるものに赤彩土師器(C-1・8・9・10・11:第58回、C-15・16・17:第68回)がある。鉢C-10は埴釜式期の可能性があるが、他は南小泉式期の中で捕らえることができるものである。凶化したもの以外にも多数の赤彩土師器片が出土している。

赤彩土師器の中には、器面全体が赤く塗り潰されるだけでなく、坏C-1の内面のように扇型の車輪状に模様を描かれているものがある。南小泉式期における赤彩土師器の器種は、坏と壺がある。

今回出土した非クロコ土師器における赤彩土師器の出現率は、数量的な比較はできないが、他遺跡と比較して極めて高い印象を受ける。これらの赤彩土師器は、古墳時代中期南小泉式期における、当該地の歴史的状況を考える上で、貴重な資料となるものと考えられる。

#### 2 2区SK-54・SI-1・西壁2b層出土土器群

今回の調査では、2区の2b層検出のSK-54土坑・SI-1堅穴住居跡及び西壁2b層中から土師器・及び須恵器がまとめて出土した。SK-54土坑は調査時点での2b層上面、SI-1堅穴住居跡は2b層中から床面が検出された遺構である。調査状況から3地点とも、2b層形成期もしくは(上部を近・現代の耕作等による削平を受ける以前の)本来の2b層上面から掘り込まれた遺構と考えられる。ただし、2b層中からは、12世紀から13世紀頃と考えられる山菜碗系無釉陶器(Ic-10:第59回3)や13世紀代と考えられるの中国青磁(J-5:第59回4)が出土しており、これらの遺物が2b層上面から掘り込まれた遺構のものであるにもかかわらず検出エラーのために2b層の遺物として取り上げたものでないとすれば、2b層の形成時期の下限が13世紀となることから、前記の遺構は、2b層の形成期に掘り込まれた遺構と考えることができる。

3地点の出土遺物の特徴は、各遺構に記したとおりである。各土器群の年代を、白鳥良一氏による多賀城跡出土土器の編年(白鳥:1980・1982)と、村田晃一氏による宮城郡内における10世紀前後の土器の編年(村田:1995)によって位置付けると、SK-54土坑出土土器群は、①土師器坏と須恵器坏の割合が同程度である。②土師器における「赤焼土器」の割合が少ない。土師器坏の底部は回転糸切り無調整のものが主で、切り難し後手持ちヘラケズリ調整されるものが混じっている。③須恵器の底部は回転糸切り無調整である。④須恵器の焼成は軟質である。等の特徴から、白鳥氏のD群土器・村田氏の1群土器に相当すると考えられ、年代は9世紀後半に位置付けられる。

SI-1堅穴住居跡出土の土器群は、①須恵器坏が見られなくなる。②土師器における「赤焼土器」の割合が多くなる。③土師器の底部は回転糸切り無調整である。等の特徴から、白鳥氏のE群土器・村田氏の2群または3群土器に相当すると考えられ、年代は10世紀前半から中葉に位置付けられる。

西壁2b層中山土の一括土器は、①須恵器坏が見られない。②土師器における「赤焼土器」の割合が多くなる。③高台付小皿・高台付皿・高台付坏が土器の主体となる。等の特徴から、白鳥氏のF群土器・村田氏の4群土器に相当すると考えられ、年代は10世紀中葉から後半に位置付けられる。

#### 3 灰釉陶器について

今市遺跡からは、今回の調査区において13点の灰釉陶器片が出土した。仙台市内の1遺跡からの調査面積割合の

出土量としては比較的多い。明確に同時期の遺構に伴う可能性のあるものは前記の9世紀後半に位置付けられるS K-54土坑から出土した灰釉の体部破片だけである。

碗・皿類の破片についてみると、断面方形の付高台で、灰釉が刷毛塗りされている製品(2区S E-7井戸跡出土I d-5;第47図3)で猿投窯K-14窯式相当期のもから、三日月高台で刷毛塗りされる製品(2区S D-24溝跡出土I d-12;第36図12)で猿投窯K-90窯式相当期のもの・体部内外面への漬け掛けの痕跡が認められる製品(2区S D-23溝跡出土I d-13;第36図10)で猿投窯O-53窯式期以降のものなど、9世紀から10世紀・あるいは11世紀にかかるとまで出土している。市内の一般集落ではほとんど出土することがない灰釉陶器が、各時期に渡って出土した背景には、国府多賀城に近いという地理的な環境と無縁ではないと考えられる。

#### 4 中世の陶器と磁器について

中世に相当する陶器としては、在地の無釉陶器の裏と鉢類の破片が40点と、常滑窯の無釉陶器の裏と鉢類の破片が68点、及び古瀬戸のオロシ皿や灰釉の皿がわずかに出土している。また磁器は、中国産の青磁と白磁・青白磁が数点出土している。陶器・磁器を合わせると100点を越す数量になるが、ほとんどが単独の破片資料で、器形全体の明らかなものはない。

出土した中世の陶器の多くは、甕や鉢といった容量の大きな器種であり、破損した場合は多数の破片が生じるものと考えられる。長期にわたり、活発な生活が営まれた場合は、陶磁器類においても多数の廃棄品が出ることで推定される。しかしながら、今回の調査地点における陶磁器類は、調査面積と遺構数の割には、数・量ともに少ない印象を受ける。

中世に相当またはこの時期に属する可能性のある陶磁器以外の遺物としては、砥石と釘は比較的多く出土しているが、占銭は少く石臼はない。井戸跡や深い溝跡の調査も行われたが、漆器等の木製品も出土していない。

#### 5 近世の陶器と磁器について

近世の陶器・磁器のうち、出土点数の多いものに大塚相馬産陶器の碗類がある。主な出土遺構としては、2区S E-5井戸跡(I d-9・10・11;第38図1~3)や、2区S K-71土坑(I d-4;第57図5)・3区S D-28溝跡(I d-8;第77図2)がある。灰釉の製品(I d-8・10・11)と白濁釉の製品(I d-4・9)である。器種を細かく見ると、丸碗(I d-10)、丸碗形の小さ杯(I d-4・8・9)・猪口形の小さ杯(I d-11)がある。これらの製品は、仙台城二の丸跡及び生産地からの出土資料等を基準とした関根達人氏の大塚相馬焼の編年に照らしてみると、灰釉の製品I d-8・10・11は18世紀代に、白濁釉の製品I d-4・9は18世紀後半頃に位置付けられる。

大塚相馬産の陶器以外に遺構内から出土のもので、同化したものは、17世紀代の福島県岸黒系甕(1区S K-39土坑I d-2;第25図4)、19世紀代の肥前産蓋(2区S D-22溝跡J-6;第36図6)、18世紀代の肥前産碗(2区S D-22溝跡J-7;第36図7)、19世紀代の肥前産碗(2区S E-22井戸跡J-14;第38図4)、18世紀代の肥前産皿(2区S K-71土坑J-8;第57図4)、19世紀代の肥前産徳利(3区S K-84土坑J-12;第77図3)、19世紀代の産地不明の皿(3区S K-84土坑J-13;第77図4)などがある。このほかにも2区S E-5井戸跡出土の18世紀代の京信楽系色絵碗など破片資料もあるが、数量的には多くない。

### 第2節 遺構の時期別構成と変遷

今市遺跡の今回の調査地点は、1区では2 a層を挟んで、2区では2 a層の下位にあたる2 b層を挟んで2面で

遺構が検出された。一部の遺構は、2 a層または2 b層の上下に分けて層位的検出することができた。また、同一層位で検出された遺構であっても出土物や重複関係、方向や配置によって所属時期を推定することができた。その結果、検出された遺構を古代3時期・中世・近世に分けて把握することができる(第78図)。

## 1 古代の遺構

古代の遺構は、2 a層または2 b層の下層で検出されたものと、2 b層中で検出された遺構がある。2 a層または2 b層の下層で検出された遺構は、出土物から古墳時代のもの(2区SX-3遺構・2区SK-147土坑)と、ロクロ土師器が出土していることから平安時代と考えられるもの(1区SD-41溝跡・1区SX-4遺構・2区S



第78図 今市遺跡の遺構の変遷

I-3 堅穴遺構・2区SK-96土坑・2区SK-98土坑・2区SK-145土坑・2区SX-2遺構)がある。なお、2a層・2b層の下層で検出遺構のうち、ロクロ土師器の出土していない遺構(2区SK-101・103・104・105・145土坑)については、平安時代以前に遡る可能性がある。

#### ①古墳時代

古墳時代の遺構のうち2区SX-3遺構からは前期と中期の遺物が混在して出土し、2区SK-147土坑からは後期の遺物が出上している。

前述したように、SX-3遺構は、旧河道が埋りきらない状態の凹地に堆積したと解釈される。この凹地以外に古墳時代前・中期の明確な遺構については明らかでない。また、古墳時代後期の土師器を出土した遺構は、2区SK-147土坑だけで、他にこの時期に位置付けられる遺構もなく、遺物は出上しているものの、古墳時代を通じて遺跡の実態は不明である

#### ②奈良・平安時代

奈良時代の遺構遺物については明らかでない。

2a層または2b層除去後の3層上面で検出された遺構で、ロクロ土師器を出した1区SD-41溝跡・1区SX-4遺構・2区SK-96土坑・2区SK-98土坑・2区SK-145土坑・2区SX-2遺構は平安時代以降の遺構と考えられる。また、2b層中で検出された遺構のうち、2区SI-1堅穴住居跡・2区SK-54土坑・2区壁面2b層出土一括土器群は、出土遺物から平安時代のもと考えられ、前述したように9世紀後半から10世紀後半の時期に相当している。

平安時代も9世紀後半以降になると、SK-54土坑などからまとまった土器が出上するようになり、当該地にも集落が形成された可能性が高い。10世紀前半から中葉に位置付けられるSI-1堅穴住居跡からは、カマドに関係すると推定される焼土面が検出され、その周辺や付属する土坑内から土師器が出土している。平安時代の集落は、2区西壁2b層出土一括土器群から、10世紀の後半まで継続された可能性が高い。

以上のように平安時代の集落は、9世紀後半から10世紀後半にわたっており、堅穴住居跡・溝跡・土坑などの遺構が検出されているが、遺構の密度はそれほど高くない。

## 2 中世の遺構

出土した遺物等から、中世と考えられる遺構は、第78図のとおり掘立柱建物跡・溝跡・井戸跡・土坑がある。これらの遺構には、重複や同一遺構の繰り返し(2区SD-25溝跡等)があるので、数次期の変遷があると思われるが、比較できる遺物が少ないので、詳細は不明である。中世とした掘立柱建物跡以外にも、建物を想定した遺構や、建物を組みなかつた柱穴及び遺物の出土していない土坑のいくつかは、この時期の遺構となるものと考えられる。

中・近世を通じて、掘立柱建物跡や溝跡の方向は、真東西を基準とすると20~30° 振れ、七北田川の流路と平行する方向性を示している。

溝跡には、大型(SD-29溝跡)・中型(SD-12・25溝跡)・小型(SD-2・5・10・17・19溝跡)があり、大型・中型の溝は、屋敷地の区画に係わる溝と考えらる。特に2区の南東端部で検出された大型のSD-29溝跡は、幅6m以上で深さが現地表から1.8mの規模があり、この溝に区画された主体部分が、今回の調査区外(1・2区の東部)であった場合、この溝の規模に見合った遺構・遺物が存在している可能性がある。

出土した陶器・磁器を観察すると、13世紀から14世紀頃のものが多いとみられるので、中世の遺構の時期も概ねこの年代に相当するものと判断される。

なお、中世の岩切周辺の状況に関する文献のひとつ、弘安八年(1285年)の留守家広譲状に、

『 (讀 渡)  
ゆつりわたす

- (宮城) (郡) (冠屋) (市場) (在家) (紀)  
一 ミヤキのこおりかふりやのいちのはのさいけ 參宇内、き二郎太郎在家宅宇内、宅宇 十郎在家宅宇
- (北町) (跡) (南)  
きたまち、こさう入道かあ」とのさいけ宅宇ミナミ (中略)
- (河原宿) (市場) (字)  
一 かわらすく五日いちハのさいけ五うか内、一う 大池小三郎か在家、やうさいほうかさいけ、(後略) 』

とあることから、宮城郡に「冠屋市場」と「河原宿五日市場」が存在したことが知られており、その所在地については、冠川（七北田川）の北岸の若宮前から洞ノ口地区及び南岸の今市・鴻ノ巣地区付近に想定されている（注1）。しかしながら、今回の調査では、吉状の時期に当たる遺構や遺物が発見されてはいるが、今市遺跡が「市場」の所在地であるのか、中世集落の一部にあたるのか判断できる資料を得たとは言いがたい。調査地点の状況は、遺構の密度と構成及び遺物の種類や量の点において、一般的な市場のイメージからすると貧弱のように思われる。市場の所在地については、今市遺跡及び周辺遺跡の調査の進展を待ち、他遺跡とも比較しながら、さらに検討すべき課題である。

## 3 近世の遺構

近世の遺物が出土した遺構と、その遺構と共通する方向性からこの時期に位置付けられたものには、掘立柱建物跡・溝跡・井戸跡・土坑がある。中世に比べると遺構の密度は少なくなる。この時期の遺構は、中世に比べて、東西の方向をみると西側が北に東側が南に寄る傾向が認められる。遺構の年代は、岸竈系甕を出土した1区SK-39土坑が17世紀頃、他は大堀相馬系の碗や肥前の磁器等から18世紀代または重複関係からこれ以前の遺構と考えられる。

以上のように、今市遺跡における今回の調査地点は、古墳時代は若干の遺構と赤彩土師器のような特徴のある遺物が出土しているが、鴻ノ巣遺跡など周辺に同期の遺跡があるにもかかわらず、実態は不明である。集落が形成されるのは9世紀後半以降になってからであるが、なおこの段階では、住居跡の密度は低く、散村的な景観が10世紀の後半まで継続したと推定される。

11～12世紀の状況は不明であるが、2a層・2b層の状況から耕地として利用されていた可能性が考えられる。

13～14世紀になると掘立柱建物跡・井戸跡・溝跡・土坑などの遺構群によって構成される集落が形成されるが、これが農耕集落か「市場」に係わる集落なのかは今後の検討課題である。

15～16世紀の状況は再び不明になる。17世紀代についても遺物が少なく、集落が再形成され始めたのかどうか実態は明らかでない。

18世紀になって、掘立柱建物跡・井戸跡・溝跡・土坑を伴う集落が形成される。この時点の掘立柱建物跡には規模の大きなものがあり、井戸には凝灰岩の切石の井戸枠が設置され、井戸内から拙い漆塗り碗が出土するなど、富裕層の存在を伺わせる。

<注 記>

注1 このような想定は、

入間田宣夫1988：『奥大遣と町村の開発』『図説 宮城県の歴史』河出書房新社

羽下徳彦 1989：『多賀国府と仙台。』『仙台の歴史 - 中世』宝文堂

斎藤利男 1992：『多賀国府の都市プラン』『よみがえる中世』7 平凡社

岡田清一 2000：『第2節 村と市と在家』『仙台市史 通史編2 古代中世 一第五章 留守氏と国分氏』

等があり、特に斎藤利男は、『冠層市場』を若宮前から河ノ口地区に、『河原宿五日市場』を今市・鴻ノ巣地区に考えている。

<参考文献>

青沼一民・兵島榮 1982：『鴻ノ巣 遺跡発掘調査報告書』仙台市文化財調査報告書第44集 仙台市教育委員会

赤羽一郎 1984：『常滑焼』ニュー・サイエンス社

氏家利典 1957：『東北土師器の型式分類とその編年』『歴史』第14輯

太田昭夫 1994：『中田南遺跡』仙台市文化財調査報告書第182集 仙台市教育委員会

小川淳一・高橋綾子2000：『仙台市 王ノ塚遺跡』仙台市文化財調査報告書第249集 仙台市教育委員会

加藤道男 1989：『宮城県における土師器研究の現状』『考古学論叢Ⅱ』

金森安孝 1983：『岩切畑中遺跡 発掘調査報告書』仙台市文化財調査報告書第50集 仙台市教育委員会

1988：『東光寺遺跡』仙台市文化財調査報告書第112集 仙台市教育委員会

上藤哲司 1986：『柳生』仙台市文化財調査報告書第95集 仙台市教育委員会

上藤哲司・金森安孝1983：『鴻ノ巣遺跡 発掘調査報告書』仙台市文化財調査報告書第32集 仙台市教育委員会

小井川和夫1984：『いわゆる赤焼土器について』『研究紀要』第10巻 東北歴史資料館

佐藤 洋 1983：『今泉城跡』仙台市文化財調査報告書第58集 仙台市教育委員会

1985：『仙台城三ノ丸跡』仙台市文化財調査報告書第76集 仙台市教育委員会

白鳥良一 1980：『多賀城跡出土土器の変遷』『研究紀要Ⅷ』宮城県多賀城跡調査研究所

1982：『土器』『多賀城跡 政庁跡本文編』宮城県多賀城跡調査研究所

白鳥良一・加藤道男 1974：『岩切鴻ノ巣遺跡』『東北新幹線関係遺跡調査報告書 1』宮城県文化財調査報告書第35集

関根達人 1994：『2. 陶磁器』『東北大学埋蔵文化財調査年報7 第三章 仙台城二の丸跡第5地点調査成果の検討』東北大学埋蔵文化財調査委員会

1998：『相馬藩における近世窯業生産の展開』『東北大学埋蔵文化財調査年報10』東北大学埋蔵文化財調査研究センター

2000：『(2) 陶磁器・土器の検討』『東北大学埋蔵文化財調査年報13 第三章 仙台城二の丸跡北方武家屋敷第4地点(BK-4)の調査 7. 考察』東北大学埋蔵文化財調査研究センター

高野芳宏 1990：『宮城県における9～13世紀の土器』『土器からみた中世社会の成立』シンポジウム実行委員会

藤澤良祐 1990：『東海地方における窯業生産の転換期について』『土器からみた中世社会の成立』シンポジウム実行委員会

松本建速 1992：『柳之御所跡におけるかわらけ存在の意味』『紀要ⅩⅡ』(財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター

村田晃一 1995：『宮城郡における10世紀前後の土器』『福島考古』36号

今市遺跡出土遺物集計表-1 (基本層・柱列SA・獨立柱建物跡SB①)

(単位: 3区・2段・1段)

遺物種別	土器類			石器類			骨器類			金属類			其他			計
	土器	石器	骨器	金属	其他	...	...	...	...	...	...	...	...	...		
基本層																
1区																
2区																
3区																
4区																
5区																
6区																
7区																
8区																
9区																
10区																
11区																
12区																
13区																
14区																
15区																
16区																
17区																
18区																
19区																
20区																
21区																
22区																
23区																
24区																
25区																
26区																
27区																
28区																
29区																
30区																
31区																
32区																
33区																
34区																
35区																
36区																
37区																
38区																
39区																
40区																
41区																
42区																
43区																
44区																
45区																
46区																
47区																
48区																
49区																
50区																
51区																
52区																
53区																
54区																
55区																
56区																
57区																
58区																
59区																
60区																
61区																
62区																
63区																
64区																
65区																
66区																
67区																
68区																
69区																
70区																
71区																
72区																
73区																
74区																
75区																
76区																
77区																
78区																
79区																
80区																
81区																
82区																
83区																
84区																
85区																
86区																
87区																
88区																
89区																
90区																
91区																
92区																
93区																
94区																
95区																
96区																
97区																
98区																
99区																
100区																

今市遺跡出土遺物集計表-2 (掘立柱建物跡SB②・溝跡SD①)

(土器・瓦器・YR・金銀器)

遺物番号	土器		須恵器	土師器	瓦器	青銅器				鉄器				銅	金	銀	鉛	錫	その他
	土器	須恵器				土師器	瓦器	銅	鉄	鉛	錫	銅	鉄						
<b>掘立柱建物跡 (SB-7~11)</b>																			
2RSB / P263	1																		
2RSB7 / P277	2	1																	
2RSB7 / P297	4	1																	
2RSB7 / P311	4																		
2RSB7 / P321	1	2																	
2RSB7 / P326	1																		
2RSB7 / P315	3	1																	
2RSB7 / P403	3	1																	
2RSB8 / P227	2	2	1																
2RSB8 / P225	10	3																	
2RSB8 / P243	4	1	2																
2RSB8 / P213	5																		
2RSB8 / P215	6																		
2RSB8 / P217	1	2	4																
2RSB8 / P207	2																		
2RSB10 / P206	3																		
2RSB10 / P218	1	1																	
2RSB11 / P290	6																		
2RSB11 / P301	1																		
2RSB11 / P302	1																		
2RSB11 / P300	1																		
<b>溝跡 (SD-2~21)</b>																			
1R / SD-2	8	6	2	1		2	1	1											
1R / SD-1	4	1																	
1R / SD-3	21	8	6			3	3												
1R / SD-6	1	1																	
1R / SD-8			1																
1R / SD-9	10	6	2	1		3													
1R / SD-10	14	2	1			3													
1R / SD-12	374	42	40	1	6	7													
(1層)	280	28	30		2														
(2層)	42	14	10		4														
(3層)	22	4	1		2														
1R / SD-13	24	2				1													
1R / SD-14	140		9		1	1													
1R / SD-17	47	4	3																
1R / SD-19	49	6	4																
1R / SD-20	20		4																
1R / SD-21	6		2																







今市遺跡出土遺物集計表-6 (その他遺構SX・ビットP①)

(1.2. 点検・写真 参照番号)

遺構番号	土物群				形状	材質	用途	その他遺構										窯 先 子 C	石 器 ・ 白 磁 器 K	木 質 品 L	鉄 器 品 Na	鉛 器 品 Nb	金 器 品 Kc	其 他 品 P	其 他 品
	系 1 A C	系 2 B D	系 3 E	系 4 F				土 器	瓦 器	石 器	骨 器	角 質 品	木 質 品	金 器	銅 器	鉄 器	鉛 器								
その他遺構 (SX-2~4)																									
SX-2	60	0																							
SX-3		60																							
SX-4	75																								
SX-5	15	25																							
SX-6	75	5																							
ビット (P-4~228)																									
P-4																									
P-5																									
P-20																									
P-29																									
P-45																									
P-65																									
P-66																									
P-69																									
P-69																									
P-88																									
P-93																									
P-98																									
P-107																									
P-117																									
P-126																									
P-134																									
P-150																									
P-159																									
P-178																									
P-181																									
P-182																									
P-188																									
P-197																									
P-201																									
P-202																									
P-203																									
P-204																									
P-211																									
P-211																									
P-211																									
P-217																									
P-251																									
P-257																									
P-258																									





# 写 真 图 版

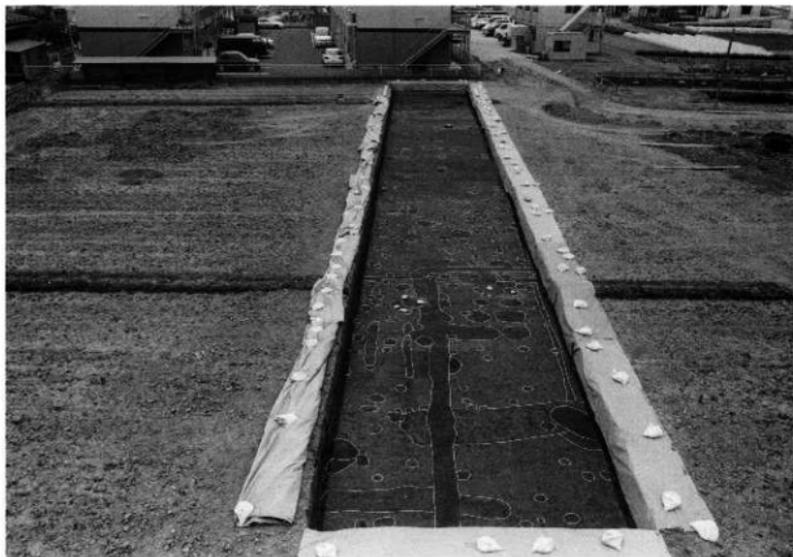


1 遺跡の位置と調査地点



2 調査前風景（住宅前の耕地が調査対象区）

図版1 今市遺跡の位置と現況



1 1区2a~3層遺構検出状況（東より）

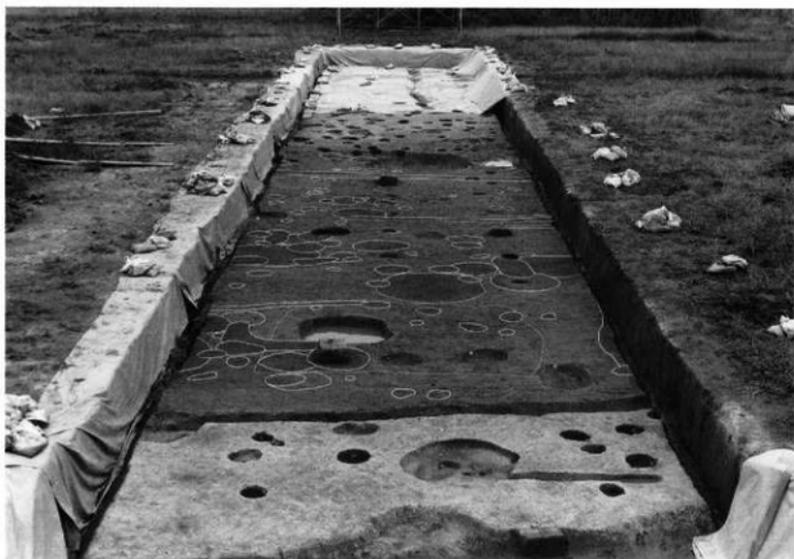


2 1区2a~3層全景（東より）

図版2 1区2a~3層全景



1 1区2a~3層全景 (西より)



2 1区2a層除去3層検出状況 (中央部・西より)

図版3 1区2a~3層全景・3層検出状況



1 1区3層上面全景（西より）

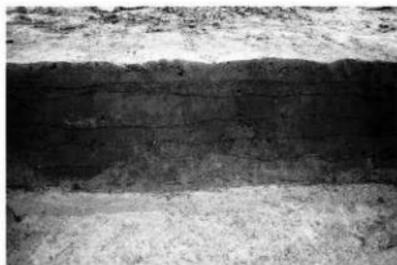


2 1区完掘状況（東より）

図版4 1区3層調査完了全景



1 1区北壁断面①水田部分 (南より)



2 1区北壁断面② (SX-4断面含む) (南より)



3 1区北壁断面③ (南より)



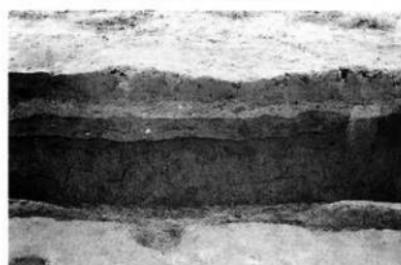
4 1区北壁断面④ (SD-40断面含む) (南より)



5 1区北壁断面⑤ (南より)



6 1区北壁断面⑥ (SD-5・6断面含む) (南より)



7 1区北壁断面⑦ (南より)



8 1区北壁断面⑧ (東部深掘り区) (南より)

図版 5 1区北壁断面図



1 1区水田下面検出状況（西より）



2 1区水田下面検出状況（東より）



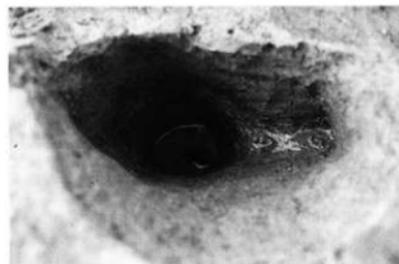
3 1区2層掘立柱建物跡SB-1・2（東より）



4 1区3層掘立柱建物跡SB-3・4・5・6（東より）



5 1区3層SB-5掘立柱建物跡P-154柱穴（北より）



6 1区3層SB-4掘立柱建物跡P-467柱穴  
柱材残存状況（南より）

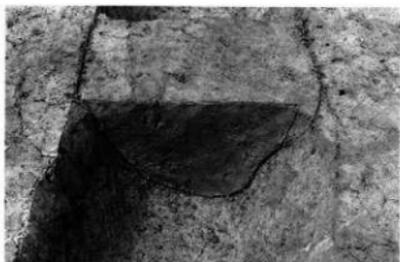
図版6 1区水田部、掘立柱建物跡



1 1区3層SD-1溝跡断面 (南より)



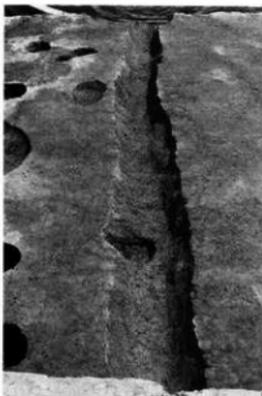
2 1区3層SD-1溝跡 (南より)



3 1区3層SD-2溝跡断面 (南より)



4 1区3層SD-5溝跡断面 (南より)



5 1区3層SD-2溝跡 (南より)



6 1区3層SD-4溝跡 (東より)



7 1区3層SD-5溝跡 (東より)

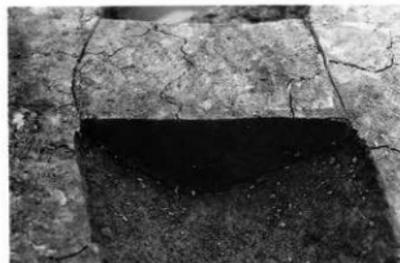
図版7 1区溝跡1



1 1区3層SD-6溝跡断面(北より)



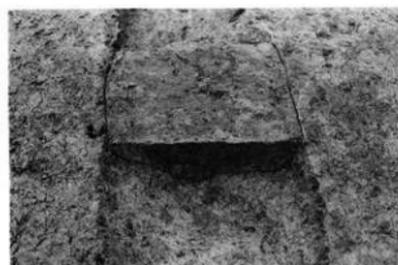
2 1区3層SD-6溝跡(南より)



3 1区3層SD-7溝跡断面(東より)



5 1区3層SD-7・8溝跡(東より)



4 1区3層SD-8溝跡断面(西より)



6 1区3層SD-9溝跡断面(南より)



7 1区3層SD-9溝跡(南より)

図版 8 1区溝跡 2



1 1区3層SD-10清跡断面(南より)



2 1区3層SD-10清跡(南より)



3 1区2a層SD-32清跡断面(西より)



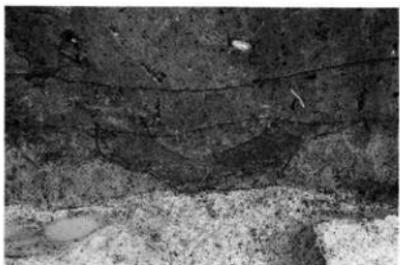
4 1区2a層SD-32清跡(西より)



5 1区3層SD-33清跡断面(南より)



6 1区3層SD-33清跡(西より)



7 1区3層SD-37清跡断面(北より)



8 1区3層SD-37清跡(南より)

図版9 1区清跡3



1 1区3層SD-40溝跡断面(南より)



2 1区3層SD-40溝跡(南より)



3 1区3層SD-41A・B溝跡検出状況(南より)



4 1区3層SD-41A・B溝跡断面(南より)

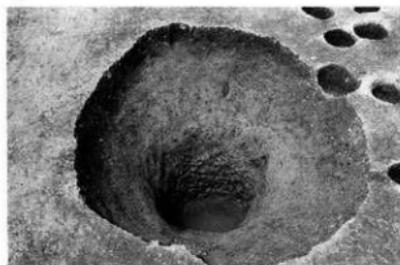


5 1区3層SD-41A・B溝跡(南より)



6 1区3層SD-41A溝跡土師器出土状況(南西より)

図版10 1区溝跡4



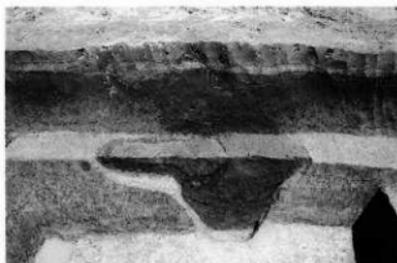
1 1区2a層SE-1 (SK-11) 井戸跡 (南より)



2 1区2a層SE-1 (SK-11) 井戸跡完備状況 (南より)



3 1区3層SE-2 (SK-49) 井戸跡断面 (南より)



4 1区3層SE-2 (SK-49) 井戸跡完備状況 (南より)



5 1区3層SE-3 (SK-120) 井戸跡断面 (北より)



6 1区3層SE-4 (SK-118) 井戸跡断面 (西より)



7 1区3層SE-4 (SK-118) 井戸跡 (西より)



8 1区3層SE-4 (SK-118) 井戸跡完備状況 (東より)

図版11 1区井戸跡



1 1区3層SK-1土坑 (西より)



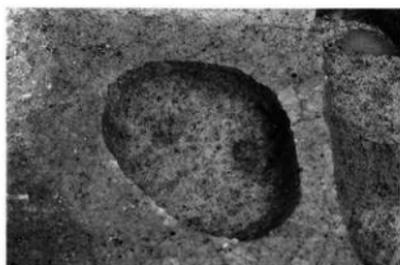
2 1区3層SK-2土坑 (南より)



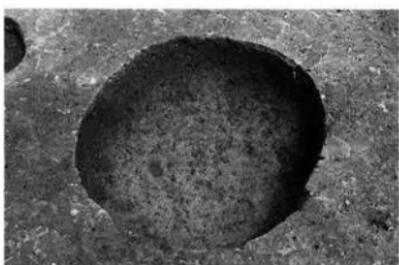
3 1区3層SK-3土坑 (南より)



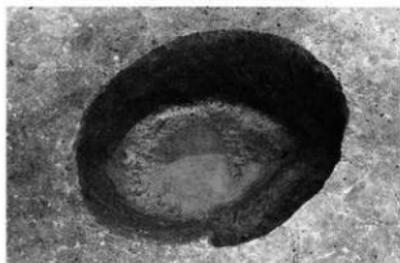
4 1区2a層SK-4土坑 (南より)



5 1区2a層SK-7土坑 (西より)



6 1区2a層SK-8土坑 (西より)



7 1区2a層SK-9土坑 (西より)



8 1区2a層SK-10土坑 (南より)

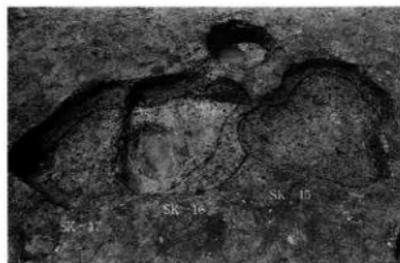
図版12 1区土坑1



1 1区3層SK-12土坑(南西より)



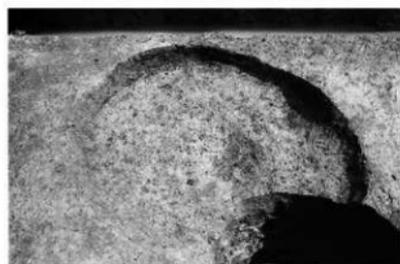
2 1区3層SK-14・18・19土坑(西より)



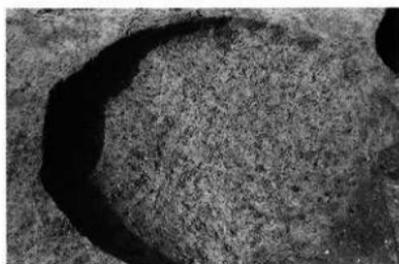
3 1区3層SK-15・16・17土坑(東より)



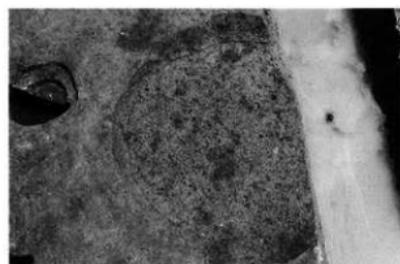
4 1区3層SK-20土坑(南より)



5 1区3層SK-21土坑(南より)



6 1区3層SK-23土坑(南より)

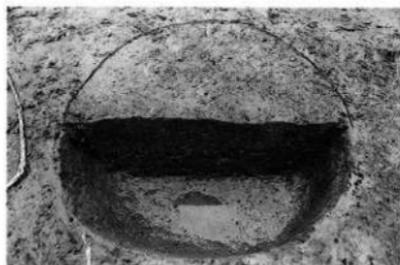


7 1区3層SK-26土坑(南より)



8 1区3層SK-27土坑(南より)

図版13 1区土坑2



1 1区3層SK-29土坑 (南より)



2 1区3層SK-33土坑 (南より)



3 1区3層SK-35土坑 (南より)



4 1区3層SK-37・50土坑 (北より)



5 1区3層SK-38土坑 (南より)



6 1区3層SK-39土坑 (北より)

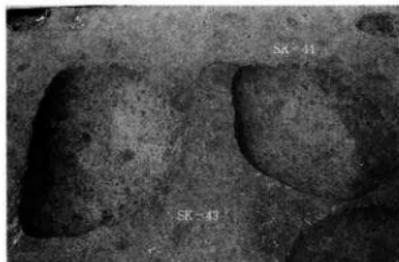


7 1区3層SK-41土坑 (南より)

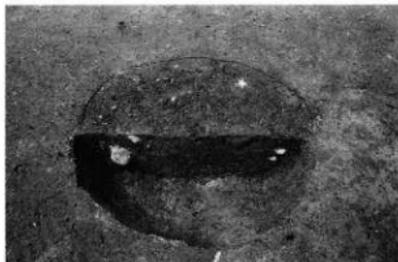


8 1区3層SK-42土坑 (北より)

図版14 1区土坑3



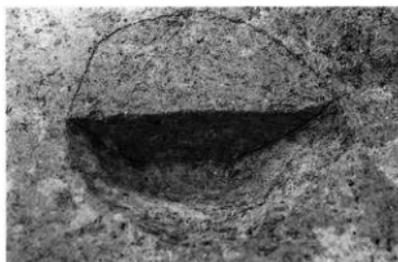
1 1区3層SK-43・44土坑（南より）



2 1区3層SK-46土坑（南より）



3 1区3層SK-48土坑（南西より）



4 1区3層SK-108土坑（南より）



5 1区3層SK-109土坑（南より）



6 1区3層SK-114土坑（南東より）



7 1区3層SK-119土坑断面（西より）

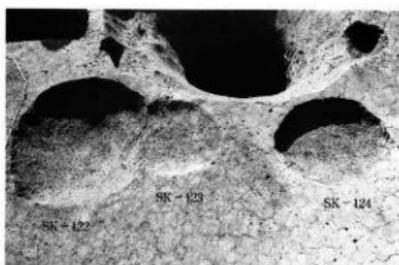


8 1区3層SK-119土坑（西より）

図版15 1区土坑4



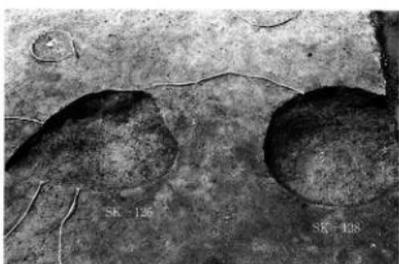
1 1区3層SK-121土坑 (南より)



2 1区3層SK-122・123・124土坑 (東より)



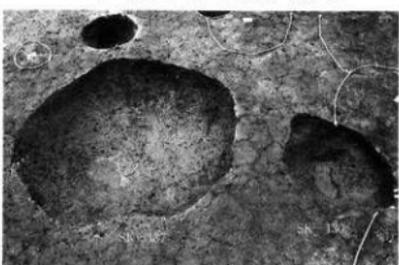
3 1区3層SK-125土坑 (南より)



4 1区3層SK-126・128土坑 (東より)



5 1区3層SK-127土坑 (南より)



6 1区3層SK-130・137土坑 (東より)



7 1区3層SK-131土坑 (南より)

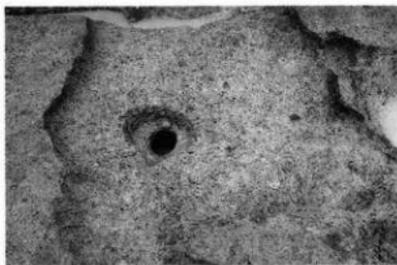


8 1区3層SK-132土坑 (東より)

図版16 1区土坑5



1 1区3層SK-133土坑(南より)



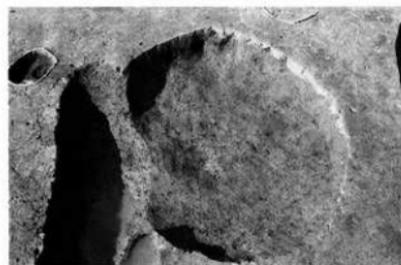
2 1区3層SK-134土坑(南より)



3 1区3層SK-135土坑(西より)



4 1区3層SK-137土坑(南より)



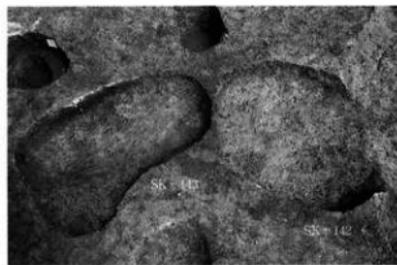
5 1区3層SK-138土坑(南より)



6 1区3層SK-139・140土坑(東より)



7 1区3層SK-141土坑(東より)

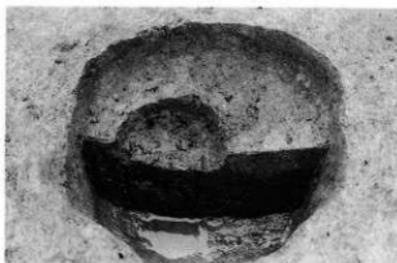


8 1区3層SK-142・143土坑(西より)

図版17 1区土坑6



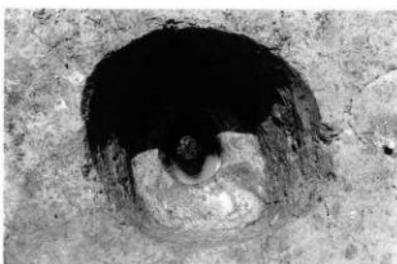
1 1区3層P-116柱穴(東より)



2 1区3層P-166柱穴(南より)



3 1区3層P-184柱穴(南西より)



4 1区3層P-446柱穴(柱材残存状況)(北より)



5 1区3層SX-4遺構検出状況(東より)



6 1区3層SX-4遺構断面(東より)



7 1区3層SX-4遺構断面(北より)

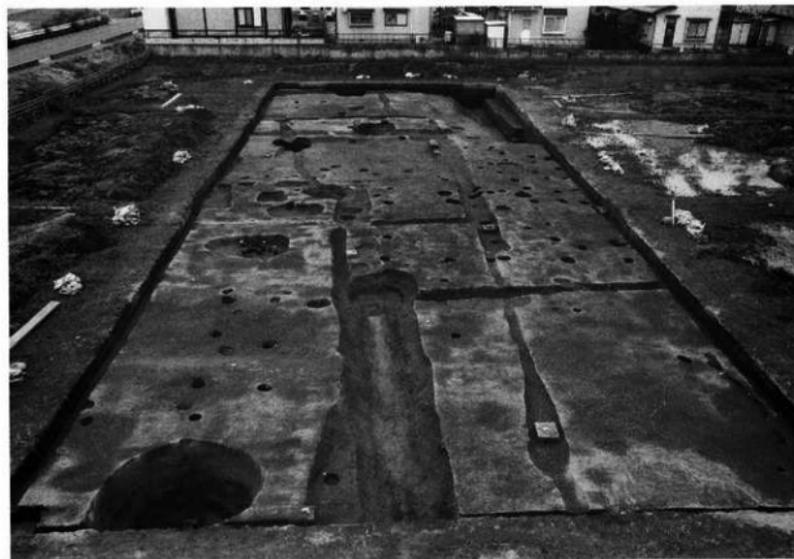


8 1区3層SX-4遺構全景(北より)

図版18 1区柱穴・その他の遺構



1 2区2b層遺構検出状況(西より)

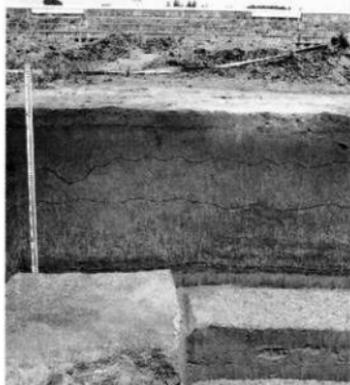


2 2区2b層全景(西より)

図版19 2区2b層全景



1 2区3層上面全景（西より）



2 2区北壁西部断面（南より）



3 2区北壁中央部断面（南より）

図版20 2区3層全景・基本土層断面

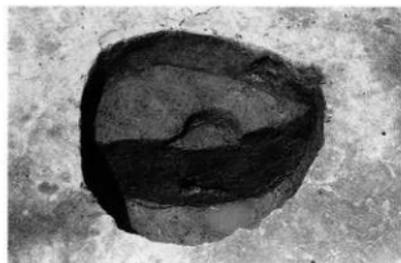


1 2区2b層柱列・掘立柱建物跡SA-1、SB-8・9（西より）



2 2区2b層掘立柱建物跡SB-7・10（西より）

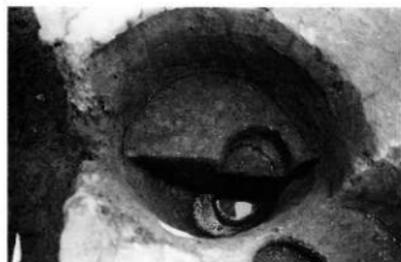
図版21 2区柱列・掘立柱建物跡



1 SB-7 掘立柱建物跡 P-225



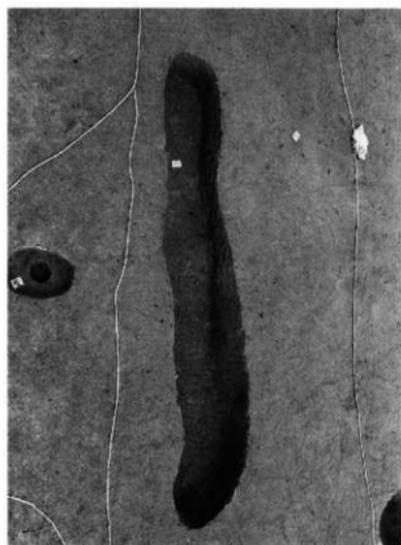
2 SB-7 掘立柱建物跡 P-324



3 SB-8 掘立柱建物跡 P-227



4 SB-8 掘立柱建物跡 P-376



5 2区2b層 SD-13溝跡(東より)



6 2区2b層 SD-12溝跡(西より)

図版22 2区掘立柱建物跡柱穴・溝跡



1 2区2b層 SD-12溝跡断面(西より)



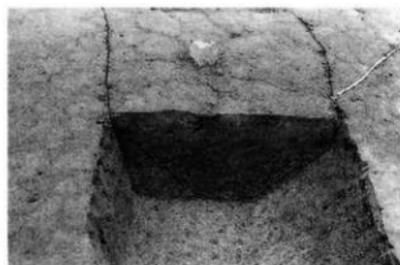
2 2区2b層 SD-13溝跡断面(西より)



3 2区2b層 SD-14溝跡(西より)



4 2区2b層 SD-14溝跡断面(西部西より)



5 2区2b層 溝跡SD-17断面(南より)



6 2区2b層 SD-17溝跡(南より)

図版23 2区溝跡2



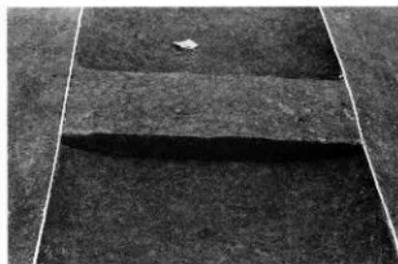
1 2区2b層 SD-18溝跡断面(東より)



2 2区2b層 SD-19溝跡断面(東より)



3 2区2b層 SD-20溝跡(南より)



4 2区2b層 SD-20溝跡断面(南より)



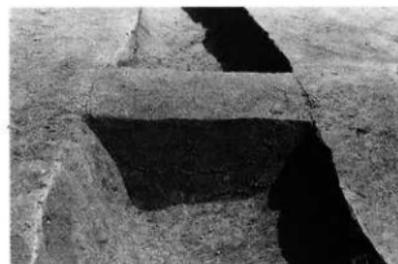
5 2区2b層 SD-22溝跡(南より)



6 2区2b層 SD-22溝跡断面(南より)



7 2区2b層 SD-23溝跡(南より)



8 2区2b層 SD-23溝跡断面(南より)

図版24 2区溝跡3



1 2区2b層 SD-24溝跡 (東より)



2 2区2b層 SD-24溝跡断面 (西より)



3 2区2b層 SD-25溝跡 (北より)



4 2区2b層 SD-25溝跡断面 (南より)



5 2区2b層 SD-29溝跡 (西より)



6 2区2b層 SD-29溝跡断面 (西より)



7 2区3層 SD-30溝跡 (南より)



8 2区3層 SD-30溝跡断面 (南より)

図版25 2区溝跡 4



1 2区2b層 SE-5井戸跡断面上部(南より)



2 2区2b層 SE-5井戸跡上部遺物出土状況(西より)



3 2区2b層 SE-5井戸跡中部遺物出土状況(西より)



4 2区2b層 SE-5井戸跡・井戸枠材出土状況(西より)



5 2区2b層 SE-5井戸跡断面下部(南より)



6 2区2b層 SE-5井戸跡調査最下部(西南より)



7 2区2b層 SE-6井戸跡断面(東より)



8 2区2b層 SE-6井戸跡

図版26 2区井戸跡1



1 2区2b層 SE-7井戸跡断面(東より)



2 2区2b層 SE-7井戸跡完掘状況(西より)



3 2区2b層 SE-8井戸跡上部断面(南西より)



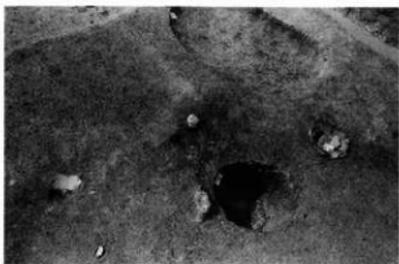
4 2区2b層 SE-8井戸跡上半部(西より)



5 2区2b層 SE-8井戸跡下部断面(南より)



6 2区2b層 SE-8井戸跡下半部完掘状況(南より)



7 2区2b層 SI-1竪穴住居跡カマド付近残存部(南より)



8 SI-1竪穴住居跡内SK-1土坑遺物出土状況(南より)

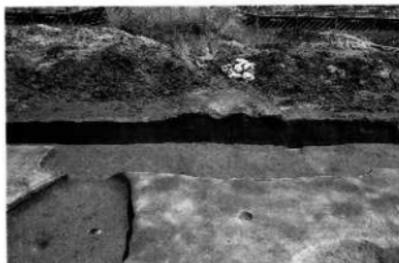
図版27 2区井戸跡2・竪穴住居跡1



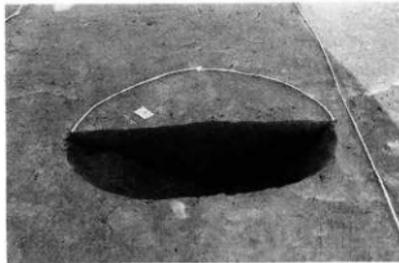
1 SI-1 竪穴住居跡内SK-1・2土坑全景 (南より)



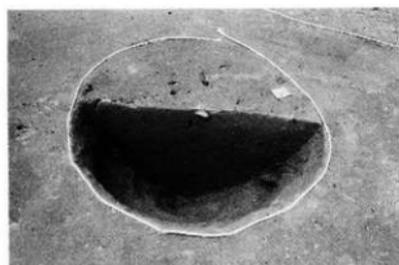
2 2区3層 SI-3竪穴遺構断面 (東より)



3 2区3層 SI-3竪穴遺構 (南より)



4 2区2b層 2区SK-52土坑 (西より)



5 2区2b層 SK-53土坑 (東より)



6 2区2b層 SK-54土坑断面 (西より)



7 2区2b層 SK-54土坑 (西より)



8 SK-54土坑遺物出土状況 (西より)

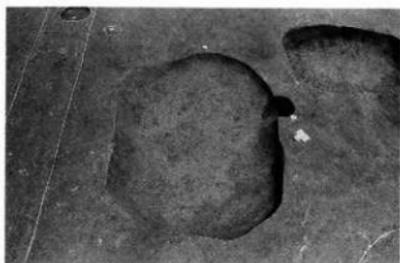
図版28 2区竪穴住居跡2・土坑1



1 2区2b層 SK-55土坑 (西より)



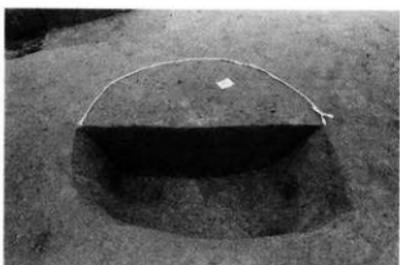
2 2区2b層 SK-56土坑 (南より)



3 2区2b層 SK-57土坑 (南より)



4 2区2b層 SK-58土坑 (南より)



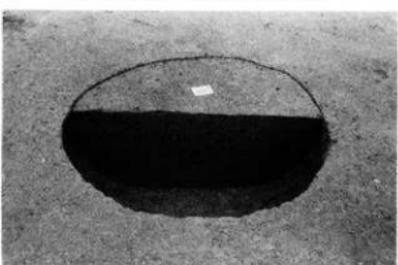
5 2区2b層 SK-59土坑 (南より)



6 2区2b層 SK-60土坑 (東より)



7 2区2b層 SK-62土坑 (東より)

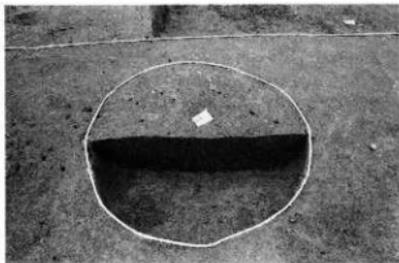


8 2区2b層 SK-64土坑 (南より)

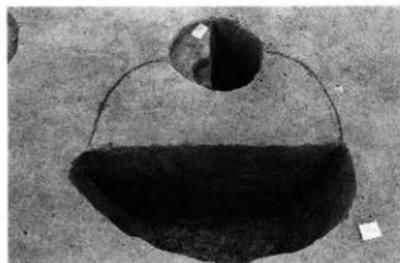
図版29 2区土坑 2



1 2区2b層 SK-56土坑 (南より)



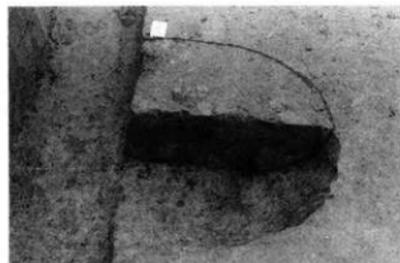
2 2区2b層 SK-66土坑 (南より)



3 2区2b層 SK-67土坑 (西より)



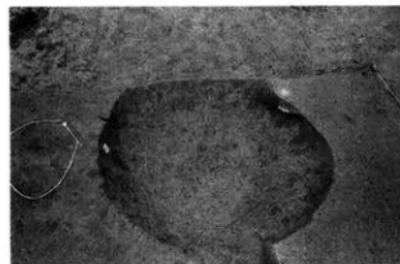
4 2区2b層 SK-68土坑 (南より)



5 2区2b層 SK-69土坑 (東より)



6 2区2b層 SK-70土坑 (南より)

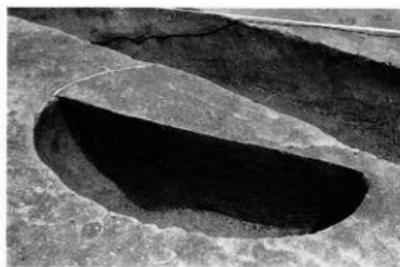


7 2区2b層 SK-71土坑 (西より)

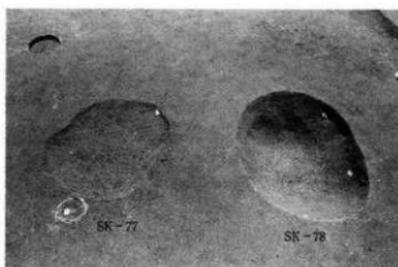


8 2区2b層 SK-74土坑 (南東より)

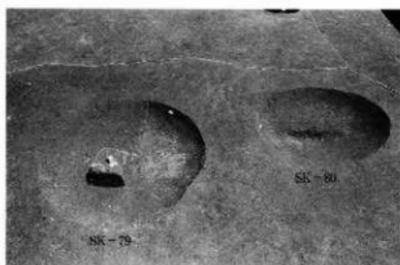
図版30 2区土坑 3



1 2区2b層 SK-76土坑 (西より)



2 2区2b層 SK-77・78土坑 (西より)



3 2区2b層 SK-79・80土坑 (南より)



4 2区2b層 SK-81土坑 (西より)



5 2区2b層 SK-82土坑 (西より)



6 2区2b層 SK-83土坑断面 (西より)

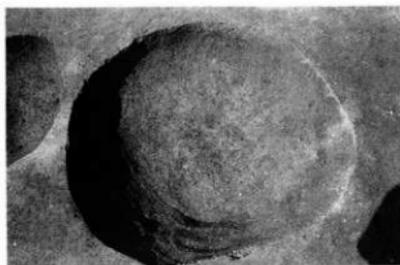


7 2区2b層 SK-83土坑全景 (西より)

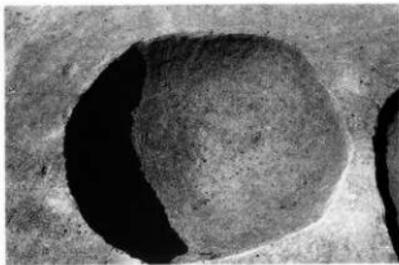


8 2区2b層 SK-85土坑 (南より)

図版31 2区土坑4



1 2区3層 SK-88土坑(南より)



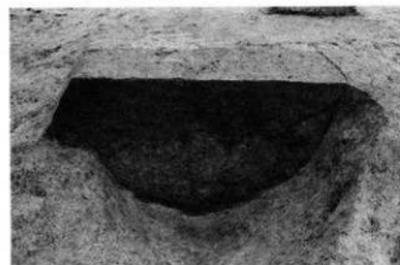
2 2区3層 SK-89土坑(南より)



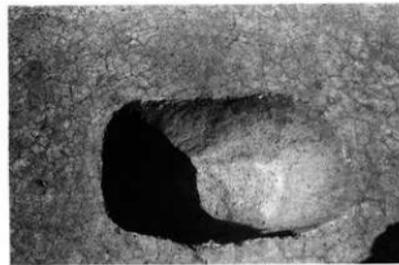
3 2区3層 SK-90土坑(東より)



4 2区3層 SK-91土坑(南より)



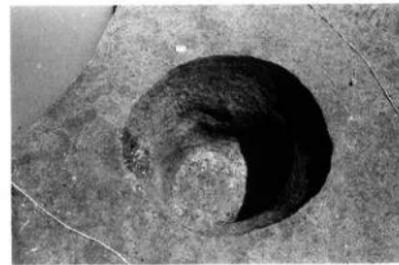
5 2区2b層 SK-92土坑(南より)



6 2区2b層 SK-93土坑(南より)

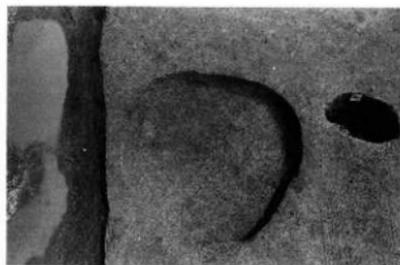


7 2区2b層 SK-94土坑断面(南より)



8 2区2b層 SK-94土坑(南より)

図版32 2区土坑5



1 2区3層 SK-95土坑 (南より)



2 2区3層 SK-96土坑 (南より)



3 2区3層 SK-97土坑 (北より)



4 2区3層 SK-98土坑 (東より)



5 2区3層 SK-99土坑 (北西より)



6 2区3層 SK-101土坑 (南より)

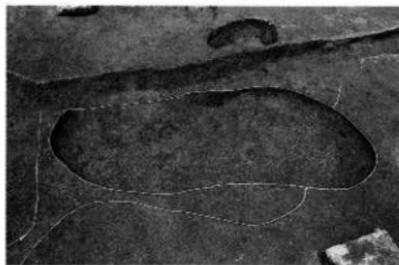


7 2区3層 SK-102土坑 (南より)



8 2区3層 SK-103土坑 (南より)

図版33 2区土坑6



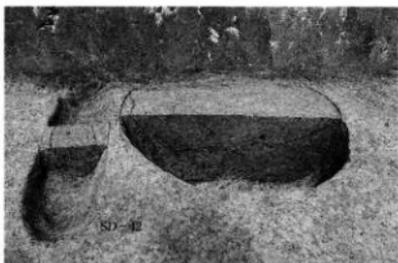
1 2区3層 SK-104土坑(東より)



2 2区3層 SK-105土坑(西より)



3 2区3層 SK-107土坑(西より)



4 2区3層 SK-145土坑(東より)



5 2区3層 SK-146土坑断面(東より)



6 2区3層 SK-146土坑(南西より)



7 2区3層 SK-147土坑断面(南より)



8 2区3層 SK-147土坑(西より)

図版34 2区土坑7



1 2区3層 SX-2遺構(南より)



2 2区3層 SX-3遺構(南より)



3 SX-3遺構遺物出土状況(南より)



4 SX-3遺構断面(南より)



5 2区西壁2b層遺物出土状況(東より)



6 3A区全景(南より)



7 3A区3層 SK-84土坑断面(南より)



8 3A区3層 SK-84土坑(東より)

図版35 2区その他の遺構・3A区1



1 3A区北壁土層断面（南より）



2 3B区全景 左SD-26・27溝跡（南より）



3 3B区3層SD-26・27溝跡断面（南より）



4 3B区北壁土層断面（南より）

図版36 3A区1・3B区



1 試掘No.1 トレンチ西壁



2 試掘No.2 トレンチ西壁



3 試掘No.3 トレンチ西壁

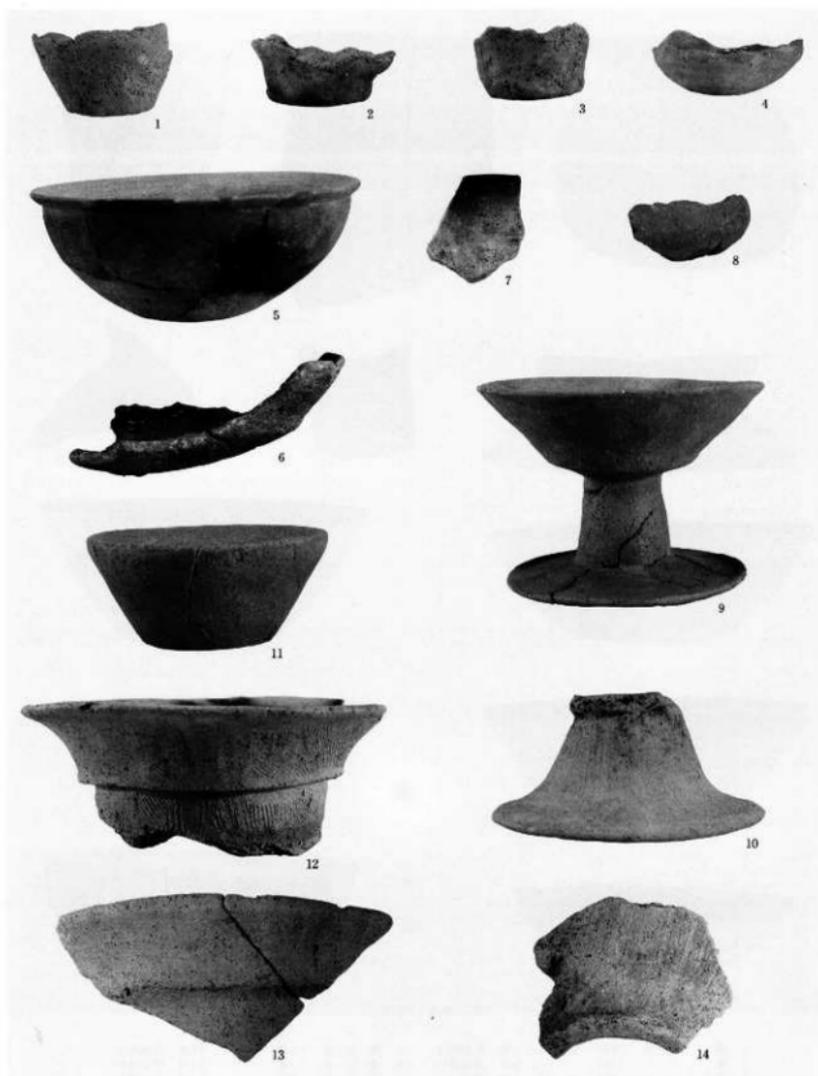


4 試掘No.4 トレンチ西壁



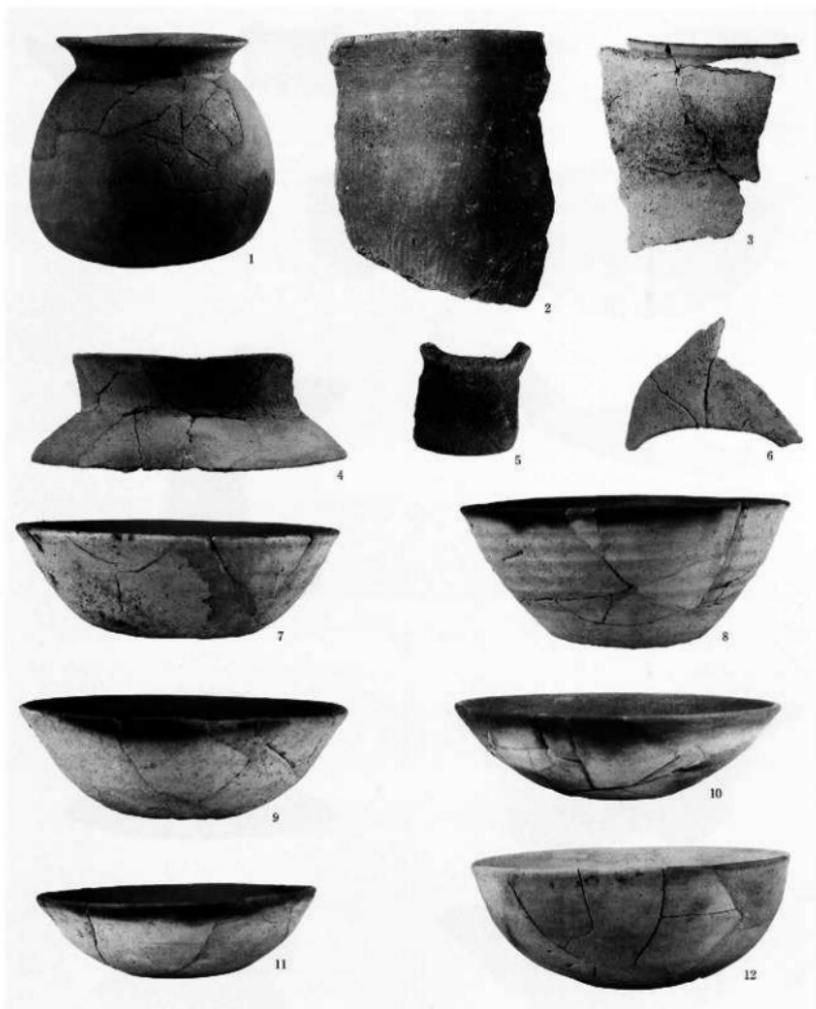
5 試掘No.5 トレンチ西壁

図版37 試掘トレンチ土層断面



1	ミニチュア土器	C-2	(2区)	SX-3	1層	第68回1)	8	坏	C-8	(2区)	2b層	第58回3)	
2	ミニチュア土器	C-6	(2区)		2b層	第58回2)	9	高坏	C-23	(2区)	SX-3	1層	第68回7)
3	ミニチュア土器	C-5	(2区)		2b層	第58回1)	10	高坏	C-2	(2区)	2b層	第58回6)	
4	坏	C-20	(2区)	SX-3	1層	第68回2)	11	壺	C-9	(2区)	2b層	第58回7)	
5	坏	C-1	(2区)		2b層	第58回4)	12	壺	C-25	(2区)	SX-3	第68回9)	
6	坏	C-14	(2区)	SK-147	2層上面	第57回18)	13	甕	C-4	(2区)	2b層	第58回8)	
7	坏	C-7	(2区)		2b層	第58回5)	14	甕	C-26	(2区)	P-263	1層	第34回1)

図版38 非口ク口土器1



- |       |      |      |        |     |         |      |      |      |      |         |         |
|-------|------|------|--------|-----|---------|------|------|------|------|---------|---------|
| 1 壺   | C-24 | (2区) | SX-3   | 1層  | 第68図11) | 7 坏  | D-8  | (2区) | 2b層  | 第58図12) |         |
| 2 壺?  | C-3  | (2区) | SK-97  | 26層 | 第57図13) | 8 坏  | D-9  | (2区) | 2b層  | 第58図15) |         |
| 3 壺?  | C-27 | (2区) | SK-97  | 1層  | 第68図10) | 9 坏  | D-10 | (2区) | 2b層  | 第58図14) |         |
| 4 壺   | C-21 | (2区) | SX-3   | 1層  | 第57図9)  | 10 坏 | D-12 | (2区) | 2b層  | 第58図13) |         |
| 5 台付壺 | C-12 | (2区) | SK-95  | 1層  | 第57図16) | 11 坏 | D-14 | (2区) | 西壁   | 2b層     | 第61図10) |
| 6 瓶   | C-13 | (2区) | SK-101 | 1層  |         | 12 坏 | D-29 | (2区) | SI-1 | 床直      | 第49図4)  |

図版39 非ロクロ土師器2・ロクロ土師器1(坏1)



1



2



3



4



5



6



7



8



9



10

- |                              |                               |
|------------------------------|-------------------------------|
| 1 坏 D-34 (2区 SI-1 第49图5)     | 6 坏 D-42 (2区 SK-54 2层 第52图6)  |
| 2 坏 D-35 (2区 SI-1 第49图6)     | 7 坏 D-44 (2区 SK-54 2层 第52图7)  |
| 3 坏 D-39 (2区 SK-54 2层 第52图9) | 8 坏 D-49 (2区 SK-54 2层 第52图5)  |
| 4 坏 D-40 (2区 SK-54 2层 第52图3) | 9 坏 D-50 (2区 SK-54 2层 第52图8)  |
| 5 坏 D-41 (2区 SK-54 2层 第52图4) | 10 台付坏 D-15 (2区 西楯 2b層 第61图8) |

図版40 ロクロ土師器2(坏2)



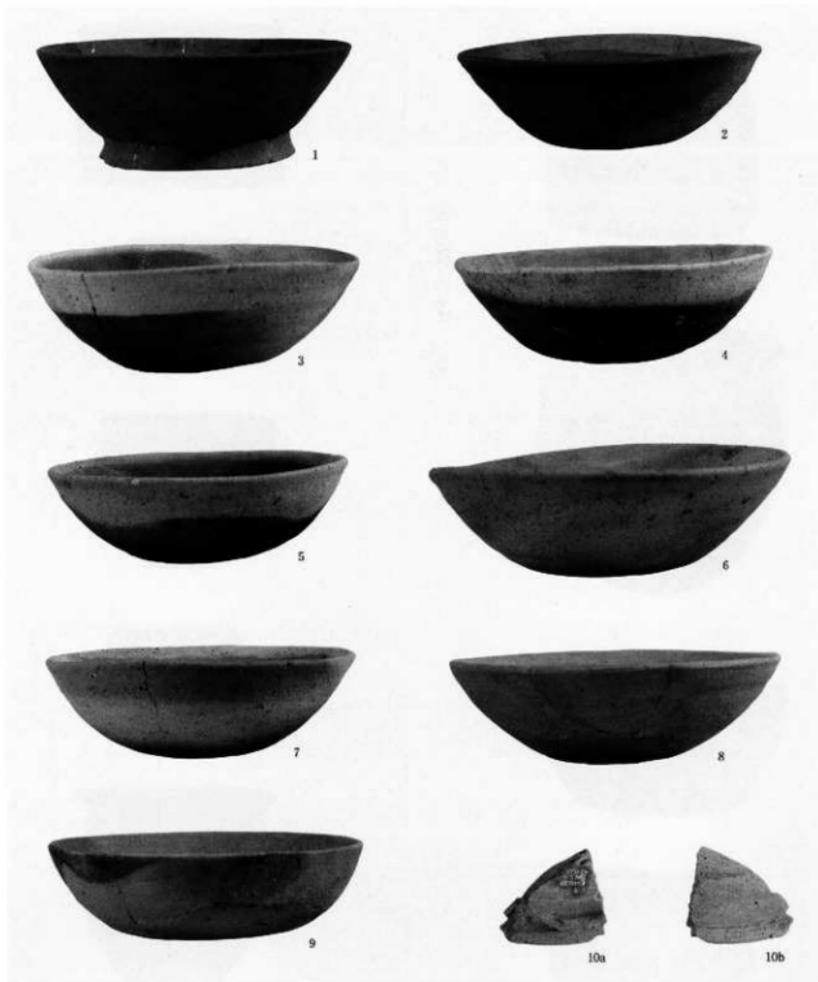
- |   |     |      |      |       |     |         |    |   |      |      |         |    |          |
|---|-----|------|------|-------|-----|---------|----|---|------|------|---------|----|----------|
| 1 | 台付皿 | D-16 | (2区) | 西壁    | 2b層 | 第61図(2) | 8  | 坏 | D-3  | (1区) | SD-41-A | 1層 | 第17図(8)  |
| 2 | 台付皿 | D-19 | (2区) | 西壁    | 2b層 | 第61図(3) | 9  | 坏 | D-4  | (1区) | SD-41-A | 1層 | 第17図(9)  |
| 3 | 台付皿 | D-21 | (2区) | 西壁    | 2b層 | 第61図(4) | 10 | 坏 | D-6  | (1区) | SD-41-A | 1層 | 第17図(11) |
| 4 | 台付坏 | D-17 | (2区) | 西壁    | 2b層 | 第61図(7) | 11 | 坏 | D-7  | (1区) | P-455   | 1層 | 第10図(2)  |
| 5 | 台付坏 | D-20 | (2区) | 西壁    | 2b層 | 第61図(6) | 12 | 坏 | D-26 | (2区) | SI-1    | 床直 | 第49図(1)  |
| 6 | 台付坏 | D-23 | (2区) | SD-12 | 1層  | 第36図(9) | 13 | 皿 | D-54 | (2区) | SK-78   | 4層 | 第57図(7)  |
| 7 | 台付坏 | D-36 | (2区) | SK-53 | 1層  | 第57図(1) |    |   |      |      |         |    |          |

図版41 ロクロ土師器 3 (坏 3)



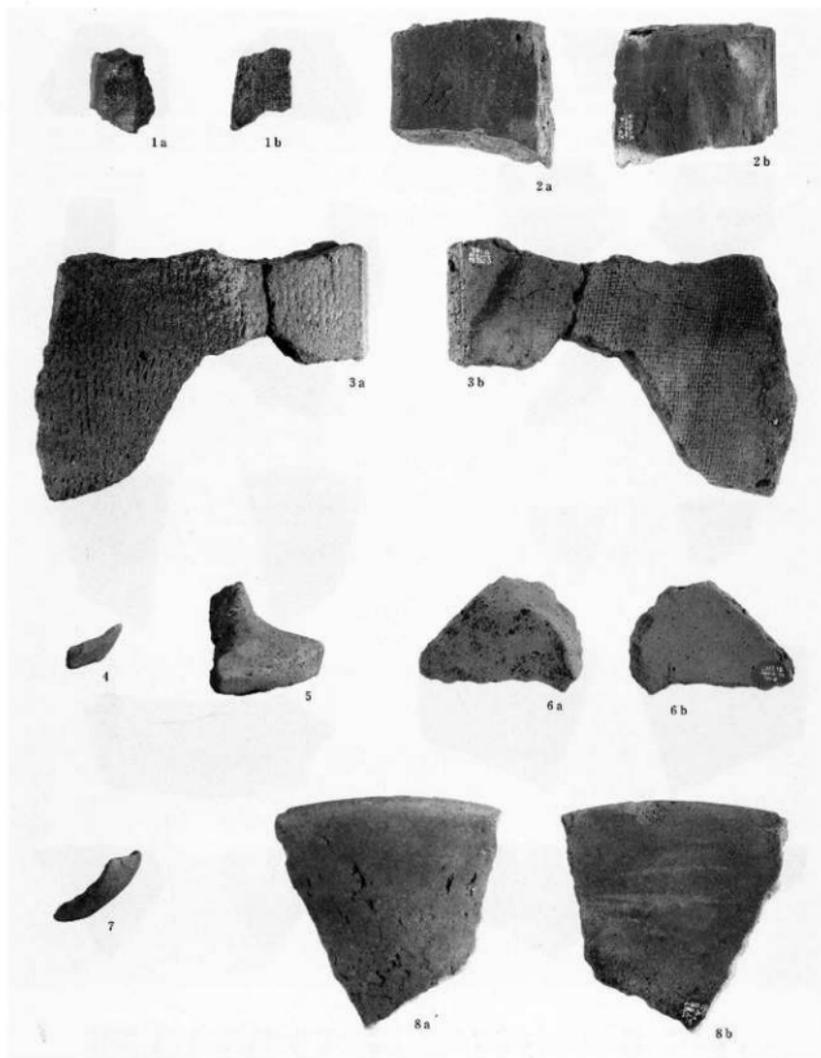
- |              |                 |              |                  |
|--------------|-----------------|--------------|------------------|
| 1 类 D-11 (2区 | 2b層 第58回16)     | 6 类 D-45 (2区 | SK-54 2層 第53回1)  |
| 2 类 D-30 (2区 | SI-1 灰直 第49回9)  | 7 类 D-55 (2区 | SK-96 1層 第57回10) |
| 3 类 D-32 (2区 | SI-1 灰直 第49回10) | 8 类 D-58 (2区 | SK-98 1層 第57回15) |
| 4 类 D-33 (2区 | SI-1 灰直 第49回8)  | 9 类 D-59 (2区 | SK-98 1層 第57回14) |
| 5 类 D-43 (2区 | SK-54 2層 第53回2) |              |                  |

図版42 ロクロ土師器 4 (續)



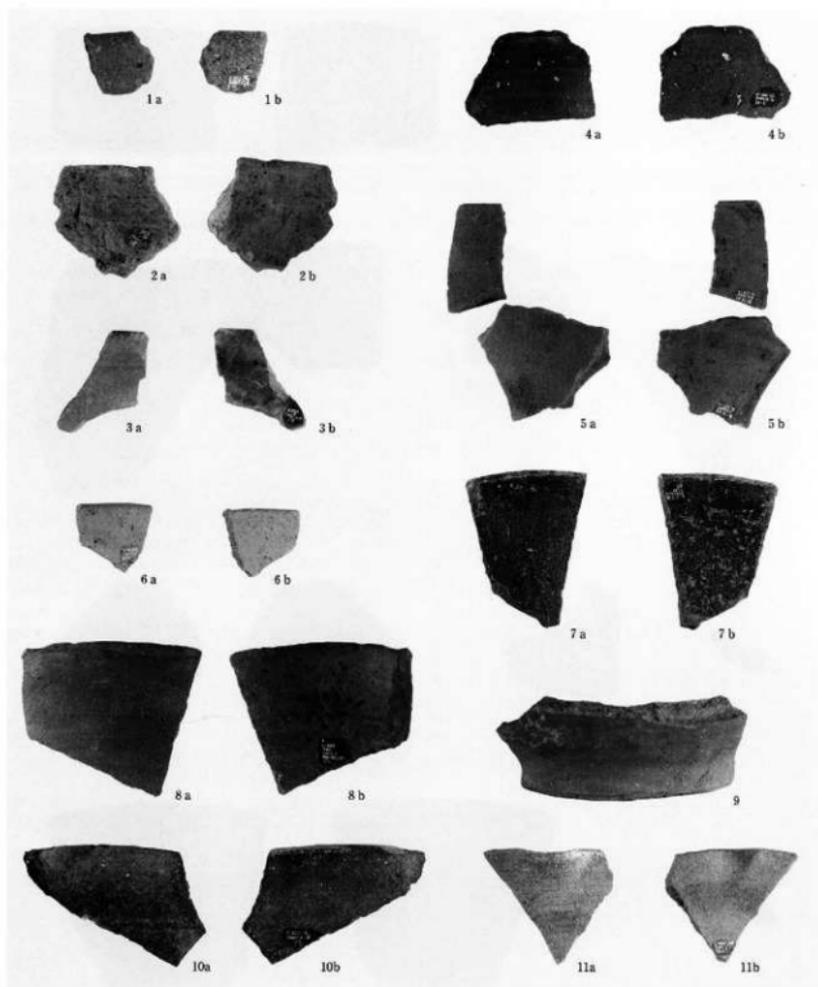
1	台付环	E-1	(2区	2b期	第59图1)	6	环	E-9	(2区	SK-54	2層	第53图7)	
2	环	E-5	(2区	SK-54	2層	第53图3)	7	环	E-10	(2区	SK-54	2層	第53图9)
3	环	E-6	(2区	SK-54	2層	第53图8)	8	环	E-11	(2区	SK-54	2層	第53图4)
4	环	E-7	(2区	SK-54	2層	第53图6)	9	环	E-13	(2区	SK-146	1層	第57图17)
5	环	E-8	(2区	SK-54	2層	第53图5)	10	壺	E-3	(2区	SD-25	B層	第36图13)

图版43 须惠器



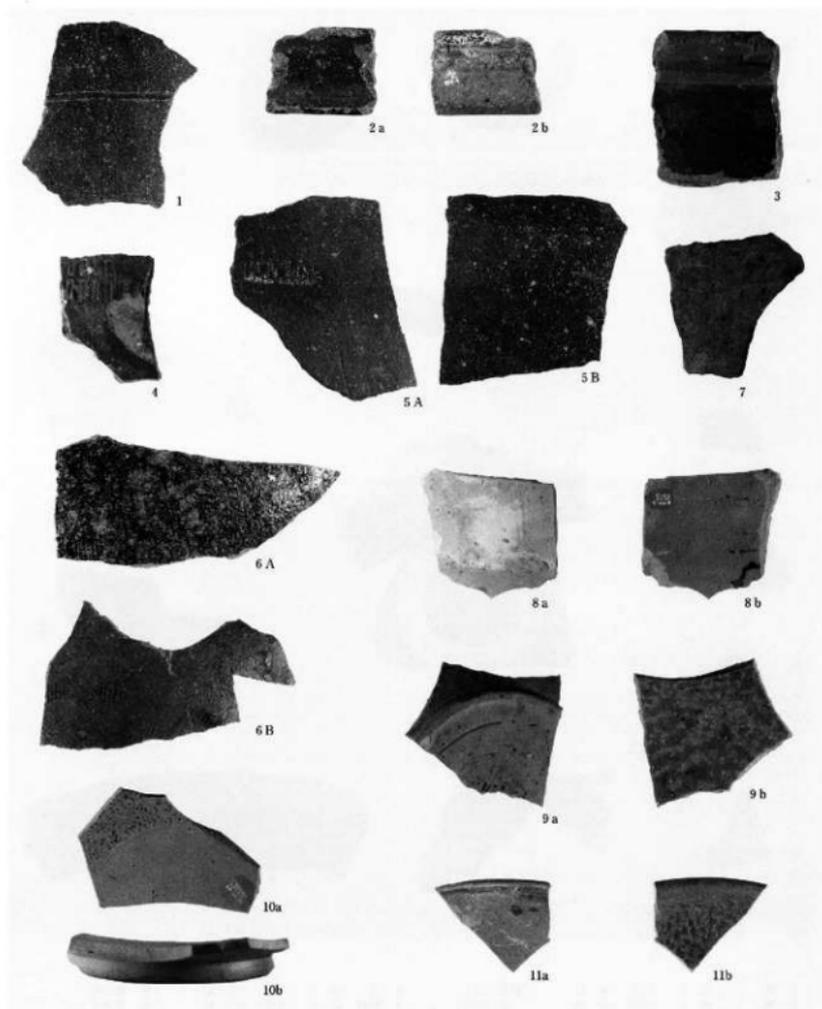
- |       |      |     |       |    |         |        |      |     |       |    |        |
|-------|------|-----|-------|----|---------|--------|------|-----|-------|----|--------|
| 1 古代瓦 | F-1  | (2区 | SD-25 | A層 | 第36圖15) | 5 不明   | Ia-2 | (1区 | SD-2  | 不明 | 第17圖1) |
| 2 古代瓦 | G-3  | (2区 | SD-25 | B層 | 第36圖14) | 6 甌    | Ia-3 | (1区 | SD-9  |    | 第17圖4) |
| 3 平瓦  | G-4  | (2区 | SI-1  | 床直 | 第49圖11) | 7 甌    | Ia-4 | (2区 | SK-58 | 1層 | 第37圖2) |
| 4 甌   | Ia-1 | (1区 |       | 1層 | 第8圖1)   | 8 鉢or甌 | Ib-1 | (2区 | SD-12 | 1層 | 第36圖2) |

図版44 瓦・土師質土器(4~7)・瓦質土器



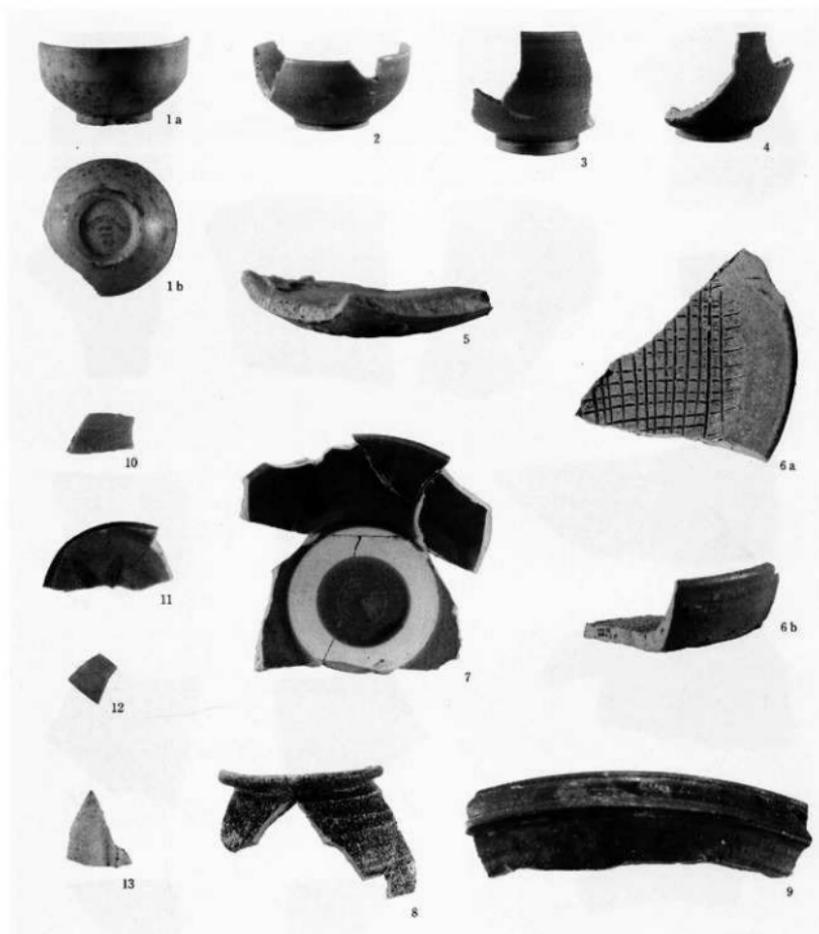
- |   |   |       |     |       |        |        |     |       |       |       |       |        |        |
|---|---|-------|-----|-------|--------|--------|-----|-------|-------|-------|-------|--------|--------|
| 1 | 鉢 | Ic-1  | (1区 | 1層    | 第8區2)  | 7      | 鉢   | Ic-14 | (2区   | SK-71 | 3層    | 第57區6) |        |
| 2 | 鉢 | Ic-2  | (1区 | 1層    | 第8區4)  | 8      | 鉢   | Ic-16 | (3B区  | SD-26 | 上層    | 第77區3) |        |
| 3 | 鉢 | Ic-6  | (1区 | 1層    | 第8區5)  | 9      | 鉢   | Ic-17 | (3B区  | SD-26 | 上層    | 第77區6) |        |
| 4 | 鉢 | Ic-8  | (1区 | SK-4  | 第25區1) | 10     | 片口鉢 | Ic-3  | (1区   | 1層    | 第8區7) |        |        |
| 5 | 鉢 | Ic-9  | (1区 | SK-31 | 1層     | 第25區2) | 11  | 片口鉢   | Ic-11 | (2区   | SD-12 | 1層     | 第36區1) |
| 6 | 鉢 | Ic-10 | (2区 | 2b層   | 第59區3) |        |     |       |       |       |       |        |        |

圖版45 無釉陶器 1



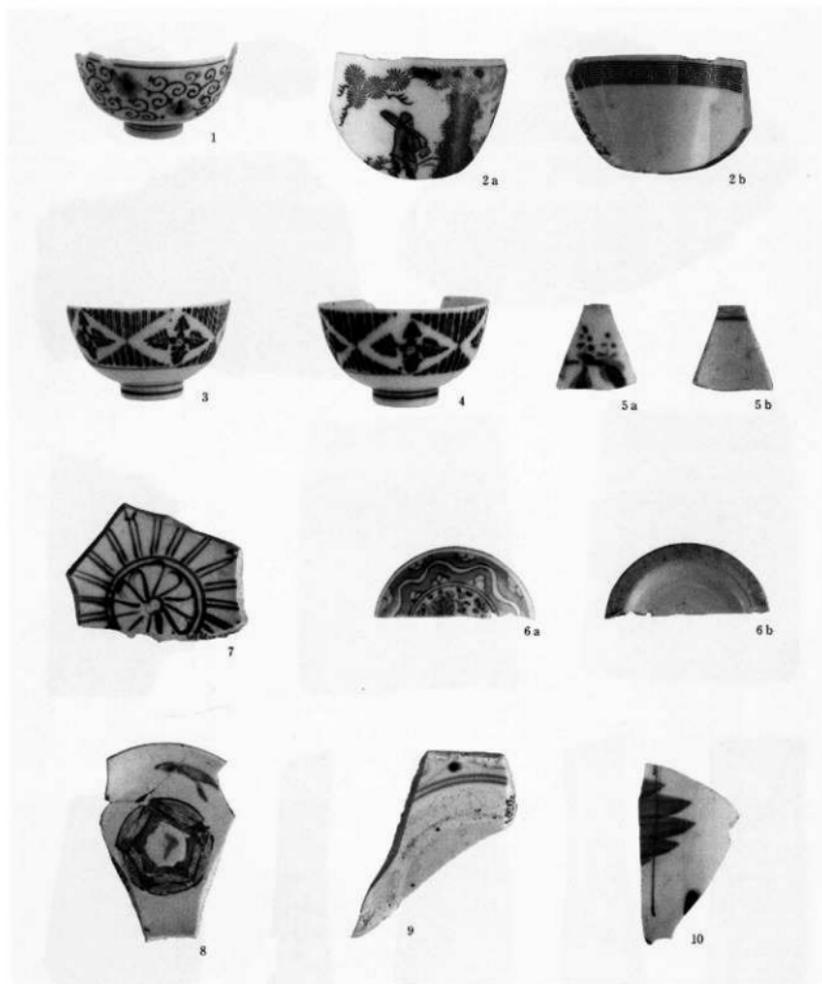
- |                     |             |                      |            |
|---------------------|-------------|----------------------|------------|
| 1 甕 Ic-18 (1区       | 2b 厨 第14图2) | 7 甕 Ic-19 (2区 SK-83  | 第57图8)     |
| 2 甕 Ic-4 (1区        | 1厨 第8图3)    | 8 甕 Ic-20 (1区 P-20   | 1厨 第10图1)  |
| 3 甕 Ic-5 (1区        | 1厨 第8图4)    | 9 皿? Id-5 (2区 SE-7   | 2厨 第47图3)  |
| 4 甕 Ic-7 (1区 SD-5   | 第17图2)      | 10 碗 Id-12 (2区 SD-24 | 1厨 第36图12) |
| 5 甕 Ic-13 (1区 SK-38 | 第25图3)      | 11 碗 Id-13 (2区 SD-23 | 1厨 第36图10) |
| 6 甕 Ic-15 (2区 SE-8  | 1厨 第47图1)   |                      |            |

图版46 无釉陶器2・灰釉陶器(9~11)



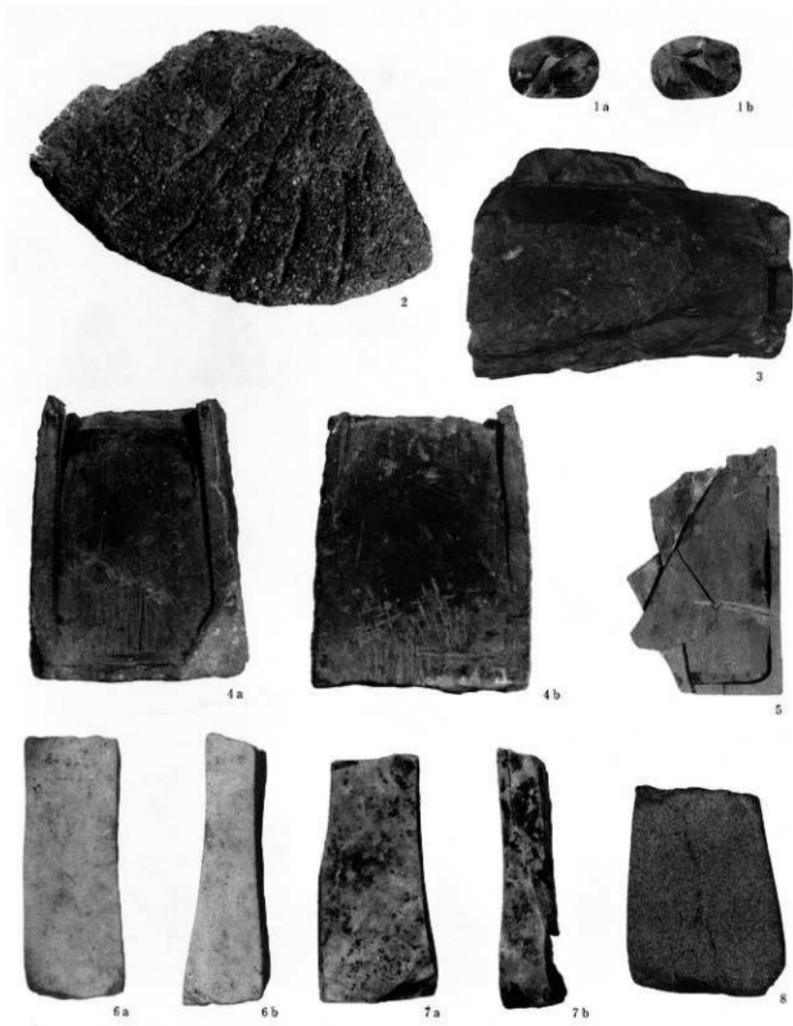
1 碗	Id-4	(2区 SK-71	1層第57図5)	8 壺	Id-2	(1区 SK-39	1層 第25図4)
2 碗	Id-8	(3A区 SD-28	第77図2)	9 椀鉢	Id-3	(2区 SD-14	1層 第36図3)
3 碗	Id-10	(2区 SE-5	1~2層第38図3)	10 碗	J-5	(2区	2b層 第39図4)
4 小坏	Id-11	(2区 SE-5	2層第38図2)	11 碗	J-9	(2区 SE-8	下部3層 第47図2)
5 皿	Id-7	(3B区 SD-26	上層第77図7)	12 瓶頸	J-10	(3B区 SD-26	上層 第77図8)
6 おろし皿	Id-6	(3A区	1層第77図1)	13 瓶頸	J-11	(3B区 SD-26	上層 第77図9)
7 皿	Id-1	(1区	1層第8図8)				

図版47 施釉陶器・青磁(10~11)・白磁(12)・青白磁(13)



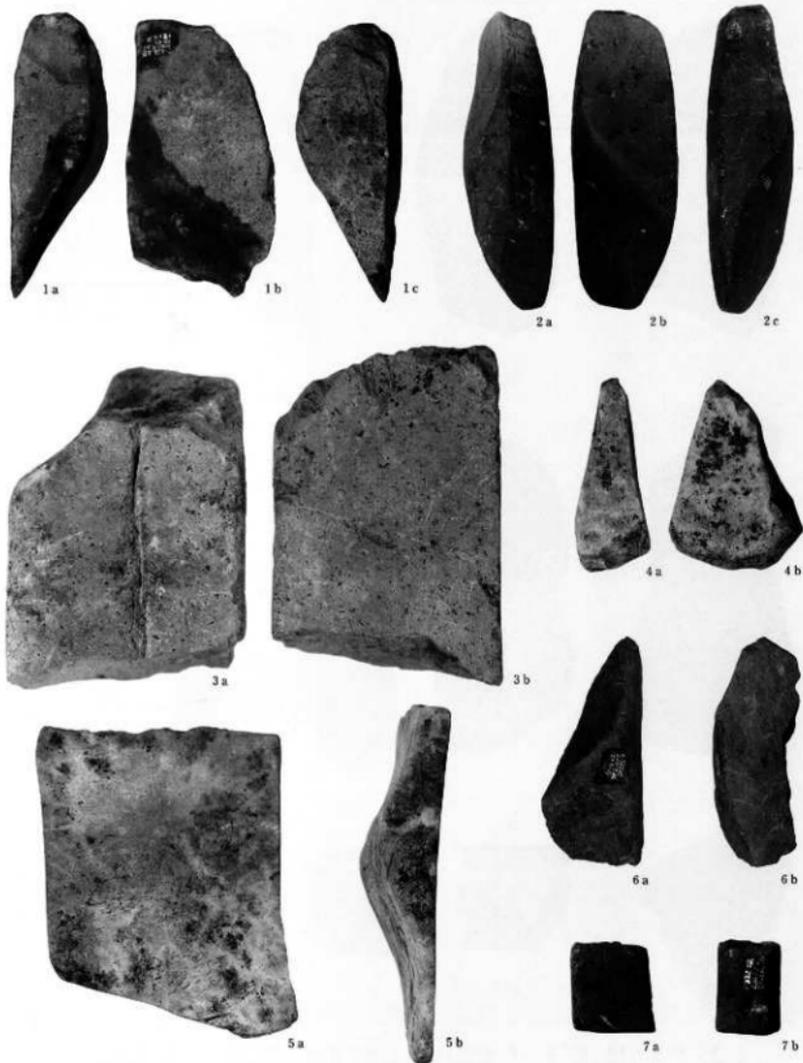
- |                   |           |                       |           |
|-------------------|-----------|-----------------------|-----------|
| 1 碗 J-1 (1区       | 1層 第8回10) | 6 壺 J-6 (2区 SD-22     | 1層 第36回6) |
| 2 碗 J-2 (1区       | 1層 第8回9)  | 7 碗 J-14 (2区 SE-5     | 3層 第36回4) |
| 3 碗 J-3 (1区       | 1層 第8回12) | 8 皿 J-13 (3A区 SK-84   | 第77回4)    |
| 4 碗 J-4 (1区       | 1層 第8回11) | 9 皿 J-8 (2区 SK-71     | 3層 第57回4) |
| 5 碗 J-7 (2区 SD-22 | 1層 第36回7) | 10 德利 J-12 (3A区 SK-84 | 第77回3)    |

图版48 磁器



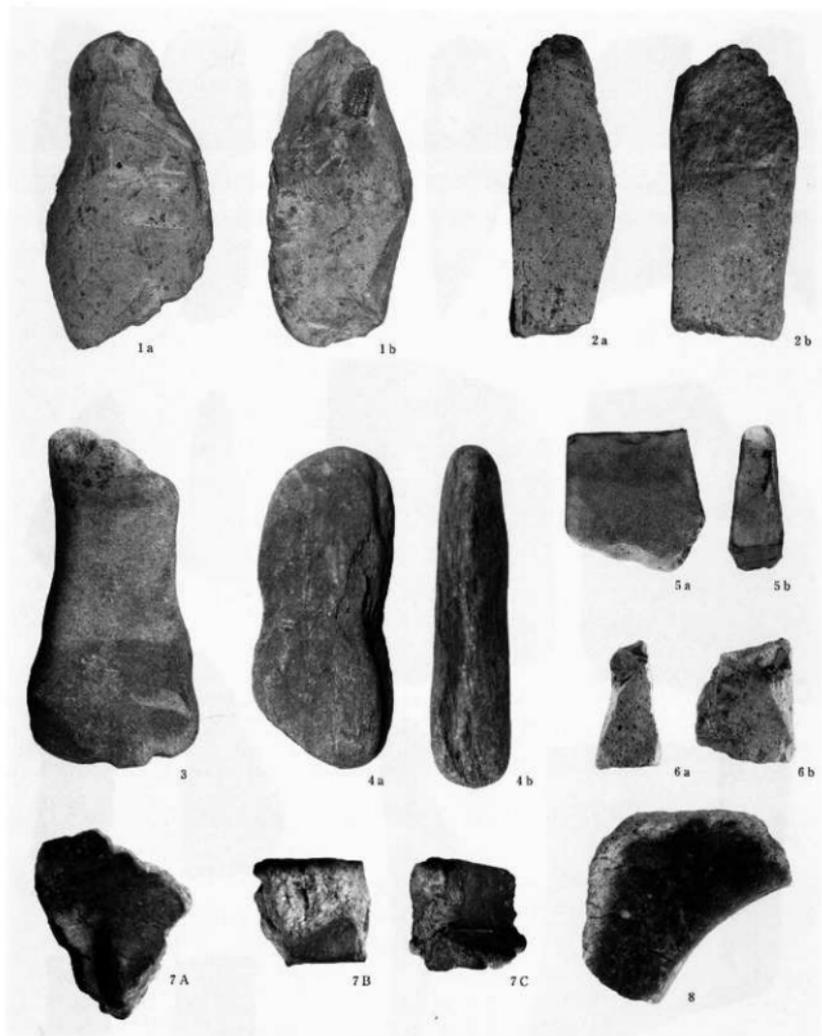
- |         |           |           |        |           |                 |               |                 |
|---------|-----------|-----------|--------|-----------|-----------------|---------------|-----------------|
| 1 石製模造品 | K-21 (2区) | 1層 第69図2) | 5 石硯   | K-19 (1区) | 1層 第8图16)       |               |                 |
| 2 石臼    | K-22 (2区) | SE-5      | 6 砥石   | K-1 (2区)  | SK-58 1層 第69图6) |               |                 |
| 3 石硯    | K-7 (2区)  | SD-29     | (試掘)   | 第69图5)    | 7 砥石            | K-2 (2区)      | SK-71 1層 第68图9) |
| 4 石硯    | K-17 (1区) | 2a層       | 第14图3) | 8 砥石      | K-5 (2区)        | SK-82 第69图10) |                 |

図版49 石製品1 (模造品・石臼・硯・砥石)



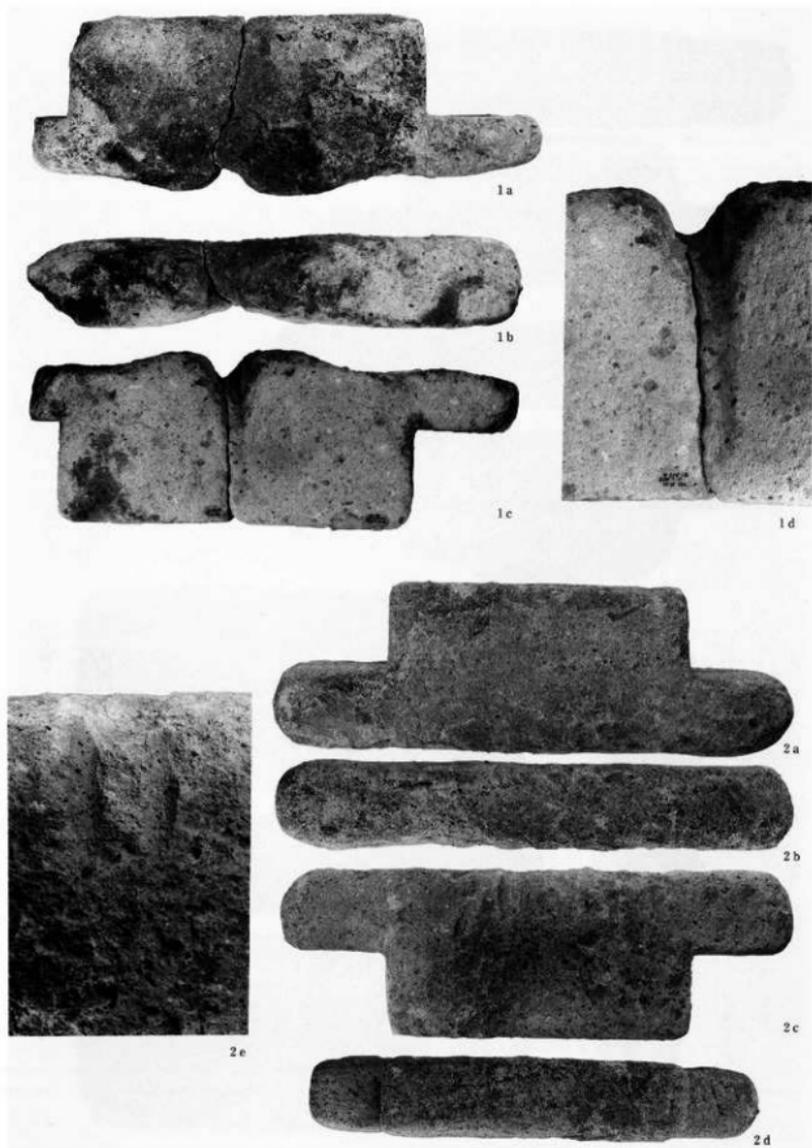
- |      |     |           |           |      |      |            |            |
|------|-----|-----------|-----------|------|------|------------|------------|
| 1 砥石 | K-3 | (2区 SE-5  | 4層 第38回6) | 5 砥石 | K-9  | (2区 SE-5   | 3層 第38回6)  |
| 2 砥石 | K-4 | (2区 SE-5  | 2層 第38回4) | 6 砥石 | K-10 | (2区 SX-3   | 1層 第69回12) |
| 3 砥石 | K-6 | (2区 SD-12 | 1層 第69回4) | 7 砥石 | K-12 | (2区 SK-104 | 1層 第69回11) |
| 4 砥石 | K-8 | (2区       | 1層 第69回1) |      |      |            |            |

図版50 石製品2 (砥石)



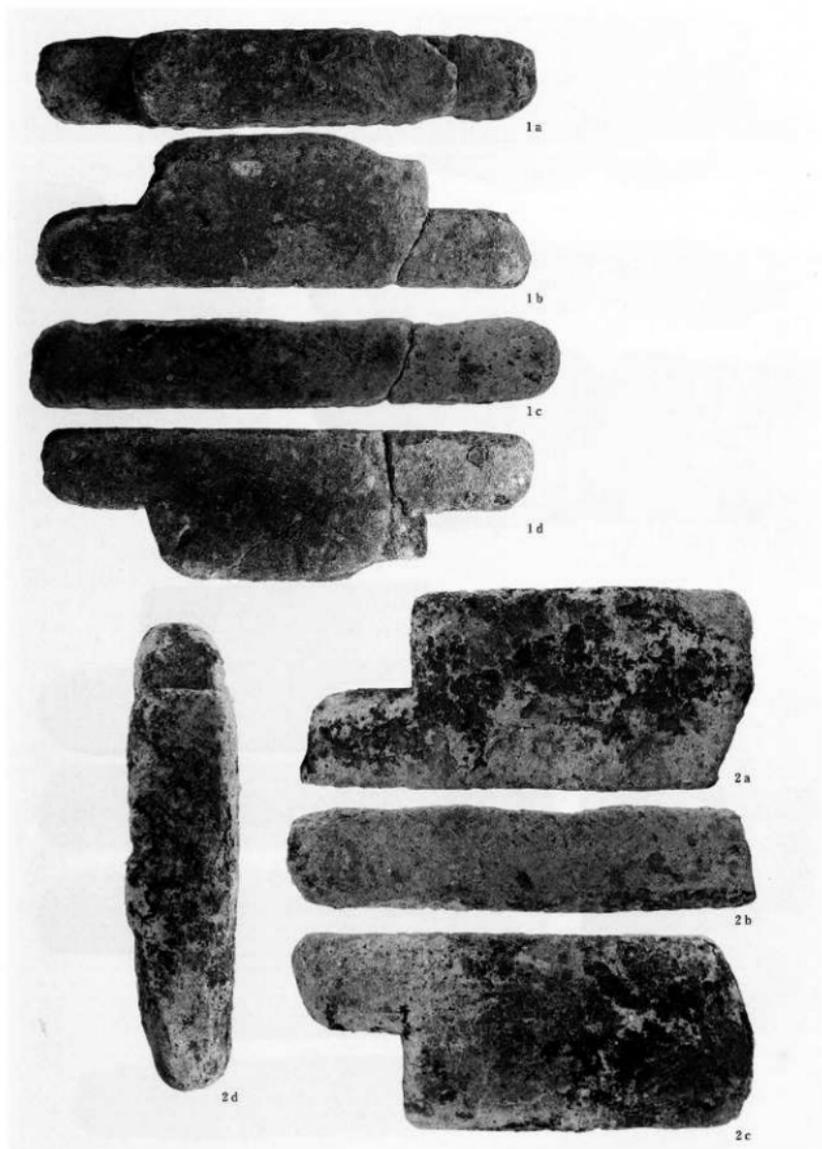
- |                |                  |                 |                 |
|----------------|------------------|-----------------|-----------------|
| 1 砥石 K-11 (2区) | SD-12 1層 第69回(3) | 5 砥石 K-16 (2区)  | SE-7 1層 第69回(8) |
| 2 砥石 K-14 (1区) | SD-9 第17回(6)     | 6 砥石 K-29 (3A区) | 1層 第77回(10)     |
| 3 砥石 K-15 (1区) | SD-9 第17回(5)     | 7 不明 K-23 (2区)  | SE-5 7層 第39回(1) |
| 4 砥石 K-18 (1区) | 1層 第8回(15)       | 8 不明 K-24 (2区)  | SE-5 3層 第39回(4) |

図版51 石製品3 (砥石)・石材1 (不明)



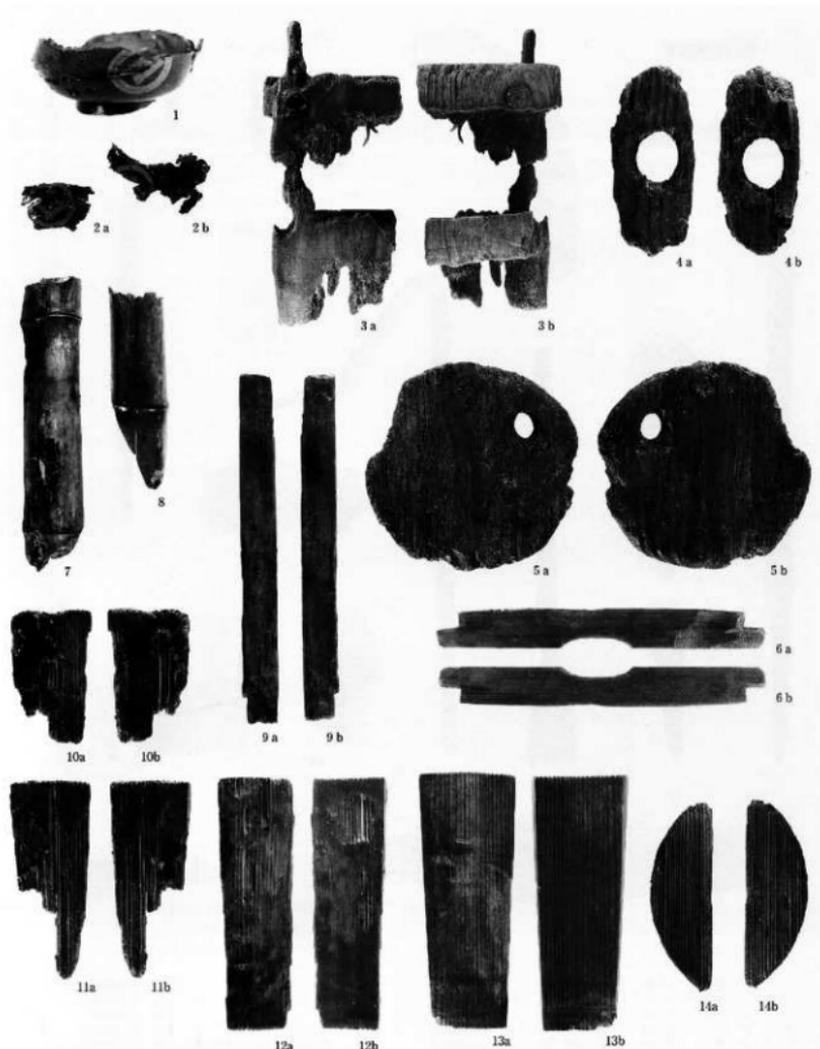
1 井戸杵? K-28 (2区 SE-5 7層第40図1)  
 2 井戸杵? K-25 (2区 SE-5 7層第40図2)

図版52 石材2 (井戸杵)



1 井戸杵? K-26 (2区 SE-5 7層 第41図1)  
 2 井戸杵? K-27 (2区 SE-5 7層 第41図2)

図版53 石材3 (井戸杵)



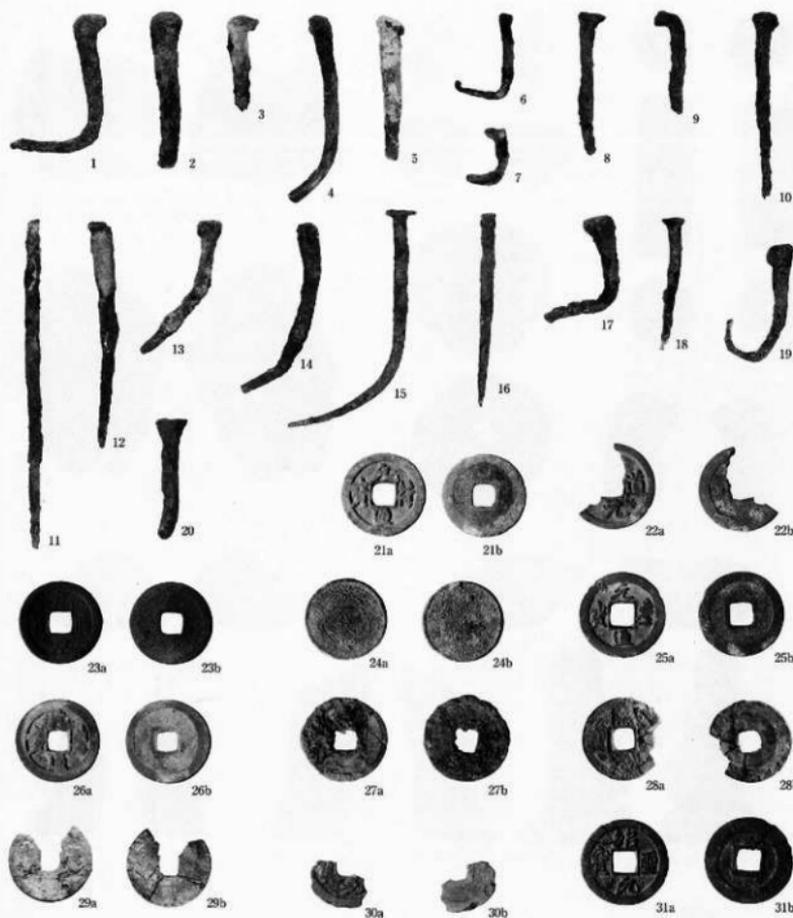
- |       |      |          |    |         |        |      |          |    |         |
|-------|------|----------|----|---------|--------|------|----------|----|---------|
| 1 漆器残 | L-12 | (2区 SE-5 | 4層 | 第43图1)  | 8 竹板   | L-9  | (2区 SE-5 | 4層 | 第43图7)  |
| 2 漆器残 | L-13 | (2区 SR-5 | 3層 |         | 9 角板   | L-1  | (2区 SE-5 | 4層 | 第43图8)  |
| 3 下駄  | L-2  | (2区 SE-5 | 3層 | 第43图2a) | 10 桶側板 | L-7  | (2区 SE-5 | 4層 | 第43图9)  |
| 4 板材  | L-3  | (2区 SE-5 | 4層 | 第43图3)  | 11 桶側板 | L-4  | (2区 SE-5 | 4層 | 第43图10) |
| 5 門板  | L-8  | (2区 SE-5 | 4層 | 第43图4)  | 12 桶側板 | L-5  | (2区 SE-5 | 3層 | 第43图12) |
| 6 板材  | L-11 | (2区 SE-5 | 4層 | 第43图5)  | 13 桶側板 | L-6  | (2区 SR-5 | 4層 | 第43图11) |
| 7 竹材  | L-10 | (2区 SR-5 | 4層 | 第43图6)  | 14 円板  | L-14 | (2区 SE-8 | 5層 | 第43图13) |

图版54 木製品類



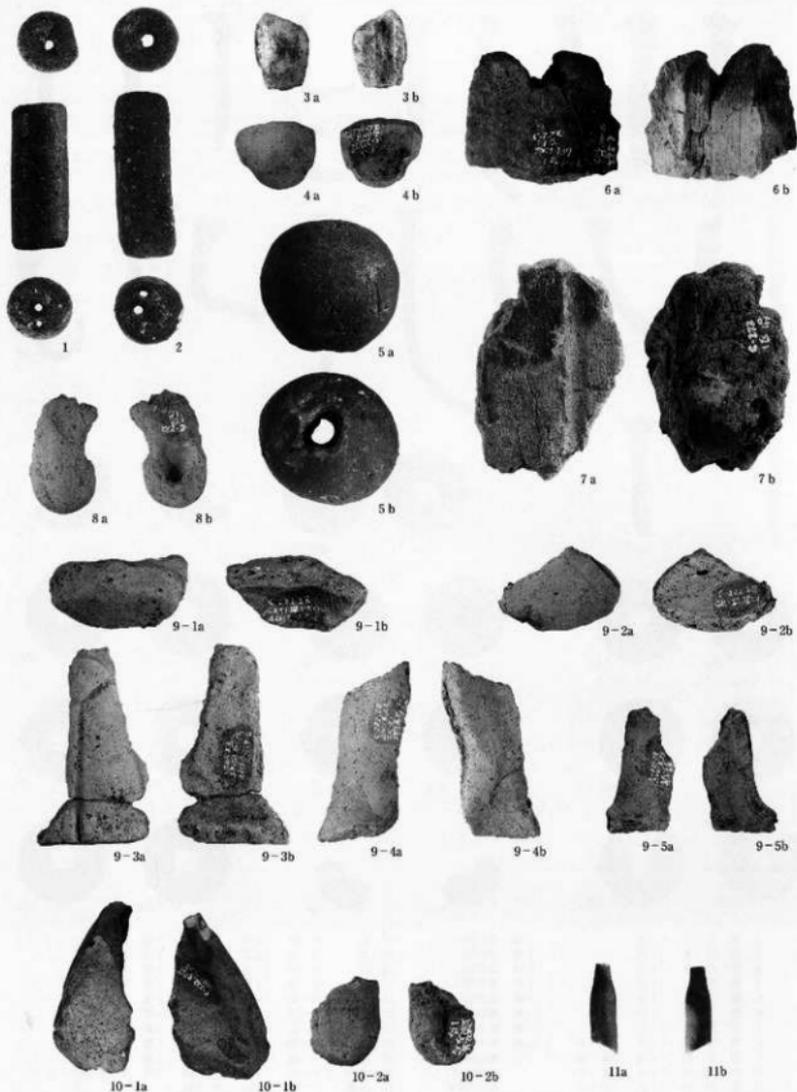
- |       |      |     |       |         |         |       |      |      |         |        |         |
|-------|------|-----|-------|---------|---------|-------|------|------|---------|--------|---------|
| 1 煙管  | N-80 | (1区 | 1層    | 第27回2)  | 10 不明   | N-11  | (1区  | 2a層  | 第27回16) |        |         |
| 2 煙管  | N-81 | (2区 | 1層    | 第70回1)  | 11 不明   | N-50  | (2区  | SE-5 | 3層      | 第44回2) |         |
| 3 蹄鉄  | N-9  | (1区 | 1層    | 第27回1)  | 12 釘?   | N-37  | (2区  | 1層   | 第70回6)  |        |         |
| 4 鐵   | N-10 | (1区 | 2a層   | 第27回11) | 13 不明   | N-79  | (3B区 | 1層   | 第77回12) |        |         |
| 5 鐵   | N-53 | (2区 | SK-54 | 1層      | 第70回13) | 14 不明 | N-58 | (2区  | SK-54   | 2層     | 第70回14) |
| 6 不明  | N-49 | (2区 | SE-5  | 3層      | 第44回1)  | 15 不明 | N-65 | (2区  | SK-65   | 1層     | 第71回4)  |
| 7 不明  | N-52 | (2区 | SK-53 | 1層      | 第70回12) | 16 不明 | N-68 | (2区  | SE-8    | 1層     | 第71回5)  |
| 8 管具? | N-38 | (2区 | 1層    | 第70回2)  | 17 不明   | N-78  | (3A区 | 1層   | 第77回11) |        |         |
| 9 不明  | N-13 | (1区 | 2a層   | 第27回15) |         |       |      |      |         |        |         |

図版55 煙管・鉄製品1 (鐵・蹄鉄・不明)



- |                      |             |                 |                  |
|----------------------|-------------|-----------------|------------------|
| 1 釘 N-1 (1区)         | 1層 第27區3)   | 17 釘 N-51 (2区)  | SK-53 1層 第70區11) |
| 2 釘 N-2 (1区)         | 1層 第27區4)   | 18 釘 N-56 (2区)  | SK-8 4層 第71區6)   |
| 3 釘 N-3 (1区)         | 1層 第27區5)   | 19 釘 N-67 (2区)  | SE-8 1層 第71區7)   |
| 4 釘 N-5 (1区)         | 1層 第27區6)   | 20 釘 N-70 (2区)  | SK-88 1層 第71區9)  |
| 5 釘 N-8 (1区)         | 1層 第27區9)   | 21 古銭 N-82 (1区) | 1層 第28區21)       |
| 6 釘 N-14 (1区)        | 2a層 第27區12) | 22 古銭 N-83 (1区) | 1a層 第28區20)      |
| 7 釘 N-15 (1区)        | 2a層 第27區13) | 23 古銭 N-84 (1区) | 1層 第28區19)       |
| 8 釘 N-19 (1区) SK-4   | 1a層 第28區1)  | 24 古銭 N-85 (1区) | 1層 第28區18)       |
| 9 釘 N-23 (1区) SK-38  | 1層 第28區5)   | 25 古銭 N-86 (1区) | SK-4 1層 第28區22)  |
| 10 釘 N-21 (1区) SK-9  | 第28區3)      | 26 古銭 N-87 (1区) | SK-26 1層 第28區23) |
| 11 釘 N-18 (1区) SD-9  | 第27區19)     | 27 古銭 N-88 (1区) | P-182 )          |
| 12 釘 N-7 (1区)        | 1層 第27區10)  | 28 古銭 N-89 (2区) | SD-12 2層 第71區17) |
| 13 釘 N-25 (1区) SK-38 | 1層 第28區7)   | 29 古銭 N-90 (2区) | SD-12 2層 第71區18) |
| 14 釘 N-43 (1区) SK-38 | 第28區12)     | 30 古銭 N-91 (2区) | 1層 第71區16)       |
| 15 釘 N-48 (2区) SE-5  | 1~2層 第44區3) | 31 古銭 N-92 (2区) | P-214 )          |
| 16 釘 N-47 (2区) SE-5  | 1~2層 第44區4) |                 |                  |

図版56 鉄製品2 (釘)・古銭



- |         |          |             |           |            |                |
|---------|----------|-------------|-----------|------------|----------------|
| 1 管状土製品 | P-4 (2区) | 2b層 第72図(2) | 7 羽口      | P-3 (1区)   | 1層 第8圖14)      |
| 2 管状土製品 | P-7 (2区) | 5層 第72図(1)  | 8 土製人形    | P-1 (1区)   | 1層 )           |
| 3 土鉢    | P-9 (2区) | 1層 第72図(5)  | 9 土製人形    | P-6 (2区)   | SK-511~2・3・4層) |
| 4 土鈴    | P-5 (2区) | 1層 第72図(4)  | 10 土製人形   | P-10 (3A区) | 1層 )           |
| 5 土鉢    | P-8 (2区) | 1層 第72図(3)  | 11 不明骨角製品 | Q-1 (1区)   | SD-9 2層 第18圖1) |
| 6 羽口    | P-2 (1区) | 1層 第8圖13)   |           |            |                |

図版57 土製品・骨角製品

# 報告書抄録

ふりがな	いまいちいせき							
書名	今市遺跡							
副書名	発掘調査報告書							
巻次								
シリーズ名	仙台市文化財調査報告書							
シリーズ番号	第260集							
編著者名	工藤 哲司 伊藤 隆							
編集機関	仙台市教育委員会							
所在地	〒980-8671 宮城県仙台市青葉区国分町三丁目7番1号 TEL 022-214-8894							
発行年月日	平成14年3月31日							
所収遺跡名	所在地	コード		北緯 〇°〇′	東経 〇°〇′	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
		市町村	遺跡番号					
今市遺跡	仙台市 宮城野区 岩切字 三所北 38, 39番地	04100	01222	38° 17′ 75″	140° 56′ 95″	2001.04.10 ～ 2001.08.17	1,100㎡	共同住宅の建設に伴う事前調査
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
今市遺跡	集落跡	平安時代 中世～ 近世	壑穴住居跡・ 溝跡 井戸跡・土坑 掘立柱建物跡		土師器・須恵器 陶器・磁器・ 木製品・鉄製品・ 石製品			

仙台市文化財調査報告書第260集

## 今市遺跡

発掘調査報告書

平成14年3月

発行 仙台市教育委員会

仙台市青葉区国分町三丁目7-1  
文化財課 022(214)8894

印刷 株式会社 東北プリント

仙台市青葉区立町24-24 TEL263-1166

